

令和元年度

都筑区区民意識調査
報告書



令和元年 12 月
都筑区役所

横浜市 都筑区 区政推進課 企画調整係

令和元年 12 月発行

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32 番 1 号

電話 045-948-2227



はじめに

都筑区は、平成6年11月6日に港北区と緑区の再編成により誕生し、令和元年に区制25周年を迎えました。誕生当時約11万人であった人口は、現在は約21万人を擁するまでになりました。令和2年3月には横浜北西線の開通を予定しているほか、令和5年度の開館を目指した区民文化センター（仮称）の整備も進められており、発展・変化を続けるまちです。

都筑区役所では今年度、運営方針の基本目標に、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑 ～区民の皆様と一緒に築く、都筑区～」を掲げています。区民の皆様が一番身近な行政機関として、地域・団体・企業の皆様と共に、ずっと都筑に住み続けたいと感じていただけるよう、ふるさとづくりに取り組んでいます。

このたび、区民の皆さまの生活意識と生活行動を明らかにし、区政の運営や政策立案の基礎資料とするため、本調査を実施しました。

調査項目は、居住意向などの基礎データのほか、「災害対策」、「自治会町内会活動」、「地域での支え合い」、「子ども・子育て支援」等について伺いました。また、新たに区民意識を把握したい、「地域の福祉保健活動」等の調査項目を追加しました。

最後になりましたが、本調査にご協力いただきました多くの区民の皆さまに、厚く御礼申し上げます。また、この調査報告書を、都筑区と区民の皆さまの発展のために、幅広く活用していただければ幸いです。

令和元年12月

横浜市都筑区役所

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| I. 調査概要 | 1 |
| 1. 調査目的..... | 1 |
| 2. 実施概要..... | 1 |
| 3. 回収結果..... | 1 |
| 4. 報告書の見方..... | 1 |
| 5. 今回調査の地区割..... | 2 |
| II. 調査結果 | 4 |
| 1. 回答者の属性..... | 4 |
| (1) 性別..... | 4 |
| (2) 年代..... | 4 |
| (3) 居住地..... | 5 |
| (4) 最寄り駅..... | 6 |
| (5) 家族形態..... | 7 |
| (6) 子ども・高齢者の同居家族..... | 9 |
| (7) 就労状況..... | 11 |
| 2. 都筑区に対する居住意向..... | 12 |
| (1) 居住開始時期..... | 12 |
| (2) 住まいの形態..... | 14 |
| (3) 都筑区に来る前の居住地..... | 16 |
| (4) 居住意向..... | 19 |
| 3. 通勤・通学の状況..... | 21 |
| (1) 職場・学校の所在地..... | 21 |
| (2) 通勤・通学の交通手段..... | 24 |
| (3) 通勤・通学にかかる時間..... | 26 |
| 4. 都筑区の生活環境について..... | 29 |
| (1) 生活環境において重要と認識されている割合について..... | 29 |
| (2) 生活環境において満足を感じている割合について..... | 30 |
| (3) 生活環境において変化を感じている割合について..... | 31 |
| (4) 生活環境の重要度と満足度について..... | 39 |
| 5. 災害対策..... | 44 |
| (1) 災害対策について..... | 44 |
| (2) 避難先の認知度..... | 45 |
| (3) 防災情報収集手段の認知度..... | 51 |
| (4) 防災情報収集手段の利用状況..... | 52 |
| 6. 自治会・町内会活動..... | 53 |
| (1) 自治会・町内会への加入状況..... | 53 |
| (2) 自治会町内会活動に期待すること..... | 57 |
| 7. 地域での日頃の支え合い..... | 58 |
| (1) 隣近所に住んでいる人を知っているか..... | 58 |

| | |
|--|------------|
| (2) 日頃の近所づきあいの程度..... | 62 |
| 8. 区内における社会貢献活動..... | 67 |
| (1) 過去1年間の社会貢献活動の経験..... | 67 |
| (2) 社会貢献活動への参画意向..... | 71 |
| (3) 地域の中で充実させていくべき、重要度が高いと考える社会貢献活動..... | 75 |
| (4) 初めて社会貢献活動に参加したきっかけ..... | 77 |
| (5) 社会貢献活動に参加しやすい状況..... | 78 |
| 9. 地域の福祉保健活動..... | 79 |
| (1) 近所の方に手伝いできること..... | 79 |
| (2) 近所の方に手伝ってほしいこと..... | 80 |
| 10. 子ども・子育て支援..... | 81 |
| (1) 子育て経験の有無..... | 81 |
| (2) 妊娠中の方に役に立つ情報..... | 82 |
| (3) 安心して子育てを行うために必要な施策..... | 83 |
| (4) 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応..... | 84 |
| 11. 健康づくり..... | 87 |
| (1) 健康づくりの取組で重要だと思うこと、実際に取り組んでいること..... | 87 |
| (2) 健康づくりに必要な施策..... | 91 |
| 12. 高齢者支援..... | 92 |
| (1) 高齢者の生活で特に不安なこと..... | 92 |
| (2) 高齢者人口の増加に対する支援や取組..... | 95 |
| 13. 「普段の買い物」や「たまにする買い物」など..... | 98 |
| (1) 買い物先..... | 98 |
| (2) 買い物をする場所..... | 100 |
| (3) 買い物ができたら便利な場所..... | 101 |
| (4) 買い物に行くときの交通手段..... | 102 |
| 14. 文化活動..... | 103 |
| (1) 日頃行っている文化活動・鑑賞..... | 103 |
| (2) 将来行いたい文化活動・鑑賞..... | 107 |
| (3) 文化活動を行っている場所..... | 111 |
| 15. 区民利用施設..... | 112 |
| (1) 区民利用施設の認知度と利用状況..... | 112 |
| (2) 区民利用施設の利用頻度..... | 116 |
| III. 調査票..... | 117 |

I. 調査概要

1. 調査目的

区民の生活意識や生活行動を明らかにし、その結果を区政の運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的とする。

2. 実施概要

■調査実施期間

令和元年5月20日（月）～6月17日（月）

■調査対象

都筑区内に在住する満18歳以上の男女個人（外国人市民を含む無作為抽出）3,000人

■調査方法

郵送調査（郵送で調査票を送付し、郵送で回収する）

■調査内容

調査票別添（120頁～135頁）

3. 回収結果

■配布数 : 3,000票

■総回収数 : 1,496票

■有効回収数 : 1,496票

■有効回収率 : 49.9%

4. 報告書の見方

①回答比率（%）は、小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。

②設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

③グラフに表記される「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表す。

④グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。

5. 今回調査の地区割

前回調査（H27）では、調査結果の分析のため都筑区を5地区に分けており、今回調査においても前回結果と比較検討を行うため5地区に分類した。なお、前回調査時点では「仲町台4丁目」は地区連合町内会未加入であり、中部地区に分類していたが、今回調査の実施時点では都田連合町内会に加入しているため、南部地区に分類した。

表1-1 地区割

| 地区名 | 地区連合町内会名 | 構成町丁(団地)名 |
|------|-----------------|---|
| 東部地区 | 東山田連合町内会 | 東山田一丁目、東山田二丁目、東山田三丁目、東山田四丁目、東山田町 |
| | 山田連合町内会 | 南山田一丁目、南山田二丁目、南山田三丁目、南山田町、北山田一丁目、北山田二丁目、北山田三丁目、北山田四丁目、北山田五丁目、北山田六丁目、北山田七丁目、すみれが丘 |
| 北部地区 | 中川連合町内会 | 大棚町、大棚西、中川一丁目、中川二丁目、中川三丁目、中川四丁目、中川五丁目、中川六丁目、中川七丁目、中川八丁目、牛久保一丁目、牛久保二丁目、牛久保三丁目、牛久保東一丁目、牛久保東二丁目、牛久保東三丁目、牛久保西一丁目、牛久保西二丁目、牛久保西三丁目、牛久保西四丁目、牛久保町、あゆみが丘 |
| | 地区連合町内会未加入 | 中川中央一丁目、中川中央二丁目 |
| 中部地区 | 勝田茅ヶ崎地区連合町内会 | 茅ヶ崎東一丁目、茅ヶ崎東二丁目、茅ヶ崎東三丁目、茅ヶ崎東四丁目、茅ヶ崎東五丁目、茅ヶ崎南一丁目、茅ヶ崎南二丁目、茅ヶ崎南三丁目、茅ヶ崎南五丁目、茅ヶ崎中央、茅ヶ崎町、勝田南一丁目、勝田南二丁目、勝田町 |
| | かちだ連合自治会 | 勝田団地 |
| | 新栄早渕連合町内会 | 新栄町、早渕一丁目、早渕二丁目、早渕三丁目 |
| | 茅ヶ崎南 MGCRS連合自治会 | 茅ヶ崎南四丁目 |
| | 地区連合町内会未加入 | 仲町台二丁目、桜並木 |
| 南部地区 | 都田連合町内会 | 川向町、大熊町、折本町、東方町、平台、長坂、仲町台一丁目、仲町台三丁目、仲町台四丁目、仲町台五丁目 |
| | 池辺町連合自治会 | 池辺町 |
| | 佐江戸加賀原地区連合自治会 | 佐江戸町、加賀原一丁目、加賀原二丁目 |
| 西部地区 | 川和地区連合町内会 | 川和町、川和台、二の丸 |
| | ふれあいの丘連合自治会 | 高山、富士見が丘、見花山、葛が谷 |
| | 荏田南連合自治会 | 大丸、荏田南一丁目、荏田南二丁目、荏田南三丁目 |
| | 渋沢連合自治会 | 荏田東町、荏田東一丁目、荏田東二丁目、荏田東三丁目、荏田東四丁目 |
| | 柚木荏田南連合自治会 | 荏田南町、荏田南四丁目、荏田南五丁目 |

- (注)
- ・自治会・町内会の範囲は、必ずしも町界と一致していない。
 - ・自治会・町内会未加入の地域については、地理的な条件や地域特性を考慮し、近接する地区連合町内会に組み入れることとした。
 - ・地区の名称は、各地区の位置関係を考慮してつけた名称であり、本調査の集計上用いるものである。一般に用いられる名称ではない。

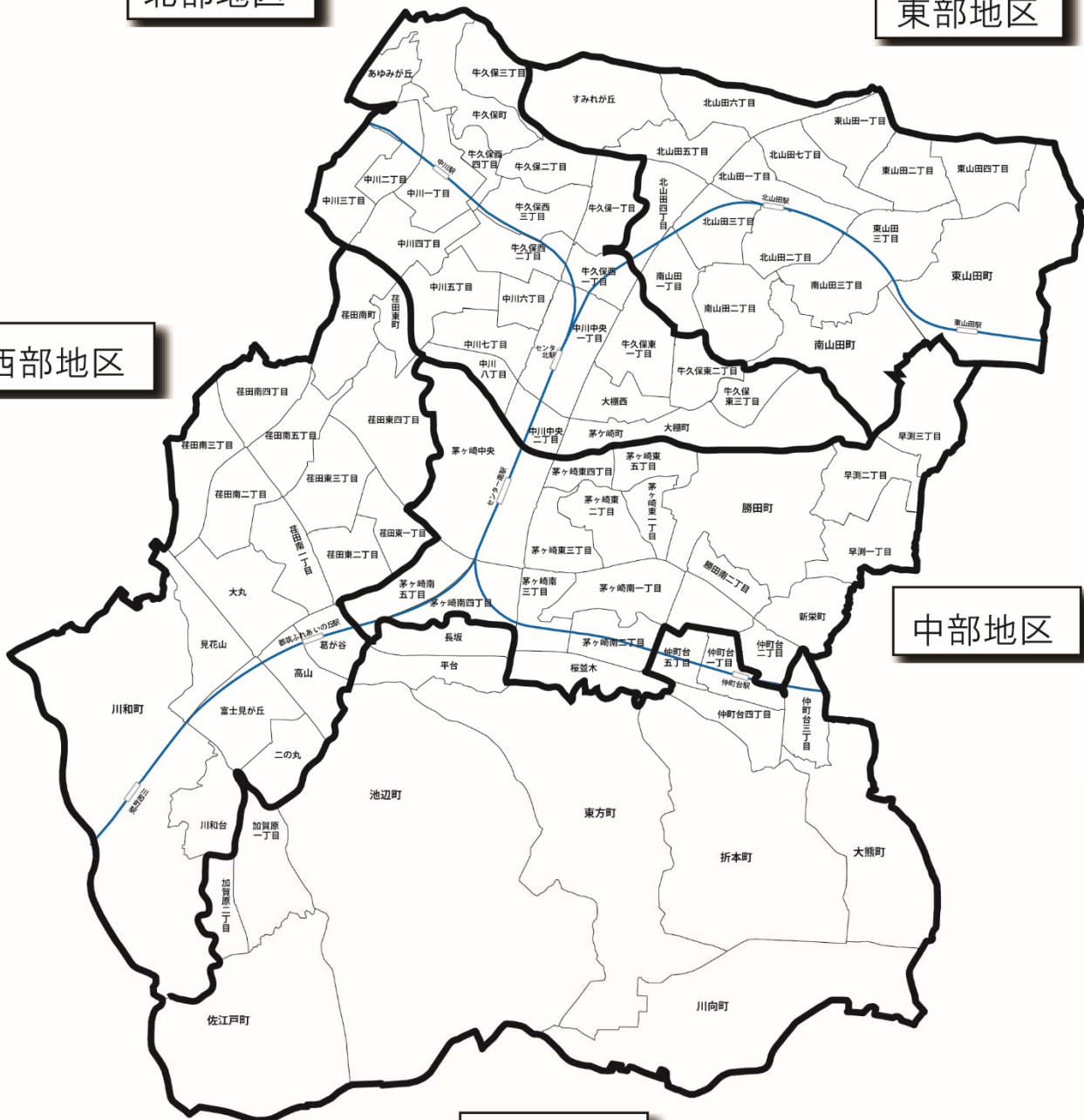
北部地区

東部地区

西部地区

中部地区

南部地区



Ⅱ. 調査結果

1. 回答者の属性

(1) 性別

回答者の性別構成は、「男性」43.7%、「女性」53.1%である。

都筑区全体における性別構成は、「男性」49.3%、「女性」50.7%となっている。

図2 性別 (n=1,496)

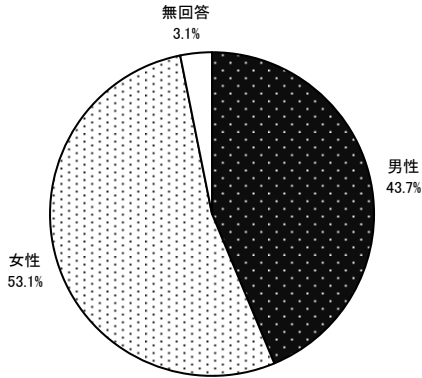
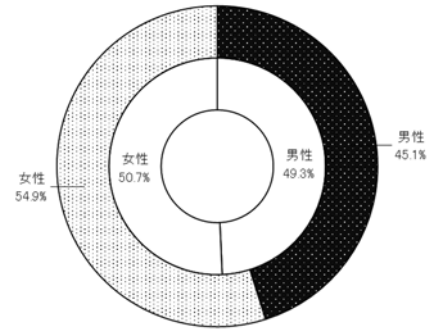


図3 <参考>性別 都筑区全体(18歳以上)との比較



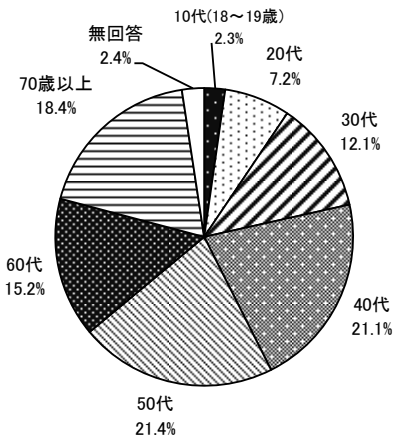
内側 都筑区全体 (n=170,238) ※推計人口による平成31年1月1日現在

外側 今回調査 (n=1,449) ※無回答を除く

(2) 年代

回答者の年代は「50歳代」が最も高く21.4%、次いで「40歳代」が21.1%、「70歳以上」が18.4%となっている。

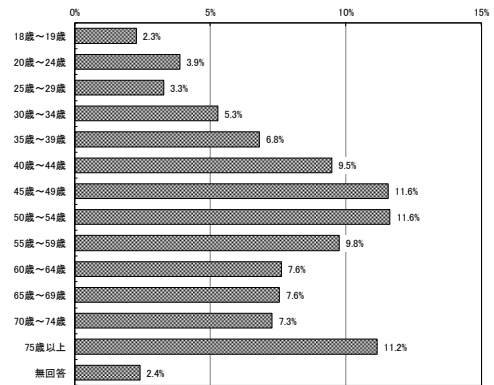
図4 年代 (n=1,496)



<参考>

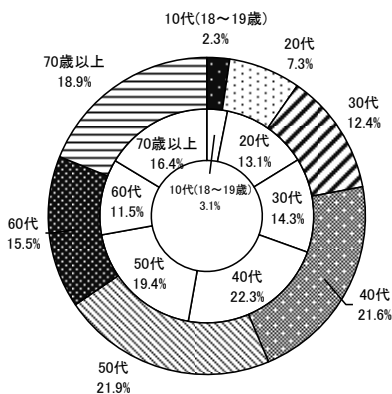
図5 回答者の年齢構成

(5歳階級別) (n=1,496)



<参考>

図6 都筑区の年齢構成(18歳以上)と回答者の年齢構成の比較



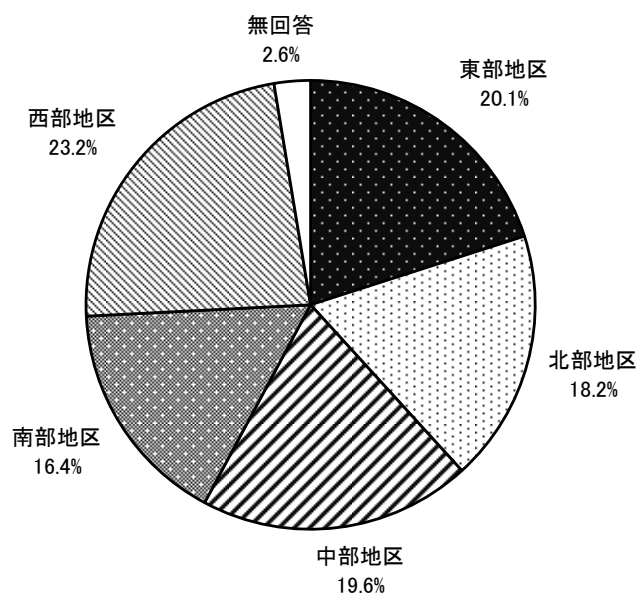
内側 都筑区全体 (18歳以上) (n=170,238) ※推計人口による平成31年1月1日現在

外側 今回調査 (n=1,460) ※無回答を除く

(3) 居住地

回答者の居住地区は「西部地区」が最も高く 23.2%、次いで「東部地区」20.1%、「中部地区」19.6%、「北部地区」18.2%、「南部地区」16.4%となっている。

図7 居住地 (n=1,496)



(4) 最寄り駅

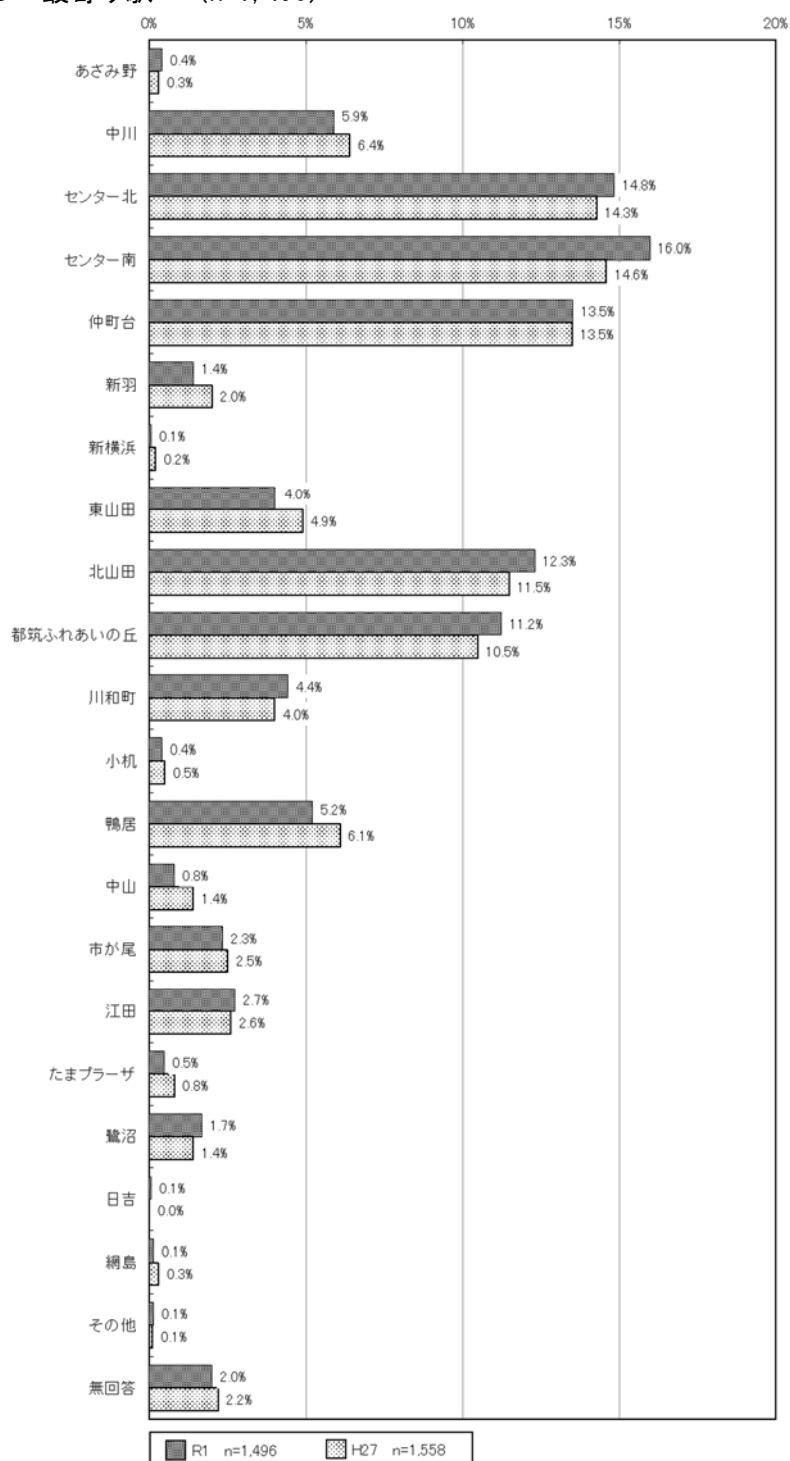
■全体の傾向

あなたの最寄り駅（もしくは最も利用する駅）はどこかという問に対しては、「センター南駅」が最も高く16.0%、次いで「センター北駅」が14.8%、「仲町台駅」13.5%となっている。

都筑区以外の駅では、「鴨居駅」5.2%、「江田駅」2.7%、「市が尾駅」2.3%などが利用されている。

前回調査（平成27年度）と比較すると、上位5位「センター南駅」、「センター北駅」、「仲町台駅」、「北山田駅」、「都筑ふれあいの丘駅」は変動がない。

図8 最寄り駅 (n=1,496)

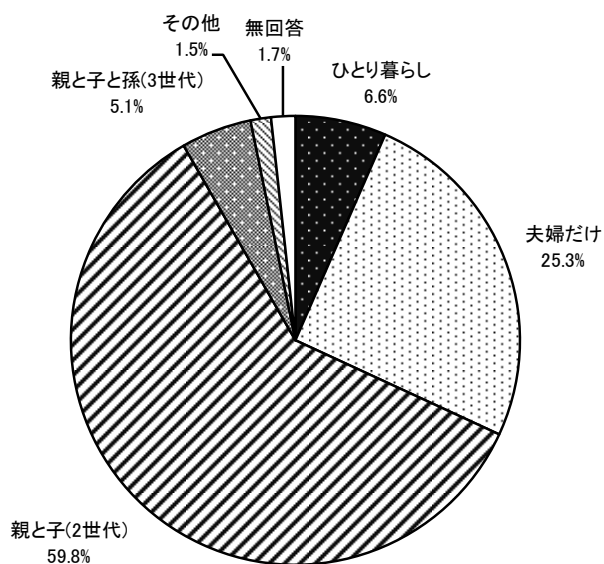


(5) 家族形態

■全体の傾向

回答者の家族形態は「親と子（2世代）」が59.8%と最も高く、次いで「夫婦だけ」25.3%、「ひとり暮らし」6.6%、「親と子と孫（3世代）」5.1%となっている。

図9 家族形態 (n=1,496)



■地区別に見る特徴

すべての地区において「親と子（2世代）」が最も高く、次いで「夫婦だけ」となっており、これらを合わせると8割以上となる。前回調査（平成27年度）と比較すると、東部地区では、「夫婦だけ」が増加し、「親と子（2世代）」が減少している。

図10 家族形態（地区別）

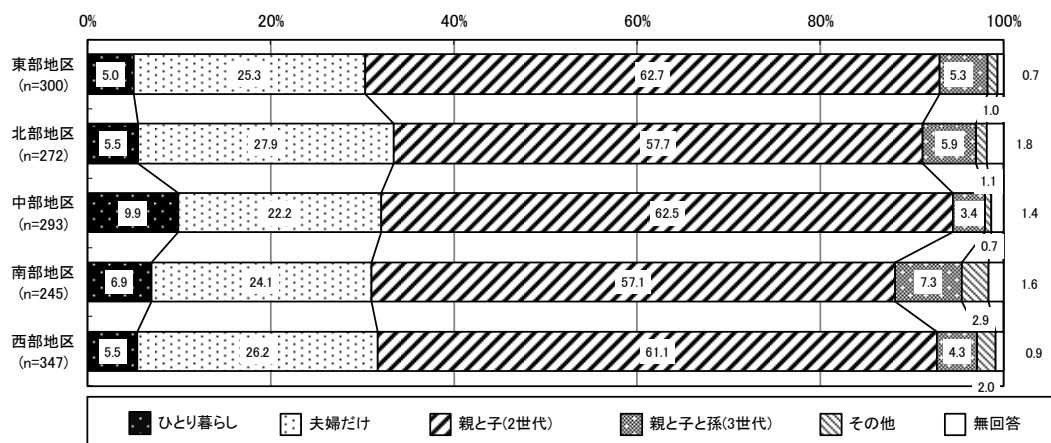
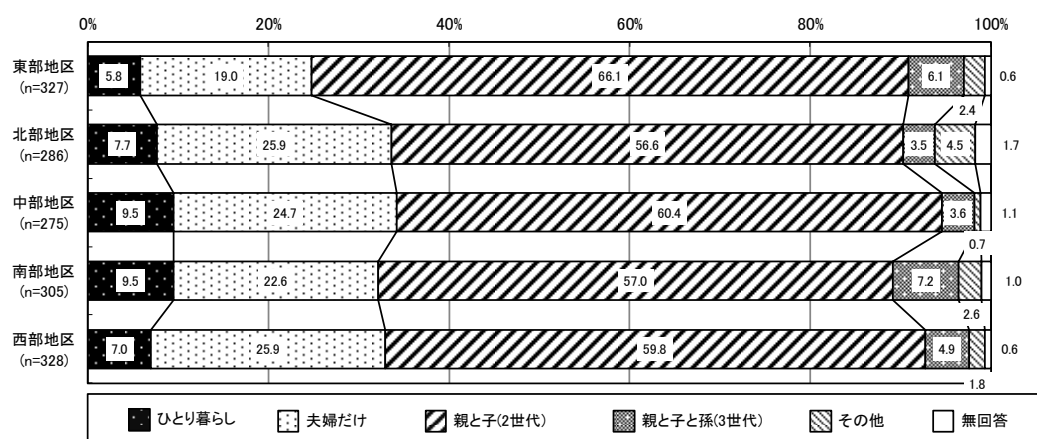


図11 <参考> 家族形態（平成27年度都筑区区民意識調査）



(6) 子ども・高齢者の同居家族

■全体の傾向

家族に「子ども（未就学児）」がいるかどうかについては、「いる」の回答者が15.1%、「小学生」は15.0%、「高齢者（65歳以上）」は26.6%となっている。

図12 子ども（未就学児）の同居家族（n=1,372）

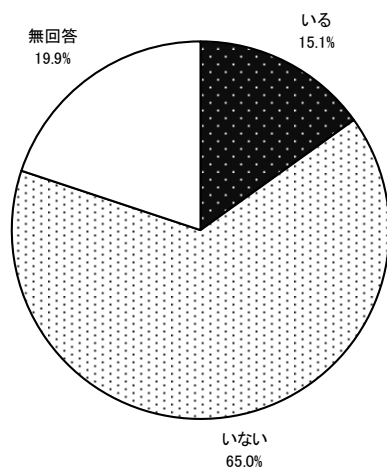


図13 小学生の同居家族（n=1,372）

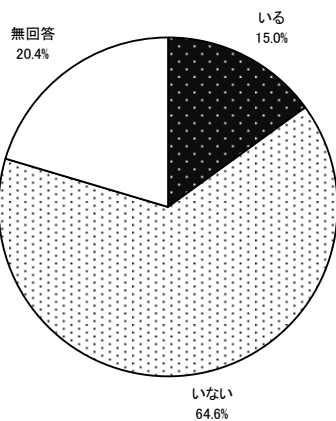
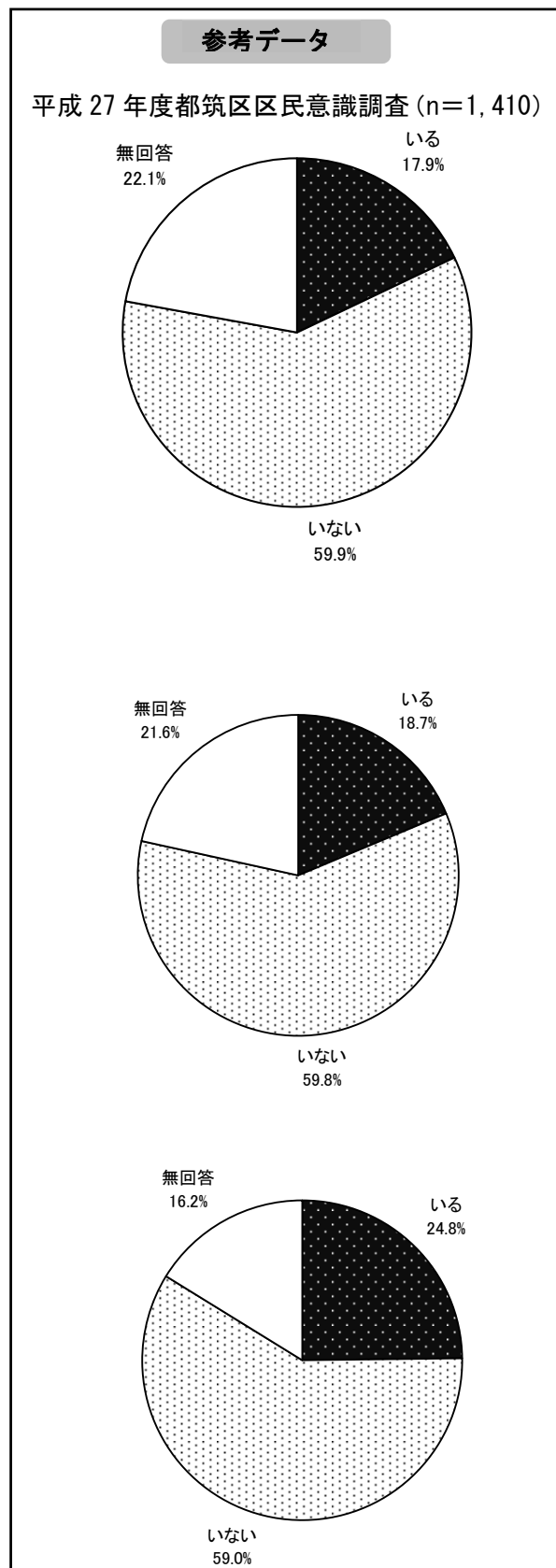
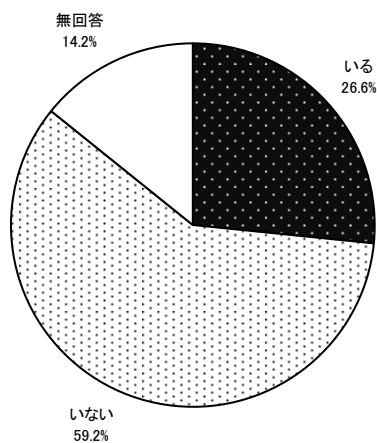


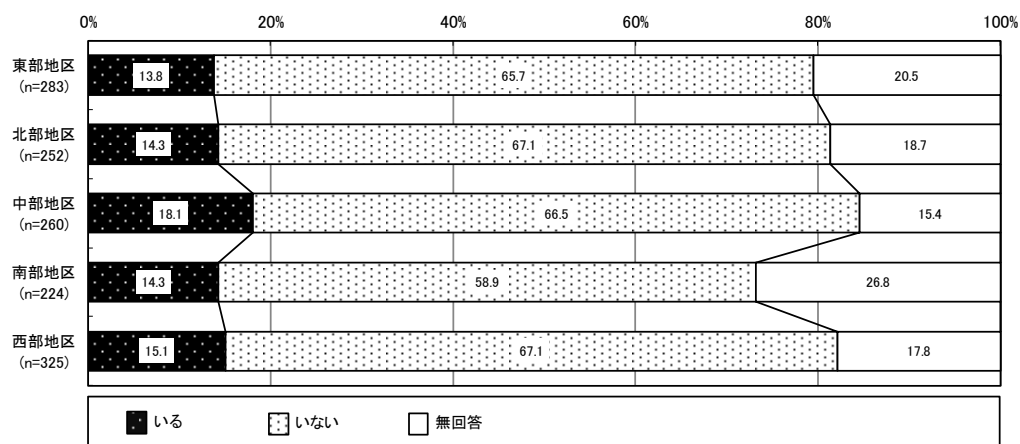
図14 高齢者（65歳以上）の同居家族（n=1,372）



■地区別に見る特徴

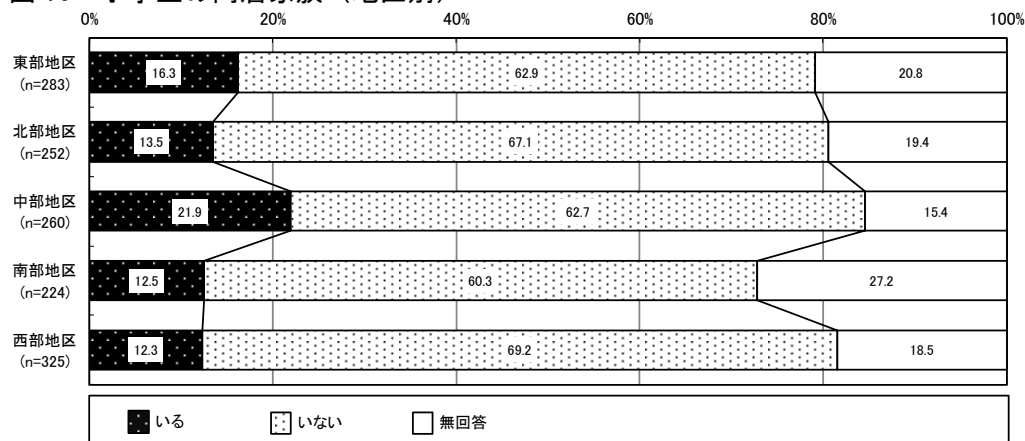
家族に「子ども（未就学児）」がいると答えた人が最も多い地区は、「中部地区」の18.1%である。次いで「西部地区」が15.1%である。最も少ない地区は「東部地区」の13.8%である。

図 15 子ども（未就学児）の同居家族（地区別）



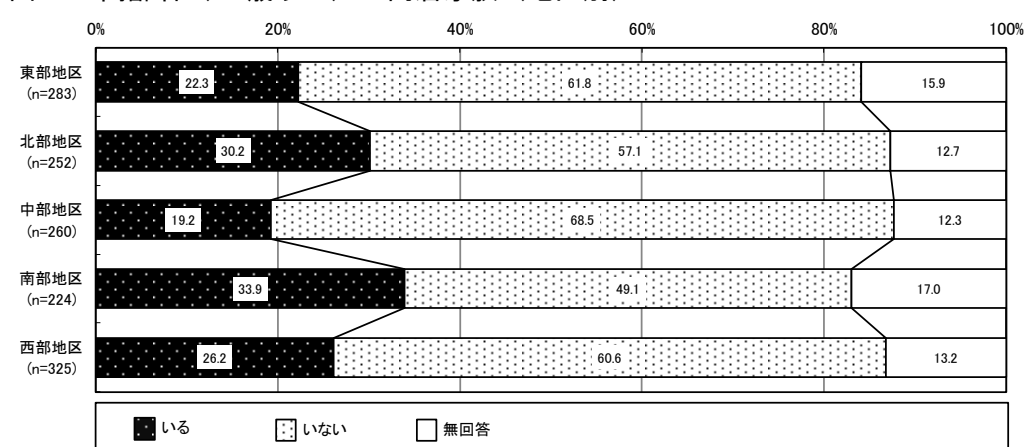
家族に「小学生」がいると答えた人が最も多い地区は、「中部地区」の21.9%である。次いで「東部地区」が16.3%である。最も少ない地区は「西部地区」の12.3%である。

図 16 小学生の同居家族（地区別）



家族に「高齢者」がいると答えた人が最も多い地区は、「南部地区」の33.9%である。最も少ない地区は「中部地区」の19.2%である。

図 17 高齢者（65歳以上）の同居家族（地区別）

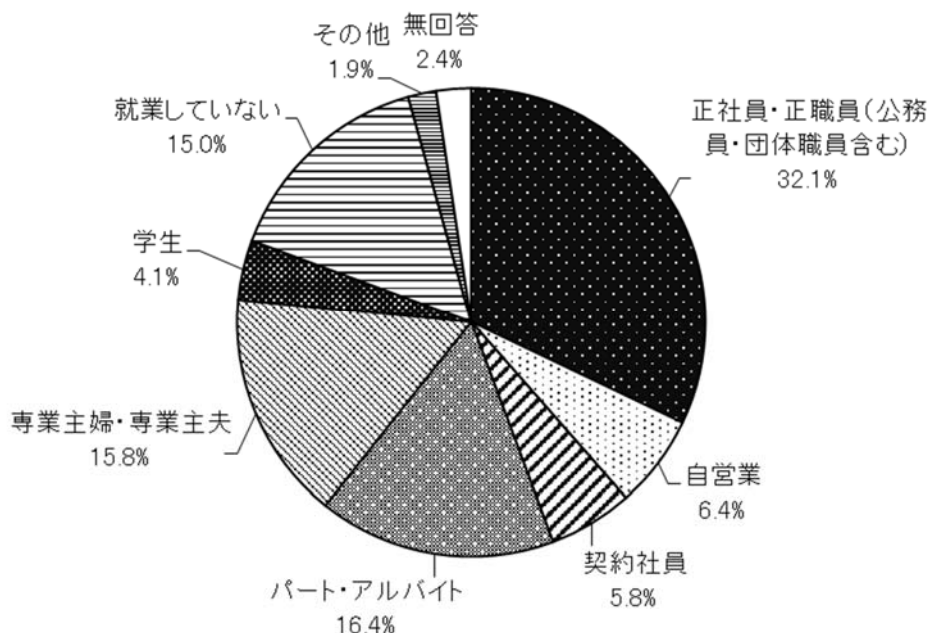


(7) 就労状況

■全体の傾向

回答者の就労状況は「正社員・正職員（公務員・団体職員含む）」が 32.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」16.4%、「専業主婦・専業主夫」15.8%となっている。

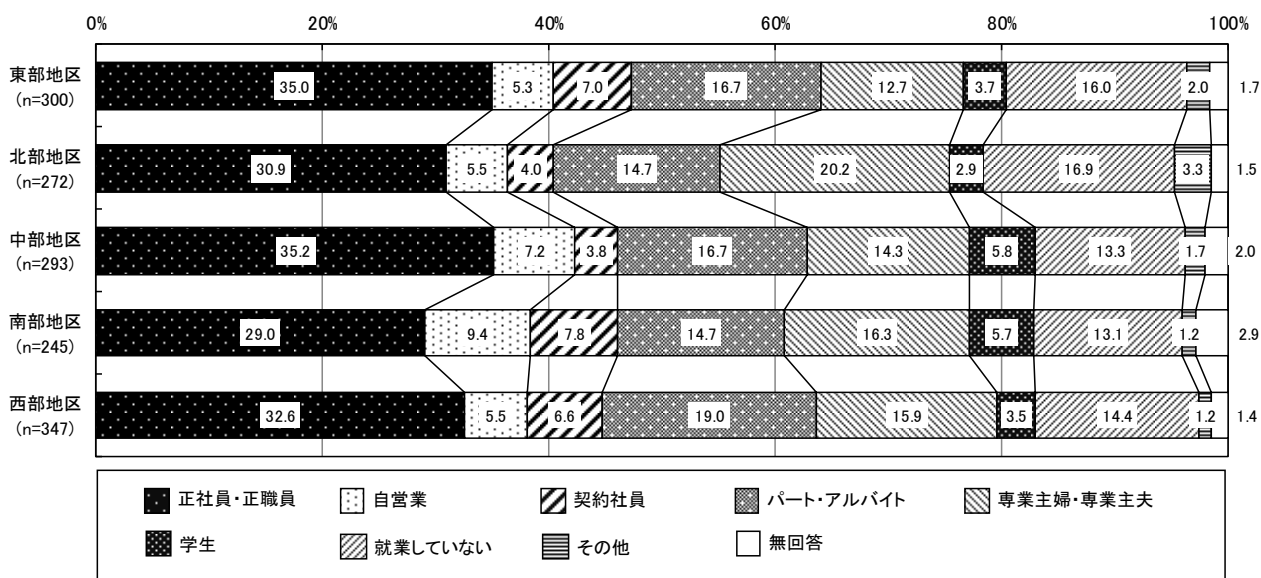
図18 就労状況 (n=1,496)



■地区別に見る特徴

地区別にみると、「正社員・正職員」は「中部地区」が 35.2%と最も高く、次いで「東部地区」35.0%、「西部地区」32.6%となっている。「北部地区」においては「専業主婦・専業主夫」の割合が 20.2%と他の地区と比べ割合が高くなっている。

図 19 就労状況（地区別）



2.都筑区に対する居住意向

(1) 居住開始時期

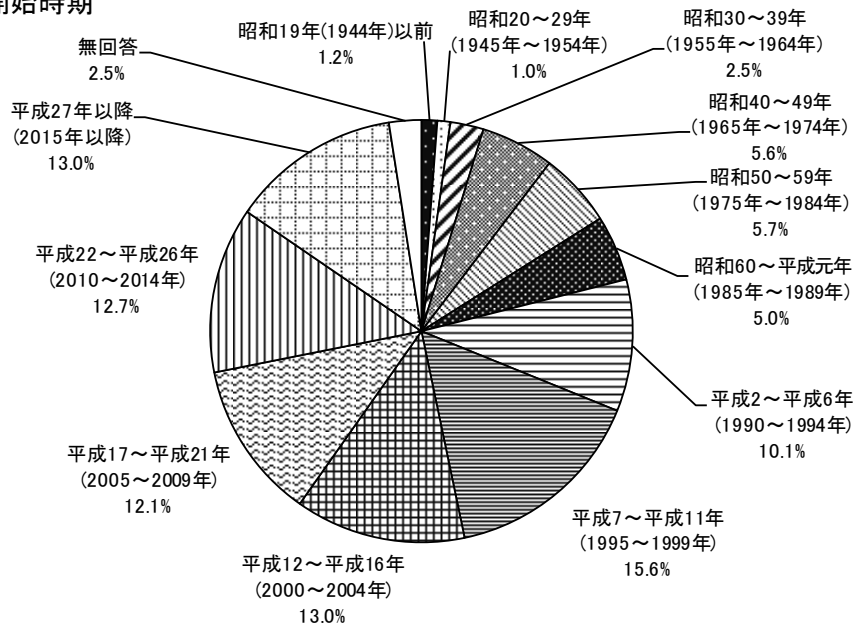
平成7年以降に住み始めた人は全体の6割超

■全体の傾向

都筑区に住み始めた時期は「平成7～平成11年（1995～1999年）」が15.6%と最も高く、次いで「平成12～平成16年（2000～2004年）」と「平成27年以降（2015年以降）」が13.0%となっている。

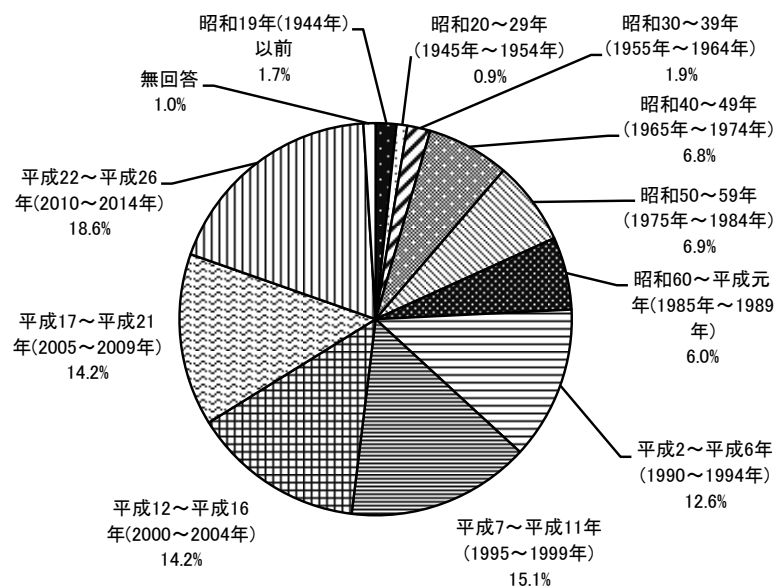
問1 あなたは、都筑区にいつ頃からお住まいですか。（〇はひとつ）（n=1,496）

図20 居住開始時期



参考データ

図21 居住開始時期（平成27年度都筑区区民意識調査）（n=1,558）



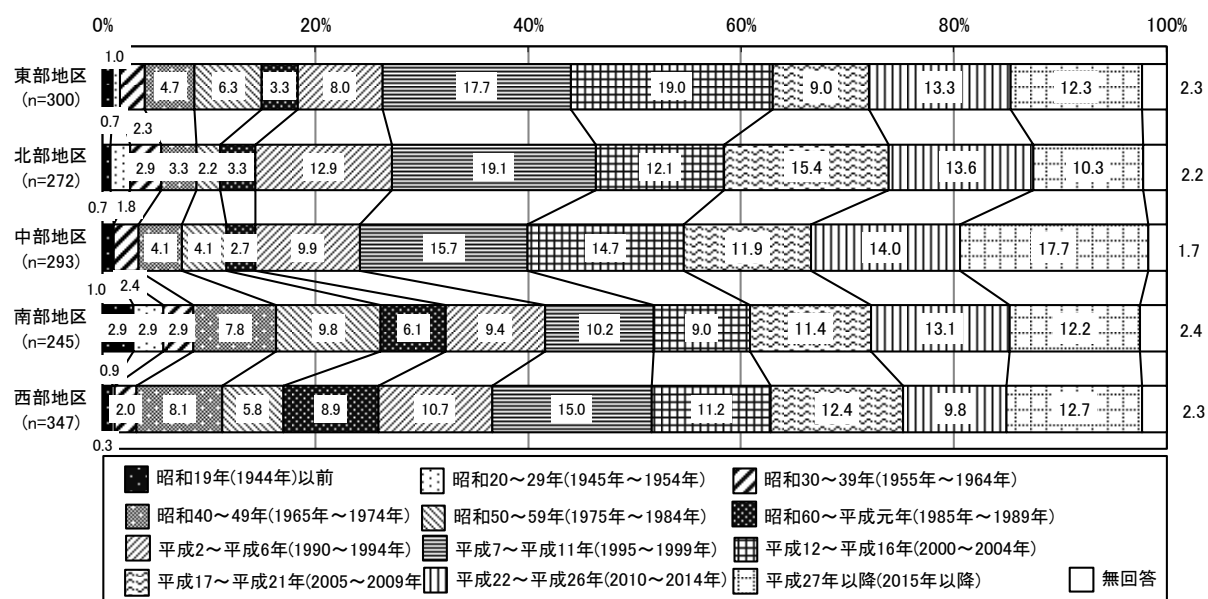
■地区別に見る特徴

地区別にみると、平成27年（2015年）以降に住み始めた人の割合が最も多い地区は「中部地区」の17.7%で、次いで「西部地区」の12.7%、「東部地区」の12.3%である。

平成22年（2010年）以降に住み始めた人の割合でみると、最も多い地区は「中部地区」で31.7%、次いで「東部地区」の25.6%、「南部地区」の25.3%となっている。

平成17年（2005年）以降に住み始めた人の割合で見ると、最も多い地区は「中部地区」で43.6%、次いで「北部地区」の39.3%、「南部地区」の36.7%、「西部地区」の34.9%、「東部地区」の34.6%となっている。

図22 居住開始時期（地区別）



(2) 住まいの形態

「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」と「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」を合わせた集合住宅の割合は5割後半

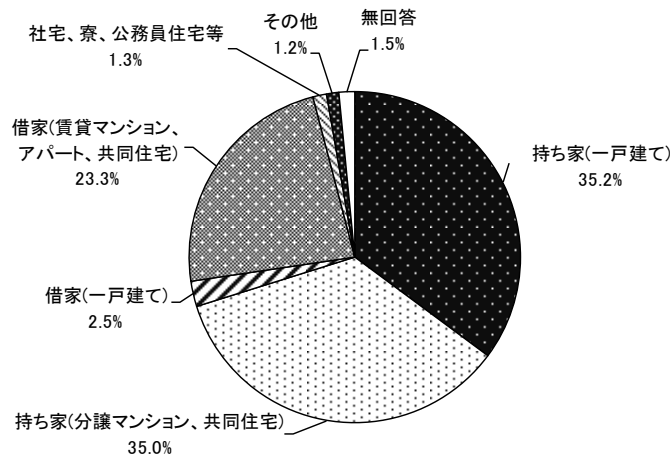
■全体の傾向

住まいの形態は「持ち家（一戸建て）」が35.2%と最も高く、次いで「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」35.0%、「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」23.3%となっている。『持ち家』と『借家』を合わせた集合住宅の割合は58.3%である。

「持ち家（一戸建て）」と「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」を合わせた『持ち家』の比率は70.2%となっている。

問2 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

図23 住まいの形態



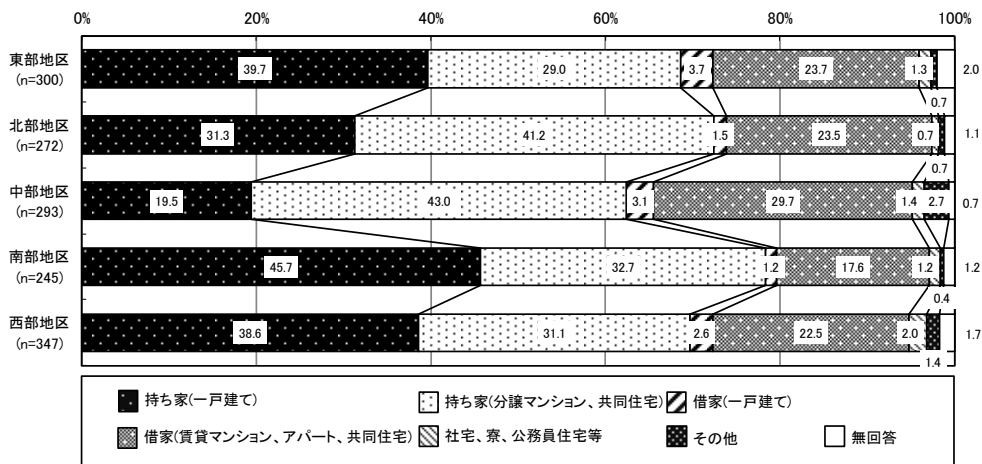
■地区別に見る特徴

地区別にみると、「持ち家（一戸建て）」の比率が高い地区は、「南部地区」の45.7%、「東部地区」の39.7%、「西部地区」の38.6%となっている。「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」の比率が高い地区は「中部地区」の43.0%、「北部地区」の41.2%である。

「持ち家（一戸建て）」と「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」を合わせた『持ち家』の比率が最も高いのは「南部地区」で78.4%、最も低いのは「中部地区」で62.5%となっている。

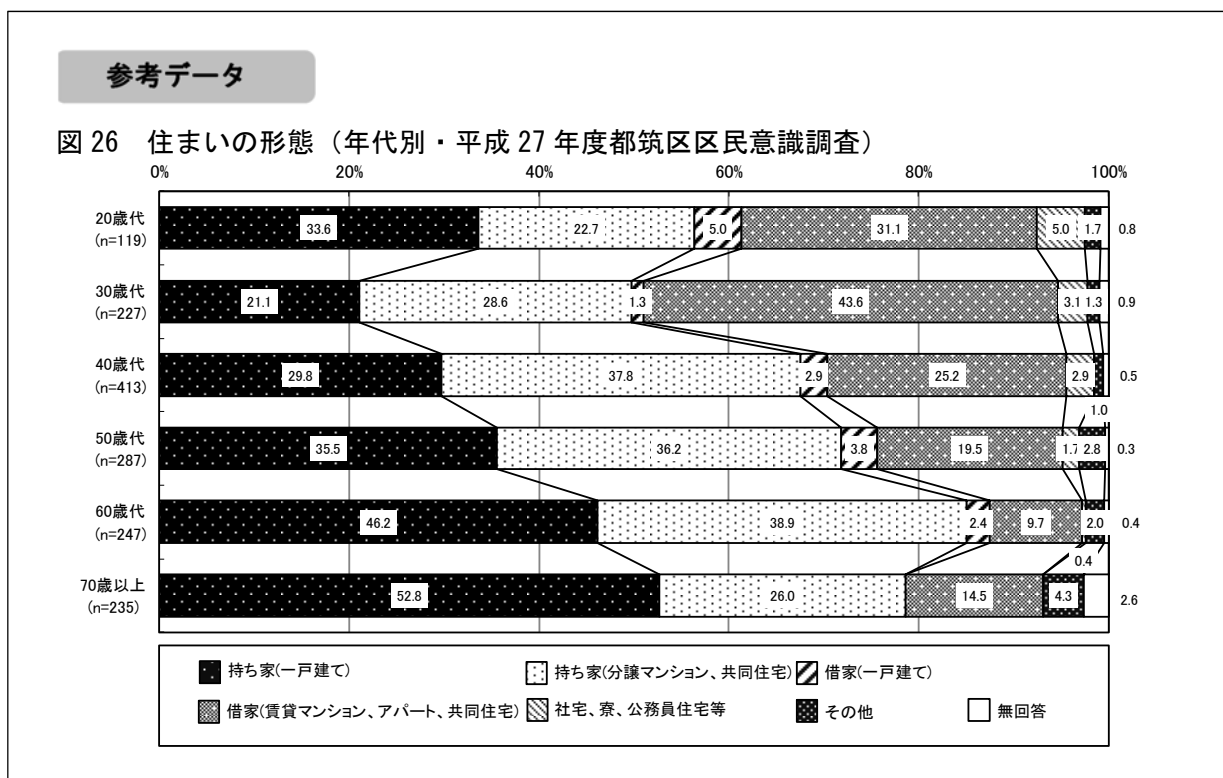
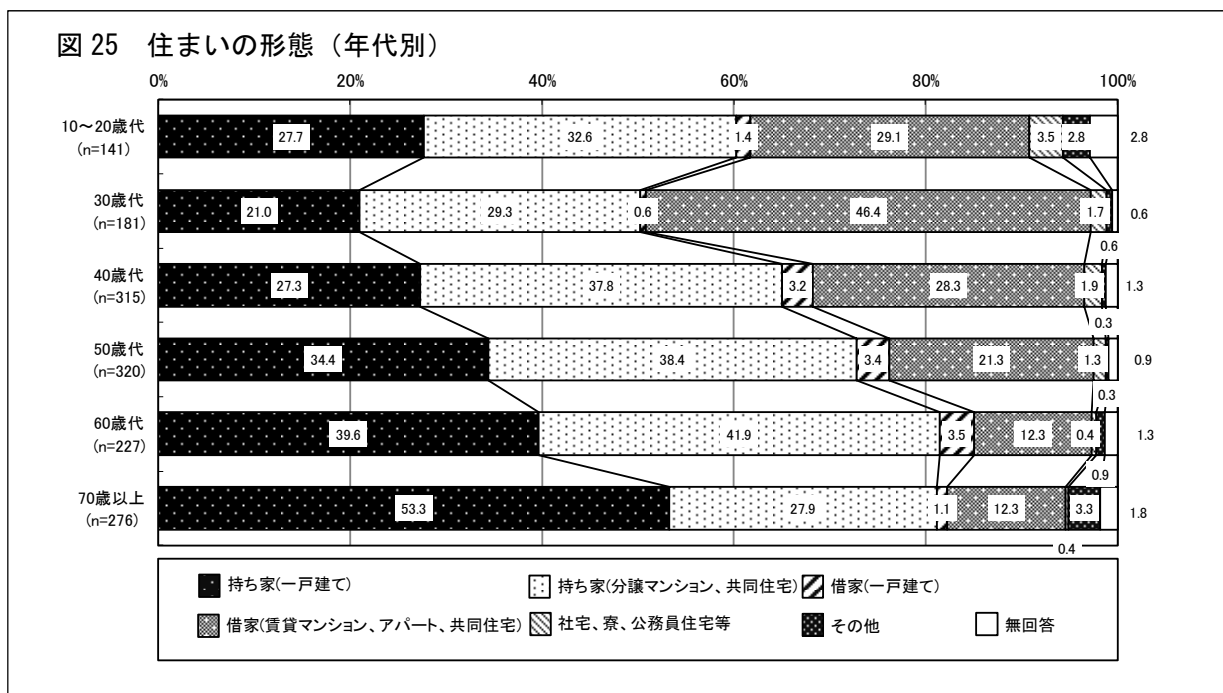
「借家（一戸建て）」と「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」を合わせた『借家』の比率が高い地区は「中部地区」が32.8%と最も高くなっている。

図24 住まいの形態（地区別）



■回答者属性別に見る特徴

年代別にみる住まいの形態の特徴としては、「10～20歳代」では「持ち家（一戸建て）」、「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」、「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」がそれぞれ3割前後となっている。「30歳代」では「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」が最も高く4割超となっている。「40歳代」、「50歳代」では「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」が最も高く4割弱である。「60歳代」は「持ち家（分譲マンション、共同住宅）」が最も高く4割超である。「70歳以上」は「持ち家（一戸建て）」が5割超で最も高い。



(3) 都筑区に来る前の居住地

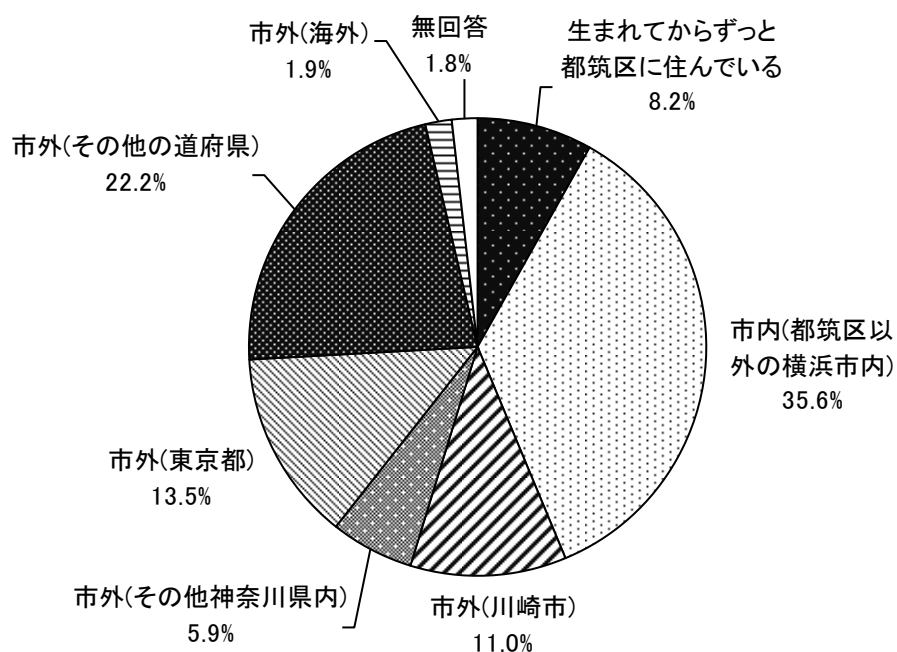
「市内（都筑区以外の横浜市）」が最も多く、4割弱
 居住開始時期が遅いほど、市外（その他の道府県）の割合が高くなっている

■全体の傾向

都筑区に来る前の居住地は「市内（都筑区以外の横浜市）」が35.6%と最も高く、次いで「市外（その他の道府県）」22.2%、「市外（東京都）」13.5%となっている。

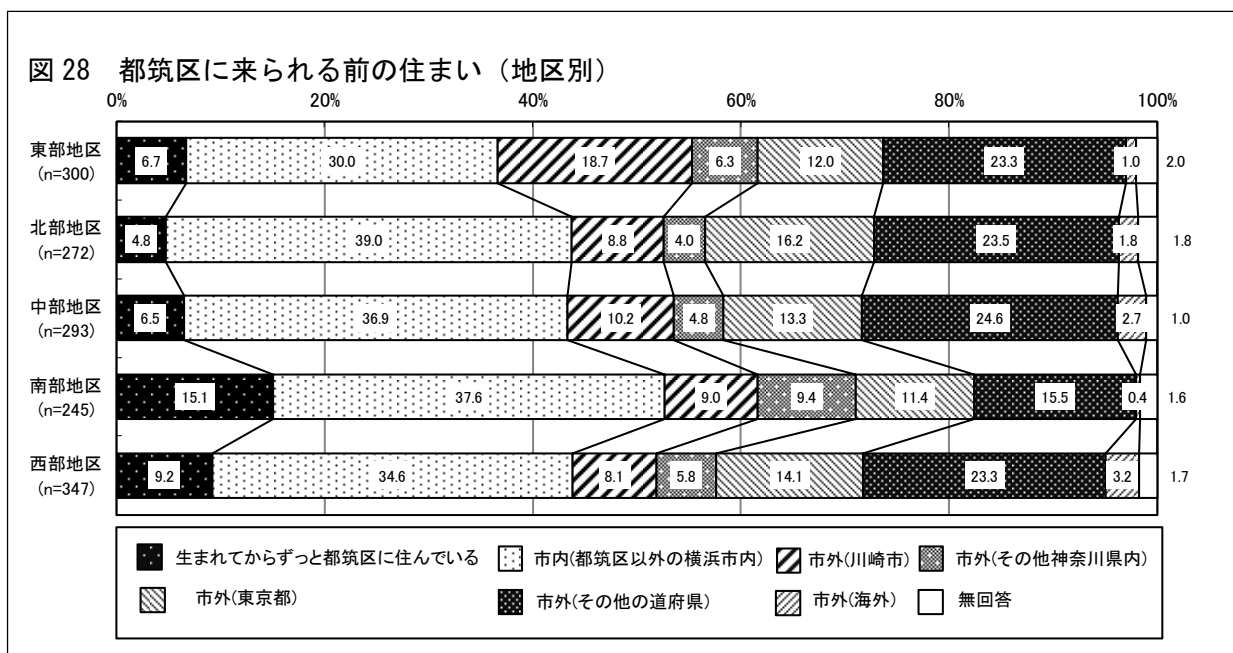
問3 あなたが都筑区に来られる前にお住まいになっていたところはどこですか。（○はひとつ）
 (n=1,496)

図27 都筑区に来られる前の住まい



■地区別に見る特徴

地区別に見ると、すべての地区で「市内（都筑区以外の横浜市内）」からの流入が最も高くなっている。「生まれてからずっと都筑区に住んでいる」という回答が最も多いのは「南部地区」で15.1%である。

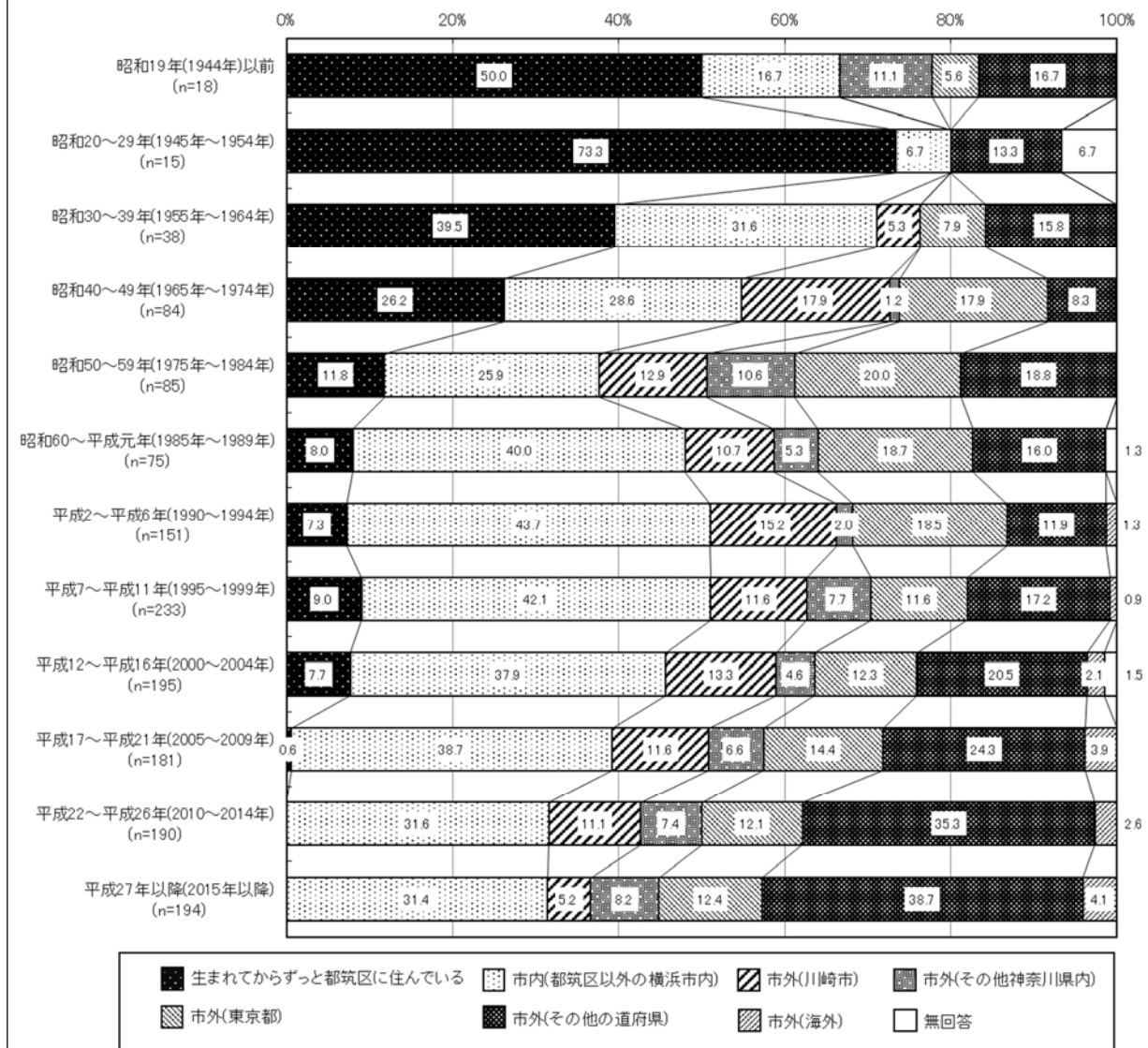


■回答者属性別に見る特徴

居住開始時期別にみると、「平成 2～平成 6 年（1990～1994 年）」で「市内（都筑区以外の横浜市内）」の割合が 43.7%と最も高くなっている。

また、住み始めた時期が遅いほど、「市外（その他の道府県）」の割合が高くなる傾向がある。

図 29 都筑区に来られる前の住まい（居住開始時期別）



(4) 居住意向

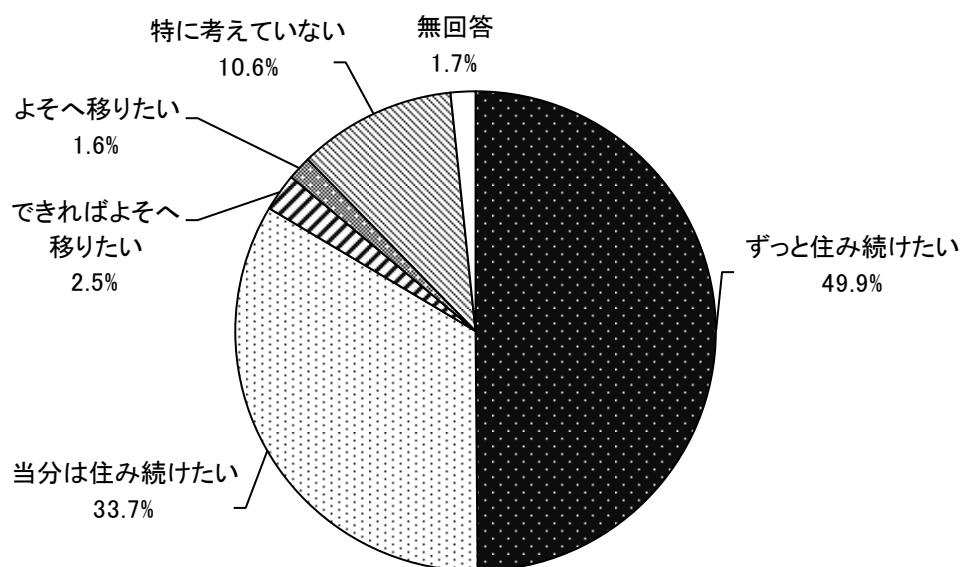
『住み続けたい』と回答している人の割合が8割超
 年齢が上がるほど「ずっと住み続けたい」の割合が高まる傾向

■全体の傾向

都筑区に住み続けたいかどうかについては「ずっと住み続けたい」が49.9%と最も高く、次いで「当分は住み続けたい」が33.7%となっており、「住み続けたい」回答者は83.6%となっている。

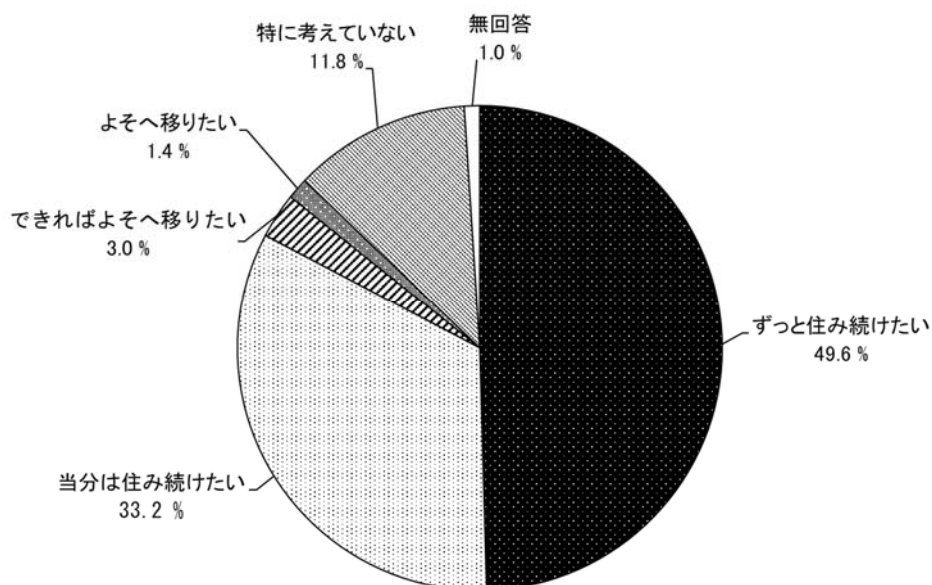
問4 あなたは、これからも都筑区に住みたいと思いますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

図30 居住意向



参考データ

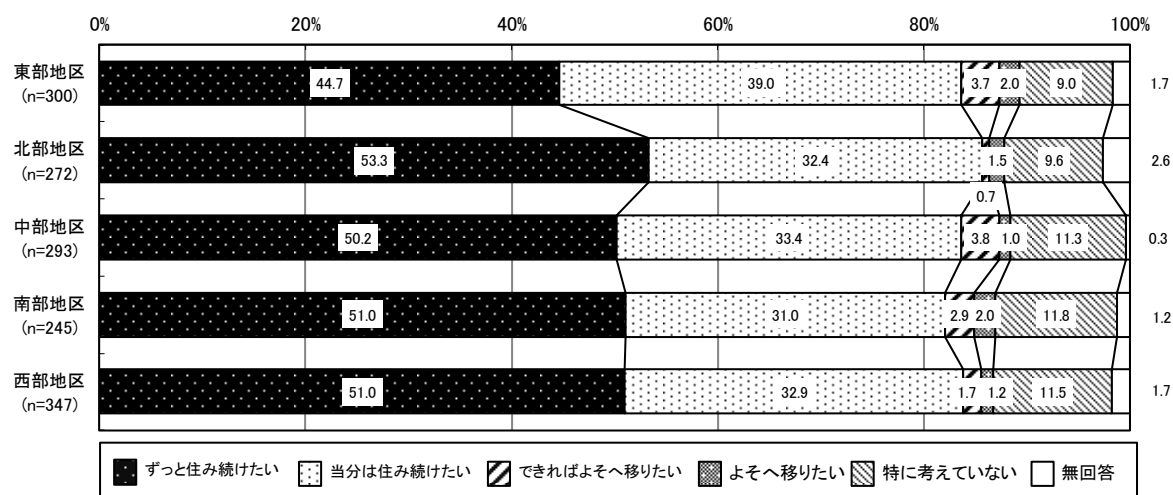
図31 居住意向 (平成27年度都筑区区民意識調査) (n=1,558)



■地区別に見る特徴

地区別に見ると、「ずっと住みたい」居住意向が最も高いのは「北部地区」で、53.3%となっている。すべての地区で「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」と合わせた比率は8割以上となっている。

図 32 居住意向（地区別）

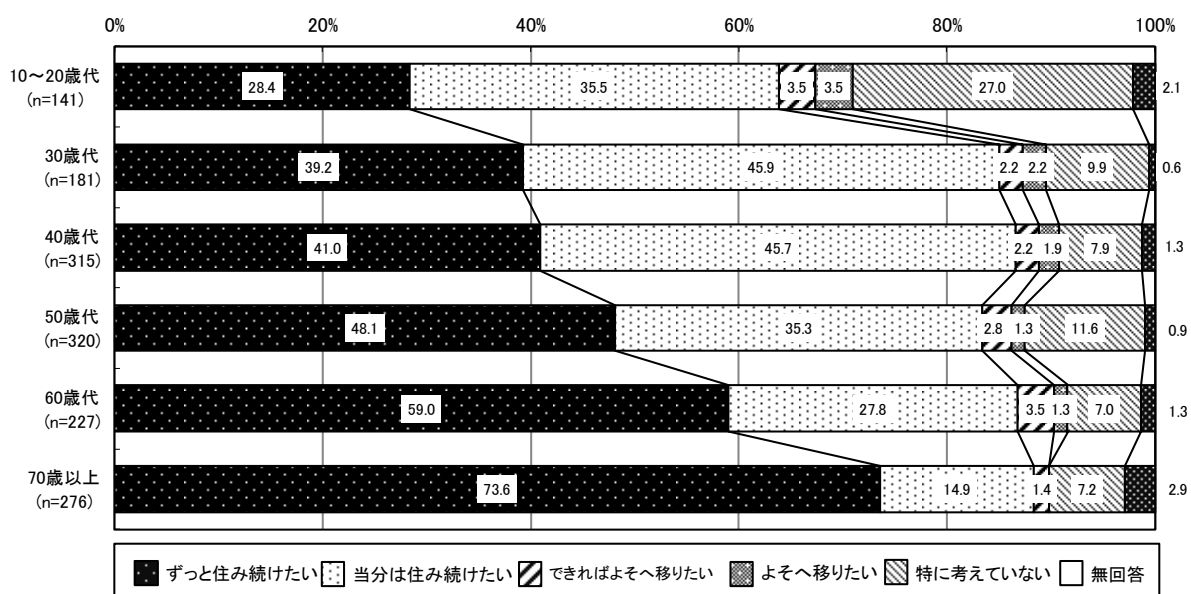


■回答者属性別に見る特徴

年代別に見ると、「ずっと住みたい」は年代が上がるごとに高い数値を示している。

「10～20歳代」は「特に考えていない」が27.0%と他の年代より割合が高い。「10～20歳代」を除き「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」とを合わせた居住意向の比率は8割以上となっている。

図 33 居住意向（年代別）



3. 通勤・通学の状況

(1) 職場・学校の所在地

東京都内へ通勤・通学が、全体の3割弱

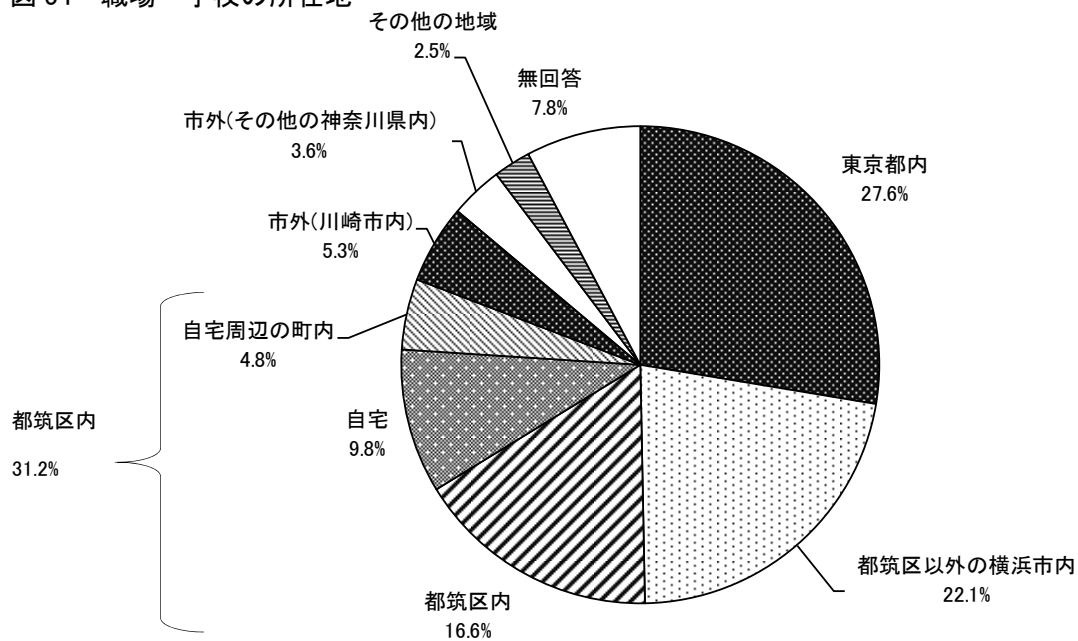
「自宅」「自宅周辺の町内」を含めた『都筑区内』への通勤・通学は3割超

■全体の傾向

職場・学校の所在地は「東京都内」が27.6%と最も高く、次いで「都筑区以外の横浜市内」22.1%であるが、「都筑区内」、「自宅」、「自宅周辺の町内」を合わせると31.2%となり、「東京都内」を上回っている。

問5 あなたの職場または学校はどこですか。(〇はひとつ) (n=1,147)

図34 職場・学校の所在地



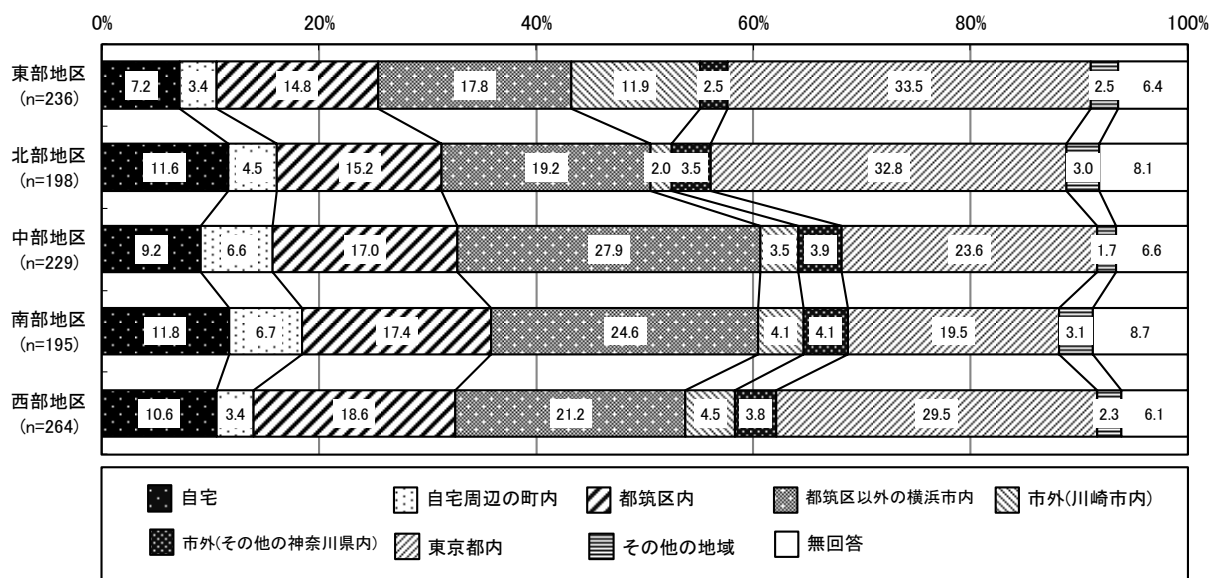
(注)「就業・就学はしていない」回答者349人を除く

■地区別に見る特徴

地区別に見ると、「南部地区」は「自宅」「自宅周辺の町内」「都筑区内」を合わせた区内での通勤・通学率が35.9%と最も高く、逆に「東京都内」が19.5%と最も低くなっている。

「東京都内」が最も高い地区は「西部地区」で33.5%である。

図 35 職場・学校の所在地（地区別）



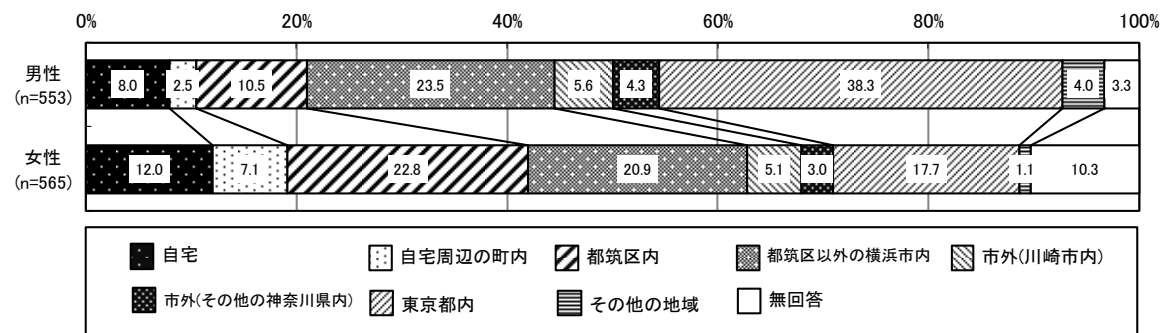
(注)「就業・就学はしていない」回答者 349 人を除く

■回答者属性別に見る特徴

性別で見ると、「女性」は「自宅」「自宅周辺の町内」「都筑区内」を合わせた区内での通勤・通学率が41.9%となっており、「男性」は21.0%となっている。

「東京都内」は、「男性」は38.3%で「女性」は17.7%である。

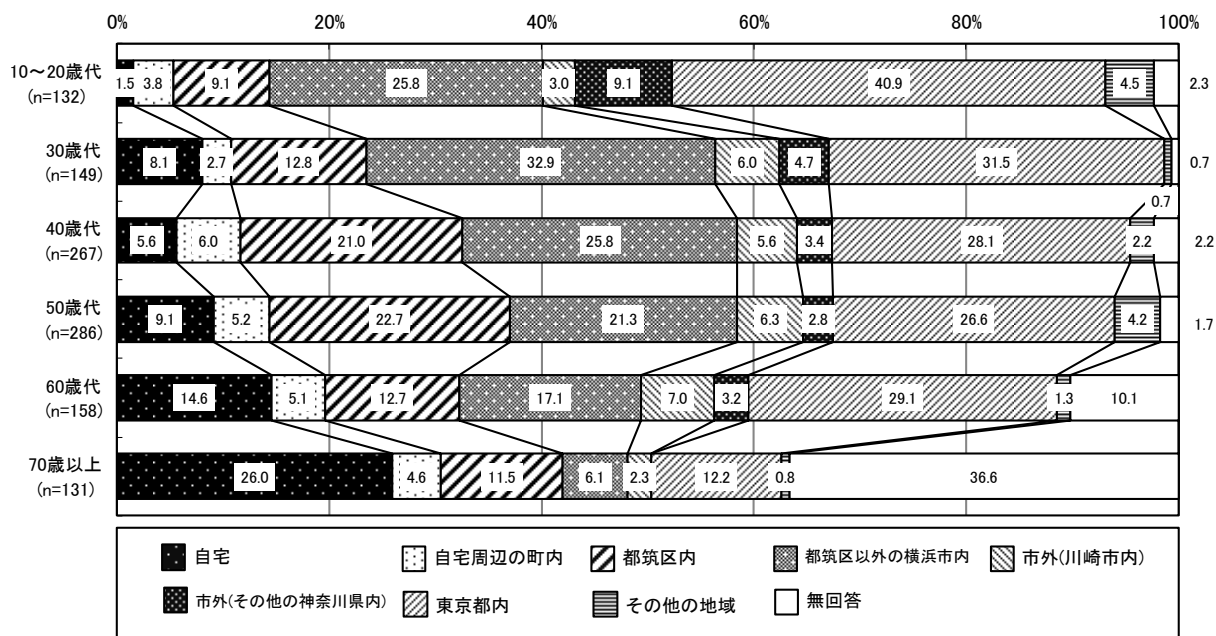
図 36 職場・学校の所在地（性別）



(注)「就業・就学はしていない」回答者 349 人を除く

年代別にみると、「10～20 歳代」で「東京都内」が 40.9%と最も高くなっている。

図 37 職場・学校の所在地（年代別）



(注)「就業・就学はしていない」回答者 349 人を除く

(2) 通勤・通学の交通手段

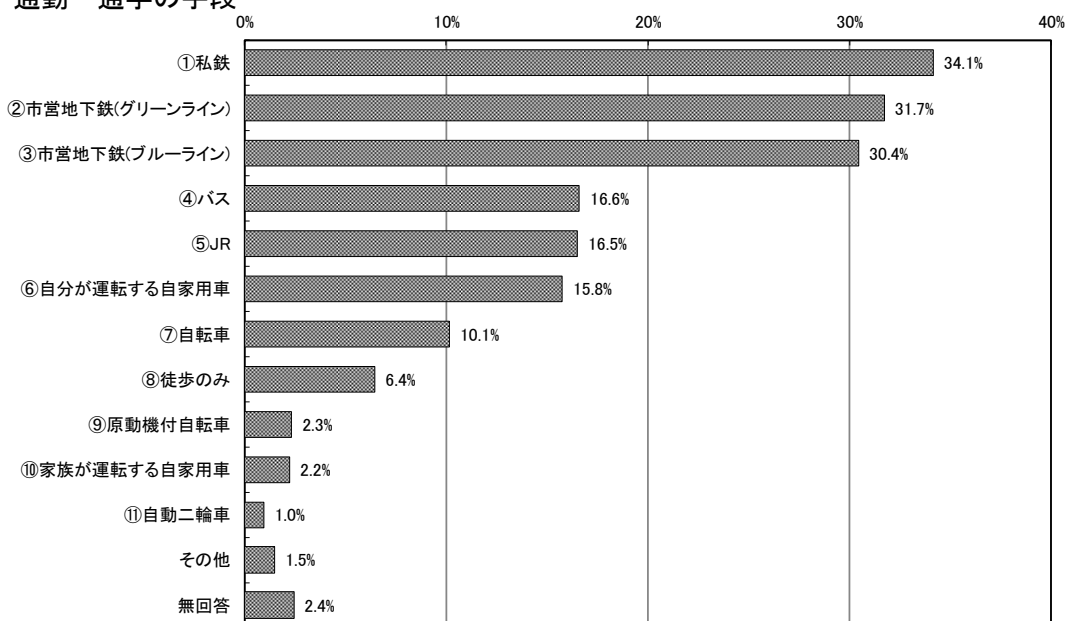
通勤・通学の交通手段として利用が多いのは、
「私鉄」「市営地下鉄（グリーンライン）」「市営地下鉄（ブルーライン）」

■全体の傾向

通勤・通学の手段は「私鉄」が34.1%と最も高く、次いで「市営地下鉄（グリーンライン）」31.7%、「市営地下鉄（ブルーライン）」30.4%とそれぞれ3割の人が利用している。次いで、「バス」16.6%、「JR」16.5%となっている。

問5-1 問5で、2～8を選択した方にお聞きします。通勤・通学の交通手段は何ですか。
(〇はいくつでも) (n=946)

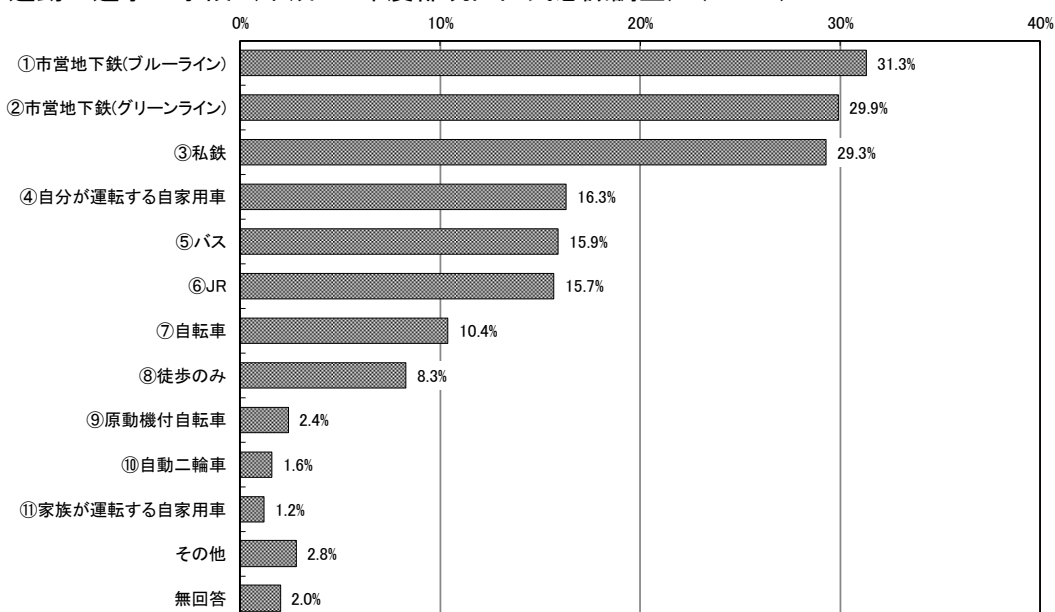
図38 通勤・通学の手段



※丸数字は順位（割合の高い順）を示している。

参考データ

図39 通勤・通学の手段（平成27年度都筑区区民意識調査）(n=972)



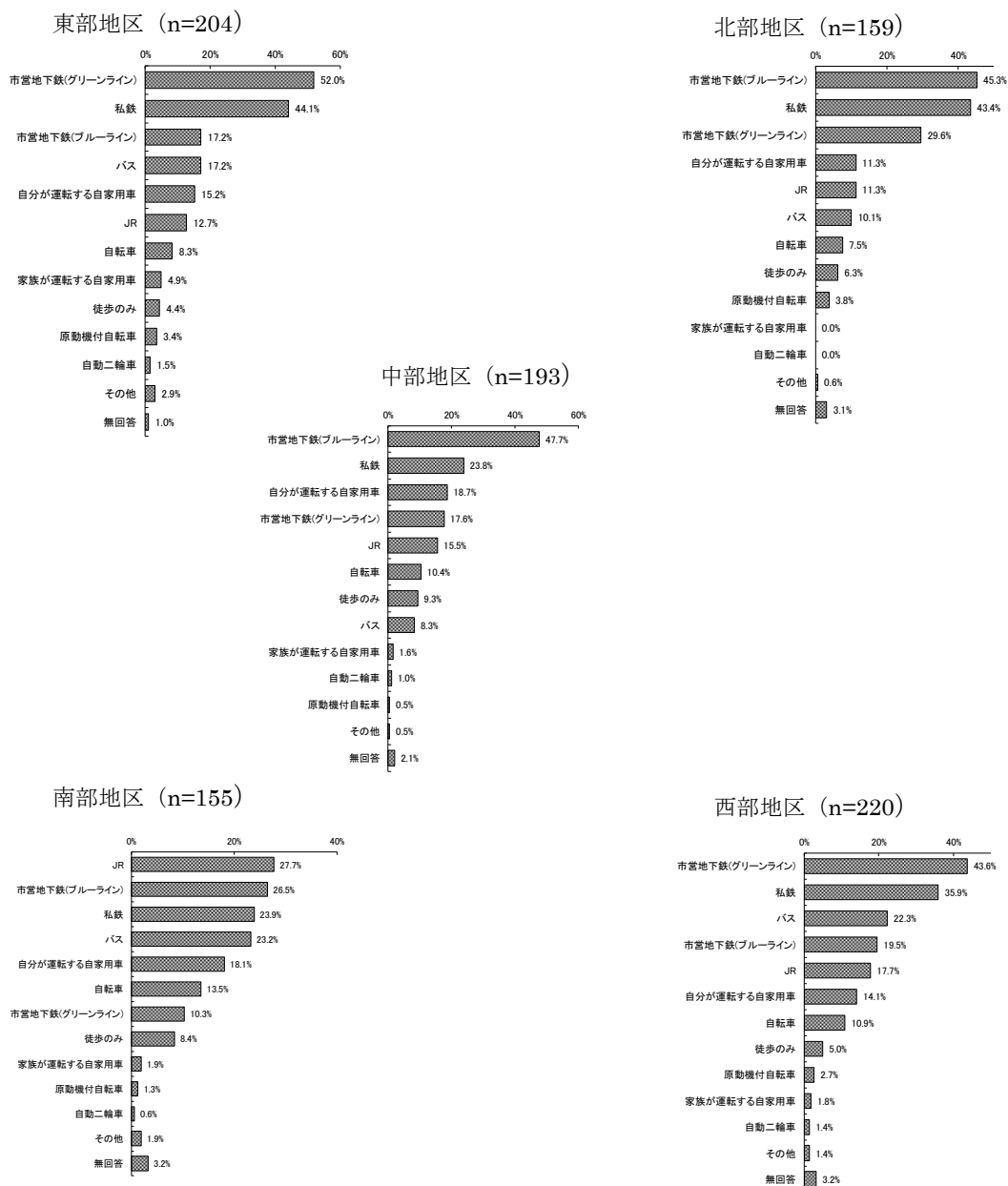
■地区別に見る特徴

最もよく使われる交通手段を地区別でみると、「東部地区」では「市営地下鉄（グリーンライン）」、「北部地区」では「市営地下鉄（ブルーライン）」、「中部地区」では「市営地下鉄（ブルーライン）」、「南部地区」では「JR」、「西部地区」では「市営地下鉄（グリーンライン）」が最も高くなっている。

いずれの地区でも「私鉄」は高い順位だが、区内には私鉄が通っていないことから、市営地下鉄やバス等を利用し、東急田園都市線や東急東横線等の私鉄に乗り継いで通勤・通学をしていると考えられる。

また、「南部地区」と「西部地区」ではそれぞれ2割超で「バス」を利用している。

図 40 通勤・通学の手段（地区別）



(3) 通勤・通学にかかる時間

通勤・通学に1時間以上かかる人の割合は3割超

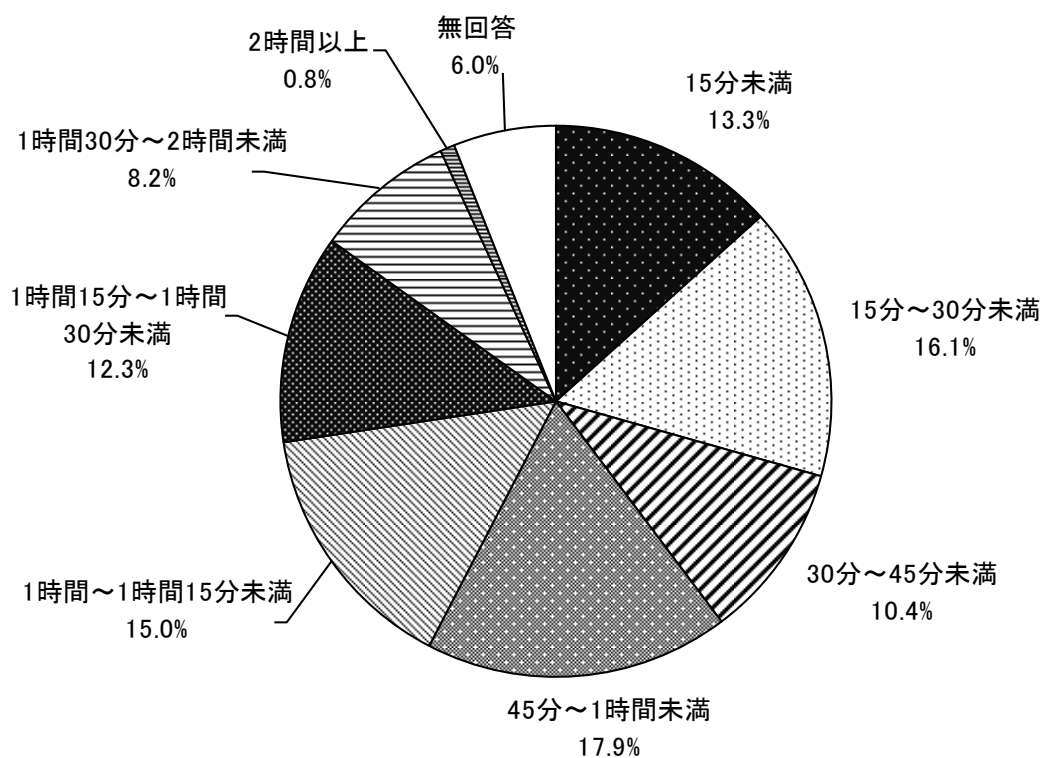
20歳代の4割超は1時間以上

■全体の傾向

通勤・通学にかかる時間は「45分～1時間未満」が17.9%と最も高く、次いで「15分～30分未満」16.1%、「1時間～1時間15分未満」15.0%となっている。

問5-2 問5で、2～8を選択した方にお聞きします。家を出てから職場または学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(〇はひとつ) (n=946)

図41 通勤・通学にかかる時間

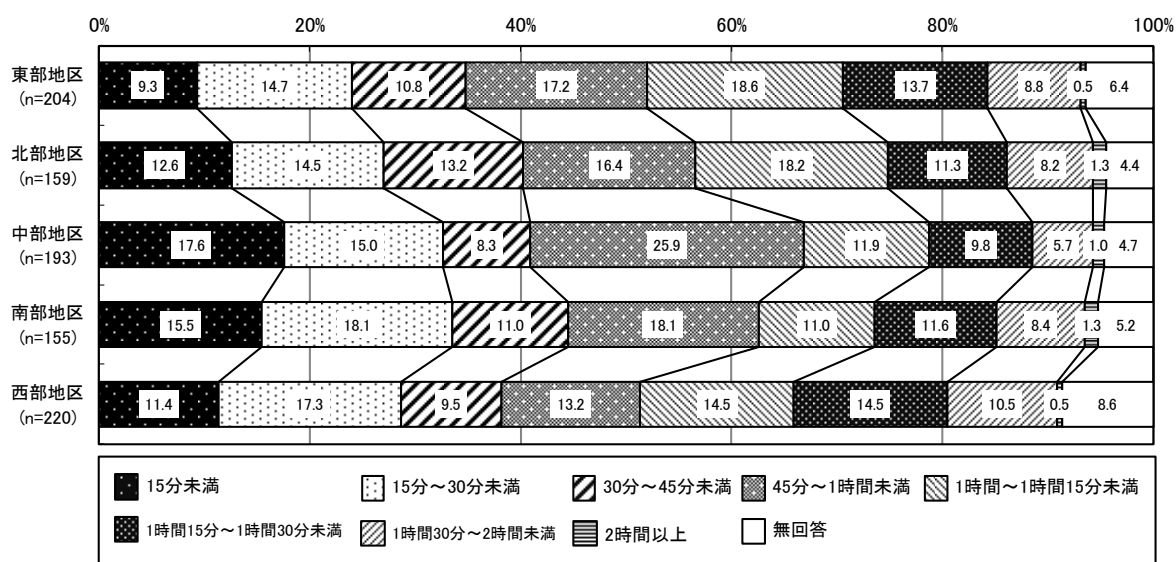


■地区別に見る特徴

通勤・通学に1時間以上かかる回答が最も多いのは「東部地区」で41.6%、次いで「西部地区」で40.0%、「北部地区」39.0%となっている。

反対に通勤・通学が30分未満の回答が最も多いのは「南部地区」で33.6%、次いで「中部地区」32.6%、「西部地区」28.7%となっている。

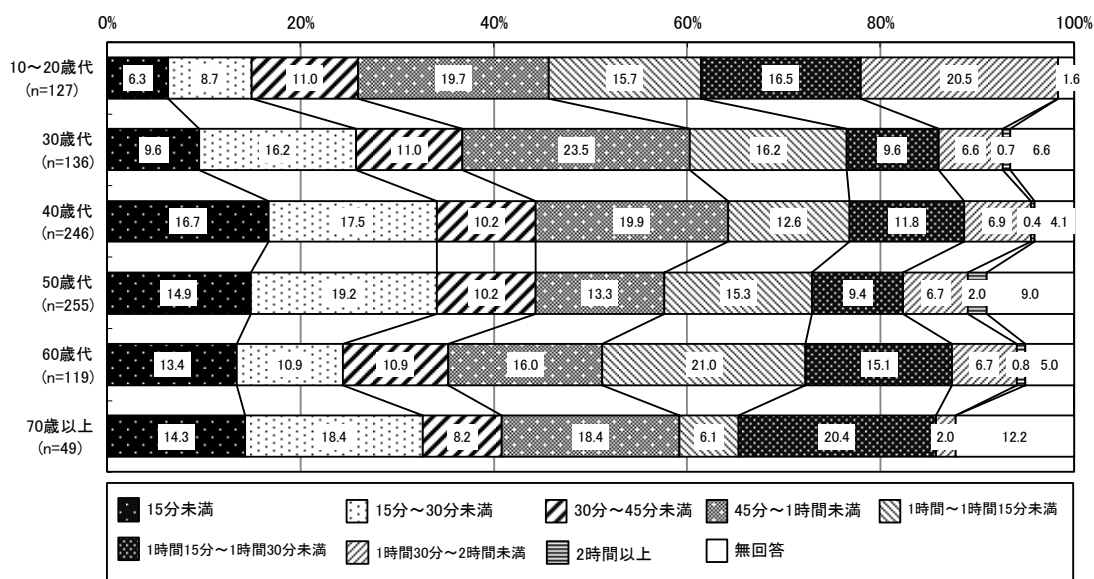
図 42 通勤・通学にかかる時間（地区別）



■回答者属性別に見る特徴

年代別にみると、通勤・通学に1時間以上かかると回答している人の割合が最も高いのが「10～20歳代」で52.7%、次いで「60歳代」43.6%、「50歳代」33.4%、「30歳代」33.1%となっている。

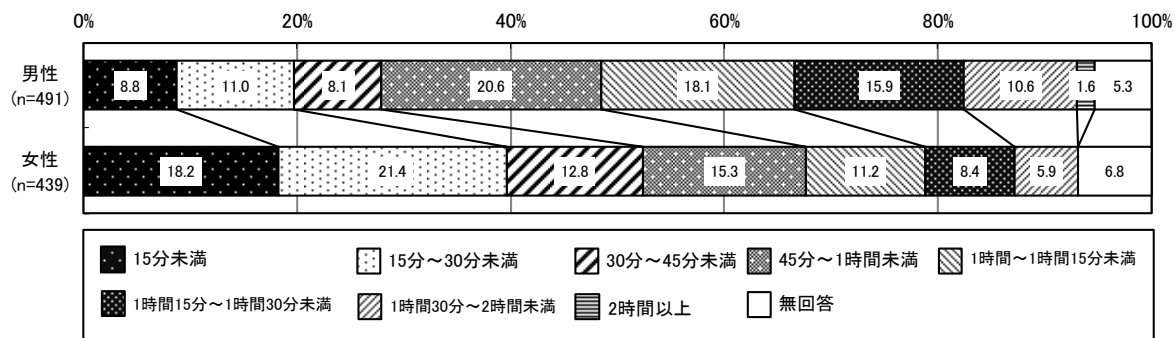
図 43 通勤・通学にかかる時間（年代別）



性別で見ると、1時間以上かかると回答している人が、「男性」では46.2%、「女性」では25.5%である。

「30分未満」と回答している人は、「男性」19.8%、「女性」39.6%となっており、性別による差がある。

図 44 通勤・通学にかかる時間（性別）



4. 都筑区の生活環境について

(1) 生活環境において重要と認識されている割合について

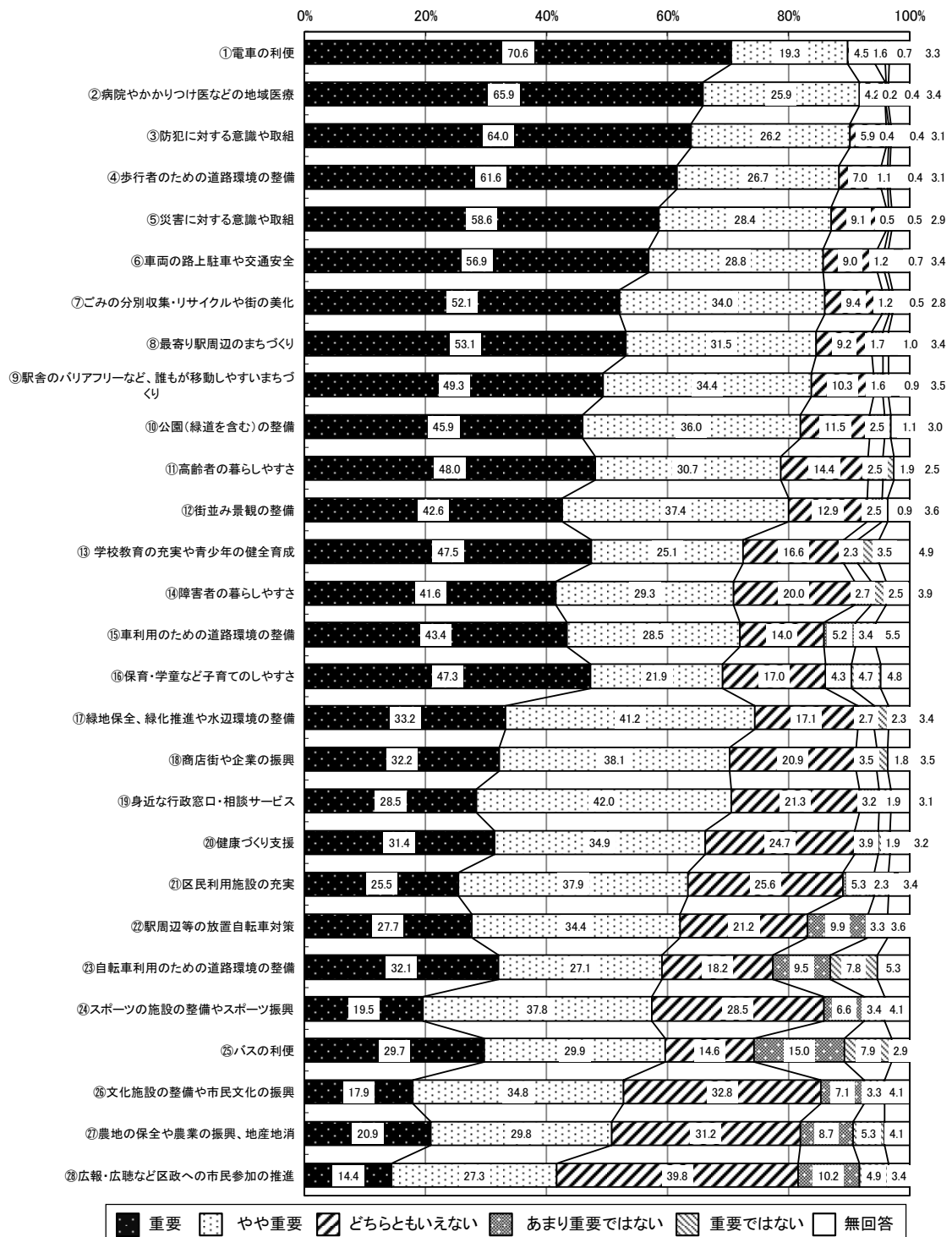
重要と回答が多かったものは、第1位「電車の利便」、第2位「病院やかかりつけ医などの地域医療」、第3位「防犯に対する意識や取組」となっている

■全体の傾向

「電車の利便」が70.6%と最も高く、次いで「病院やかかりつけ医などの地域医療」が65.9%、「防犯に対する意識や取組」が64.0%となっている。

問6 あなたは、以下の1)～29)の項目について、【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。(n=1,496)

図45 生活環境において重要と認識されている割合



(2) 生活環境において満足を感じている割合について

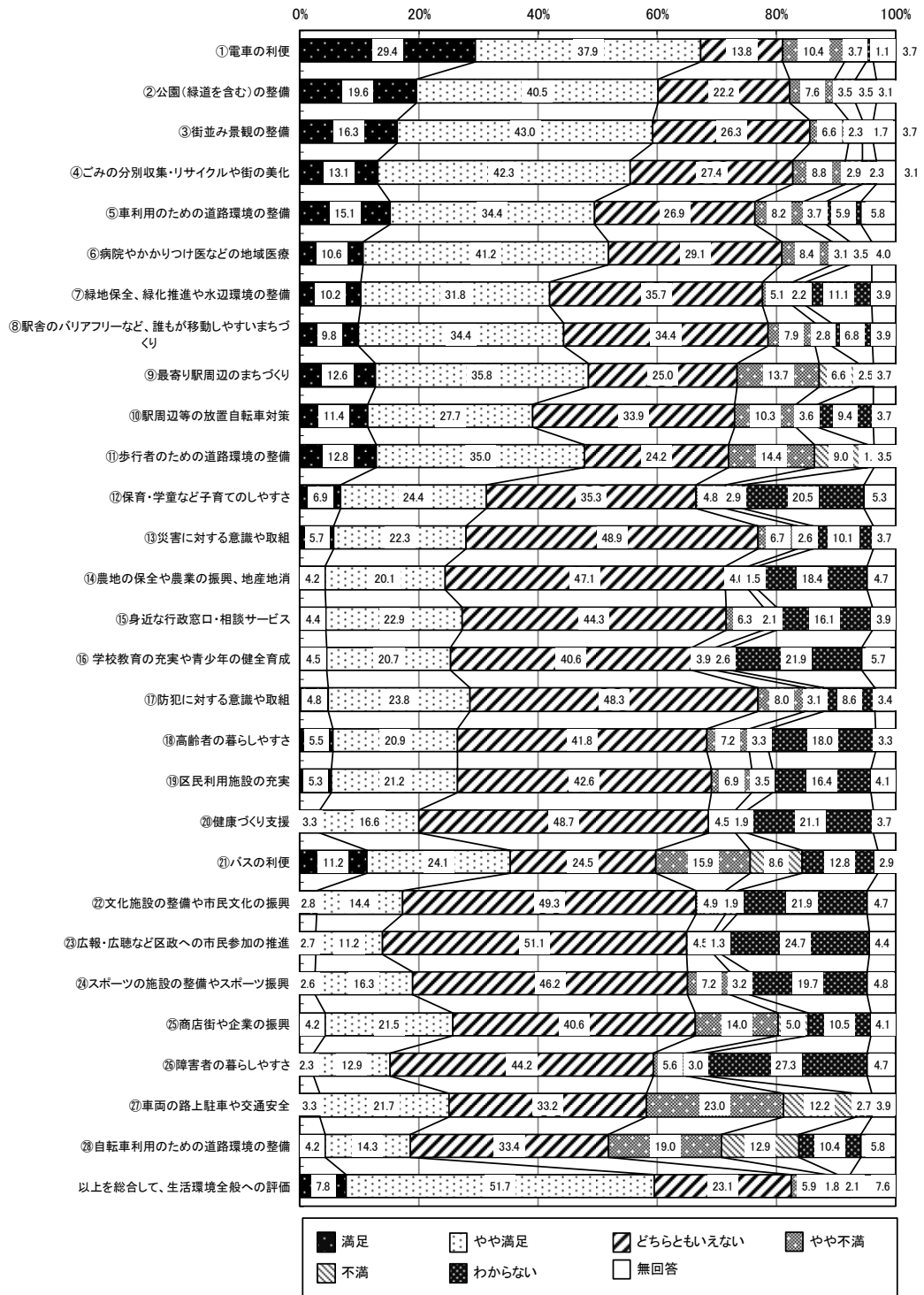
満足の回答が多かったものは、第1位「電車の利便」、第2位「公園（緑道を含む）の整備」、第3位「街並み景観の整備」となっている

■全体の傾向

「電車の利便」が29.4%と最も高く、次いで「公園（緑道を含む）の整備」が19.6%、「街並み景観の整備」が16.3%となっている。

問6 あなたは、以下の1)~29)の項目について、【2】現在、どの程度満足していますか。(n=1,496)

図46 生活環境において満足を感じている割合



(3) 生活環境において変化を感じている割合について

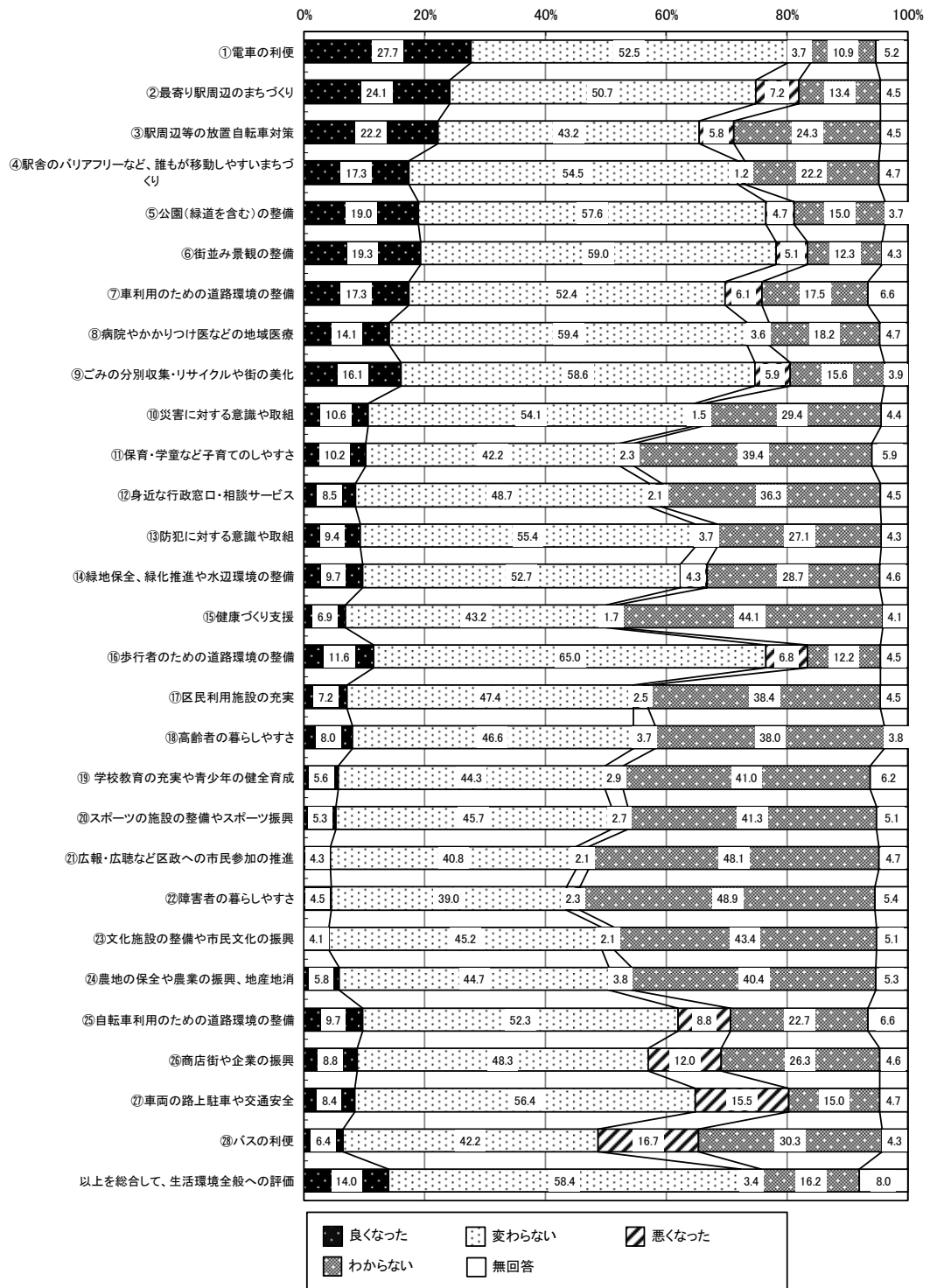
良くなったと変化の回答が多かったものは、第1位「電車の利便」、第2位「最寄り駅周辺のまちづくり」、第3位「駅周辺等の放置自転車対策」となっている

■全体の傾向

「電車の利便」が27.7%と最も高く、次いで「最寄り駅周辺のまちづくり」が24.1%、「駅周辺等の放置自転車対策」22.2%となっている。

問6 あなたは、以下の1)～29)の項目について、【3】ここ数年でどのように変化していると思いますか。(n=1,496)

図47 生活環境において変化を感じている割合



■生活環境に関する重要度・満足度・変化度の全体的考察

生活環境に関する重要度・満足度・変化度を総括的に把握するために、次のとおり回答の数値化を行った。

(重要度について)

「重要」に+10点、「やや重要」に+5点、「どちらともいえない」に0点、「あまり重要ではない」に-5点、「重要ではない」に-10点を付与し、全回答の平均値として算出した。

(満足度について)

「満足」に+10点、「やや満足」に+5点、「どちらともいえない」に0点、「やや不満」に-5点、「不満」に-10点を付けて、全回答の平均値を算出した。

(変化度について)

「良くなった」に+10点、「変わらない」に0点、「悪くなった」に-10点を付けて、全回答の平均値を算出した。

上記、数値化の結果を、「表4-2 生活環境の重要度、満足度及び変化度の一覧」にまとめた。

なお、いずれも小数点第2位を四捨五入し算出した。

※四捨五入により算出しているため、34頁以降の重要度等の上位5項目や下位5項目の記述については、表記上の値が同じでも順位が異なるものがある。

表 4-2 生活環境の重要度、満足度及び変化度の一覧

| 生活環境調査項目 | 重要度 | 満足度 | 変化度 |
|--------------------------------|-----|------|------|
| 1) バスの利便 | 3.0 | 0.8 | -1.6 |
| 2) 電車の利便 | 8.1 | 4.2 | 2.9 |
| 3) 車利用のための道路環境の整備 | 5.5 | 2.8 | 1.5 |
| 4) 自転車利用のための道路環境の整備 | 3.5 | -1.3 | 0.1 |
| 5) 歩行者のための道路環境の整備 | 7.6 | 1.5 | 0.6 |
| 6) 車両の路上駐車や交通安全 | 7.2 | -1.0 | -0.9 |
| 7) 駅周辺等の放置自転車対策 | 3.8 | 1.9 | 2.3 |
| 8) 最寄り駅周辺のまちづくり | 6.9 | 1.8 | 2.1 |
| 9) 街並み景観の整備 | 6.1 | 3.4 | 1.7 |
| 10) 公園（緑道を含む）の整備 | 6.4 | 3.5 | 1.8 |
| 11) 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 2.7 | 1.4 | 0.4 |
| 12) 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 5.2 | 2.5 | 0.8 |
| 13) 商店街や企業の振興 | 4.9 | 0.3 | -0.5 |
| 14) ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 7.0 | 2.9 | 1.3 |
| 15) 災害に対する意識や取組 | 7.4 | 1.3 | 1.4 |
| 16) 防犯に対する意識や取組 | 7.9 | 1.1 | 0.8 |
| 17) 保育・学童など子育てのしやすさ | 5.4 | 1.9 | 1.4 |
| 18) 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 5.8 | 1.4 | 0.5 |
| 19) 病院やかかりつけ医などの地域医療 | 8.1 | 2.6 | 1.4 |
| 20) 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 6.7 | 2.3 | 2.2 |
| 21) 高齢者の暮らしやすさ | 6.2 | 1.2 | 0.7 |
| 22) 障害者の暮らしやすさ | 5.5 | 0.4 | 0.5 |
| 23) 健康づくり支援 | 4.6 | 1.0 | 1.0 |
| 24) 区民利用施設の充実 | 4.1 | 1.1 | 0.8 |
| 25) 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 1.9 | 0.7 | 0.5 |
| 26) 身近な行政窓口・相談サービス | 4.7 | 1.3 | 1.1 |
| 27) 文化施設の整備や市民文化の振興 | 3.0 | 0.8 | 0.4 |
| 28) スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 3.3 | 0.5 | 0.5 |
| 29) 以上を総合して、生活環境全般への評価 | - | 3.2 | 1.4 |

■生活環境に関する重要度の地区別考察

「病院やかかりつけ医などの地域医療」、「防犯に対する意識や取組」及び「歩行者のための道路環境の整備」の項目が、各地区共通に取り上げられている。

表 4-3 生活環境の重要度地区別上位5項目

| 地区別上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|-------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------|
| 全体 | 2)電車の利便 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 16)防犯に対する意識や取組 | 5)歩行者のための道路環境の整備 | 15)災害に対する意識や取組 |
| (n = 1,496) | (8.1/4.2/2.9) | (8.1/2.6/1.4) | (7.9/1.1/0.8) | (7.6/1.5/0.6) | (7.4/1.3/1.4) |
| 東部地区 | 2)電車の利便 | 16) 防犯に対する意識や取組 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 15)災害に対する意識や取組 | 5)歩行者のための道路環境の整備 |
| (n = 300) | (8.3/4.3/3.1) | (8.1/1.2/0.7) | (8.0/3.2/1.9) | (7.8/1.5/1.4) | (7.6/2.4/0.9) |
| 北部地区 | 2)電車の利便 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 16)防犯に対する意識や取組 | 8)最寄り駅周辺のまちづくり | 5)歩行者のための道路環境の整備 |
| (n = 272) | (8.7/5.1/3.4) | (8.4/2.9/1.2) | (8.0/1.3/1.1) | (7.9/3.3/2.1) | (7.8/2.4/0.4) |
| 中部地区 | 2)電車の利便 | 16)防犯に対する意識や取組 | 5)歩行者のための道路環境の整備 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 15)災害に対する意識や取組 |
| (n = 293) | (8.4/4.1/3.0) | (8.0/1.0/0.5) | (7.9/1.7/1.0) | (7.9/2.8/1.5) | (7.6/1.3/1.7) |
| 南部地区 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 16)防犯に対する意識や取組 | 5)歩行者のための道路環境の整備 | 6)車両の路上駐車や交通安全 | 15)災害に対する意識や取組 |
| (n = 245) | (7.8/1.4/1.0) | (7.7/1.2/1.0) | (7.6/-0.1/0.4) | (7.4/-1.9/-1.3) | (7.4/1.1/1.5) |
| 西部地区 | 19)病院やかかりつけ医などの地域医療 | 2)電車の利便 | 16)防犯に対する意識や取組 | 5)歩行者のための道路環境の整備 | 6)車両の路上駐車や交通安全 |
| (n = 347) | (8.3/2.5/1.1) | (8.0/4.6/2.8) | (7.7/1.0/0.8) | (7.4/1.3/0.3) | (7.2/-1.5/-1.4) |

(注) 括弧内は、重要度／満足度／変化度の値

■生活環境に関する満足度の地区別考察

地区別に生活環境の満足度の上位5項目をみると、すべての地区で「電車の利便」が1位となっている。また、3位以内をみると「南部地区」以外の地区では「電車の利便」、「公園（緑道を含む）の整備」、「街並み景観の整備」が挙がっている。

「南部地区」は3位に「ごみの分別収集・リサイクルや街の美化」が挙がっている。

表 4-4 生活環境の満足度（上位5項目、全体・地区別）

| 全体の上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-----------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------|
| 全体 (n=1,496) | 電車の利便 | 公園（緑道を含む）の整備 | 街並み景観の整備 | ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 車利用のための道路環境の整備 | |
| | (4.2/8.1/2.9) | (3.5/6.4/1.8) | (3.4/6.1/1.7) | (2.9/7.0/1.3) | (2.8/5.5/1.5) | |
| 地区別の上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
| 東部地区 (n=300) | ①電車の利便 | ②公園（緑道を含む）の整備 | ③街並み景観の整備 | ⑤車利用のための道路環境の整備 | ④ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | |
| | (4.3/8.3/3.1) | (4.1/6.8/1.8) | (3.9/6.5/1.7) | (3.4/6.2/2.0) | (3.3/7.2/1.2) | |
| 北部地区 (n=272) | ①電車の利便 | ③街並み景観の整備 | ②公園（緑道を含む）の整備 | ⑩最寄り駅周辺のまちづくり | ⑤車利用のための道路環境の整備 | |
| | (5.1/8.7/3.4) | (3.9/6.7/1.9) | (3.9/6.9/1.3) | (3.3/7.9/2.1) | (3.2/5.1/1.4) | |
| 中部地区 (n=293) | ①電車の利便 | ③街並み景観の整備 | ②公園（緑道を含む）の整備 | ④ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | ⑥病院やかかりつけ医などの地域医療 | |
| | (4.1/8.4/3.0) | (4.0/6.4/1.9) | (3.7/6.5/2.1) | (3.3/6.8/1.1) | (2.8/7.9/1.5) | |
| 南部地区 (n=245) | ①電車の利便 | ③街並み景観の整備 | ④ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 4位 | | |
| | | | | ⑦緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | ②公園（緑道を含む）の整備 | ⑤車利用のための道路環境の整備 |
| | (2.4/7.3/1.6) | (2.1/5.4/1.5) | (2.0/6.8/1.5) | (1.9/4.8/0.9) | (1.9/5.8/1.0) | (1.9/5.8/1.5) |
| 西部地区 (n=347) | ①電車の利便 | ②公園（緑道を含む）の整備 | ③街並み景観の整備 | 4位 | | |
| | | | | ⑦緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | ⑤車利用のための道路環境の整備 | |
| | (4.6/8.0/2.8) | (3.7/5.9/2.4) | (3.1/5.8/1.6) | (2.7/4.9/0.9) | (2.7/5.3/1.2) | |

(注) 括弧内は、満足度／重要度／変化度の値

地区別に生活環境の満足度の下位5項目をみると、全ての地区で「自転車利用のための道路環境の整備」と「車両の路上駐車や交通安全」が2位までを占めている。

表 4-5 生活環境の満足度（下位5項目、全体・地区別）

| 全体の 下位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | |
|-----------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|
| 全体 (n=1,496) | 自転車利用のための道路環境の整備 | 車両の路上駐車や交通安全 | 商店街や企業の振興 | 障害者の暮らしやすさ | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | | |
| | (-1.3/3.5/0.1) | (-1.0/7.2/-0.9) | (0.3/4.9/-0.5) | (0.4/5.5/0.5) | (0.5/3.3/0.5) | | |
| 地区別の 下位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | |
| 東部地区 (n=300) | ㊸自転車利用のための道路環境の整備 | ㊷車両の路上駐車や交通安全 | ㊵障害者の暮らしやすさ | ㊴文化施設の整備や市民文化の振興 | ㊶商店街や企業の振興 | ㊴スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | |
| | (-0.7/3.1/-0.6) | (-0.4/7.3/-1.0) | (0.4/5.8/0.8) | (0.6/3.2/0.1) | (0.7/5.2/0.5) | (0.7/3.5/0.3) | |
| 北部地区 (n=272) | ㊸自転車利用のための道路環境の整備 | ㊷車両の路上駐車や交通安全 | ㊴スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | ㊵障害者の暮らしやすさ | ㊳広報・広聴など区政への市民参加の推進 | | |
| | (-1.1/3.2/-0.2) | (-0.6/7.1/-0.3) | (0.1/3.5/0.3) | (0.2/5.5/0.7) | (0.4/2.2/0.5) | | |
| 中部地区 (n=293) | ㊸自転車利用のための道路環境の整備 | ㊷車両の路上駐車や交通安全 | ㊱バスの利便 | ㊴スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | ㊴文化施設の整備や市民文化の振興 | ㊵障害者の暮らしやすさ | ㊳広報・広聴など区政への市民参加の推進 |
| | (-1.2/4.1/1.4) | (-0.8/7.2/-0.3) | (-0.3/1.7/-1.6) | (0.4/3.4/0.4) | (0.7/3.0/0.2) | (0.7/5.4/0.2) | (0.7/1.9/0.2) |
| 南部地区 (n=245) | ㊸自転車利用のための道路環境の整備 | ㊷車両の路上駐車や交通安全 | ㊱バスの利便 | ㊲歩行者のための道路環境の整備 | ㊶商店街や企業の振興 | | |
| | (-2.3/3.7/-0.5) | (-1.9/7.4/-1.3) | (-1.0/4.1/-2.4) | (-0.1/7.6/0.4) | (-0.1/4.3/-0.1) | | |
| 西部地区 (n=347) | ㊷車両の路上駐車や交通安全 | ㊸自転車利用のための道路環境の整備 | ㊶商店街や企業の振興 | ㊵障害者の暮らしやすさ | ㊱バスの利便 | ㊴スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | |
| | (-1.5/7.2/-1.4) | (-1.1/3.3/0.4) | (-0.3/4.6/-1.6) | (0.5/5.3/0.2) | (0.7/3.7/-2.6) | (0.7/3.2/0.7) | |

(注) 括弧内は、満足度／重要度／変化度の値

■生活環境に関する変化度の地区別考察

地区別に生活環境の変化度の上位5項目をみると、「南部地区」では「最寄り駅周辺のまちづくり」が1位になっており、それ以外の地区では「電車の利便」が1位になっている。

表 4-6 生活環境の変化度（上位5項目、全体・地区別）

| 全体の上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | | | |
|-----------------|---------------|-----------------------------|-----------------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 全体 (n=1,496) | 電車の利便 | 駅周辺等の放置自転車対策 | 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 最寄り駅周辺のまちづくり | 公園（緑道を含む）の整備 | | | | |
| | (2.9/8.1/4.2) | (2.3/3.8/1.9) | (2.2/6.7/2.3) | (2.1/6.9/1.8) | (1.8/6.4/3.5) | | | | |
| 地区別の上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | | | |
| 東部地区 (n=300) | ①電車の利便 | ②駅周辺等の放置自転車対策 | ④最寄り駅周辺のまちづくり | ⑦車利用のための道路環境の整備 | ③駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | ⑩病院やかかりつけ医などの地域医療 | | | |
| | (3.1/8.3/4.3) | (2.0/4.0/2.4) | (2.0/7.1/1.7) | (2.0/6.2/3.4) | (1.9/7.2/2.3) | (1.9/8.0/3.2) | | | |
| 北部地区 (n=272) | ①電車の利便 | ②駅周辺等の放置自転車対策 | ④最寄り駅周辺のまちづくり | 4位 ⑧保育・学童など子育てのしやすさ | ⑥街並み景観の整備 | | | | |
| | (3.4/8.7/5.1) | (3.3/4.3/2.8) | (2.1/7.9/3.3) | (1.9/5.5/1.9) | (1.9/6.7/3.9) | | | | |
| 中部地区 (n=293) | ①電車の利便 | ②駅周辺等の放置自転車対策 | ③駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | ⑤公園（緑道を含む）の整備 | ⑥街並み景観の整備 | ④最寄り駅周辺のまちづくり | | | |
| | (3.0/8.4/4.1) | (2.4/3.6/1.4) | (2.4/6.6/2.6) | (2.1/6.5/3.7) | (1.9/6.4/4.0) | (1.9/6.9/2.3) | | | |
| 全体の上位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | | | | |
| 南部地区 (n=245) | ④最寄り駅周辺のまちづくり | ③駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | ②駅周辺等の放置自転車対策 | ①電車の利便 | ⑨災害に対する意識や取組 | ⑪ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | ⑫身近な行政窓口・相談サービス | ⑦車利用のための道路環境の整備 | ⑥街並み景観の整備 |
| | (2.4/6.0/1.3) | (2.4/6.3/1.6) | (2.1/3.6/1.8) | (1.6/7.3/2.4) | (1.5/7.4/1.1) | (1.5/6.8/2.0) | (1.5/4.7/0.9) | (1.5/5.8/1.9) | (1.5/5.4/2.1) |
| 西部地区 (n=347) | ①電車の利便 | ③駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | ⑤公園（緑道を含む）の整備 | ④最寄り駅周辺のまちづくり | ②駅周辺等の放置自転車対策 | | | | |
| | (2.8/8.0/4.6) | (2.5/6.5/2.3) | (2.4/5.9/3.7) | (2.0/6.9/0.9) | (1.7/3.4/1.5) | | | | |

(注) 括弧内は、変化度／重要度／満足度の値

地区別に生活環境の変化度の下位5項目をみると、「東部地区」は「車両の路上駐車や交通安全」が、それ以外の地区は「バスの利便」が最も変化度の低い項目として挙がっている。

「バスの利便」、「車両の路上駐車や交通安全」はすべての地区で3位以内に入っている。

表 4-7 生活環境の変化度（下位5項目、全体・地区別）

| 全体の下位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------------|
| 全体 (n=1,496) | バスの利便 | 車両の路上駐車や交通安全 | 商店街や企業の振興 | 自転車利用のための道路環境の整備 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 文化施設の整備や市民文化の振興 |
| | (-1.6/3.0/0.8) | (-0.9/7.2/-1.0) | (-0.5/4.9/0.3) | (0.1/3.5/-1.3) | (0.4/2.7/1.4) | (0.4/3.0/0.8) |
| 地区別の下位 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 | |
| 東部地区 (n=300) | ⑳車両の路上駐車や交通安全 | ㉕自転車利用のための道路環境の整備 | ㉘バスの利便 | ㉚文化施設の整備や市民文化の振興 | ㉙スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | |
| | (-1.0/7.3/-0.4) | (-0.6/3.1/-0.7) | (0.0/4.2/2.9) | (0.1/3.2/0.6) | (0.3/3.5/0.7) | |
| 北部地区 (n=272) | ㉘バスの利便 | ㉖商店街や企業の振興 | ㉗車両の路上駐車や交通安全 | ㉛自転車利用のための道路環境の整備 | ㉜農地の保全や農業の振興、地産地消 | ㉙スポーツの施設の整備やスポーツ振興 |
| | (-1.0/0.8/1.5) | (-0.3/5.6/0.8) | (-0.3/7.1/-0.6) | (-0.2/3.2/-1.1) | (0.3/2.8/1.4) | (0.3/3.5/0.1) |
| 中部地区 (n=293) | ㉘バスの利便 | ㉖商店街や企業の振興 | ㉗車両の路上駐車や交通安全 | ㉞障害者の暮らしやすさ | ㉚文化施設の整備や市民文化の振興 | ㉟広報・広聴など区政への市民参加の推進 |
| | (-1.6/1.7/-0.3) | (-0.4/5.1/1.0) | (-0.3/7.2/-0.8) | (0.2/5.4/0.7) | (0.2/3.0/0.7) | (0.2/1.9/0.7) |
| 南部地区 (n=245) | ㉘バスの利便 | ㉗車両の路上駐車や交通安全 | ㉕自転車利用のための道路環境の整備 | ㉖商店街や企業の振興 | ㉟学校教育の充実や青少年の健全育成 | |
| | (-2.4/4.1/-1.0) | (-1.3/7.4/-1.9) | (-0.5/3.7/-2.3) | (-0.1/4.3/-0.1) | (0.3/5.1/1.1) | |
| 西部地区 (n=347) | ㉘バスの利便 | ㉖商店街や企業の振興 | ㉗車両の路上駐車や交通安全 | ㉜農地の保全や農業の振興、地産地消 | ㉞障害者の暮らしやすさ | |
| | (-2.6/3.7/0.7) | (-1.6/4.6/-0.3) | (-1.4/7.2/-1.5) | (0.0/2.5/1.6) | (0.2/5.3/0.5) | |

(注) 括弧内は、変化度／重要度／満足度の値

(4) 生活環境の重要度と満足度について

生活環境における各項目において、重要度と満足度の差を「ニーズ度」として算出した。ニーズ度の考察は次のとおり。

ニーズ度の第1位は「車両の路上駐車や交通安全」、第2位は「防犯に対する意識や取組」、第3位は「災害に対する意識や取組」

■全体の傾向

「車両の路上駐車や交通安全」が8.3と最も高く、次いで「防犯に対する意識や取組」が6.8、「災害に対する意識や取組」が6.2となっている。

なお、生活環境の28項目のニーズ度の一覧は、表4-8のとおり。

表4-8 生活環境のニーズ度

| 順位 | 項目 | ニーズ度 |
|-----|----------------------------|------|
| 1位 | 車両の路上駐車や交通安全 | 8.3 |
| 2位 | 防犯に対する意識や取組 | 6.8 |
| 3位 | 災害に対する意識や取組 | 6.2 |
| 4位 | 歩行者のための道路環境の整備 | 6.2 |
| 5位 | 病院やかかりつけ医などの地域医療 | 5.5 |
| 6位 | 最寄り駅周辺のまちづくり | 5.1 |
| 7位 | 障害者の暮らしやすさ | 5.0 |
| 8位 | 高齢者の暮らしやすさ | 5.0 |
| 9位 | 自転車利用のための道路環境の整備 | 4.8 |
| 10位 | 商店街や企業の振興 | 4.6 |
| 11位 | 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 4.4 |
| 12位 | 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 4.4 |
| 13位 | ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 4.1 |
| 14位 | 電車の利便 | 4.0 |
| 15位 | 健康づくり支援 | 3.6 |
| 16位 | 保育・学童など子育てのしやすさ | 3.5 |
| 17位 | 身近な行政窓口・相談サービス | 3.4 |
| 18位 | 区民利用施設の充実 | 3.0 |
| 19位 | 公園（緑道を含む）の整備 | 2.9 |
| 20位 | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 2.8 |
| 21位 | 街並み景観の整備 | 2.7 |
| 22位 | 車利用のための道路環境の整備 | 2.7 |
| 23位 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 2.7 |
| 24位 | バスの利便 | 2.2 |
| 25位 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | 2.2 |
| 26位 | 駅周辺等の放置自転車対策 | 1.9 |
| 27位 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 1.3 |
| 28位 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 1.2 |

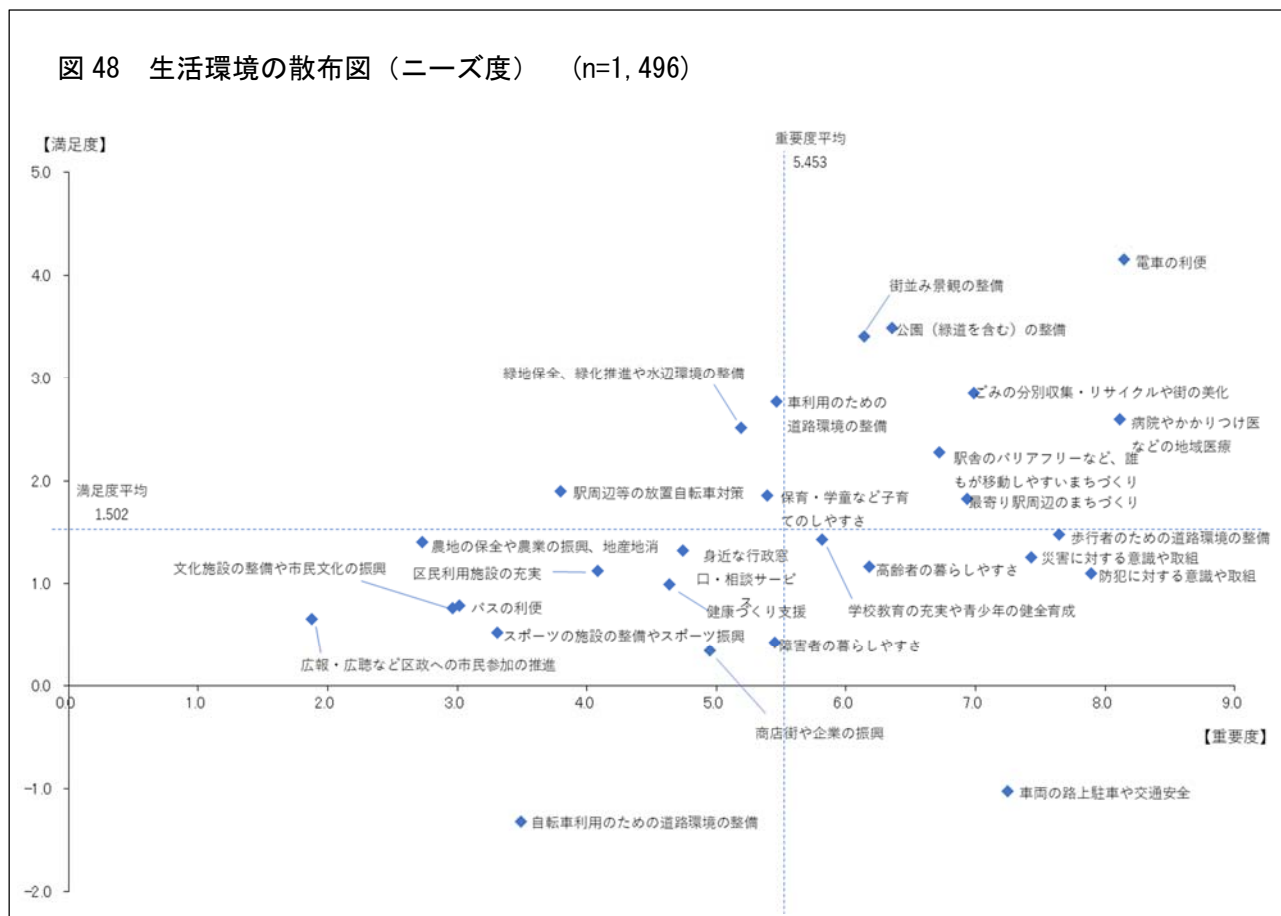
■生活環境のニーズ度における散布図について

重要度を横軸、満足度を縦軸とし、生活環境 28 項目の散布図を作成すると図 48 のとおり。

図の左下に位置するほど重要度及び満足度が低い項目であり、逆に、図の右上に位置するものほど重要度と満足度がともに高い項目であることを示している。

また、右下に位置するものは、重要度が高いが、満足度の低い項目であることから、ニーズ度の高い項目であると考えられ、ニーズ度が高いのは、「車両の路上駐車や交通安全」である。

図 48 生活環境の散布図（ニーズ度） (n=1,496)



■地区別にみる特徴

地区別にニーズ度をみると、すべての地区で上位3項目までに「車両の路上駐車や交通安全」、「防犯に対する意識や取組」が挙がっている。

表 4-9 生活環境のニーズ度（地区別）

| | 東部地区 (n=300) | 北部地区 (n=272) | 中部地区 (n=293) | 南部地区 (n=245) | 西部地区 (n=347) |
|----|-----------------|-----------------|----------------------------|------------------|------------------|
| 1位 | 車両の路上駐車や交通安全 | 車両の路上駐車や交通安全 | 車両の路上駐車や交通安全 | 車両の路上駐車や交通安全 | 車両の路上駐車や交通安全 |
| | 7.8 | 7.7 | 8.0 | 9.3 | 8.7 |
| 2位 | 防犯に対する意識や取組 | 防犯に対する意識や取組 | 防犯に対する意識や取組 | 歩行者のための道路環境の整備 | 防犯に対する意識や取組 |
| | 6.9 | 6.7 | 6.9 | 7.7 | 6.7 |
| 3位 | 災害に対する意識や取組 | 災害に対する意識や取組 | 災害に対する意識や取組 | 3位 | 防犯に対する意識や取組 |
| | 6.3 | 6.3 | 6.3 | | 3 |
| 4位 | 4位 | 4位 | 高齢者の暮らしやすさ | 高齢者の暮らしやすさ | 歩行者のための道路環境の整備 |
| | | | 5.4 | 5.5 | 6.2 |
| 5位 | 4位 | 4位 | 最寄り駅周辺のまちづくり | 病院やかかりつけ医などの地域医療 | 自転車利用のための道路環境の整備 |
| | | | 5.4 | 5.5 | 5.3 |
| 6位 | 4位 | 4位 | 障害者の暮らしやすさ | 歩行者のための道路環境の整備 | 病院やかかりつけ医などの地域医療 |
| | | | 5.4 | 5.4 | 5.1 |
| 7位 | 4位 | 4位 | 歩行者のための道路環境の整備 | 障害者の暮らしやすさ | 障害者の暮らしやすさ |
| | | | 5.3 | 5.2 | 4.7 |
| 8位 | 4位 | 4位 | 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 商店街や企業の振興 | 高齢者の暮らしやすさ |
| | | | 4.9 | 4.8 | 4.6 |
| 9位 | 4位 | 4位 | 病院やかかりつけ医などの地域医療 | 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 最寄り駅周辺のまちづくり |
| | | | 4.8 | 4.7 | 4.5 |
| | | | | | 高齢者の暮らしやすさ |
| | | | | | 商店街や企業の振興 |
| | | | | | バスの便利 |
| | | | | | 障害者の暮らしやすさ |
| | | | | | 障害者の暮らしやすさ |
| | | | | | 高齢者の暮らしやすさ |

令和元年度 都筑区区民意識調査

| | 東部地区 (n=300) | 北部地区 (n=272) | 中部地区 (n=293) | 南部地区 (n=245) | 西部地区 (n=347) |
|-----|--------------------|-----------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|----------------------------|
| 10位 | 商店街や企業の振興 | 10位 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 9位 電車の利便 | 自転車利用のための道路環境の整備 |
| | 4.5 | | 4.6 | | |
| 11位 | 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 10位 最寄り駅周辺のまちづくり | 電車の利便 | 11位 ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 学校教育の充実や青少年の健全育成 |
| | 4.3 | | 4.6 | | |
| 12位 | 健康づくり支援 | 12位 自転車利用のための道路環境の整備 | 商店街や企業の振興 | 12位 最寄り駅周辺のまちづくり | ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 |
| | 4.1 | | 4.3 | | |
| 13位 | 電車の利便 | 12位 ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 12位 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり |
| | 4.0 | | 4.3 | | |
| 14位 | ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 14位 健康づくり支援 | ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 14位 商店街や企業の振興 | 保育・学童など子育てのしやすさ |
| | 3.9 | | 3.8 | | |
| 15位 | 自転車利用のための道路環境の整備 | 15位 区民利用施設の充実 | 保育・学童など子育てのしやすさ | 15位 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 電車の利便 |
| | 3.8 | | 3.7 | | |
| 16位 | 身近な行政窓口・相談サービス | 16位 保育・学童など子育てのしやすさ | 身近な行政窓口・相談サービス | 16位 健康づくり支援 | 身近な行政窓口・相談サービス |
| | 3.4 | | 3.6 | | |
| 17位 | 保育・学童など子育てのしやすさ | 16位 電車の利便 | 健康づくり支援 | 17位 車利用のための道路環境の整備 | 健康づくり支援 |
| | 3.2 | | 3.6 | | |
| 18位 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 17位 身近な行政窓口・相談サービス | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 17位 公園（緑道を含む）の整備 | バスの利便 |
| | 2.8 | | 3.6 | | |

令和元年度 都筑区区民意識調査

| | 東部地区 (n=300) | 北部地区 (n=272) | 中部地区 (n=293) | 南部地区 (n=245) | 西部地区 (n=347) | |
|-----|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 19位 | 車利用のための道路環境の整備 | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 公園（緑道を含む）の整備 | 保育・学童など子育てのしやすさ | 街並み景観の整備 | |
| | 2.8 | 3.4 | 2.8 | 3.8 | 2.8 | |
| 20位 | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 区民利用施設の充実 | 身近な行政窓口・相談サービス | 区民利用施設の充実 | |
| | 2.7 | 3.1 | 2.7 | 3.7 | 2.7 | |
| 21位 | 公園（緑道を含む）の整備 | 公園（緑道を含む）の整備 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 街並み景観の整備 | 車利用のための道路環境の整備 | |
| | 2.7 | 3.0 | 2.6 | 3.3 | 2.6 | |
| 22位 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | 街並み景観の整備 | 22位 | 車利用のための道路環境の整備 | 区民利用施設の充実 | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 |
| | 2.6 | 2.8 | | 2.4 | 3.2 | 2.5 |
| 23位 | 街並み景観の整備 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | 23位 | 街並み景観の整備 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 |
| | 2.6 | 2.4 | | 2.4 | 2.9 | 2.2 |
| 24位 | 区民利用施設の充実 | 車利用のための道路環境の整備 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 23位 | 公園（緑道を含む）の整備 |
| | 2.5 | 1.9 | 2.3 | 2.4 | 2.2 | |
| 25位 | 駅周辺等の放置自転車対策 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 駅周辺等の放置自転車対策 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 駅周辺等の放置自転車対策 | |
| | 1.6 | 1.7 | 2.2 | 2.2 | 1.9 | |
| 26位 | バスの利便 | 駅周辺等の放置自転車対策 | バスの利便 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | 文化施設の整備や市民文化の振興 | |
| | 1.3 | 1.5 | 2.1 | 2.0 | 1.6 | |
| 27位 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 27位 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 駅周辺等の放置自転車対策 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 |
| | 0.9 | 1.4 | | 1.1 | 1.9 | 1.2 |
| 28位 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 | バスの利便 | 28位 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 農地の保全や農業の振興、地産地消 |
| | 0.8 | -0.7 | | 1.1 | 1.0 | 0.9 |

5. 災害対策

(1) 災害対策について

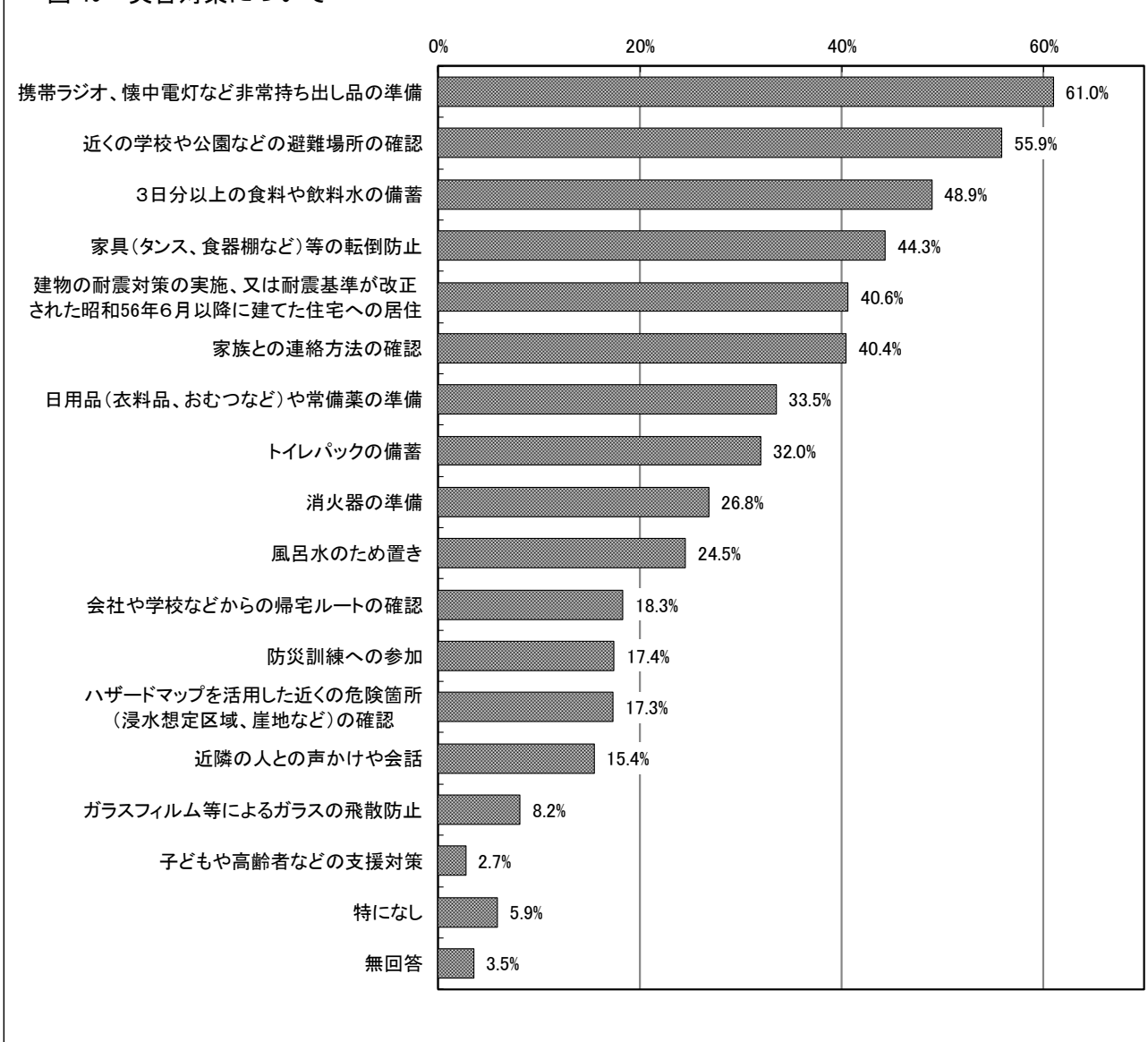
災害に対する備えは「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」が最多となっている

■全体の傾向

「携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備」が61.0%と最も高く、次いで「近くの学校や公園などの避難場所の確認」55.9%、「3日分以上の食糧や飲料水の準備」48.9%となっている。

問 7 あなたやあなたの家族は、地震や風水害があった場合に備えて、どのような対策をしていますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

図 49 災害対策について



(2) 避難先の認知度

地域防災拠点の認知度は「知っているし、場所もわかる」が6割超

■全体の傾向

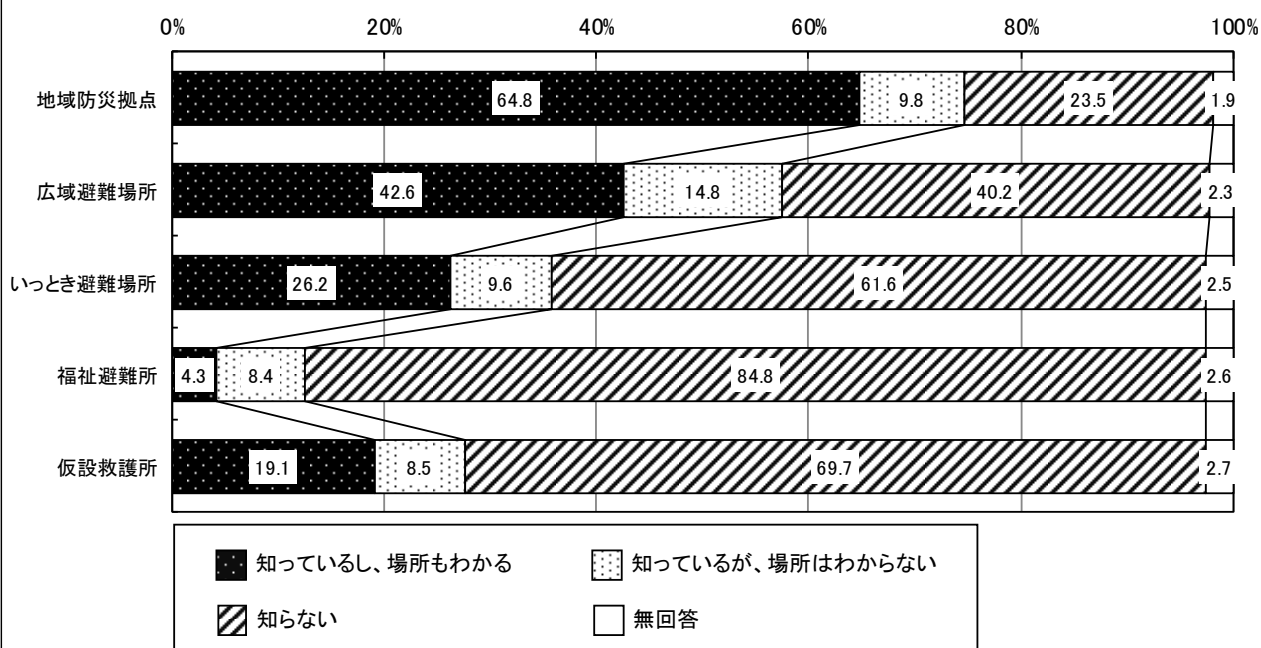
避難先の認知度について、「知っているし、場所もわかる」が最も高いのが「地域防災拠点」で64.8%となっている。

「知っているが、場所はわからない」が最も高いのが「広域避難場所」で14.8%となっている。

「知らない」が最も高いのが「福祉避難所」で84.8%となっている。

問8 あなたは、次の場所について知っていますか。(〇はそれぞれひとつ) (n=1,496)

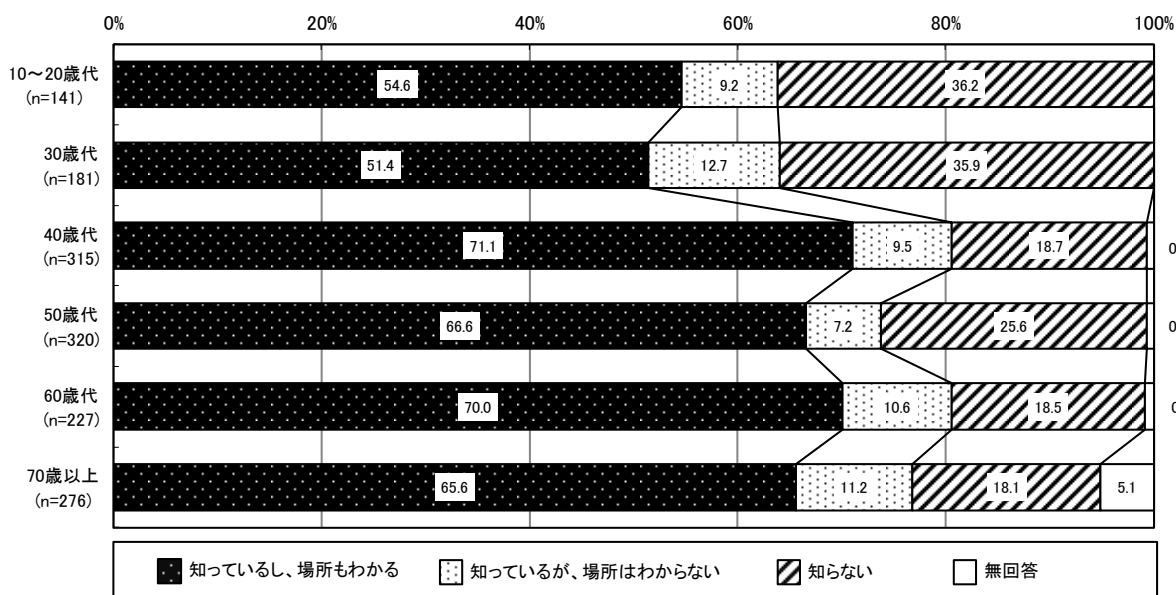
図50 避難先の認知度



■回答者属性別に見る特徴

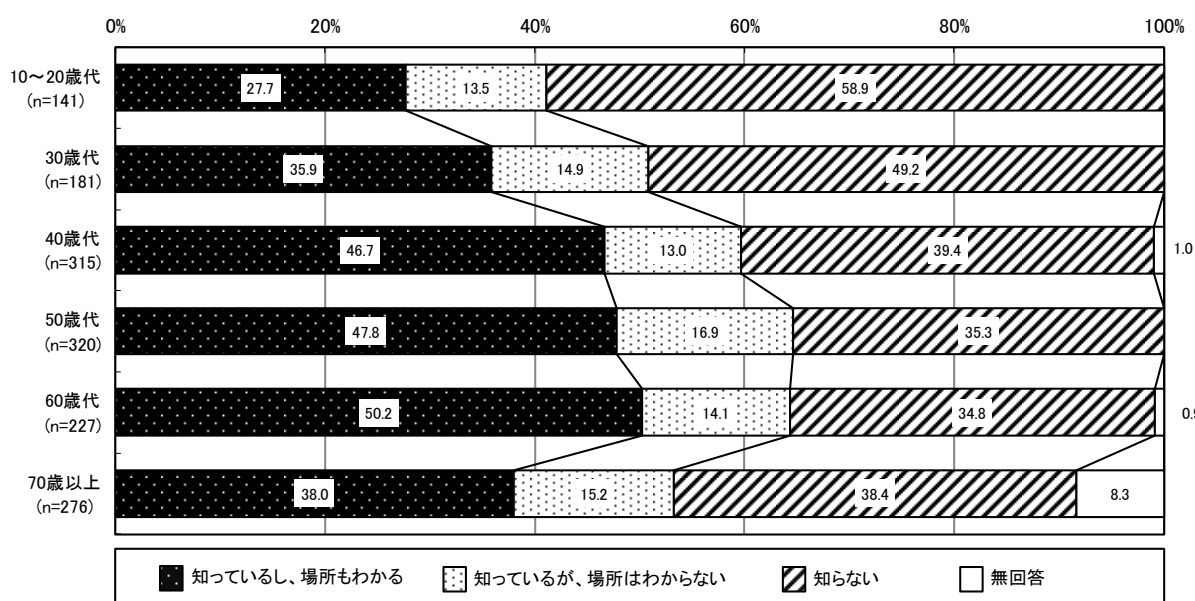
年代別にみると、「地域防災拠点」については、「知っているし、場所もわかる」は「60歳代」が70.0%で最も高い。「30歳代」が最も低く51.4%だが、全ての年代で半数以上が認知している。

図 51 避難先の認知度 < 1) 地域防災拠点 > (年代別)

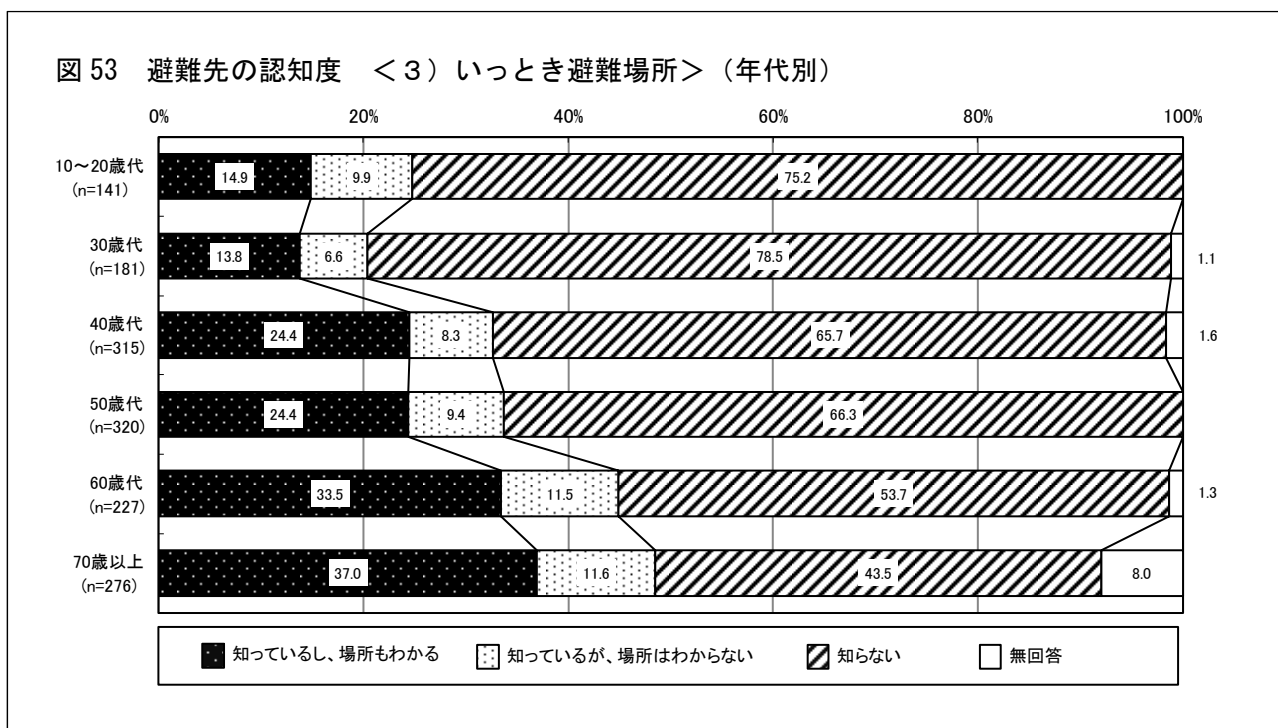


「広域避難場所」については「知っているし、場所もわかる」は「60歳代」が50.2%で最も高く、「50歳代」、「40歳代」もほぼ同比率であるが、「10～20歳代」が27.7%で最も低くなっている。

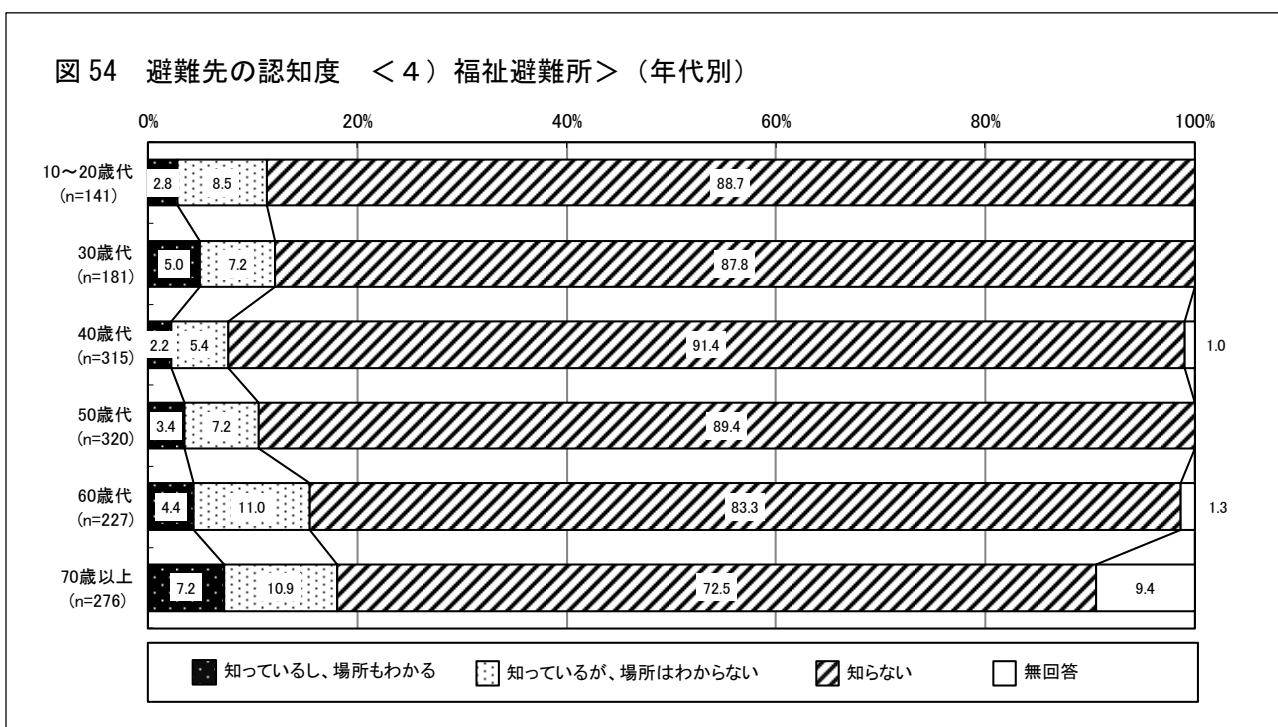
図 52 避難先の認知度 < 2) 広域避難場所 > (年代別)



「いっとき避難場所」については「知っているし、場所もわかる」は「70歳以上」が37.0%で最も高く、年代が若くなるに従い、認知度が減少する傾向にある。

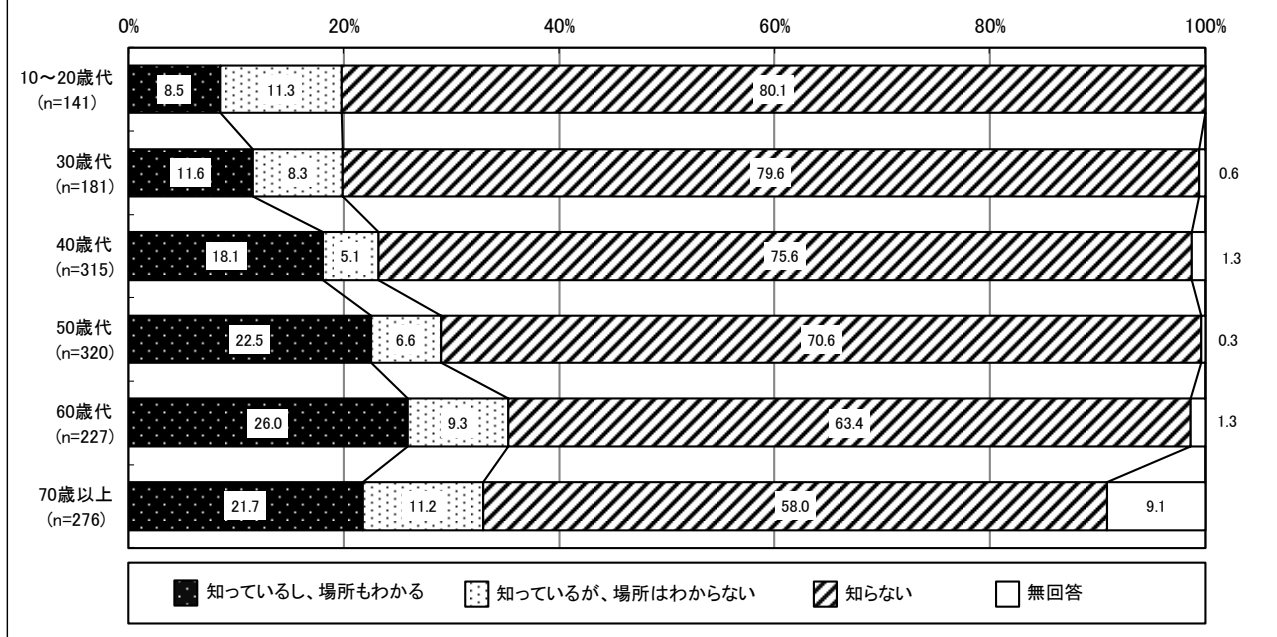


「福祉避難所」については「知っているし、場所もわかる」は「70歳代」が7.2%で最も高いが、全ての年代で「知らない」が7割以上になっている。



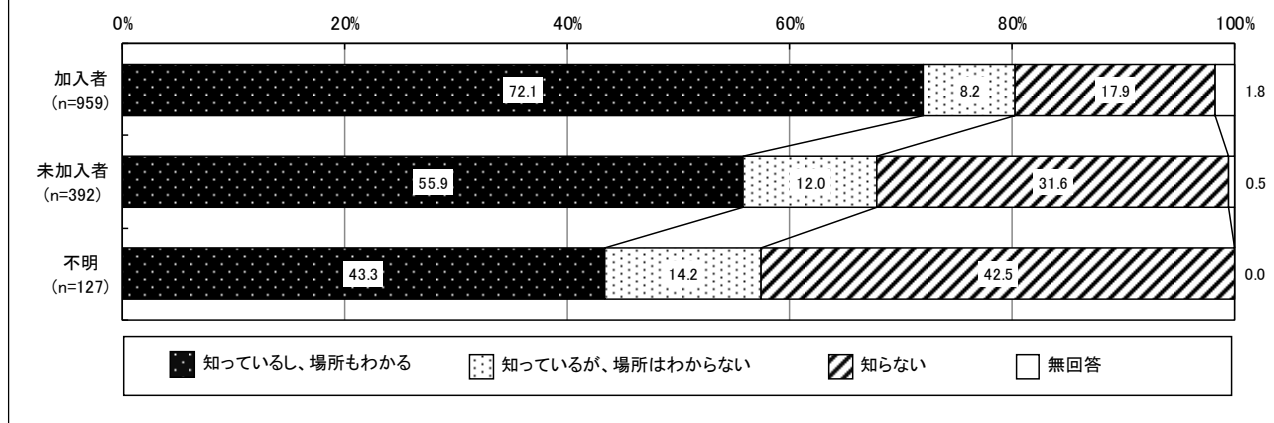
「仮設救護所」については「知っているし、場所もわかる」は「60歳代」が26.0%で最も高いが、50歳より若い年代では「知らない」が7割以上になっている。

図 55 避難先の認知度 < 5) 仮設救護所 > (年代別)

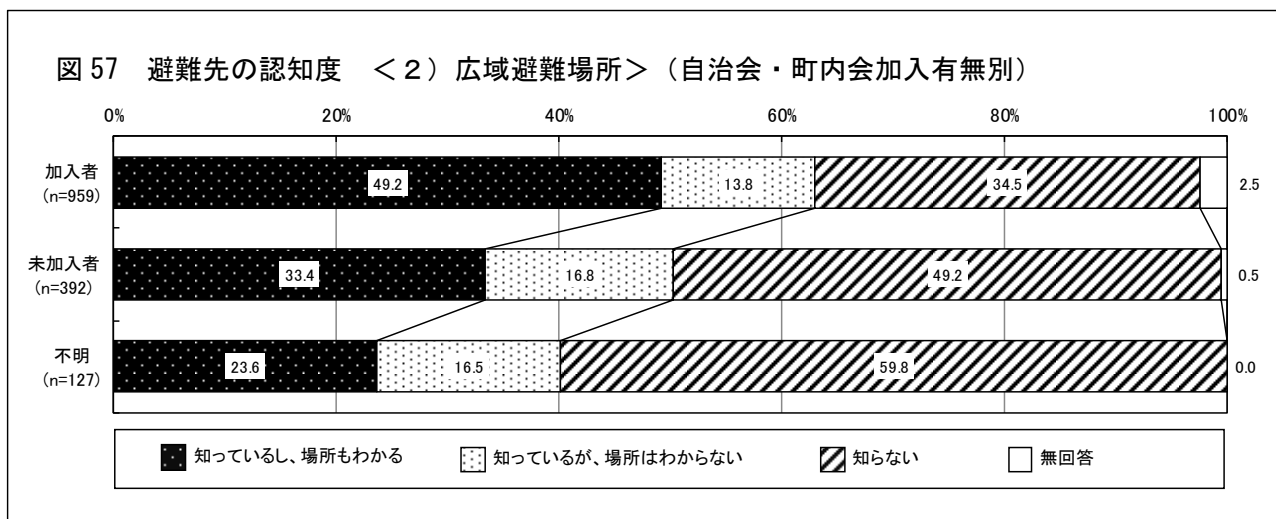


自治会・町内会加入の有無別にみると、「地域防災拠点」については、「知っているし、場所もわかる」は加入者72.1%、未加入者55.9%、不明が43.3%となっている。

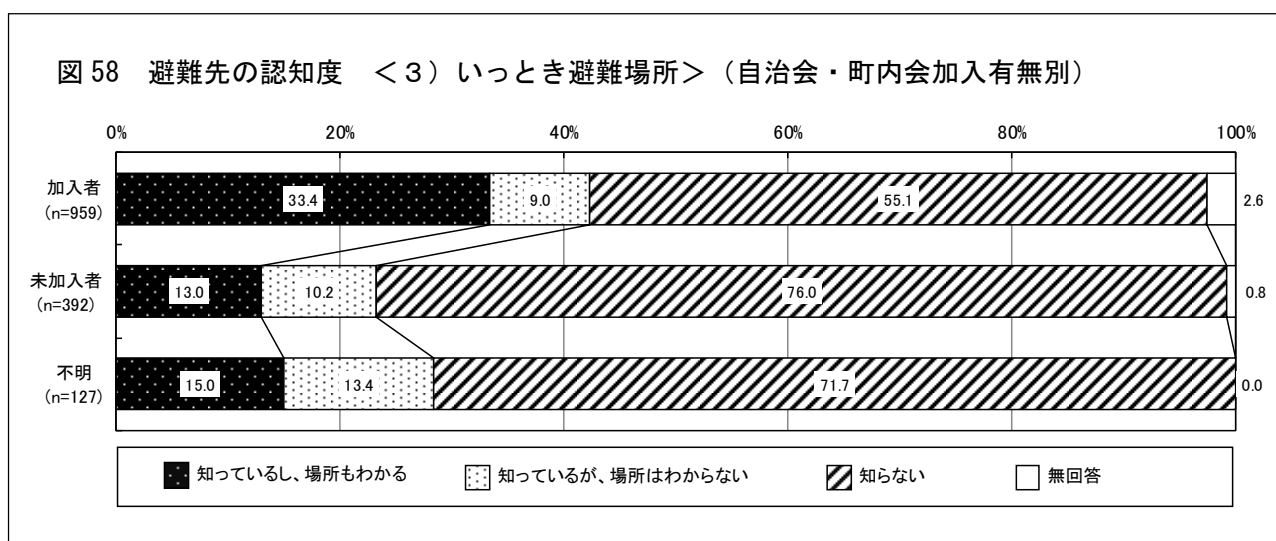
図 56 避難先の認知度 < 1) 地域防災拠点 > (自治会・町内会加入有無別)



「広域避難場所」については「知っているし、場所もわかる」は加入者 49.2%、未加入者 33.4%、不明が 23.6%となっている。

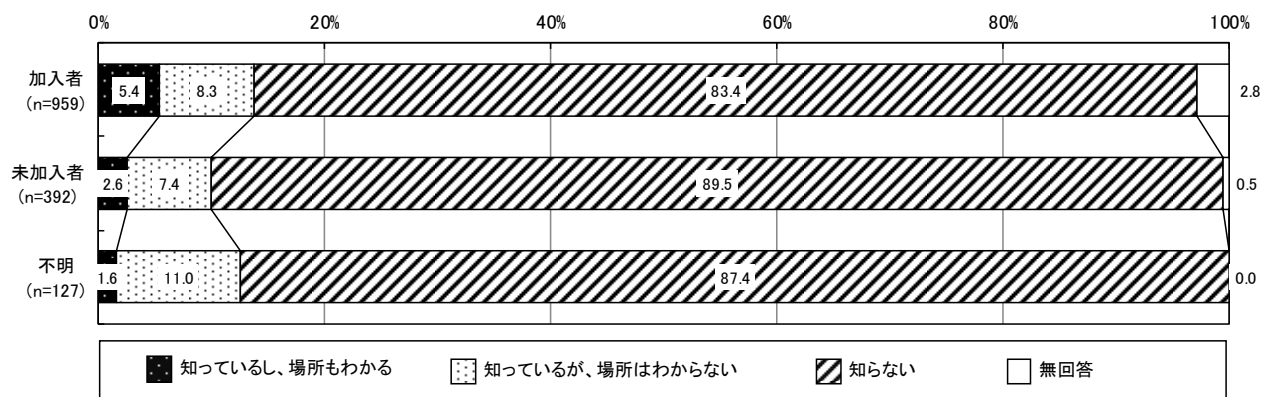


「いっとき避難場所」については「知っているし、場所もわかる」は加入者 33.4%、未加入者 13.0%、不明が 15.0%となっている。いずれも「知らない」方の割合が過半数を占めている。



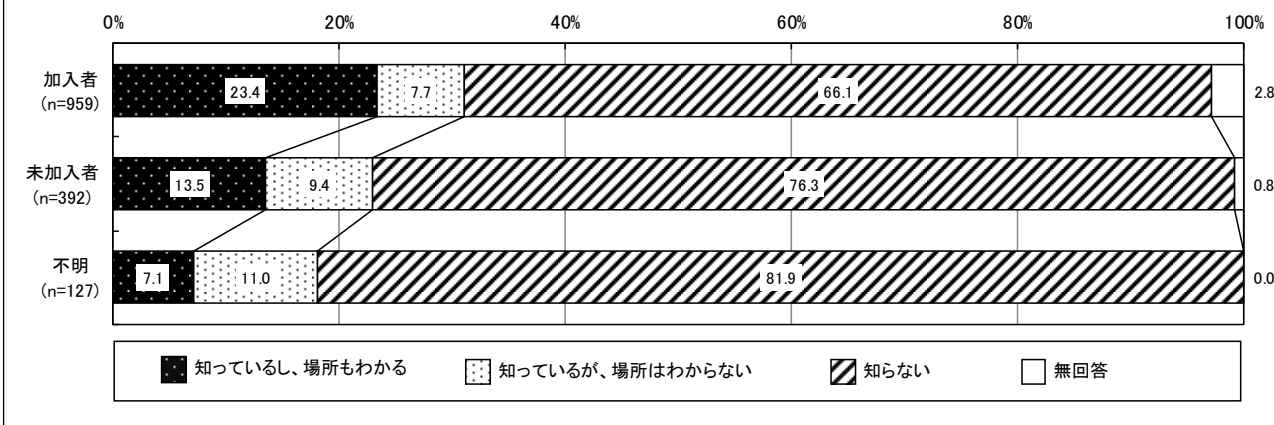
「福祉避難所」については「知っているし、場所もわかる」は加入者 5.4%、未加入者 2.6%、加
不明が 1.6%となっている。いずれも「知らない」方の割合が 8 割を超えている。

図 59 避難先の認知度 < 4) 福祉避難所 > (自治会・町内会加入有無別)



「仮設救護所」については「知っているし、場所もわかる」は加入者 23.4%、未加入者 13.5%、
不明が 7.1%となっている。いずれも「知らない」の割合が 6 割以上となっている。

図 60 避難先の認知度 < 5) 仮設救護所 > (自治会・町内会加入有無別)



(3) 防災情報収集手段の認知度

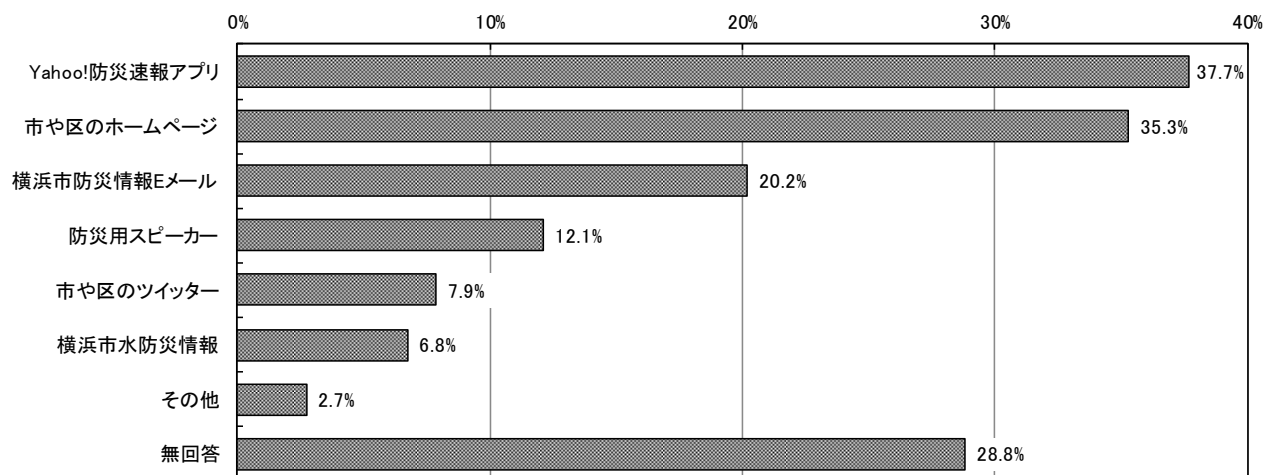
防災情報収集手段の認知度は「Yahoo!防災速報アプリ」が最も高い

■全体の傾向

「Yahoo!防災速報アプリ」が37.7%と最も高く、次いで「市や区のホームページ」が35.3%、「横浜市防災情報Eメール」は20.2%であった。

問9 あなたは、次の情報収集手段について知っていますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

図 61 防災情報収集手段



(4) 防災情報収集手段の利用状況

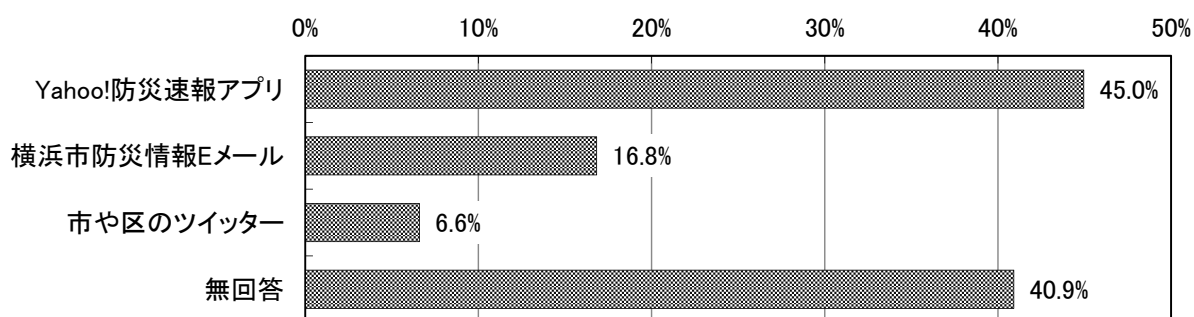
「Yahoo!防災速報アプリ」が最も高く、4割以上となっている

■全体の傾向

「Yahoo!防災速報アプリ」が45.0%と最も高く、次いで「横浜市防災情報Eメール」が16.8%、「市や区のツイッター」は6.6%であった。

問9-1 問9で「1 横浜市防災情報Eメール」、「2 Yahoo!防災速報アプリ」、「3 市や区のツイッター」のいずれかを知っていると選択した方にお聞きします。そのうち登録(インストール)しているものはありますか。(〇はいくつでも) (n=743)

図 62 インストールしている



6. 自治会・町内会活動

(1) 自治会・町内会への加入状況

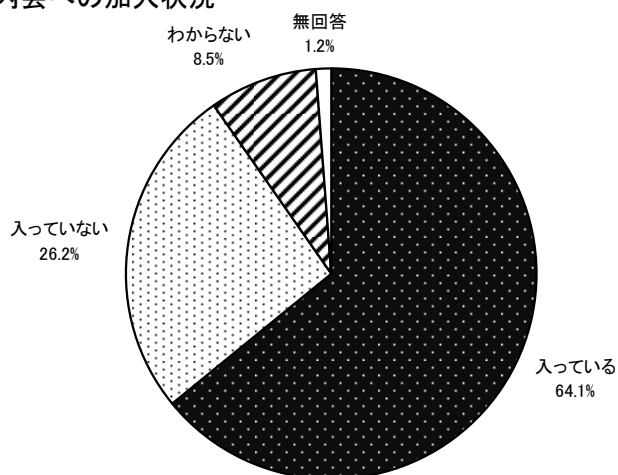
自治会・町内会への加入状況は6割強
年代や居住年数が上がるほど加入率が高まる傾向

■全体の傾向

「入っている」が64.1%、「入っていない」が26.2%となっている。

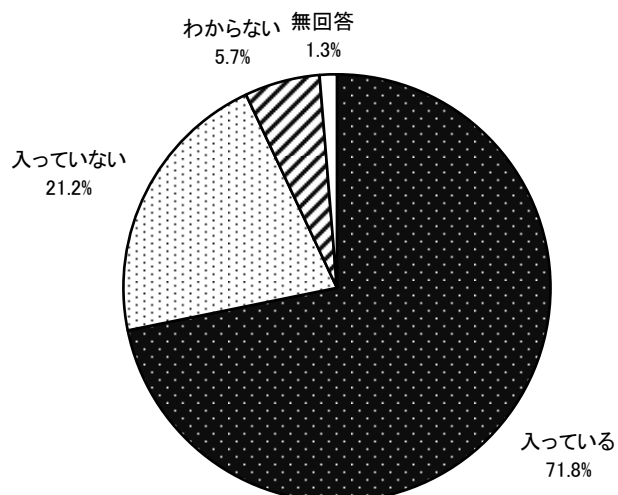
問10 あなたは、自治会町内会に入っていますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

図63 自治会・町内会への加入状況



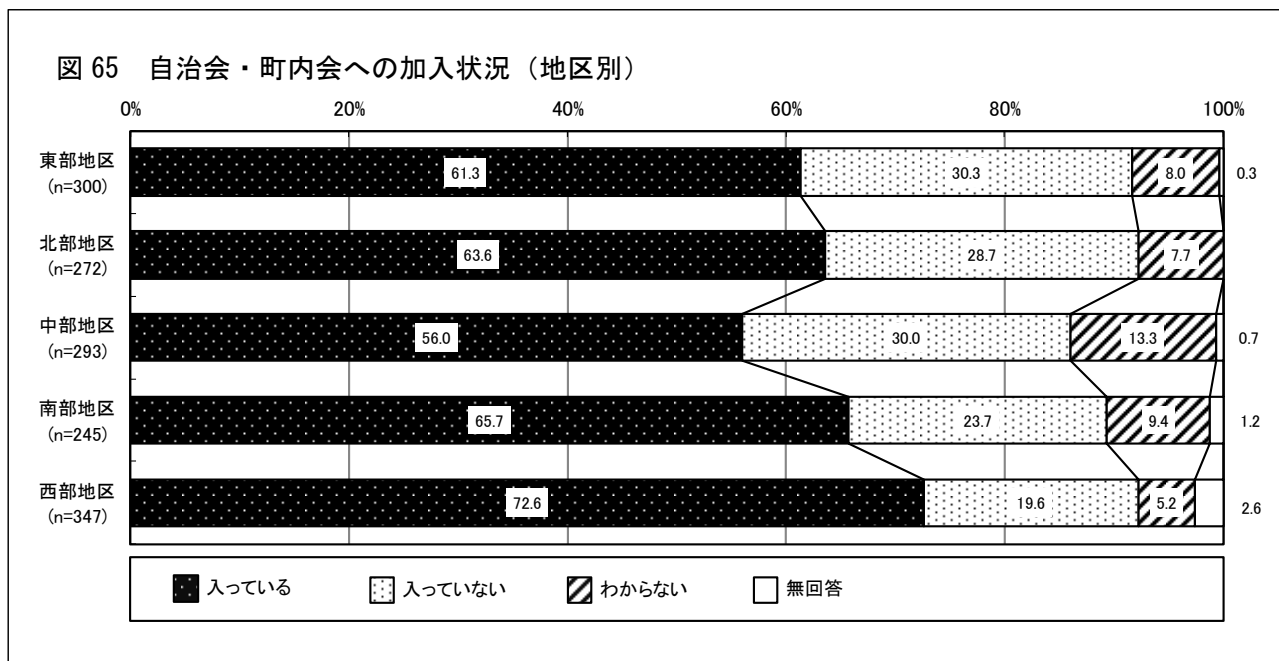
参考データ

図64 自治会・町内会への加入状況 (平成27年度都筑区区民意識調査) (n=1,558)



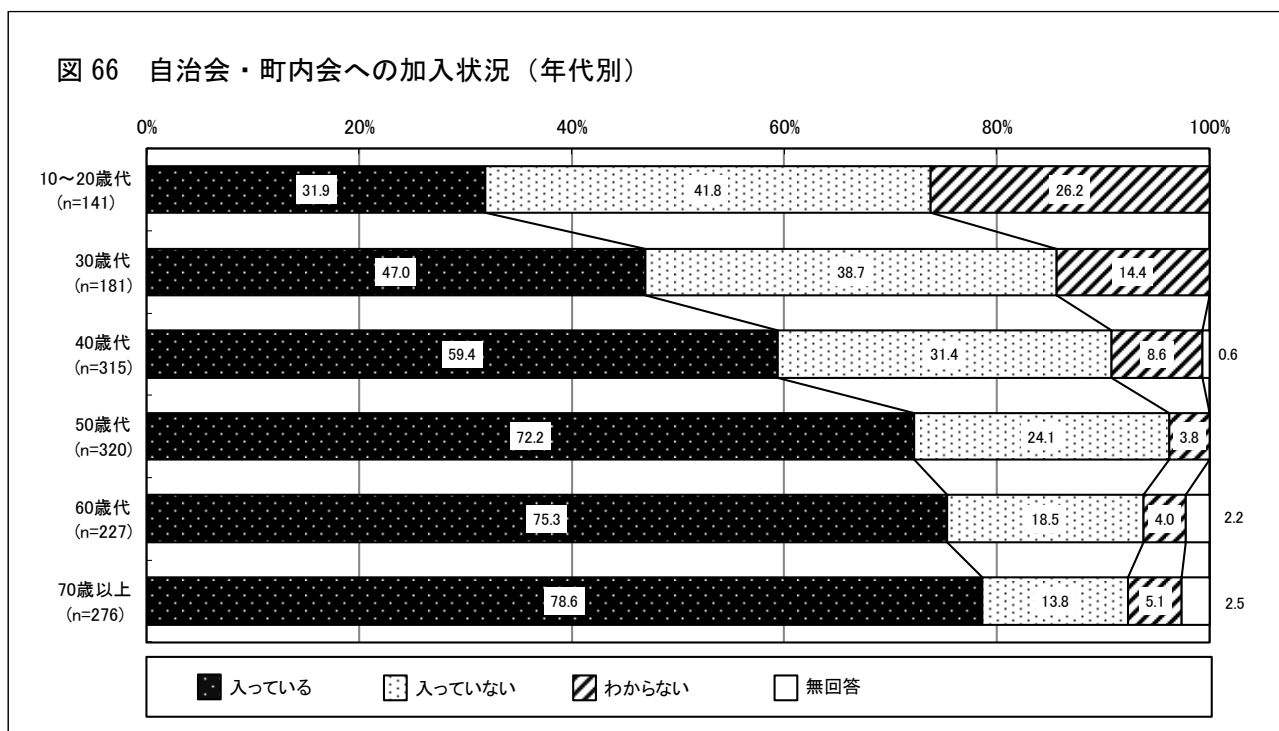
■地区別にみる特徴

地区別でみると、「入っている」は「西部地区」で72.6%と最も高く、次いで「南部地区」65.7%、「北部地区」63.6%となっている。「東部地区」は61.3%、「中部地区」は56.0%で、すべての地区で5割以上となっている。



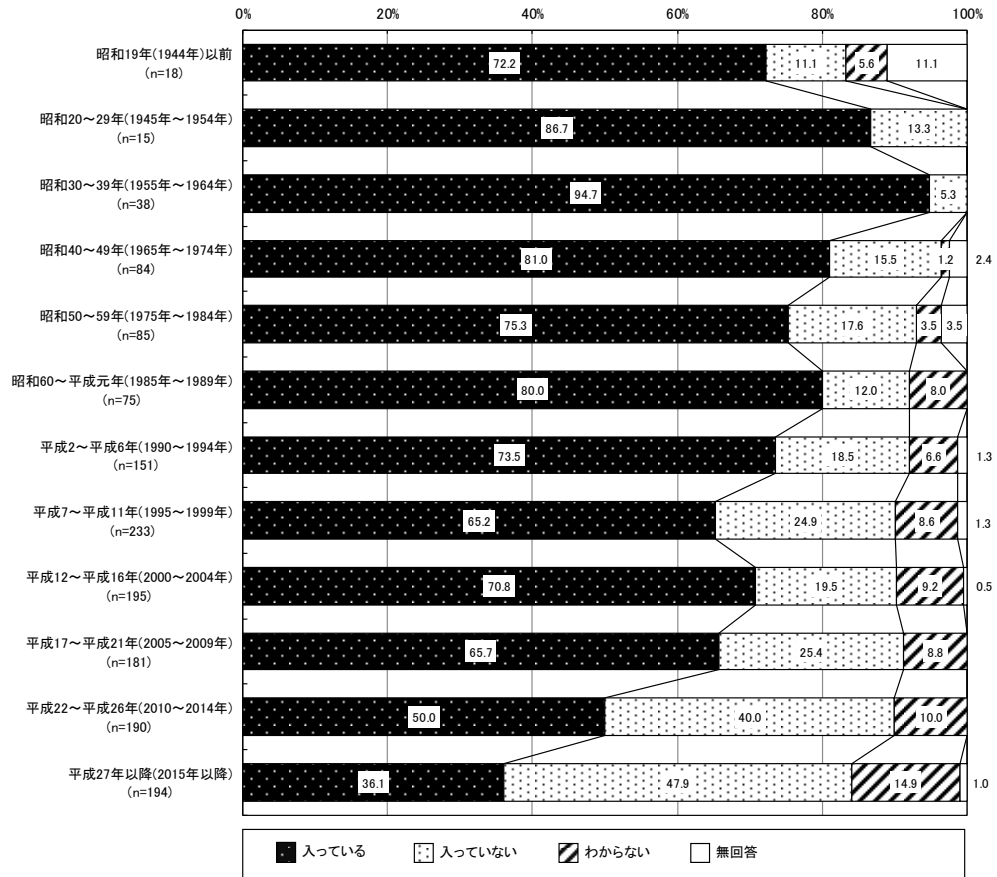
■回答者属性別にみる特徴

年代別でみると、おおむね年代が上がるにつれて加入率が高くなっている。最も低い「10～20歳代」では31.9%だが、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」では7割以上となっている。



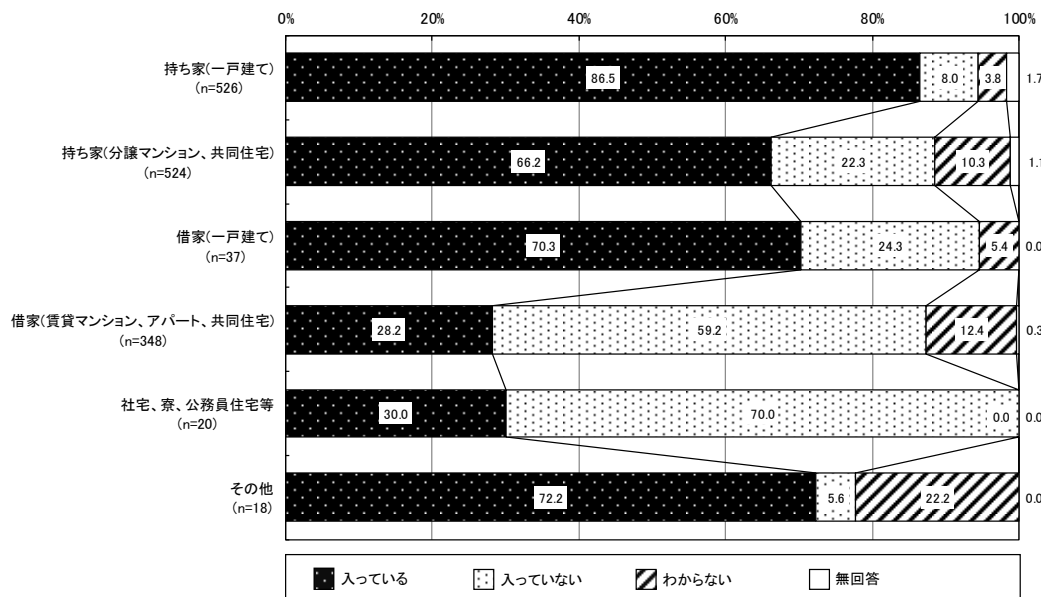
居住開始時期別でみると、住み始めた時期が遅いほど加入率は減少している傾向となっている。昭和30～39年（1955～1964年）が94.7%で最も高く、「平成27年以降（2015年以降）」は36.1%となっている。

図 67 自治会・町内会への加入状況（居住開始時期別）



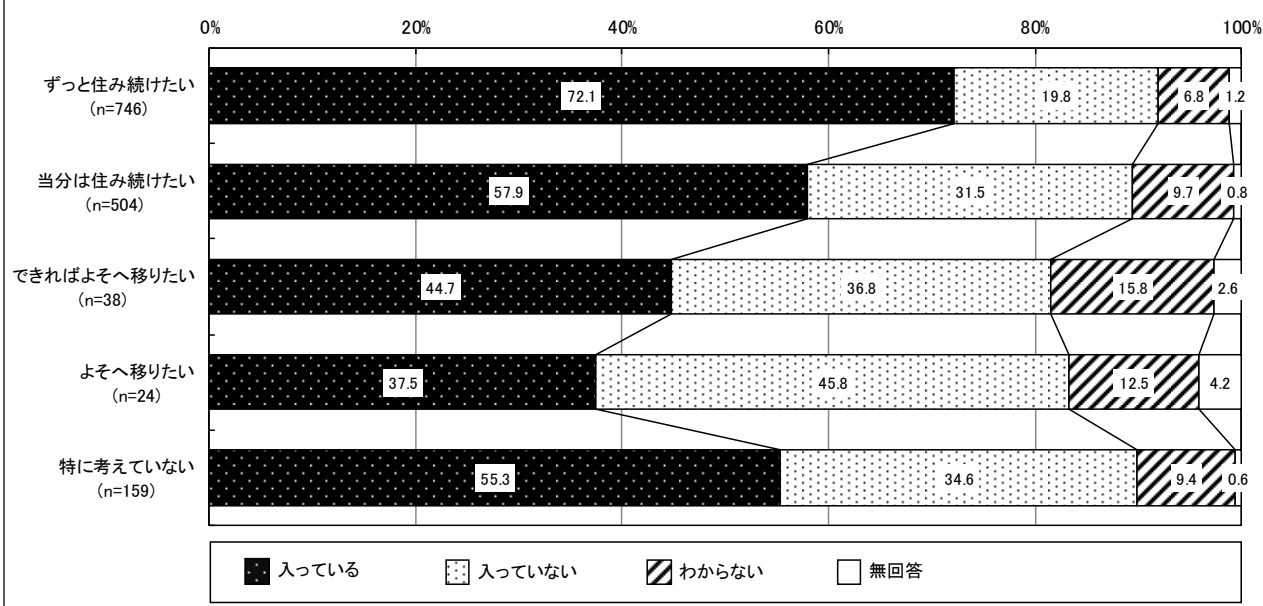
住まいの形態別でみると、「持ち家（一戸建て）」が最も高く、86.5%となっており、「借家（賃貸マンション、アパート、共同住宅）」は28.2%と最も低い。

図 68 自治会・町内会への加入状況（住まいの形態別）



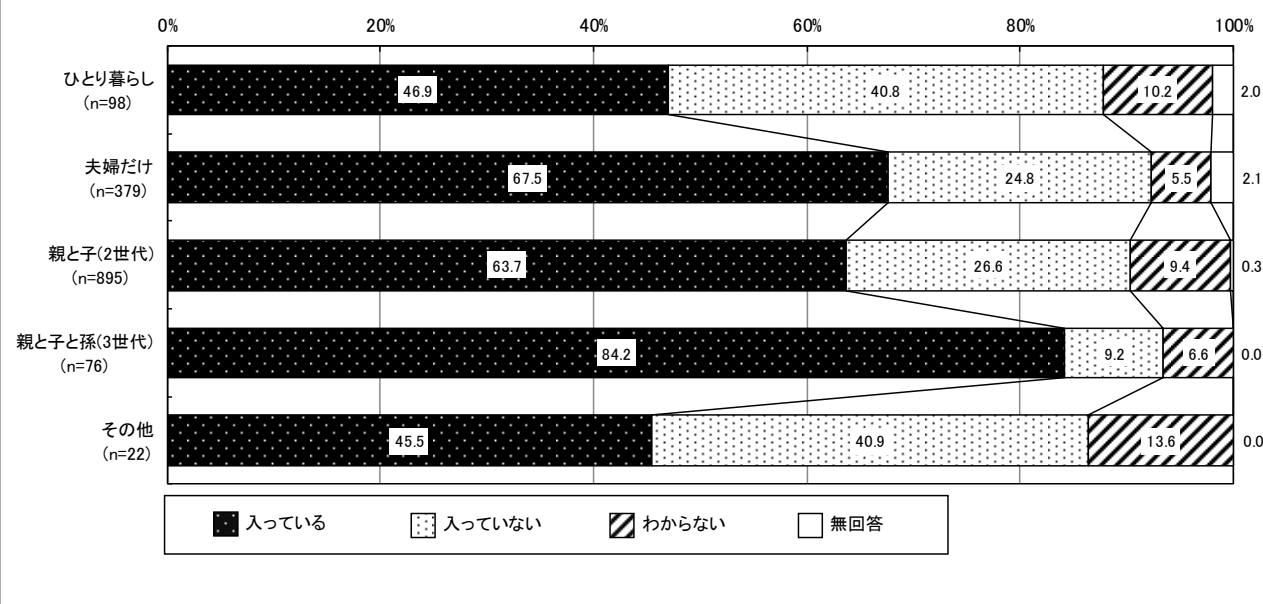
居住意向別でみると、「ずっと住み続けたい」層の加入率が最も高く72.1%となっているが、「よそへ移りたい」層の加入率は37.5%となっている。

図 69 自治会・町内会への加入状況（居住意向別）



家族形態別でみると、「親と子と孫（3世代）」が84.2%と最も高くなっている。最も低いのは「ひとり暮らし」46.9%である。

図 70 自治会・町内会への加入状況（家族形態別）



(2) 自治会町内会活動に期待すること

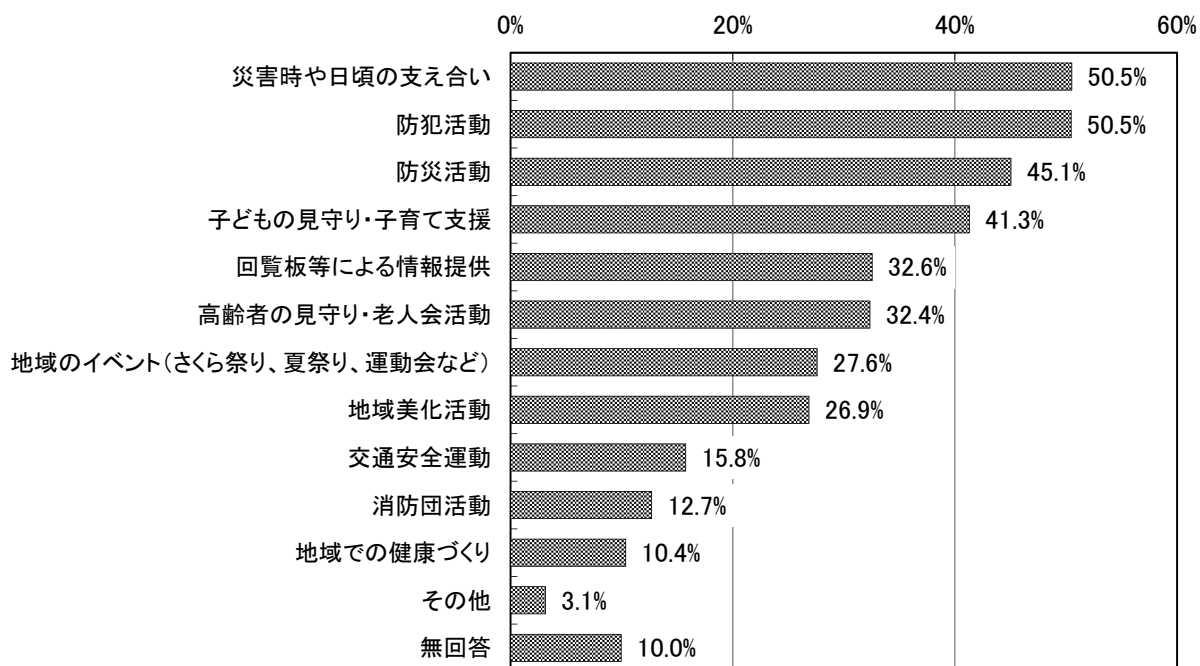
上位は「災害や日ごろの支え合い」「防犯活動」で5割超

■全体の傾向

「災害時や日ごろの支え合い」及び「防犯活動」が50.5%と最も高く、次いで「防災活動」が45.1%、「子供の見守り・子育て支援」が41.3%となっている。

問 11 あなたが自治会町内会活動に期待することはどのような取組ですか。(〇はいくつでも)
(n=1,496)

図 71 自治会町内会活動に期待する取組



7. 地域での日頃の支え合い

(1) 隣近所に住んでいる人を知っているか

『知っている』が6割超
小学生、高齢者（65歳以上）が同居家族にいと割合が高くなる

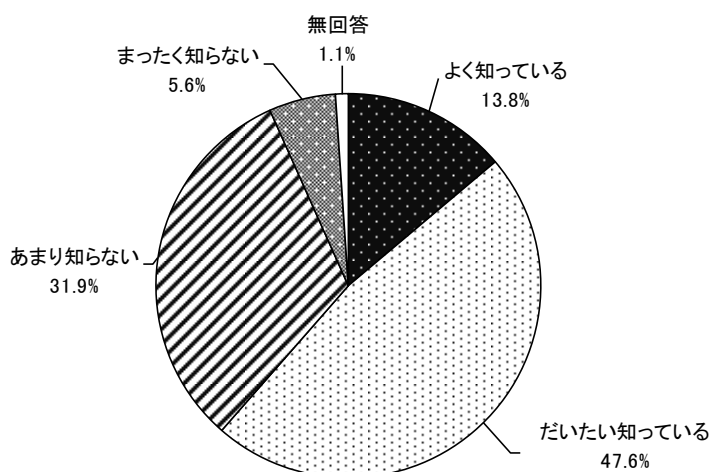
■全体の傾向

「だいたい知っている」が47.6%と最も高く、「よく知っている」13.8%と合わせると61.4%は「知っている」と回答している。

「あまり知らない」は31.9%で、「まったく知らない」5.6%と合わせると37.5%は「知らない」と回答している。

問12 あなたは、隣近所に住んでいる人を知っていますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

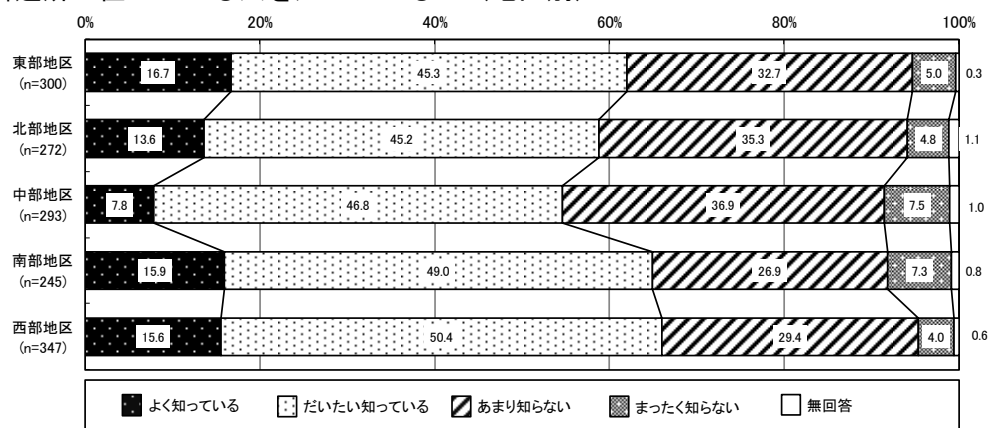
図72 隣近所に住んでいる人を知っているか



■地区別にみる特徴

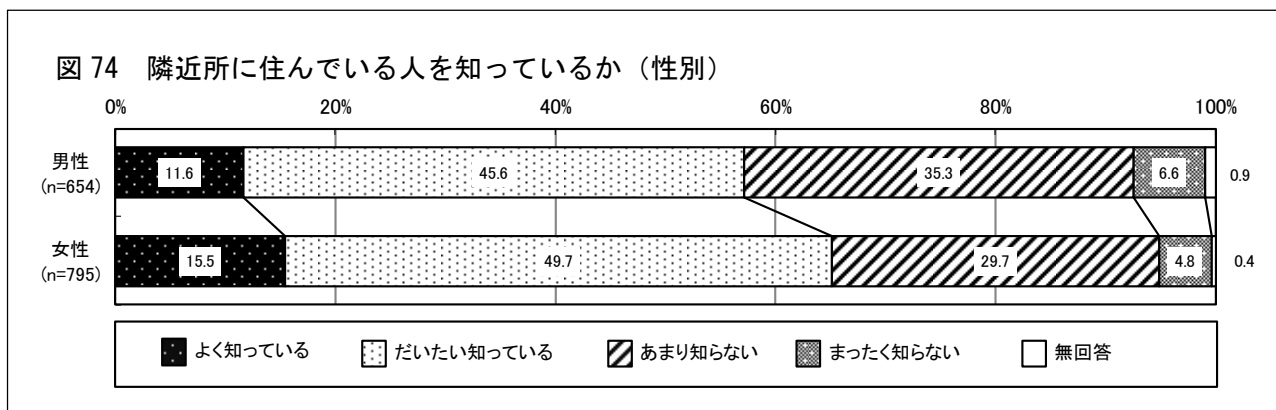
地区別でみると、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、「西部地区」が66.0%、次いで「南部地区」が64.9%となっている。「東部地区」は62.0%、「北部地区」は58.8%で6割を下回っている。

図73 隣近所に住んでいる人を知っているか（地区別）

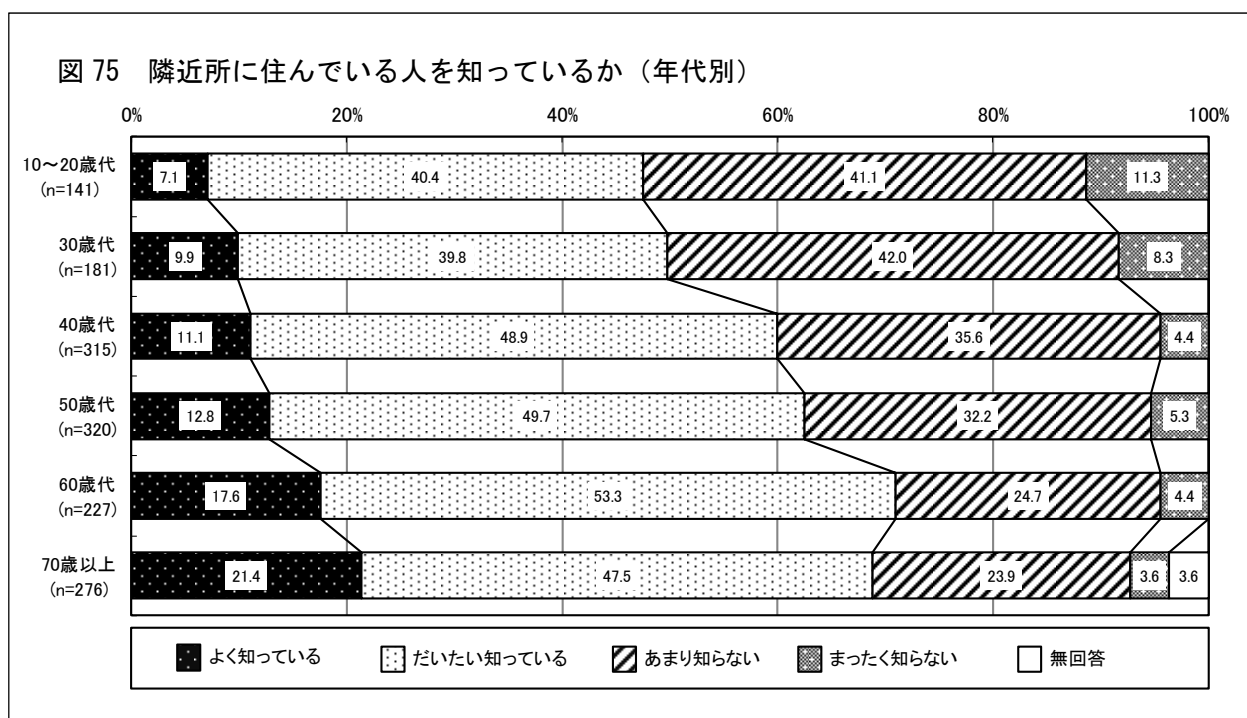


■回答者属性別にみる特徴

性別で見ると、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、「女性」は65.2%、「男性」は57.2%となっている。



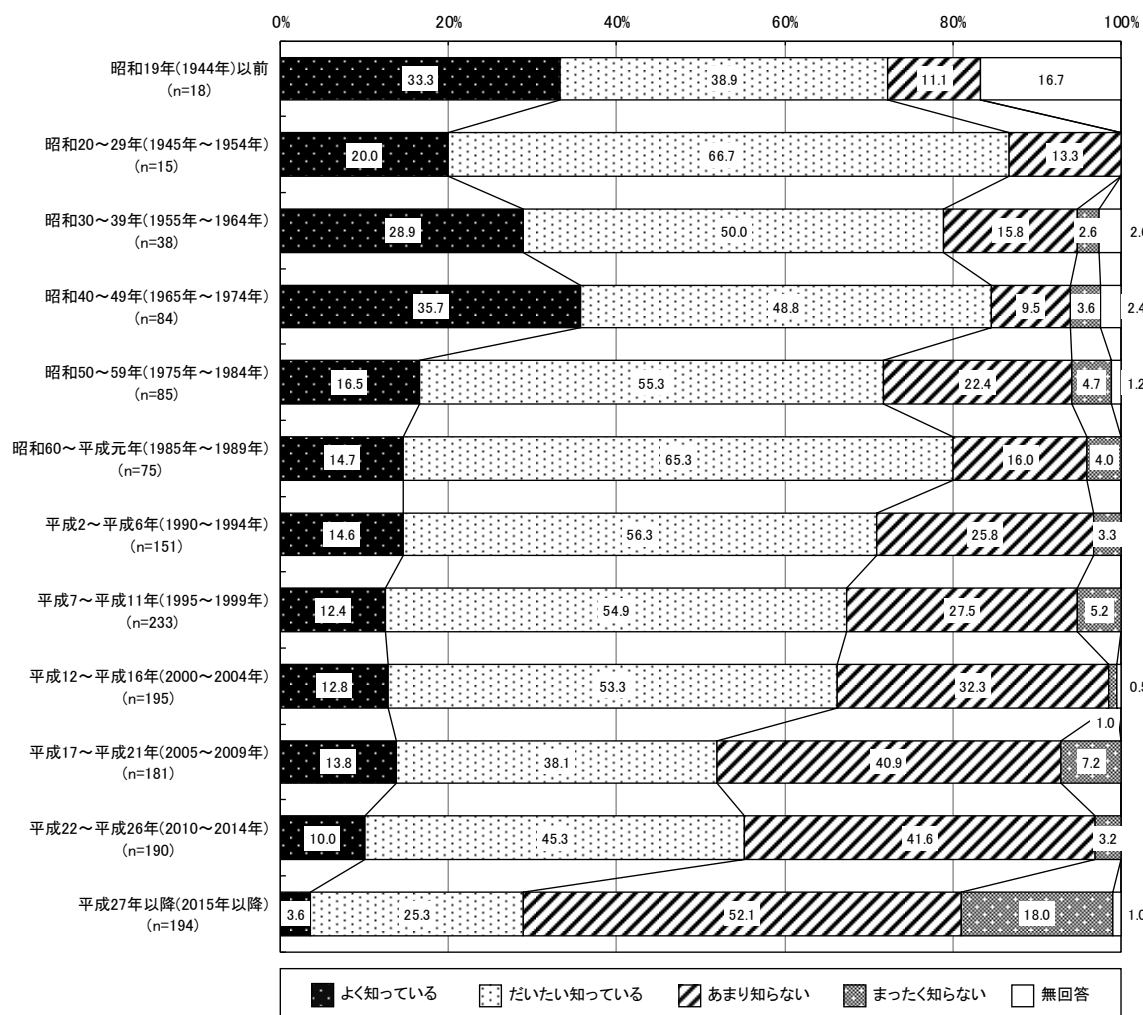
年代別で見ると、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、おおむね年代が上がるごとに高くなっている。「10～20歳代」が47.5%と最も低く、「60歳代」は70.9%と最も高くなっている。



居住開始時期別でみると、おおむね住み始めた時期が遅いほど、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、低くなる傾向がある。

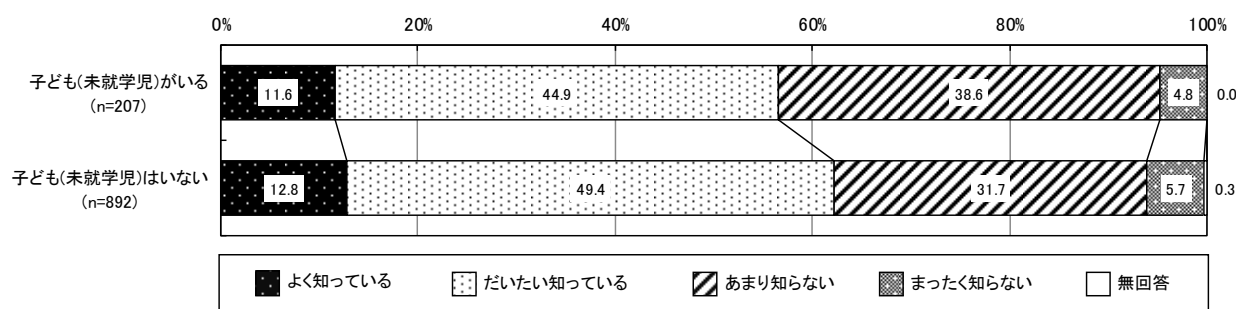
一番高い「昭和20～29年」の86.7%に対し「平成27年以降（2015年以降）」は28.9%で最も低い。

図 76 隣近所に住んでいる人を知っているか（居住開始時期別）

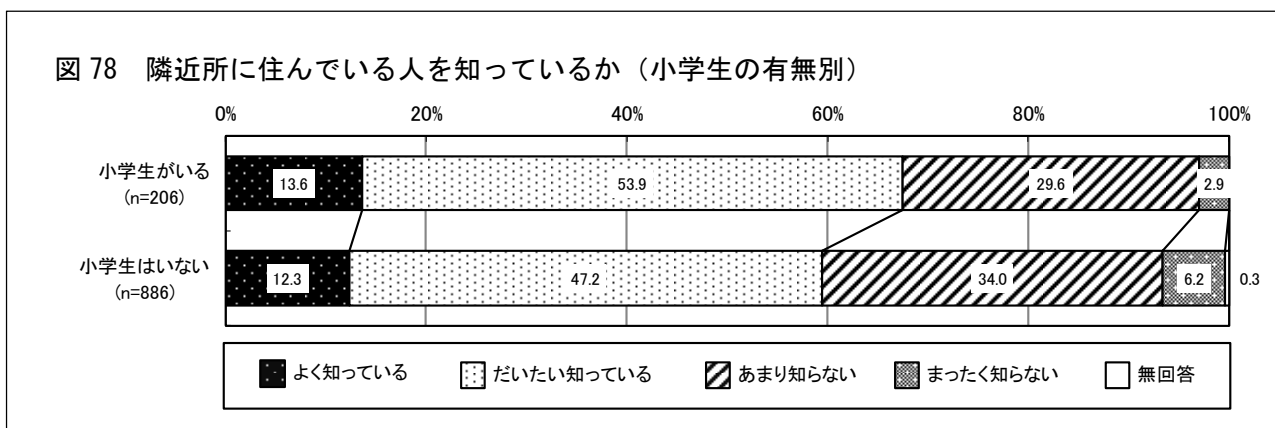


未就学児の同居有無別でみると、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた『知っている』は、「未就学児はいない」が「未就学児がいる」より高くなっている。

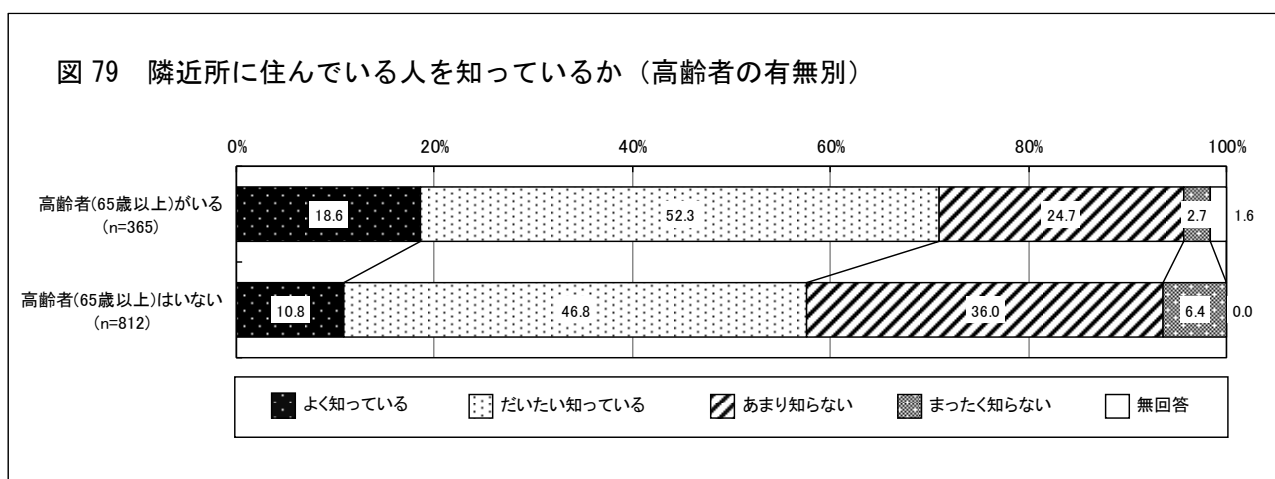
図 77 隣近所に住んでいる人を知っているか（未就学児の有無別）



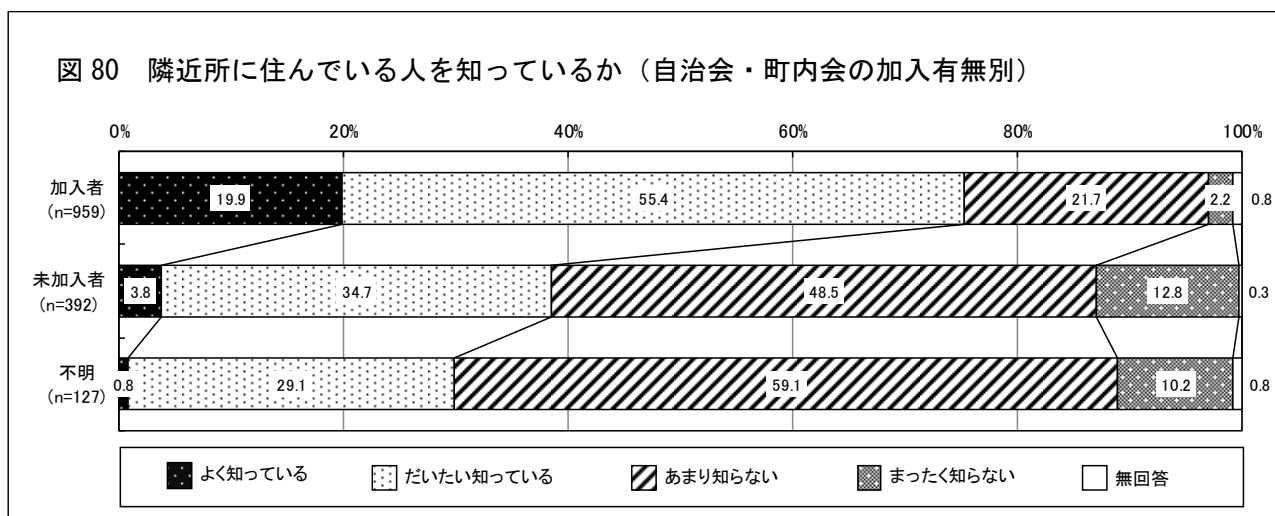
小学生の同居有無別でみると、「よく知っている」、「だいたい知っている」とも、「小学生がいる」人の方が「小学生はいない」人より高くなっている。



高齢者（65歳以上）の同居有無別でみると、「よく知っている」、「だいたい知っている」とも、「高齢者（65歳以上）がいる」人の方が「高齢者（65歳以上）はいない」人より高くなっている。



自治会・町内会の加入有無別でみると、「よく知っている」、「だいたい知っている」とも、加入者が未加入者、不明より高くなっている。



(2) 日頃の近所づきあいの程度

「お互い困ったときには助けあっている」は、約1割
小学生、高齢者（65歳位以上）と同居している人、自治会・町内会に入っている人が高くなっている

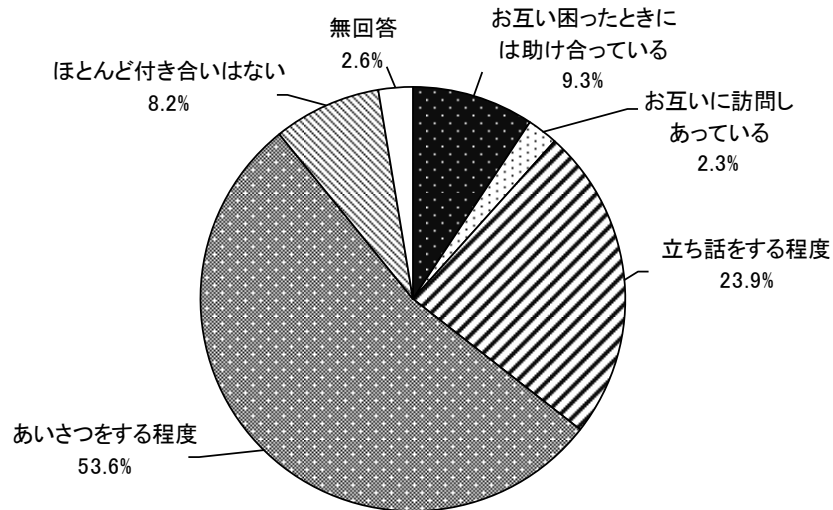
■全体の傾向

「あいさつをする程度」が53.6%と最も高く、次いで「立ち話をする程度」23.9%、「お互い困ったときには助け合っている」9.3%となっている。

平成27年度調査と比較すると、「お互い困ったときには助け合っている」と「お互いに訪問しあっている」は減少している。

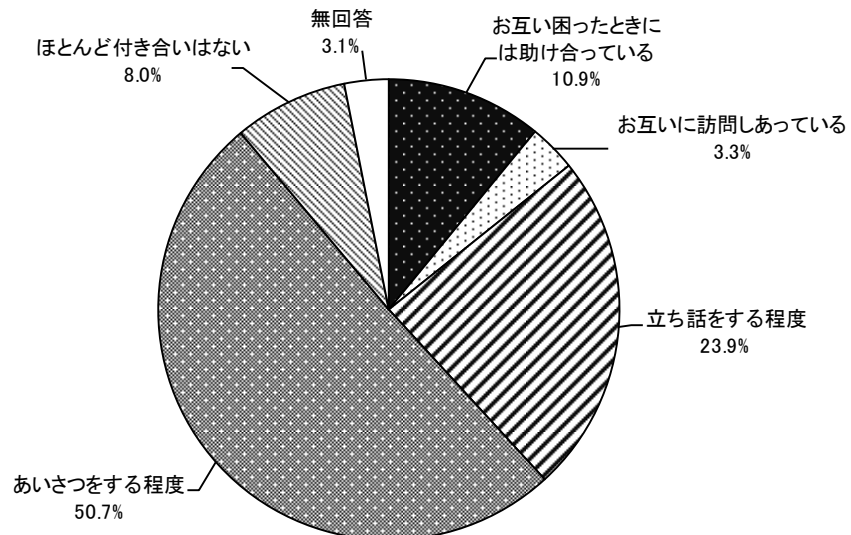
問13 あなたは日頃、どの程度の近所づきあいをしていますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

図81 近所づきあいの程度



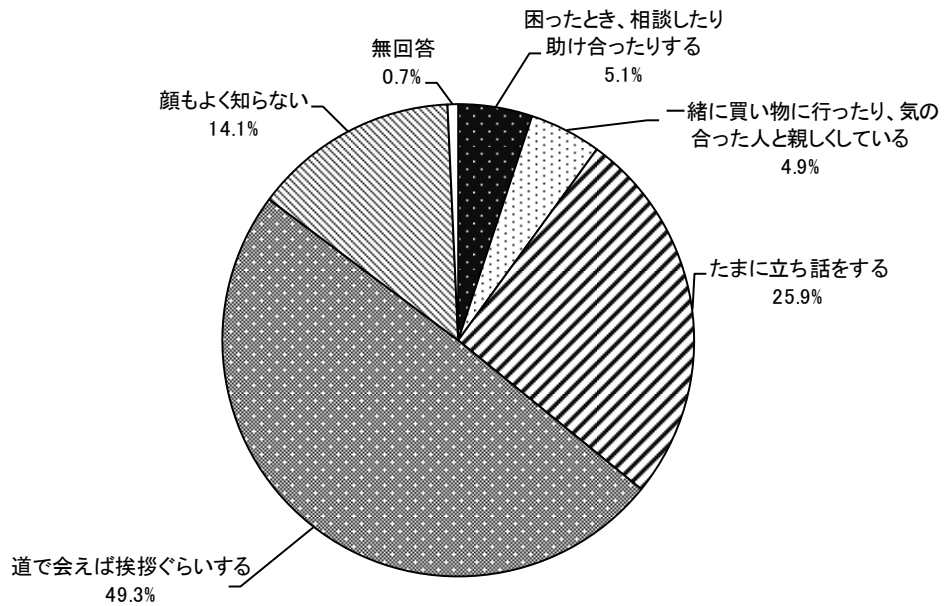
参考データ

図82 近所づきあいの程度（年代別・平成27年度都筑区区民意識調査） (n=1,558)



参考データ

図 83 近所づきあいの程度（令和元年度横浜市市民意識調査）（n=2,502）

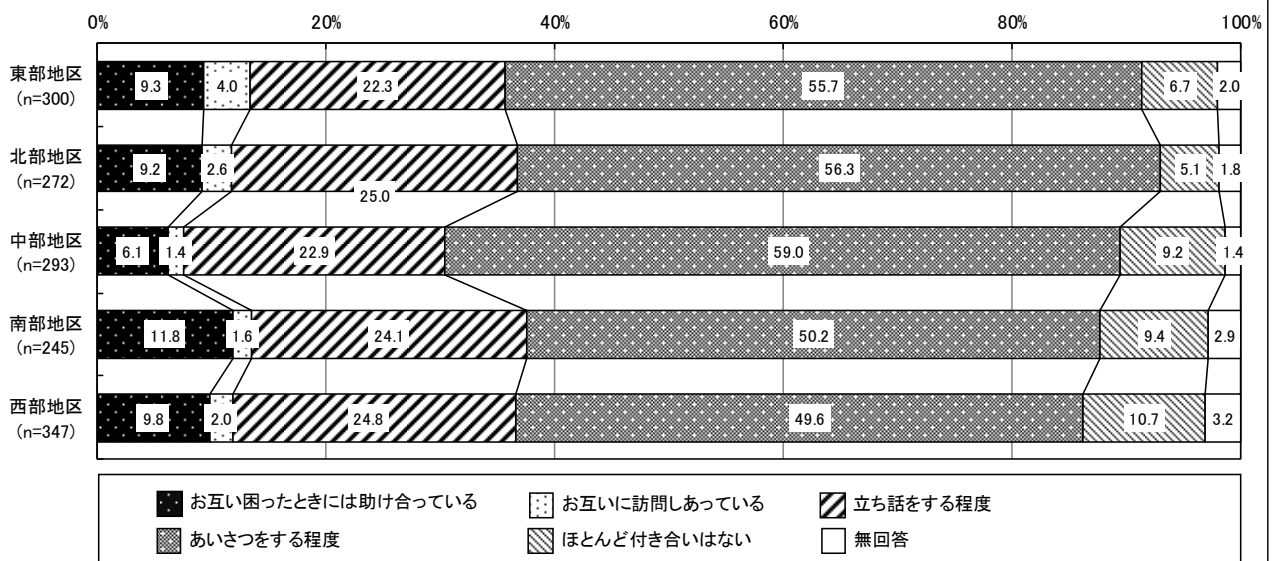


■地区別にみる特徴

地区別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」は「南部地区」が 11.8%、「西部地区」が 9.8%と高く、「中部地区」で 6.1%と最も低い。

「ほとんど付き合いはない」という回答は、「西部地区」で 10.7%と最も高く、「北部地区」で 5.1%と最も低い。

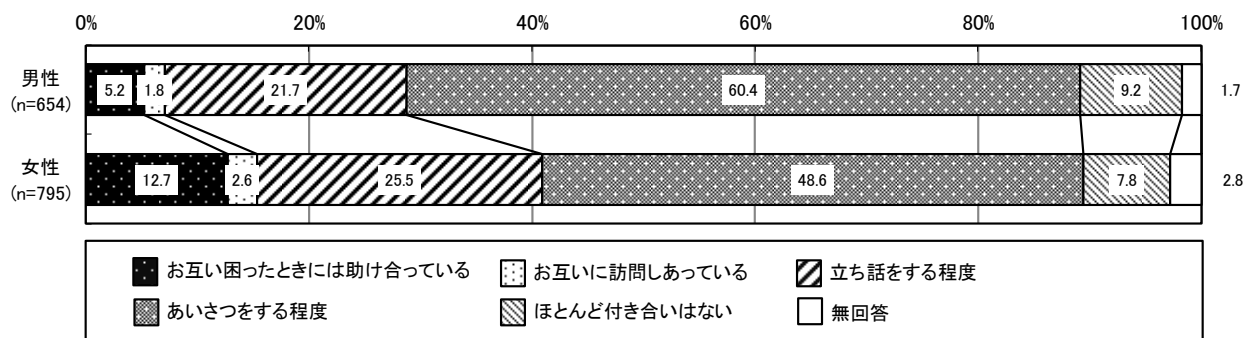
図 84 近所づきあいの程度（地区別）



■回答者属性別にみる特徴

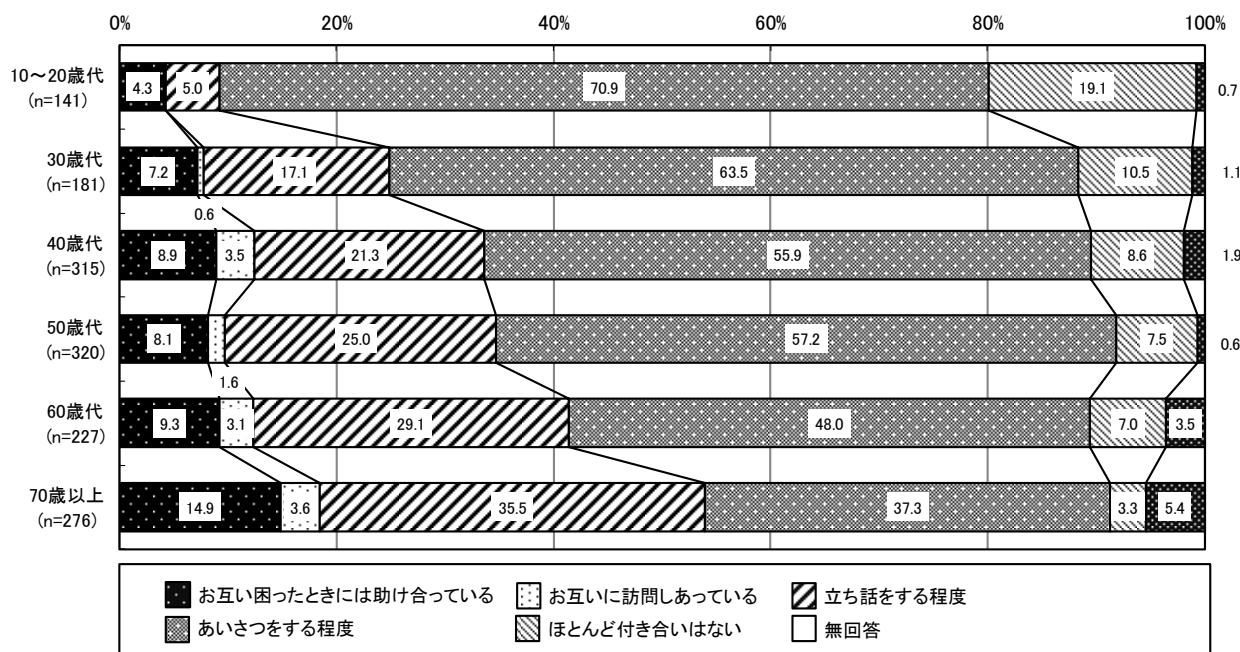
性別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」、「お互いに訪問しあっている」、「立ち話をする程度」とも「女性」の割合の方が高くなっており、「あいさつをする程度」、「ほとんど付き合いはない」は「男性」の割合の方が高い。

図 85 近所づきあいの程度（性別）



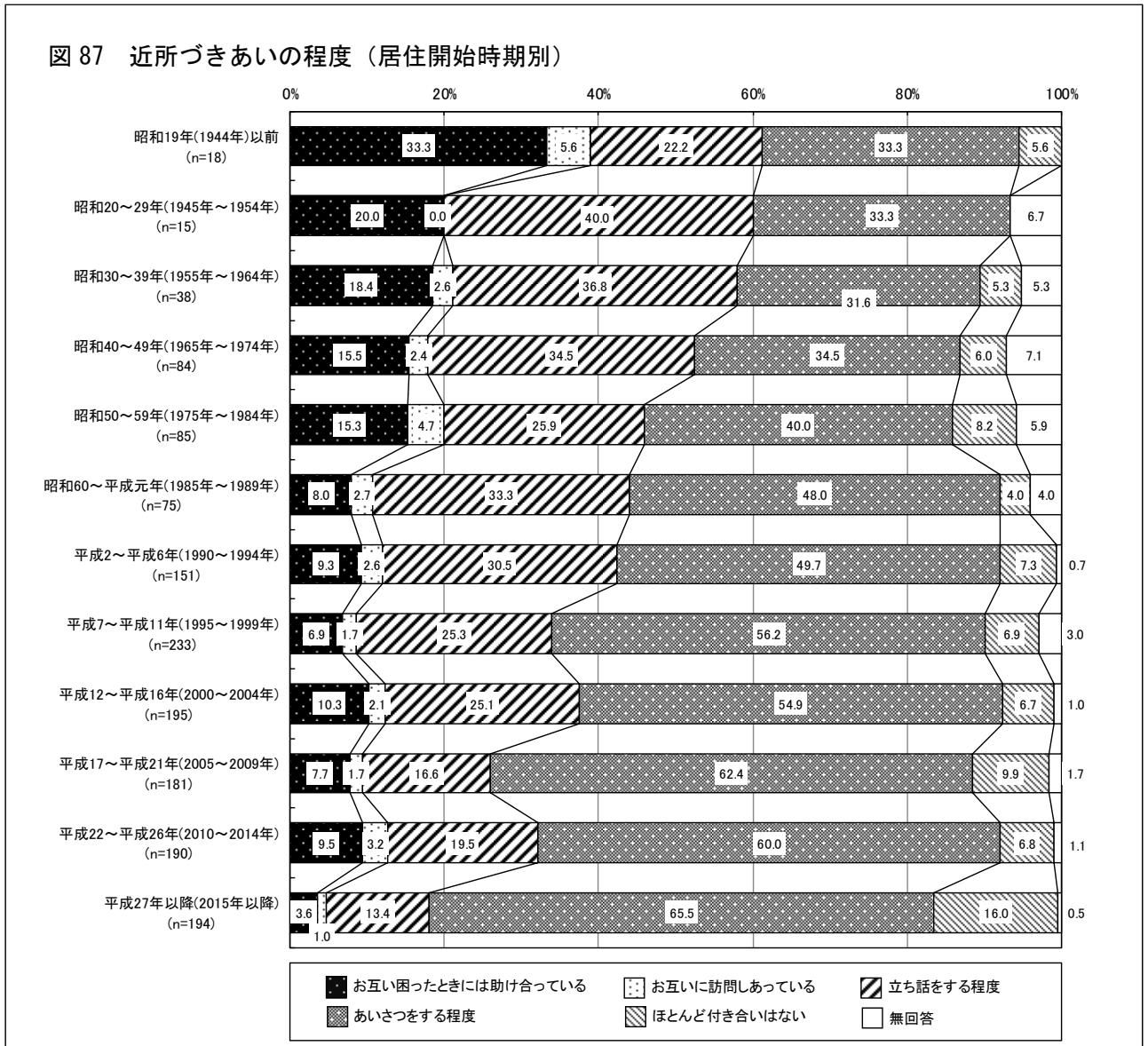
年代別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」は「10～20 歳代」が最も低く 4.3%、「70 歳以上」が最も高く 14.9%となっている。「立ち話をする程度」はおおむね年齢が上がるごとに高くなり、「あいさつをする程度」、「ほとんど付き合いはない」は低くなる傾向にある。

図 86 近所づきあいの程度（年代別）



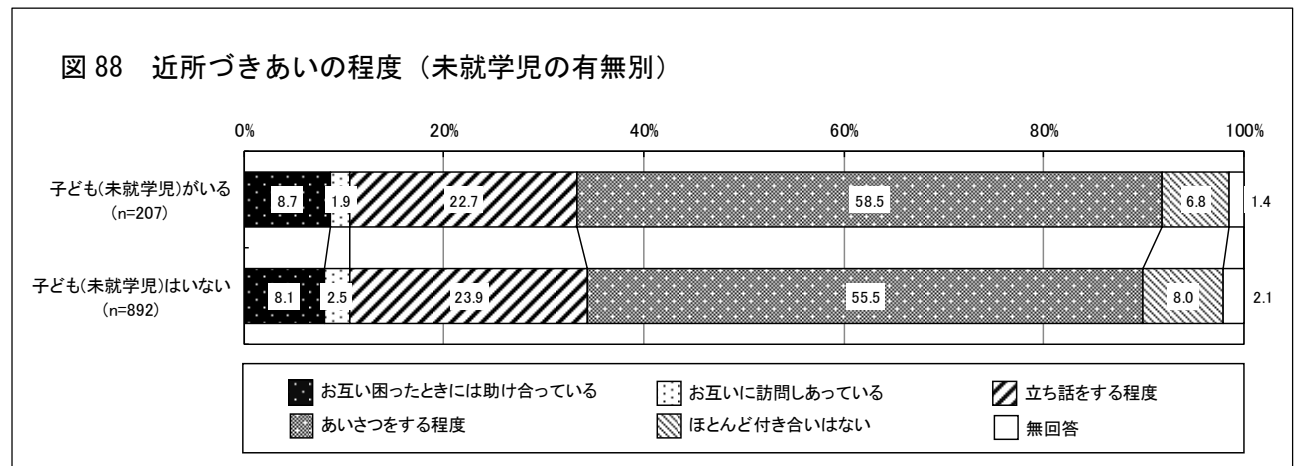
居住開始時期別でみると、住み始めた時期が遅いほど「お互い困ったときには助け合っている」、「立ち話をする程度」の割合は低くなる傾向にあり、「あいさつをする程度」の割合は高くなる傾向にある。

図 87 近所づきあいの程度（居住開始時期別）

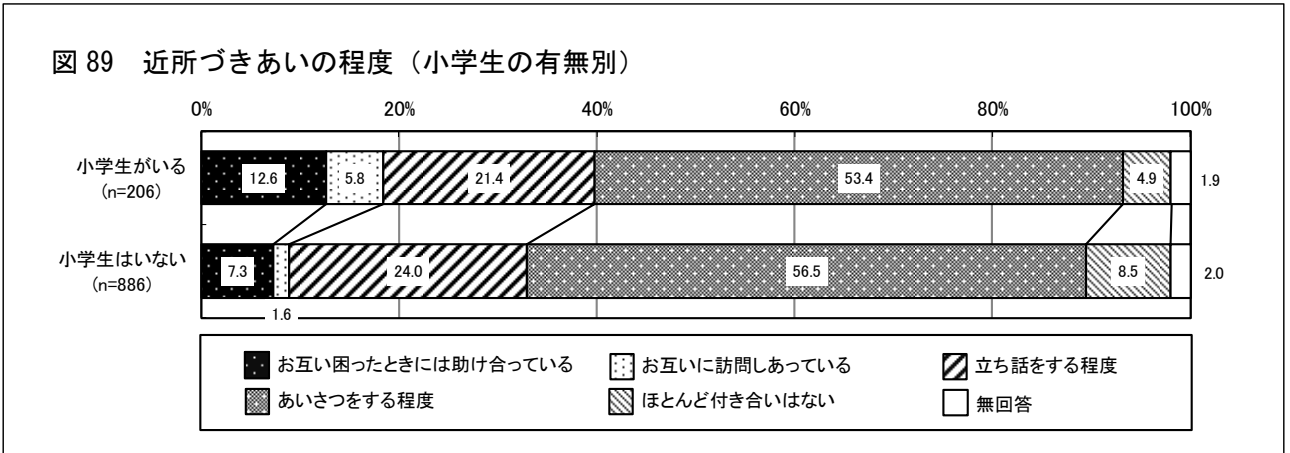


未就学児の同居有無別でみると、「あいさつをする程度」は「未就学児がいる」人の58.5%に対して、「未就学児はいない」人は55.5%となっている。

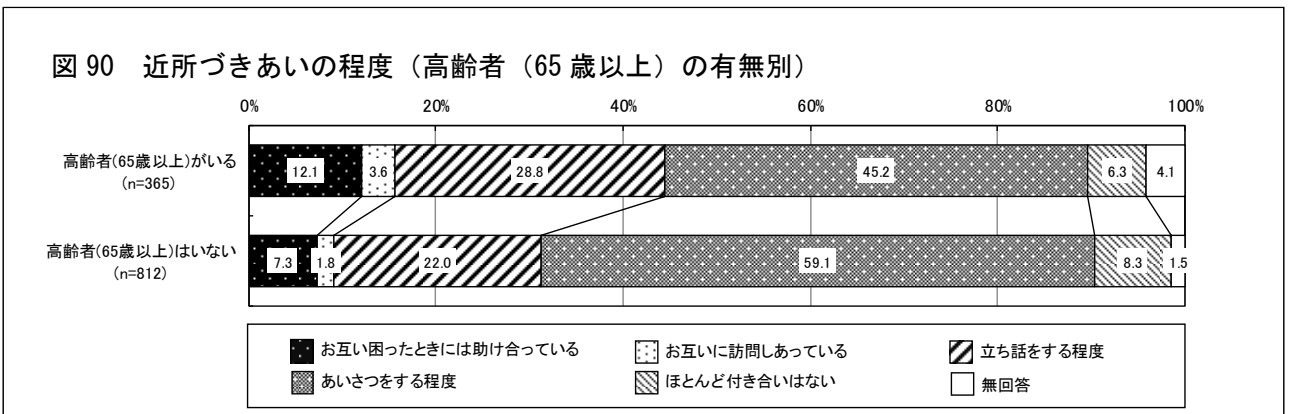
図 88 近所づきあいの程度（未就学児の有無別）



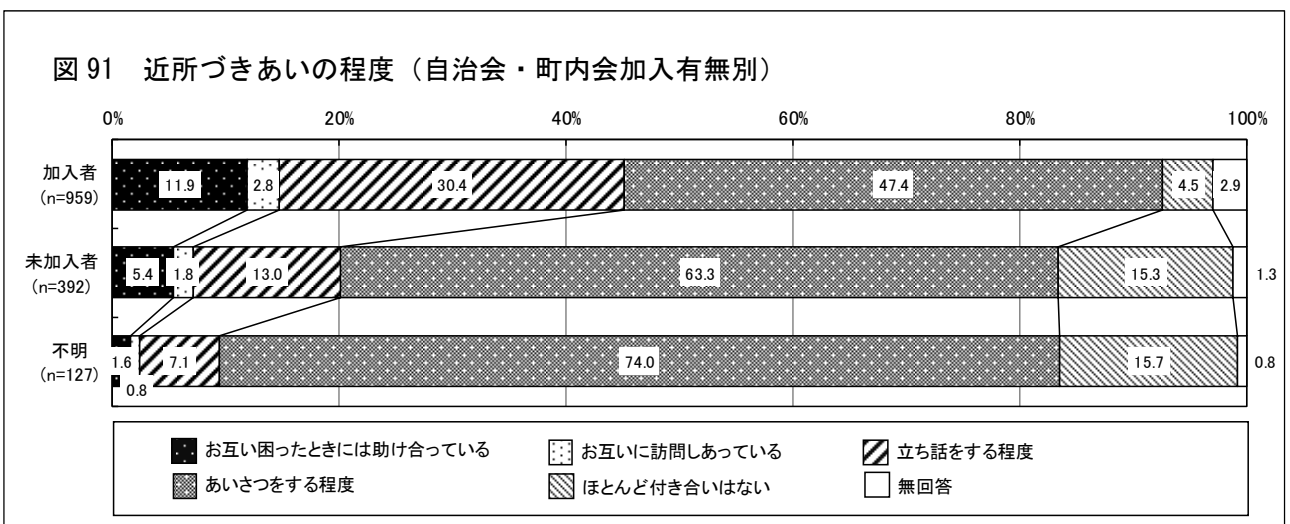
小学生の同居有無別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」、「お互いに訪問しあっている」の割合が「小学生がいる」方が高くなっており、「立ち話をする程度」、「あいさつをする程度」、「ほとんど付き合いはない」の割合は「小学生はいない」方が高くなっている。



高齢者（65歳以上）の同居有無別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」、「お互いに訪問しあっている」、「立ち話をする程度」の割合が「高齢者（65歳以上）がいる」方が高くなっており、「あいさつをする程度」、「ほとんど付き合いはない」の割合は「高齢者（65歳以上）はいない」方が高くなっている。



自治会・町内会加入有無別でみると、「お互い困ったときには助け合っている」、「お互いに訪問しあっている」、「立ち話をする程度」の割合は加入者の方が高くなっており、「あいさつをする程度」、「ほとんど付き合いはない」の割合は未加入者の方が高くなっている。



8. 区内における社会貢献活動

(1) 過去1年間の社会貢献活動の経験

社会貢献活動の経験がある人は27.2%、ない人は72.8%となっている

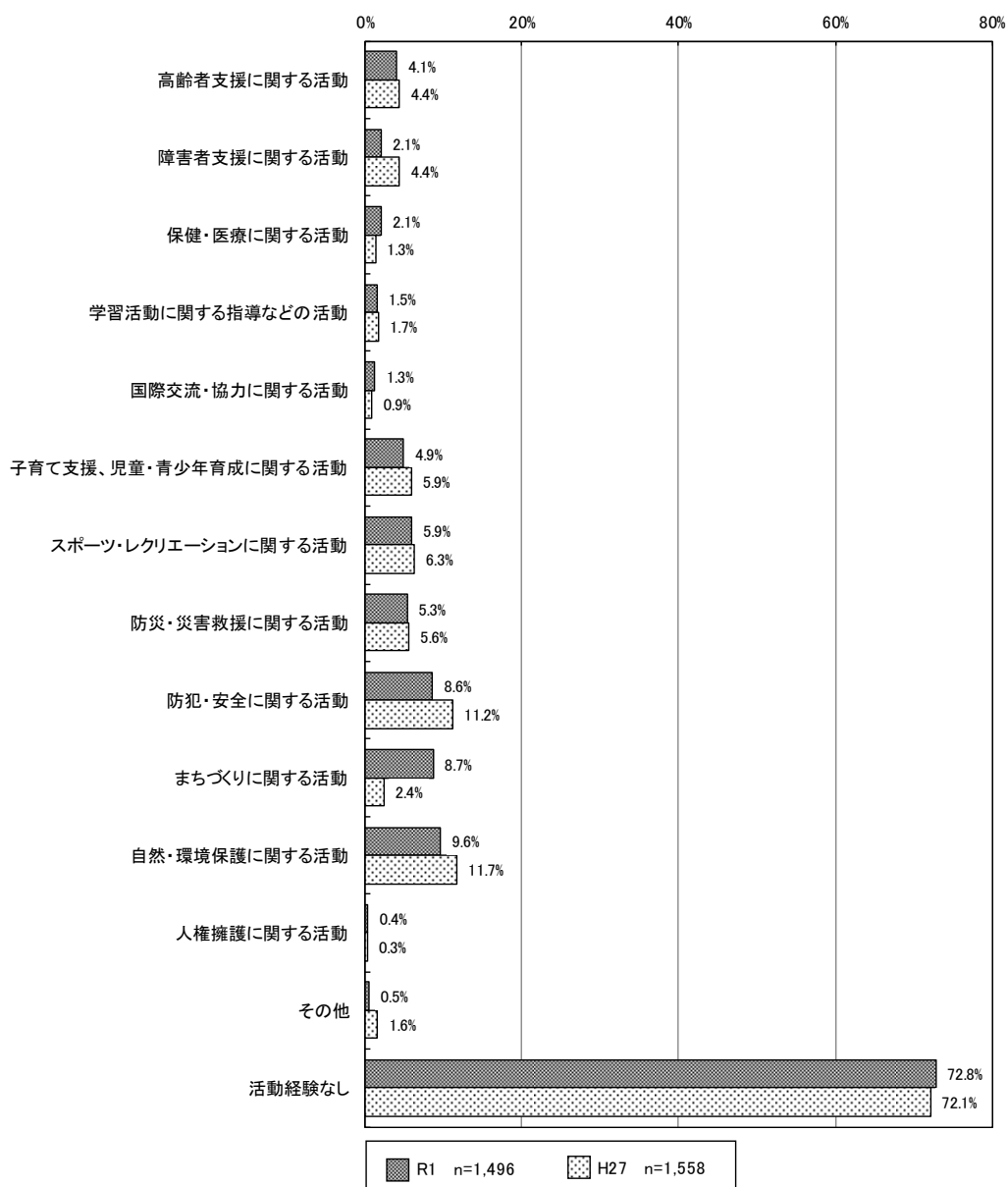
■全体の傾向

社会貢献活動の経験がある人は27.2%で、細かく見ると以下となっている。

「自然・環境保護に関する活動」が9.6%と最も高く、次いで「まちづくりに関する活動」が8.7%、「防犯・安全に関する活動」が8.6%となっている。

問14 あなたは、以下の1)～13)の社会貢献活動について、都筑区内において、過去1年間に、社会貢献活動(自治会町内会活動、ボランティア活動、NPO(特定非営利活動)法人活動など)を行ったことがありますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

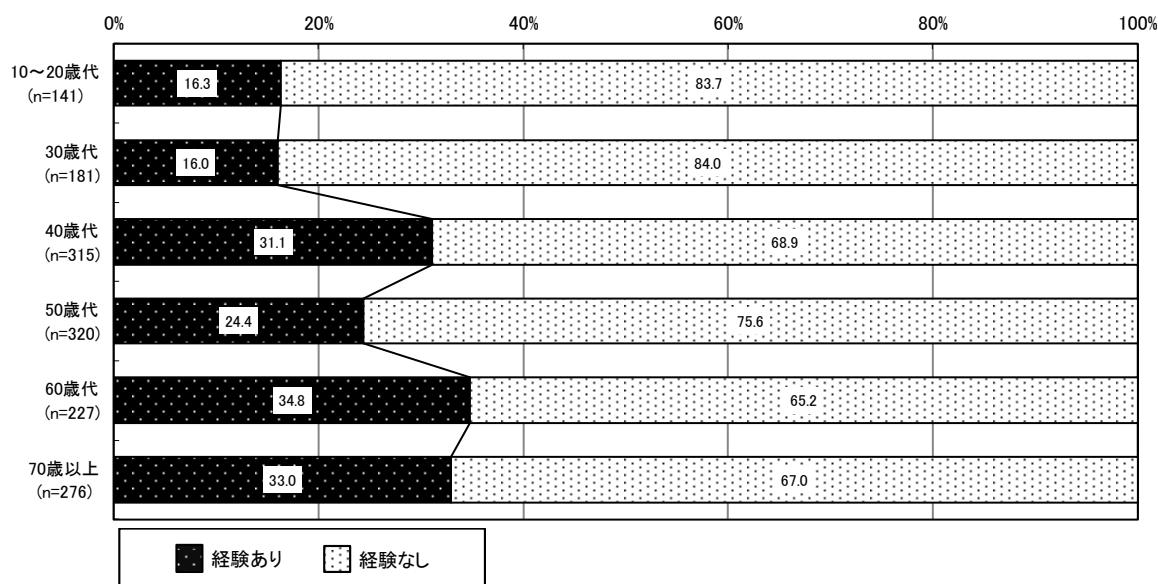
図92 過去1年間の社会貢献活動の経験



■回答者属性別にみる特徴

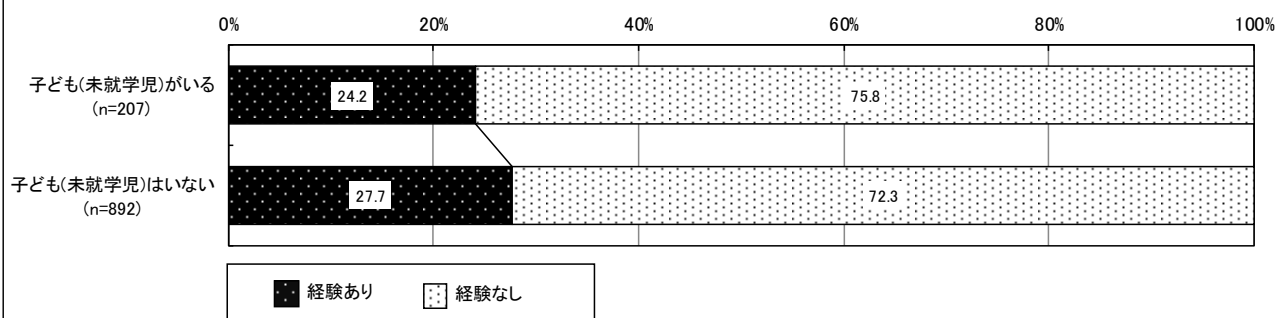
年代で見ると、「経験あり」の回答が「30歳代」が最も低く16.0%、「40歳代」、「60歳代」「70歳以上」は3割超となっており、「60歳代」が最も高く34.8%となっている。

図 93 過去1年間の社会貢献活動の経験有無（年代別）



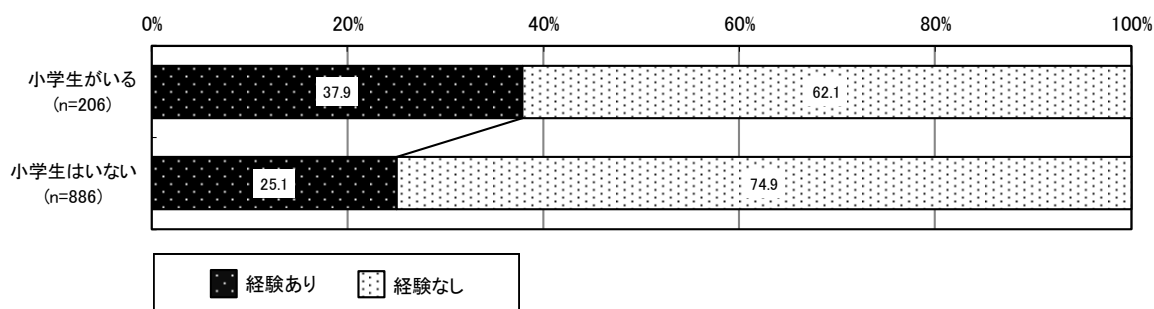
未就学児の同居有無別で見ると、「経験あり」は「未就学児がいる」人は24.2%、「未就学児はいない」人27.7%となっている。

図 94 過去1年間の社会貢献活動の経験有無（未就学児の有無別）



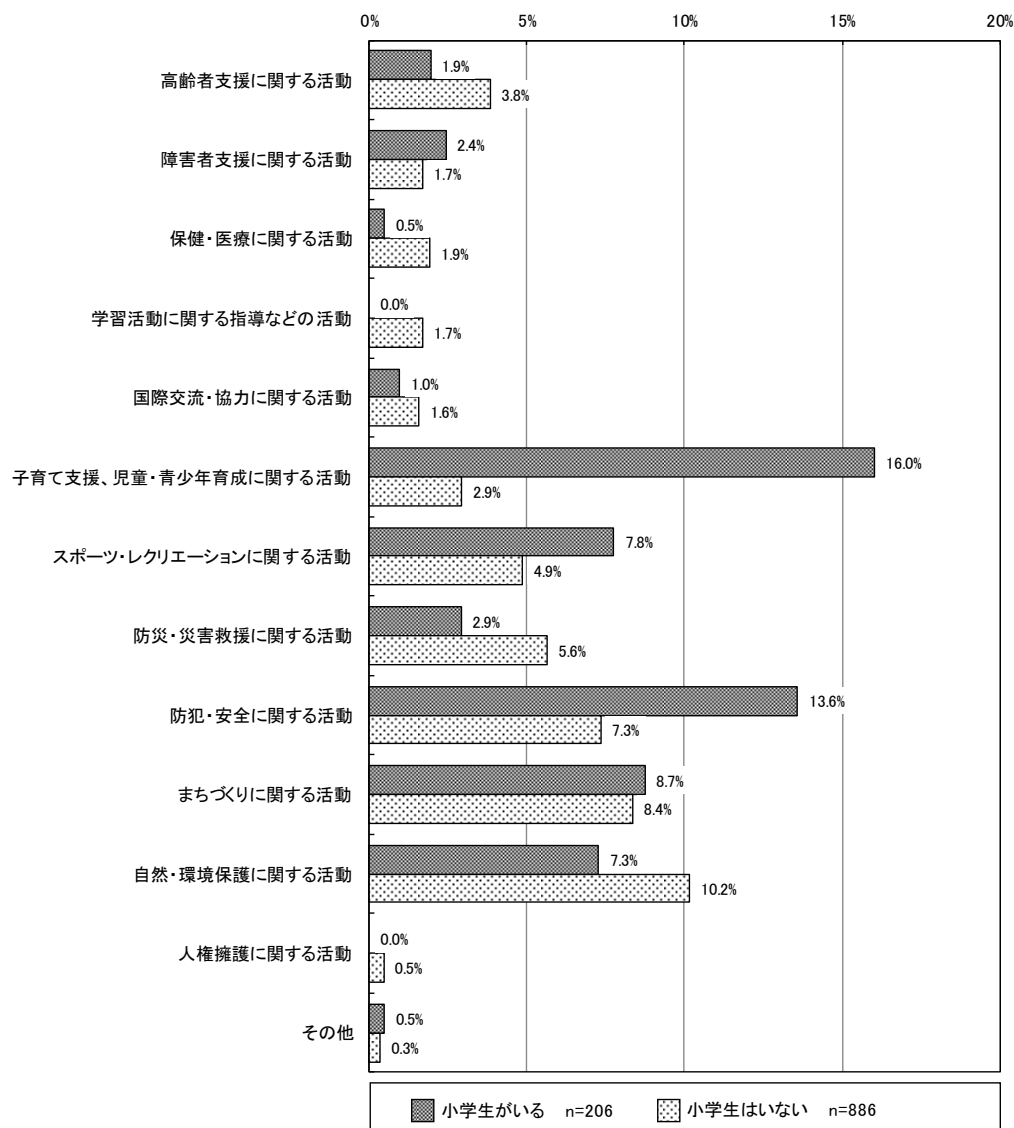
小学生の同居有無別でみると、「小学生がいる」人は「経験あり」が37.9%、「小学生はいない」人は「経験あり」は25.1%となっている。

図 95 過去1年間の社会貢献活動の経験有無（小学生の有無別）



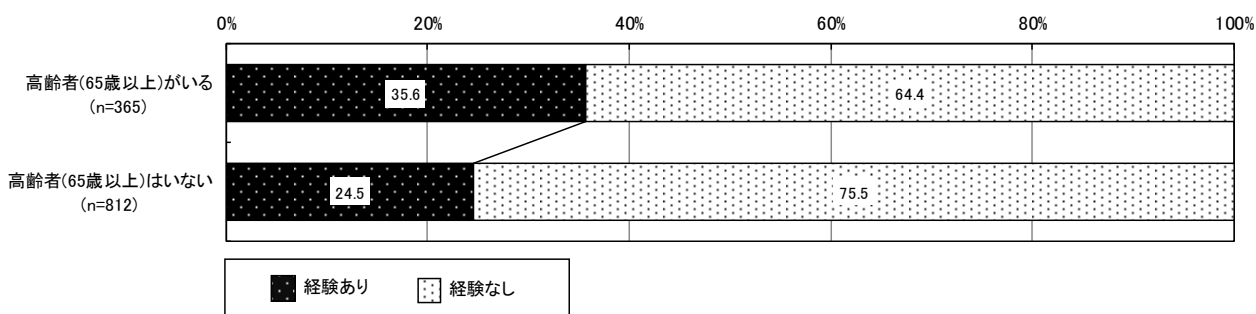
「小学生がいる」人では「子育て支援、児童、青少年育成に関する活動」が16.0%で最も高く、「小学生はいない」人では「自然・環境保護に関する活動」が10.2%で最も高くなっている。

図 96 過去1年間の社会貢献活動の経験有無（小学生の有無別）



高齢者の同居有無別でみると、「経験ある」人の割合は「高齢者（65歳以上）がいる」人は35.6%、「高齢者（65歳以上）はいない」人は24.5%となっている。

図 97 過去1年間の社会貢献活動の経験有無（高齢者の有無別）



(2) 社会貢献活動への参画意向

社会貢献活動への参画意向がある人は 43.2%、ない人は 56.8%

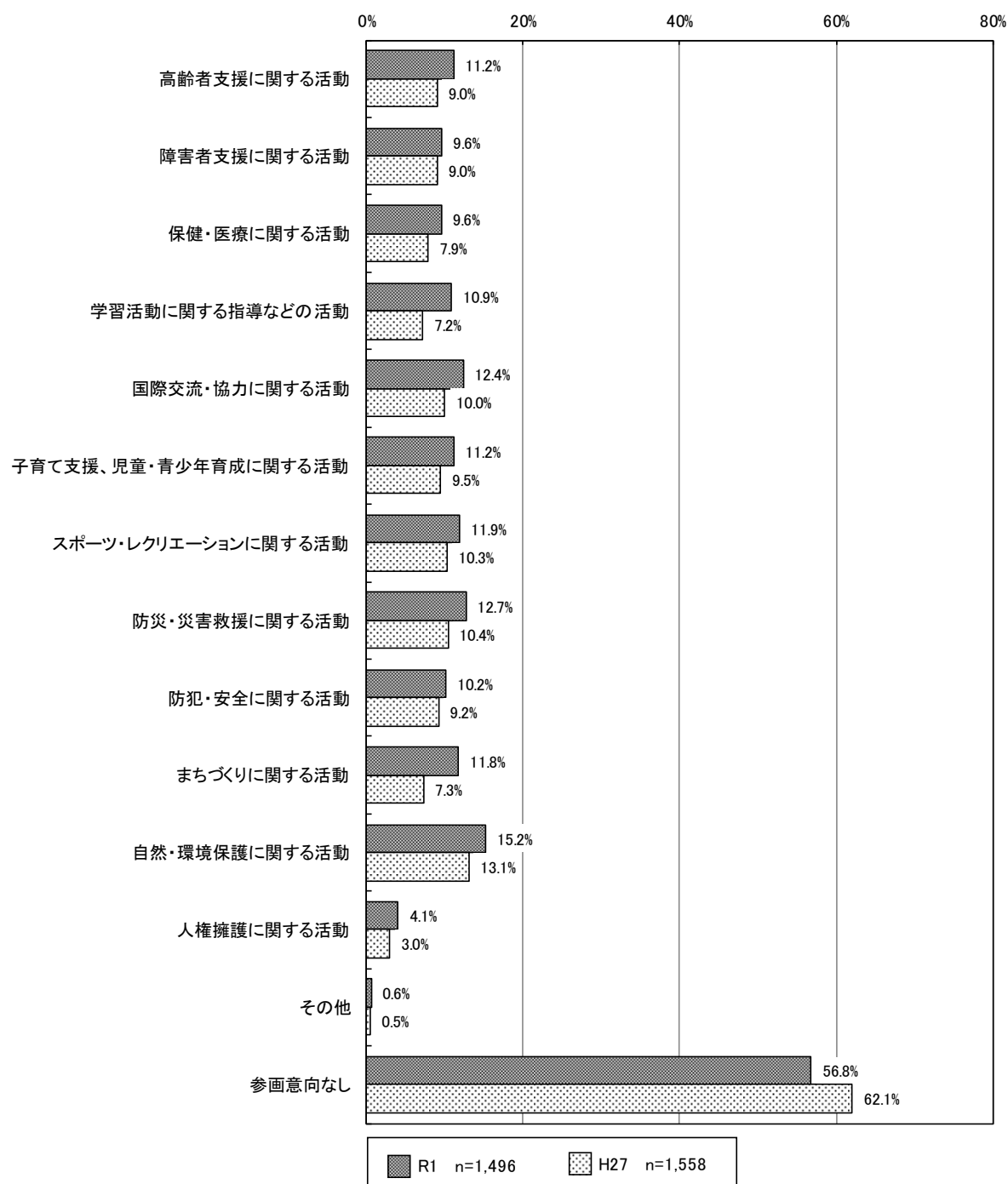
■全体の傾向

「自然・環境保護に関する活動」が 15.2%と最も高く、次いで「防災・災害救援に関する活動」が 12.7%、「国際交流・協力に関する活動」が 12.4%となっている。

前回調査と比べると「国際交流・協力に関する活動」の順位が上がっている。

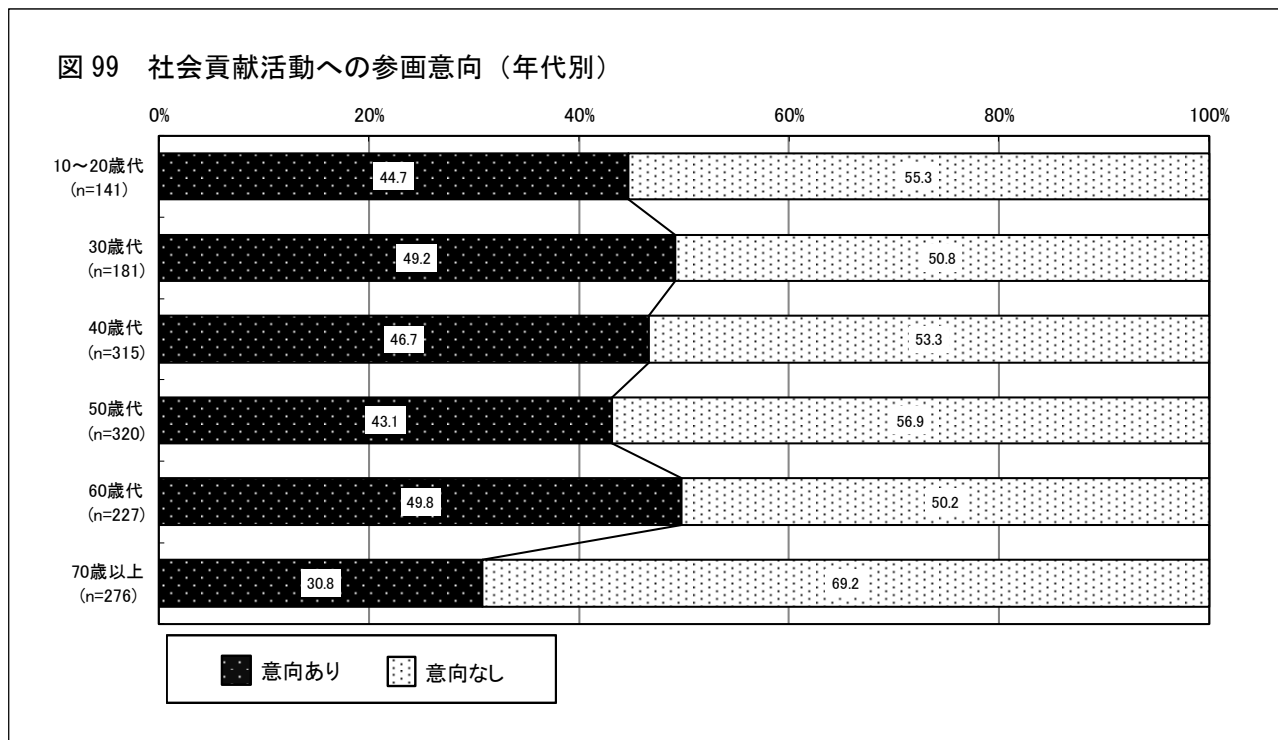
問 14 あなたは、以下の 1)～12)の社会貢献活動について、都筑区内において、今後新たに（もしくは継続して）参画したい活動がありますか。（〇はいくつでも）

図 98 社会貢献活動への参画意向

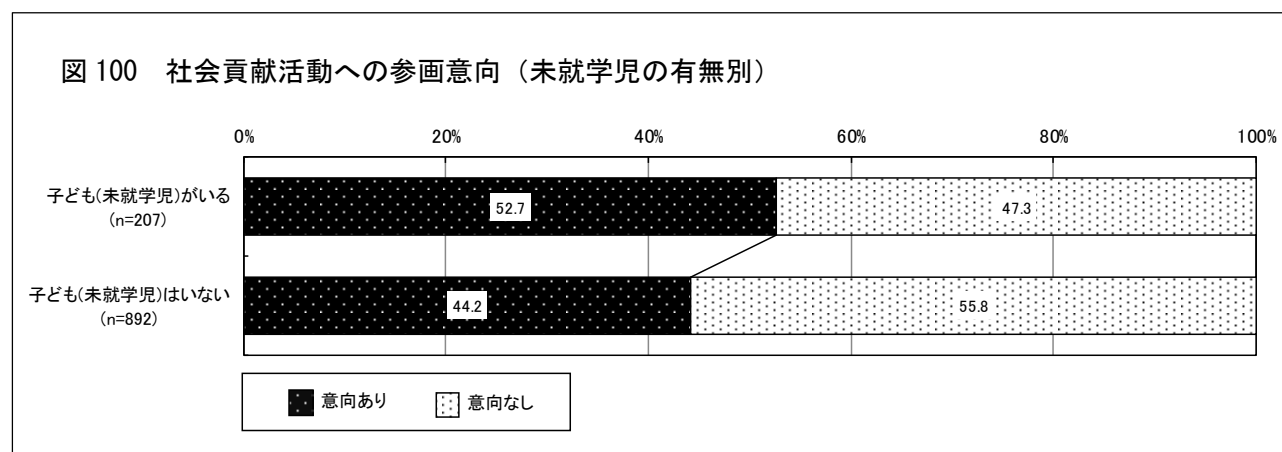


■回答者属性別にみる特徴

年代別で見ると、「70歳以上」は「意向あり」が30.8%で最も低くなっており、他の年代では4割から5割弱となっており、最も高いのは「60歳代」の49.8%となっている。

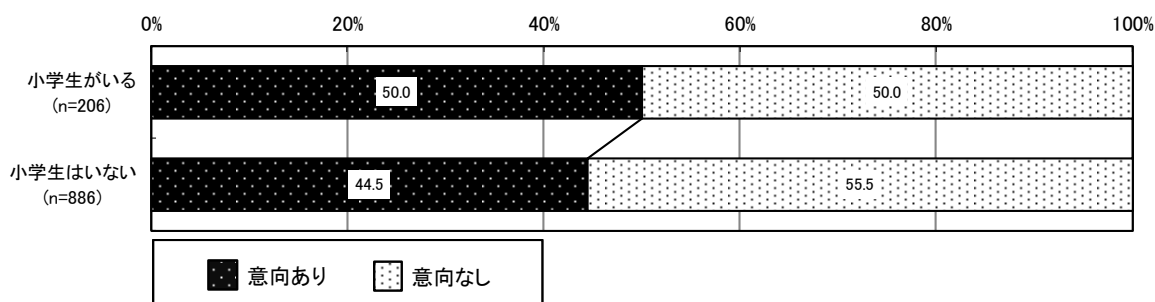


未就学児の同居有無別で見ると、「意向あり」は「未就学児がいる」人は52.7%、「未就学児はいない」人は44.2%となっている。



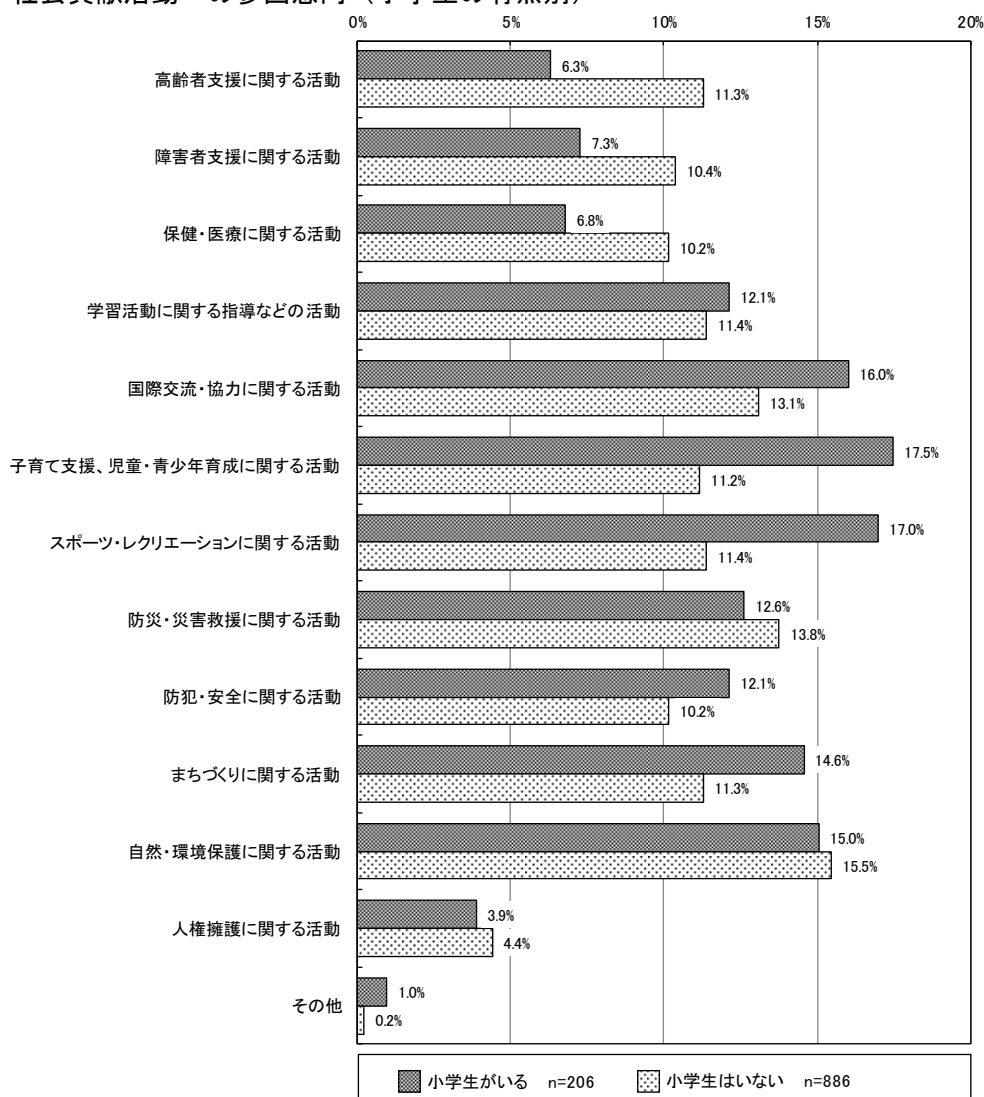
小学生の同居有無別でみると、「小学生がいる」人は「意向あり」が 50.0%、「小学生はいない」人は 44.5%で、「小学生がいる」人の方が「意向あり」が高くなっている。

図 101 社会貢献活動への参画意向（小学生の有無別）



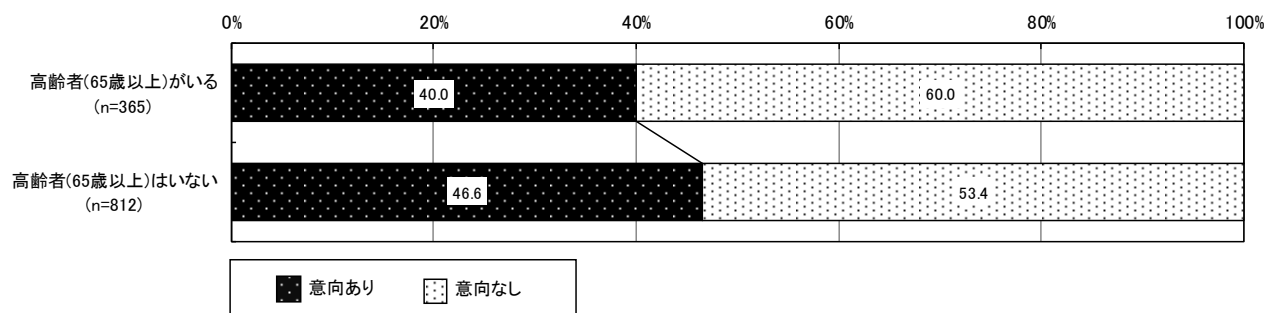
「小学生がいる」人では「子育て支援、児童・青少年育成に関する活動」が 17.5%で最も高く、「小学生はいない」人では「自然・環境保護に関する活動」が 15.5%で最も高くなっている。

図 102 社会貢献活動への参画意向（小学生の有無別）



高齢者の同居有無別でみると、「高齢者（65歳以上）がいる」人は「意向あり」が40.0%、「高齢者（65歳以上）はいない」人は「意向あり」は46.6%となっている。

図 103 社会貢献活動への参画意向（高齢者の有無別）



(3) 地域の中で充実させていくべき、重要度が高いと考える社会貢献活動

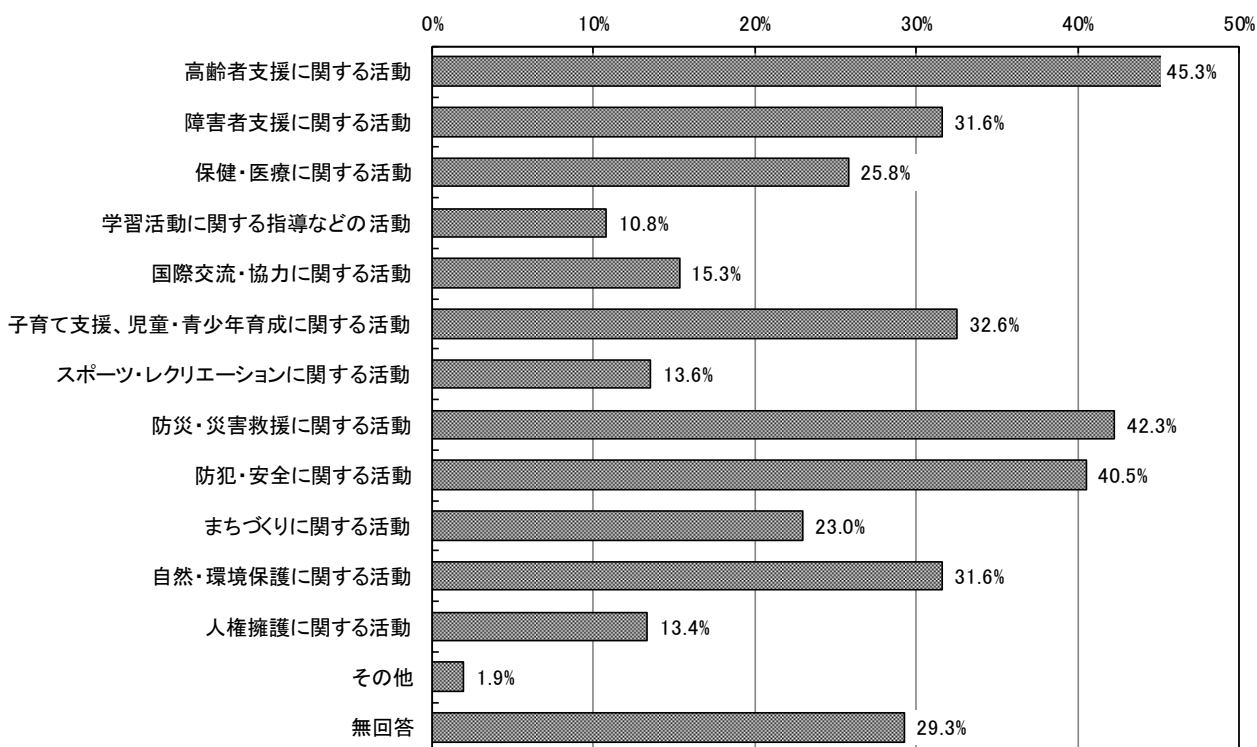
重要度が高い社会貢献活動は「高齢者支援に関する活動」が最も高い

■全体の傾向

「高齢者支援に関する活動」が 45.3%と最も高く、次いで「防災・災害救援に関する活動」が 42.3%、「防犯・安全に関する活動」 40.5%となっている。

問 14 あなたは、以下の 1)～12) の社会貢献活動について、今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動がありますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

図 104 重要度が高いと考える社会貢献活動

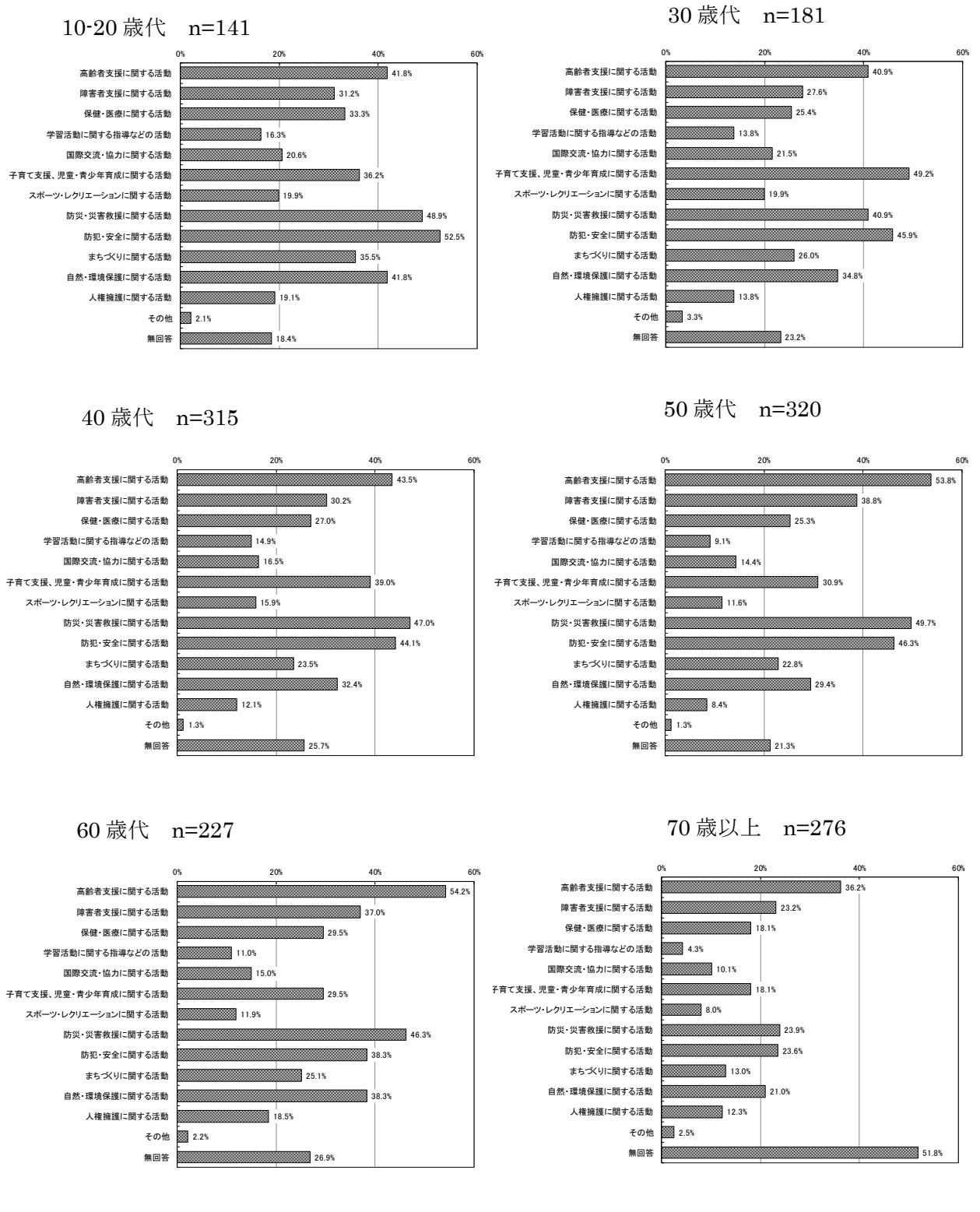


■回答者属性別に見る特徴

年代別にみると、30代を除いた全ての年代で「高齢者支援に関する活動」、「防災・災害救援に関する活動」、「防犯・安全に関する活動」、の割合が高くなっている。

「高齢者支援に関する活動」が最も高いのは「60歳代」、「防災・災害救援に関する活動」は「50歳代」、「防犯・安全に関する活動」は「10-20歳代」になっている。

図 105 重要度が高いと考える社会貢献活動（年代別）



(4) 初めて社会貢献活動に参加したきっかけ

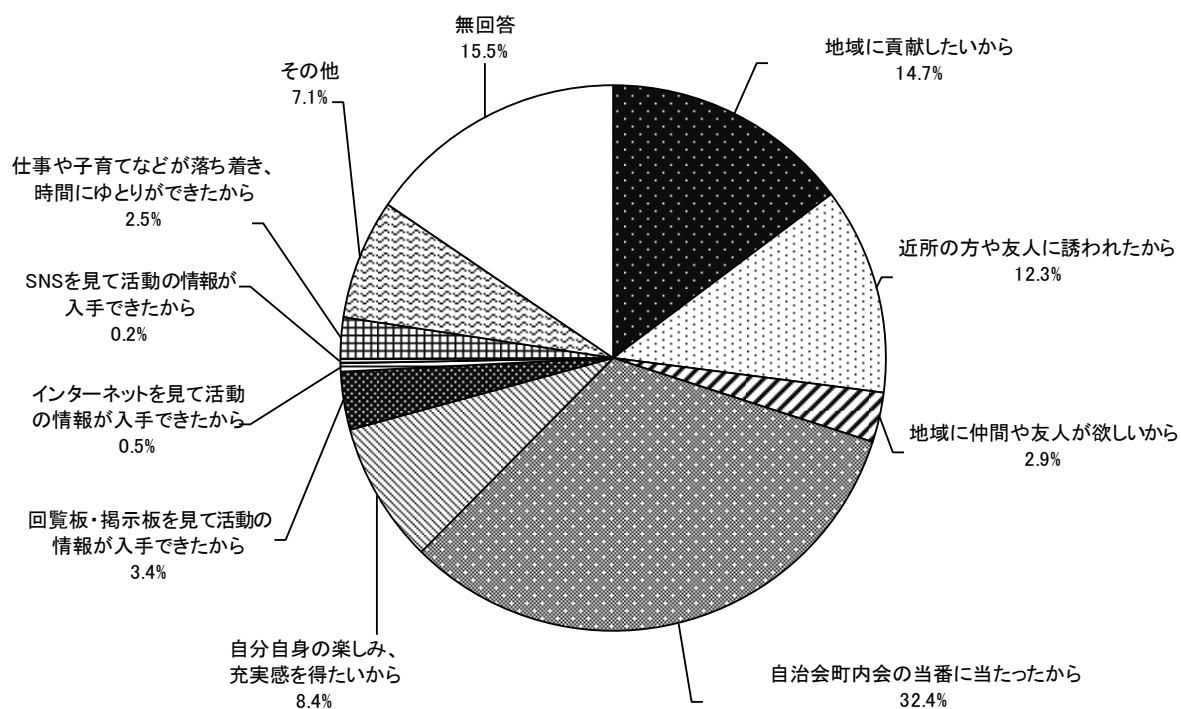
社会貢献活動に参加したきっかけは「自治会町内会の当番にあたったから」が最も高く3割超

■全体の傾向

「自治会町内会の当番にあたったから」が32.4%と最も高く、次いで「地域に貢献したいから」14.7%、「近所の方や友人に誘われたから」12.3%となっている。

問 14-1 問 14①で 1)から 13)にひとつでも○をつけた方にお聞きします。初めて社会貢献活動に参加したきっかけは、この中のどれにあたりますか。(○はひとつ) (n=407)

図 106 初めて社会貢献活動に参加したきっかけ



(5) 社会貢献活動に参加しやすい状況

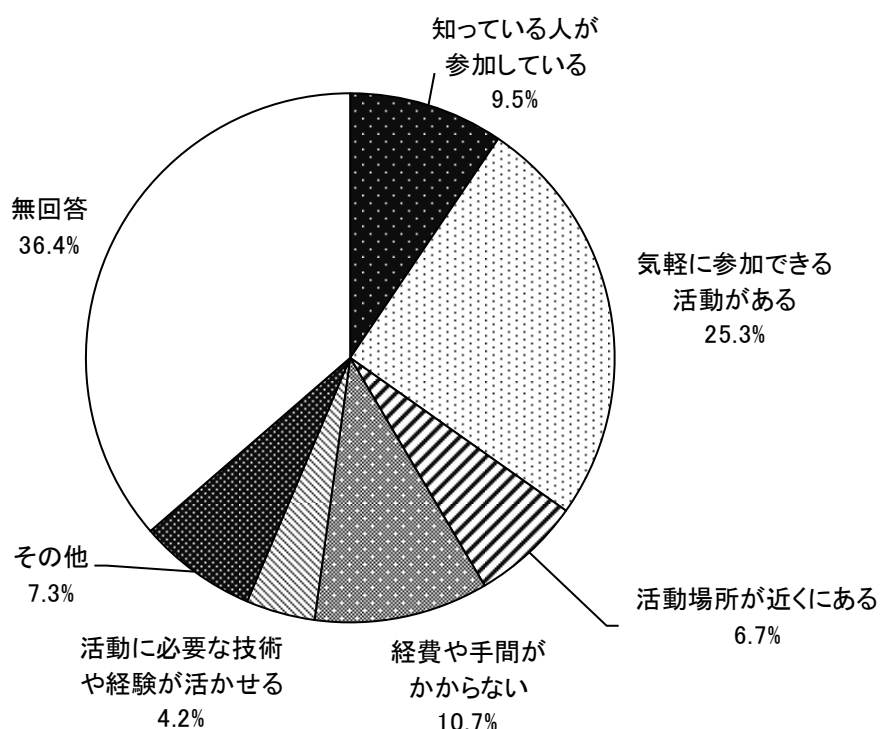
社会貢献活動に参加しやすい状況は「気軽に参加できる活動がある」が最も高い

■全体の傾向

「気軽に参加できる活動」が25.3%と最も高く、次いで「経費や手間がかからない」10.7%、「知っている人が参加している」9.5%となっている。

問 14-2 問 14①で 1) から 13) に○をつけなかった方にお聞きます。どのような状況であれば社会貢献活動に参加しやすいですか。(○はひとつ) (n=1,089)

図 107 どのような状況であれば社会貢献活動に参加しやすいか



9. 地域の福祉保健活動

(1) 近所の方に手伝いできること

近所の方に手伝いできることは「安否確認の声掛け」と「災害時の避難の手助け」が5割を超えている

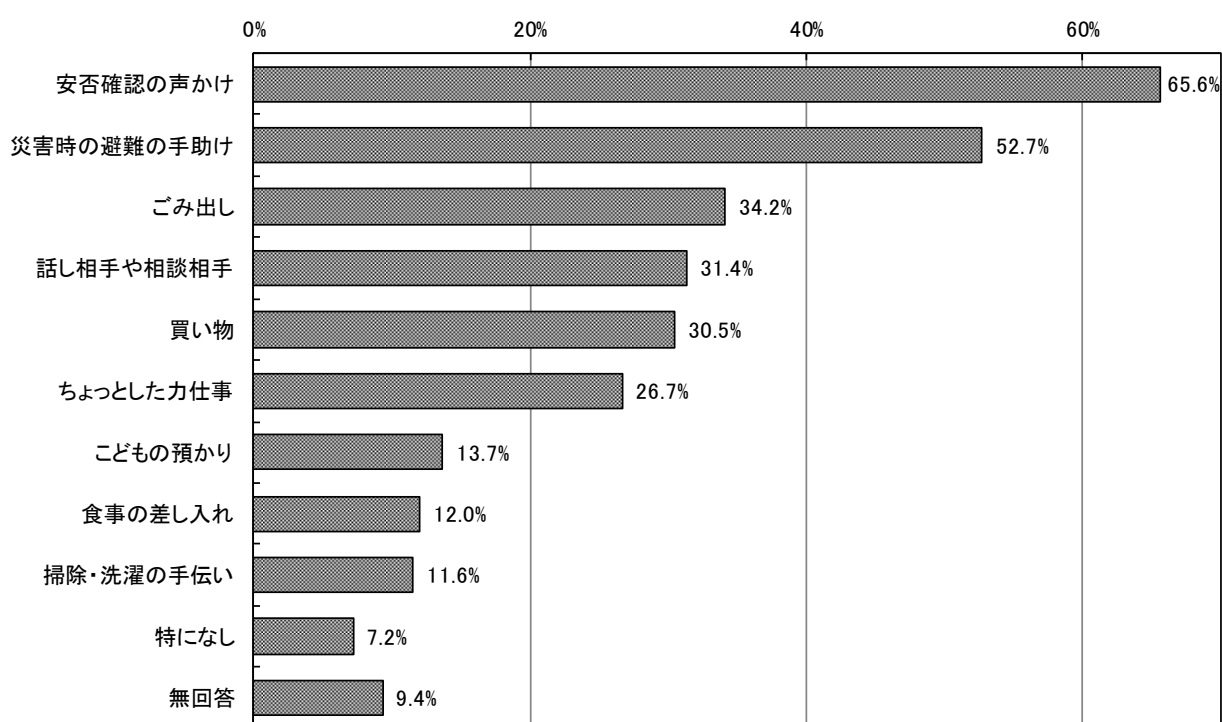
■全体の傾向

「安否確認の声掛け」が 65.6%と最も高く、次いで「災害時の避難の手助け」52.7%、「ごみ出し」34.2%となっている。

問 15 あなたは近所の困っている方にどのような手伝いができると思いますか。(〇はいくつでも)

(n=1,496)

図 108 近所の方に手伝いできること



(2) 近所の方に手伝ってほしいこと

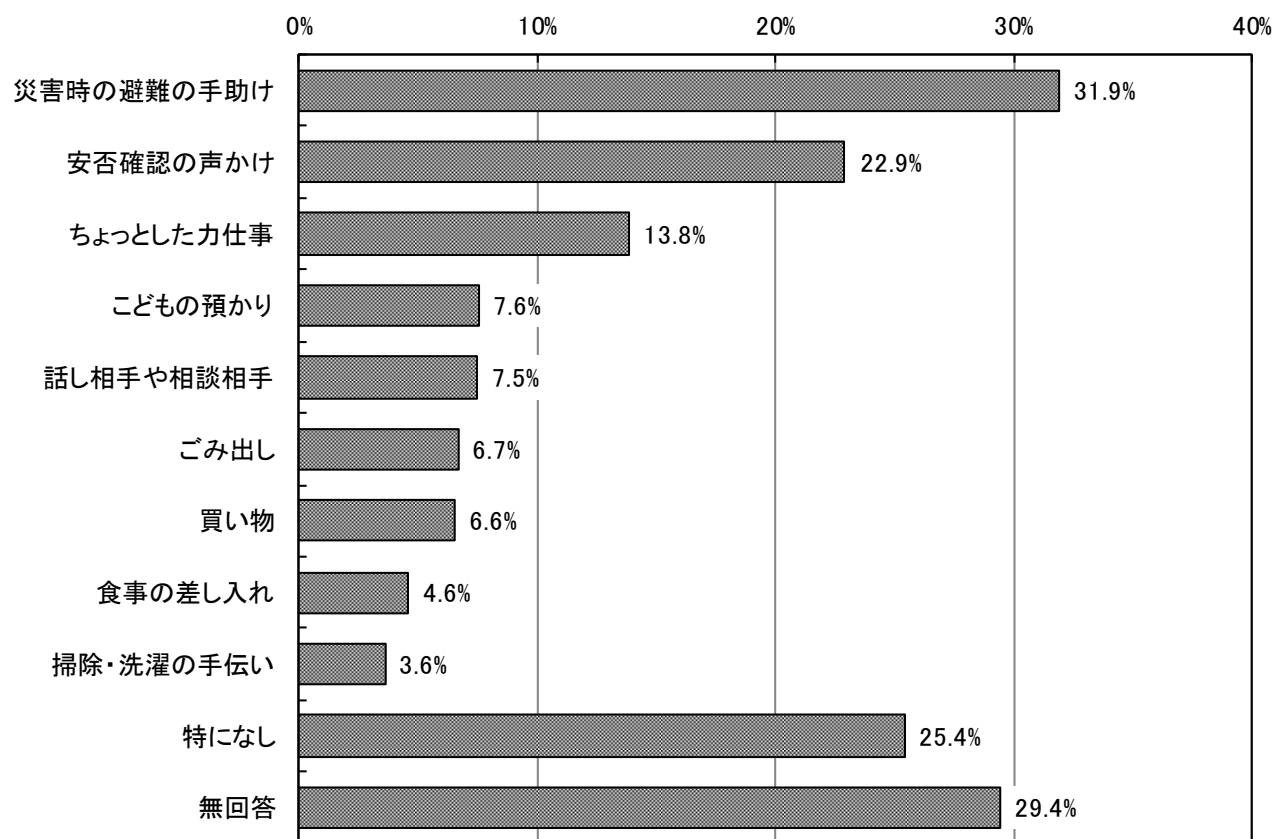
近所の方に手伝ってほしいことは「災害時の避難の手助け」が最も高く、3割を超えている

■全体の傾向

「災害時の避難の手助け」が31.9%と最も高く、次いで「特になし」25.4%、「安否確認の声掛け」22.9%となっている。

問15 少し困ったことがあった場合、ご近所から手伝ってもらいたいことはありますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

図109 近所の方に手伝ってほしいこと



10. 子ども・子育て支援

(1) 子育て経験の有無

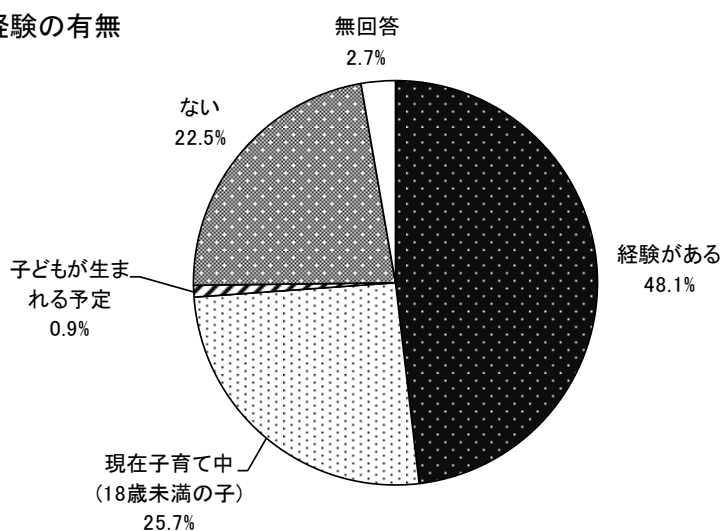
「経験がある」「現在子育て中（18歳未満の子）」と合わせて7割超

■全体の傾向

「経験がある」が48.1%と最も高く、「現在子育て中（18歳未満の子）」25.7%と合わせると73.8%が子育て経験がある。

問16 あなたは、子育ての経験がありますか。(〇はひとつ) (n=1,496)

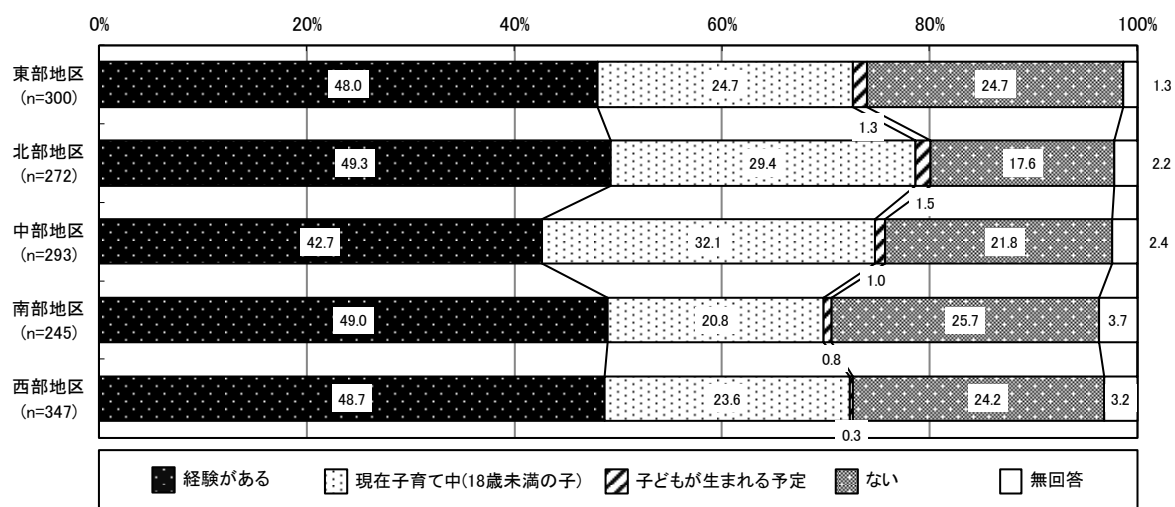
図110 子育て経験の有無



■地区別に見る特徴

地区別にみると、「経験がある」は、「北部地区」が49.3%で最も高くなっている。「現在子育て中（18歳未満の子）」は、「中部地区」が32.1%で最も高くなっている。

図111 子育て経験の有無（地区別）



(2) 妊娠中の方に役に立つ情報

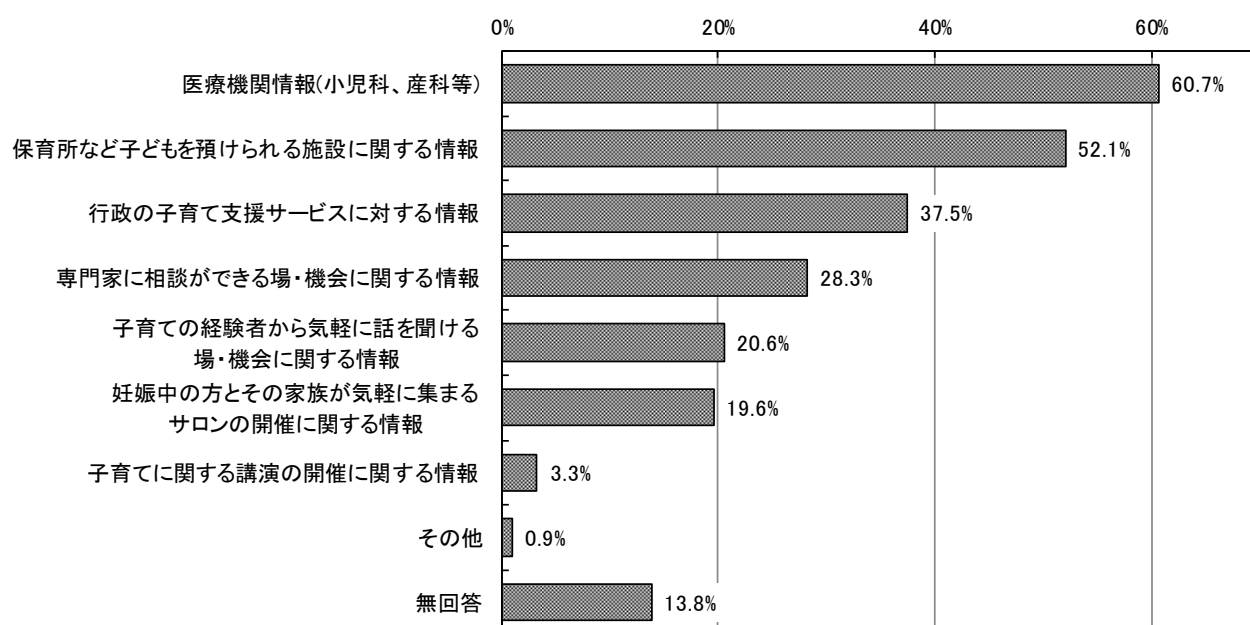
妊娠中の方にとって役立つ情報は「医療機関情報(小児科、産科等)」が最も高く6割超

■全体の傾向

「医療機関情報(小児科、産科等)」が60.7%と最も高く、次いで「保育所など子どもを預けられる施設に関する情報」が52.1%、「行政の子育て支援サービスに関する情報」が37.5%となっている。

問17 あなたは、妊娠中の方とその家族にとって、どのような情報があると役に立つと思いますか。
(〇は3つまで) (n=1,496)

図112 妊娠中の方に役立つ情報



(3) 安心して子育てを行うために必要な施策

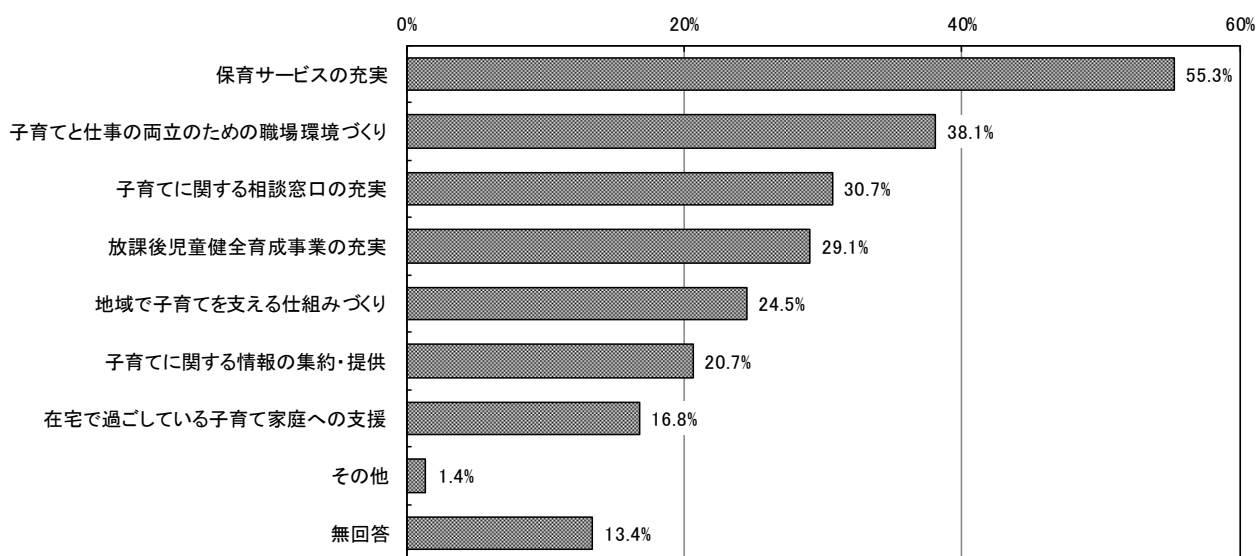
安心して子育てを行うために必要な施策は「保育サービスの充実」が最も高く5割超

■全体の傾向

「保育サービスの充実」が55.3%と最も高く、次いで「子育てと仕事の両立のための職場環境づくり」が38.1%、「子育てに関する相談窓口の充実」が30.7%となっている。

問18 あなたは、安心して子育てを行うためには、どのような施策が必要だと思いますか。
(〇は3つまで) (n=1,496)

図113 安心して子育てを行うために必要な施策



(4) 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応

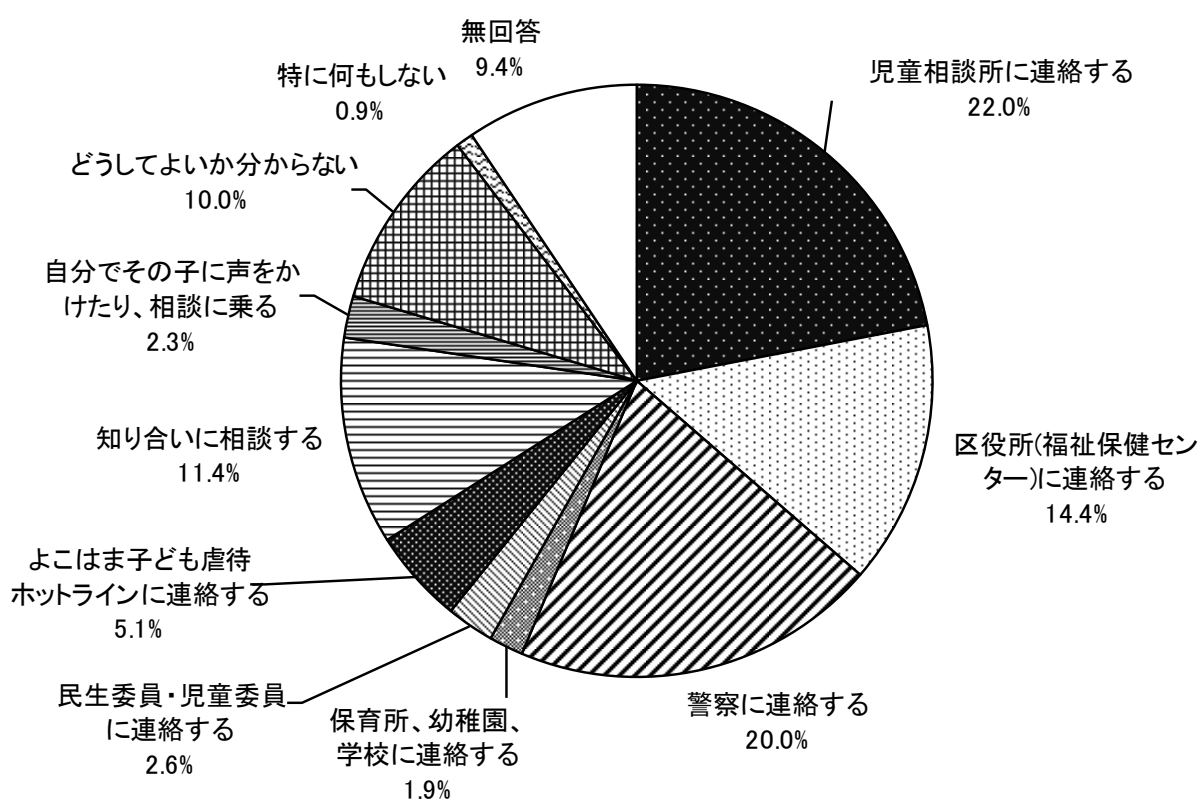
虐待の疑いに気づいた場合、「児童相談所に連絡する」が最も高く2割超

■全体の傾向

「児童相談所に連絡する」が22.0%と最も高く、次いで「警察に連絡する」20.0%、「区役所(福祉保健センター)に連絡する」14.4%となっている。

問 19 あなたは、児童虐待が疑われる児童に気がついた場合、どのような対応をとりますか。
(最もあてはまるものひとつに○) (n=1,496)

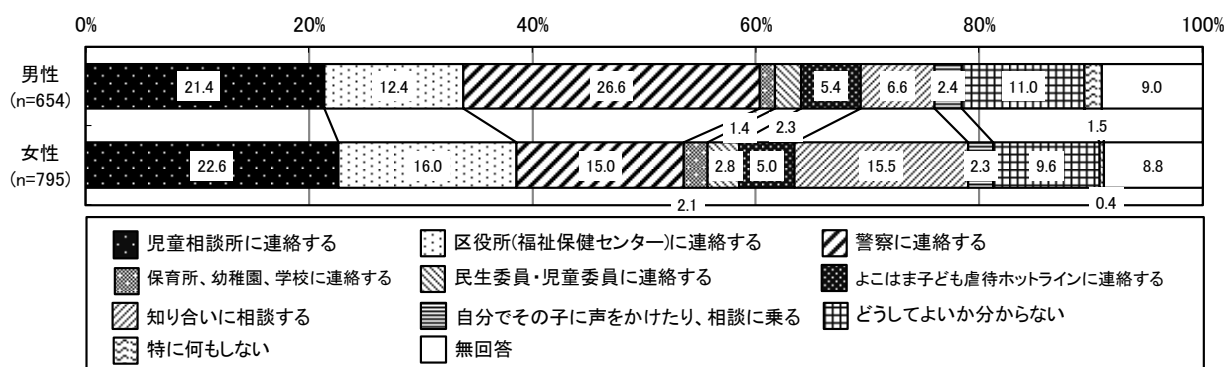
図 114 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応



■回答者属性別にみる特徴

性別で見ると、「警察に連絡する」が「男性」が26.6%に対して、「女性」は15.0%、「知り合いに相談する」が「女性」が15.5%に対して、「男性」は6.6%となっている。

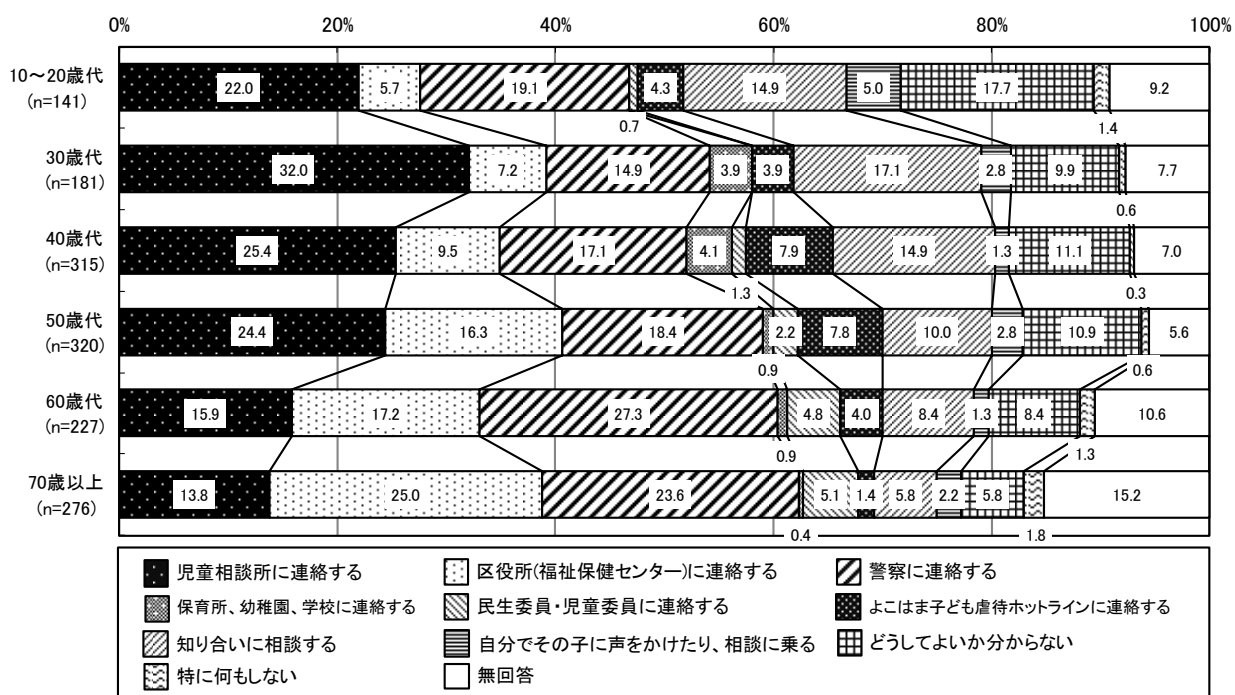
図 115 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応（性別）



年代別で見ると、「10～20 歳代」から「50 歳代」までは「児童相談所に連絡する」が最も高く、「60 歳代」は「警察に連絡する」、「70 歳以上」は「区役所(福祉保健センター)に連絡する」が最も高くなっている。

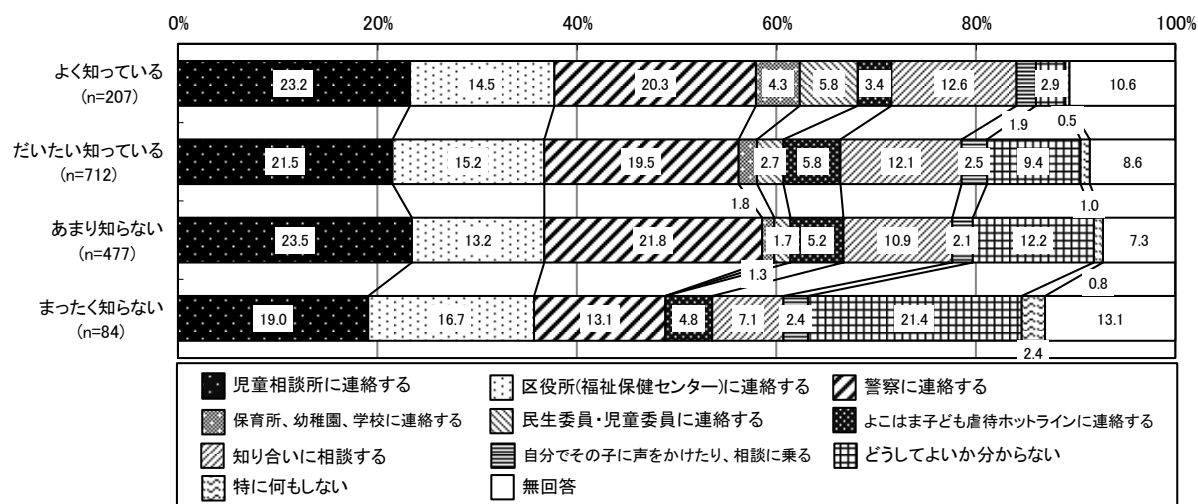
次いで高いのは「10～20 歳代」、「40 歳代」、「50 歳代」では「警察に連絡する」、「30 歳代」は「知り合いに相談する」、「60 歳代」は「区役所(福祉保健センター)に連絡する」、「70 歳代」では「警察に連絡する」となっている。

図 116 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応（年代別）



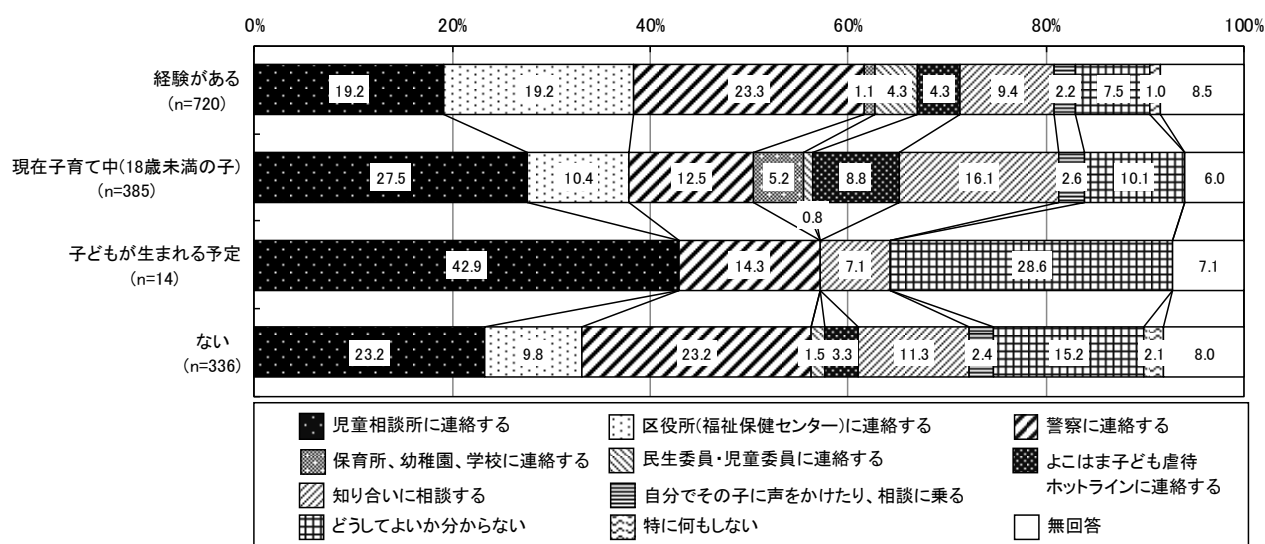
近所に住む人の認知別でみると、全体的に「児童相談所に連絡する」の割合が最も高くなっているが、近所の人を『知っている』ほど「知り合いに相談する」割合が高くなり、『知らない』ほど「どうしてよいか分からない」割合が高くなっている。

図 117 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応（近所に住む人の認知別）



子育て経験の有無別でみると「経験がある」では「警察に連絡する」の割合が最も高くなっているが、その他は「児童相談所に連絡する」の割合が最も高くなっている。

図 118 虐待が疑われる児童に気がついた場合の対応（子育て経験の有無別）



11. 健康づくり

(1) 健康づくりの取組で重要だと思うこと、実際に取り組んでいること

「重要だと思うこと」の比率が高い項目は、「取り組んでいること」でも比率が高くなっている

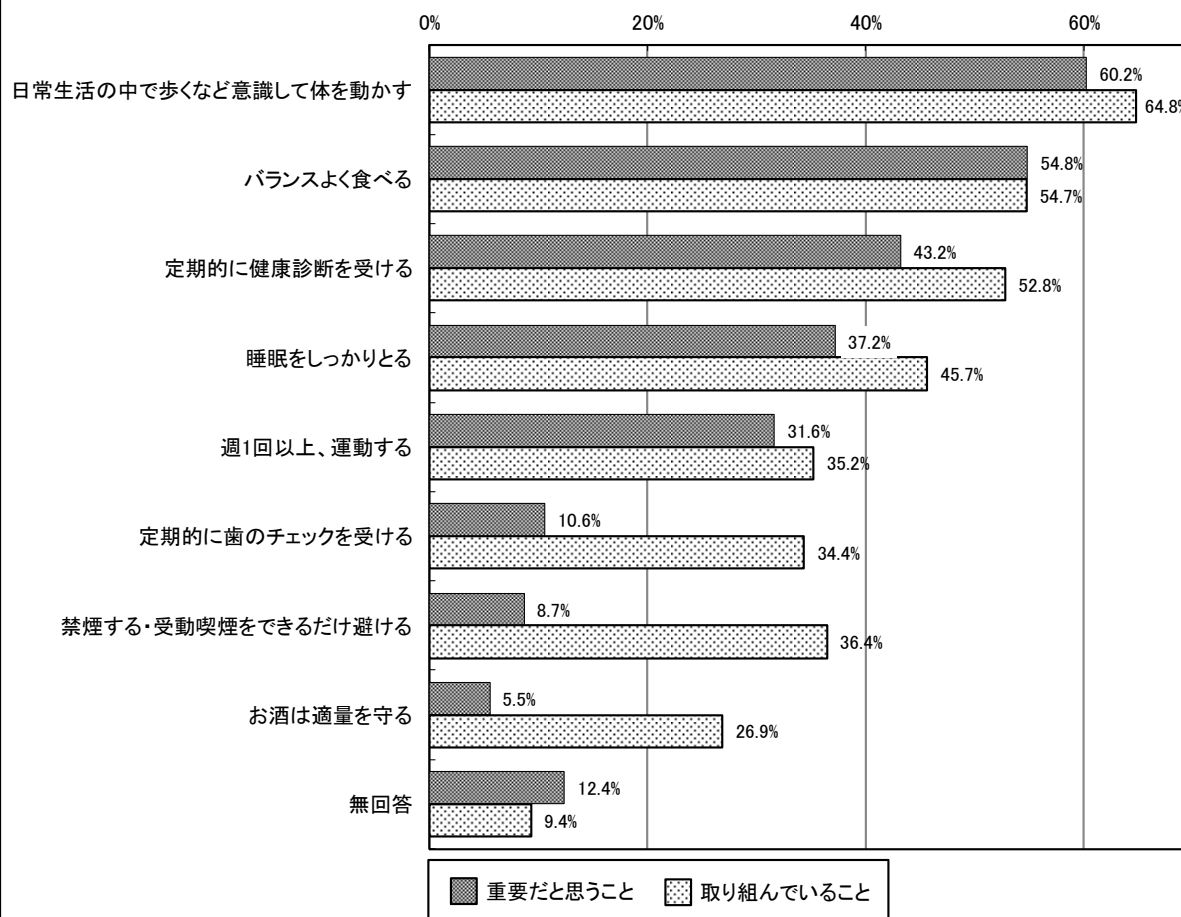
■全体の傾向

「重要だと思うこと」は、「日常生活の中で歩くなど意識して体を動かす」が60.2%と最も高く、次いで「バランスよく食べる」が54.8%、「定期的に健康診断を受ける」が43.2%となっている。

「取り組んでいること」について、「日常生活の中で歩くなど意識して体を動かす」が64.8%と最も高く、次いで「バランスよく食べる」が54.7%、「定期的に健康診断を受ける」が52.8%となっている。

問20 あなたが健康づくりの取組について重要だと思うことは何ですか。(○は3つまで)
また、ご自身が実際に取り組んでいること何ですか。(○はいくつでも) (n=1,496)

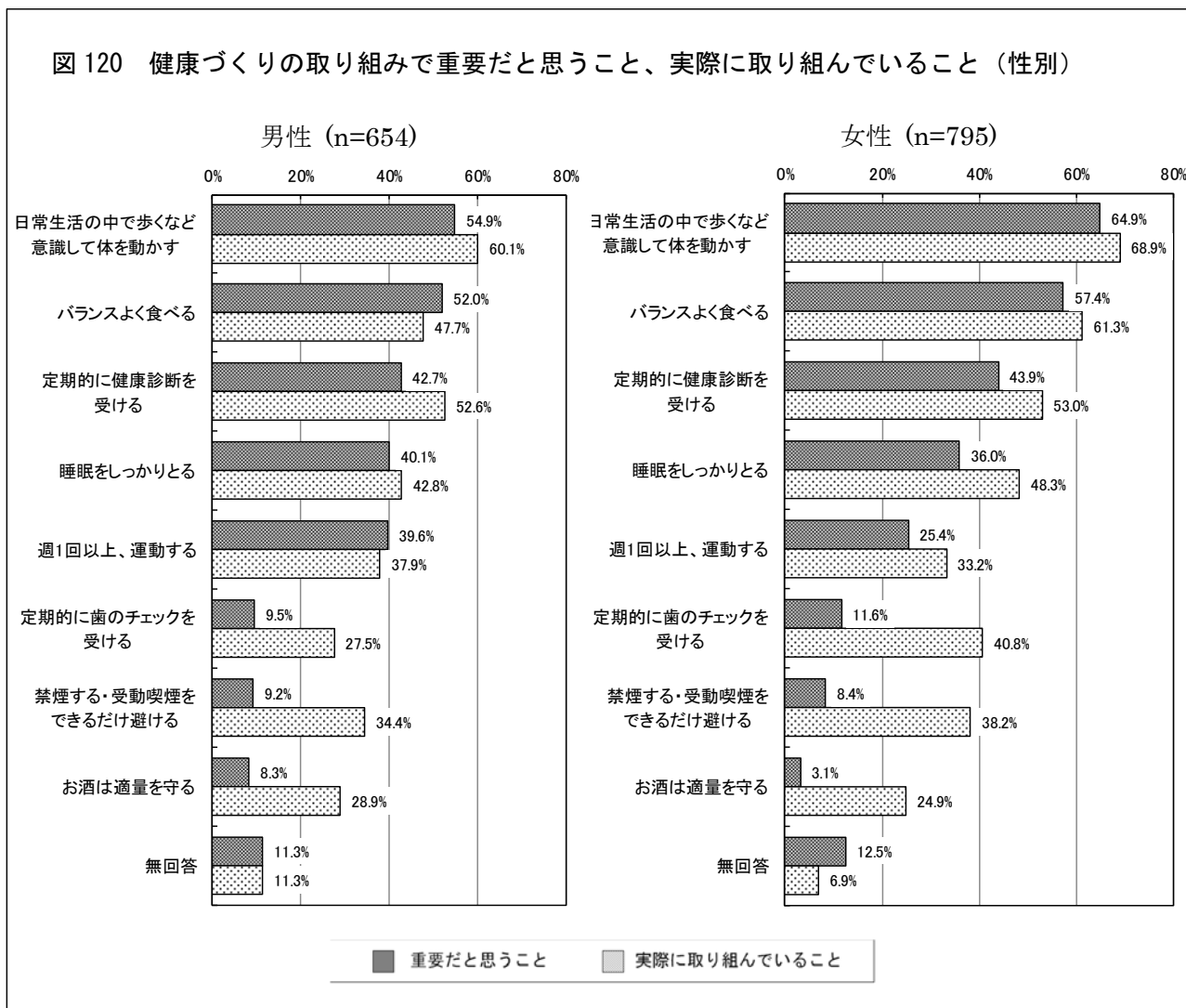
図119 健康づくりの取組みで重要だと思うこと、実際に取り組んでいること



■回答者属性別にみる特徴

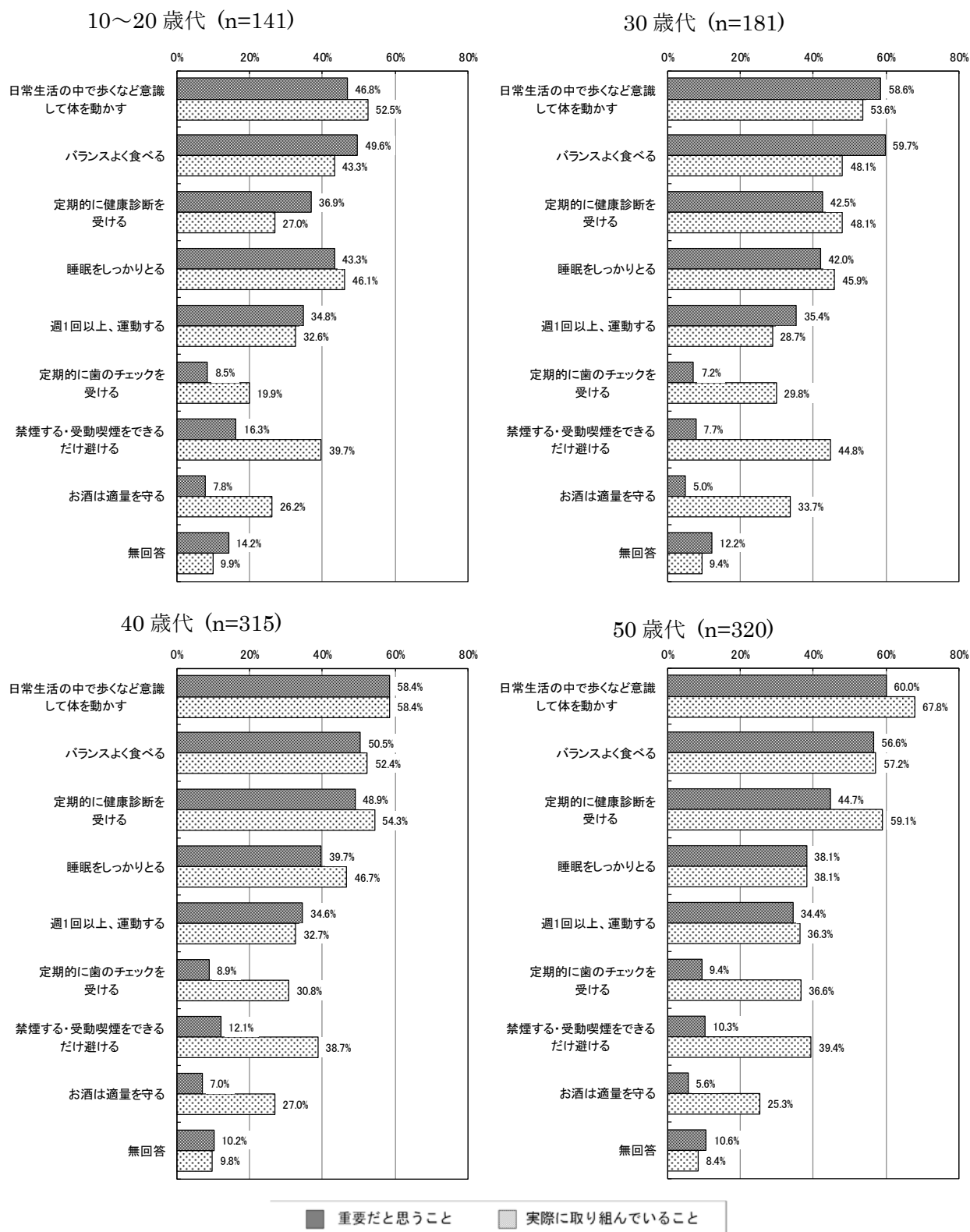
性別で見ると、全体的にほぼ同様の傾向であるが、「女性」は、「バランスよく食べる」と「週1回以上、運動する」が「重要だと思う」割合より「実際に取り組んでいる」割合が高く、「男性」は、「実際に取り組んでいる」割合が低い。

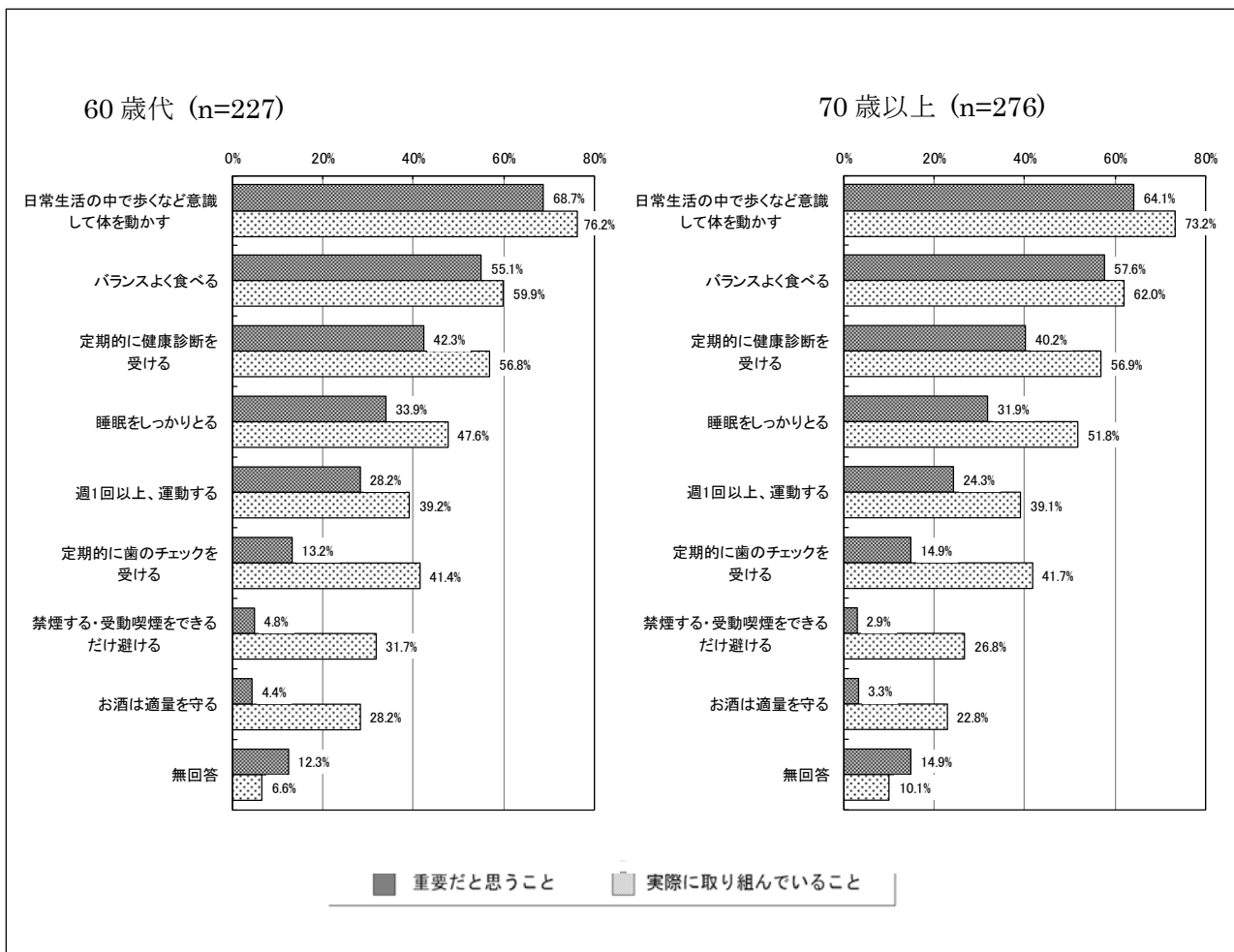
図 120 健康づくりの取り組みで重要だと思うこと、実際に取り組んでいること（性別）



年代別で見ると、全体的にはほぼ同様の傾向であるが、「10～20 歳代」、「30 歳代」は、「バランスよく食べる」について、「重要だと思う」割合よりも「実際に取り組んでいる」割合が低く、「40 歳代」、「50 歳代」は「バランスよく食べる」が「重要だと思う」割合よりも「実際に取り組んでいる」割合が高い。

図 121 健康づくりの取り組みで重要だと思うこと、実際に取り組んでいること（年代別）





(2) 健康づくりに必要な施策

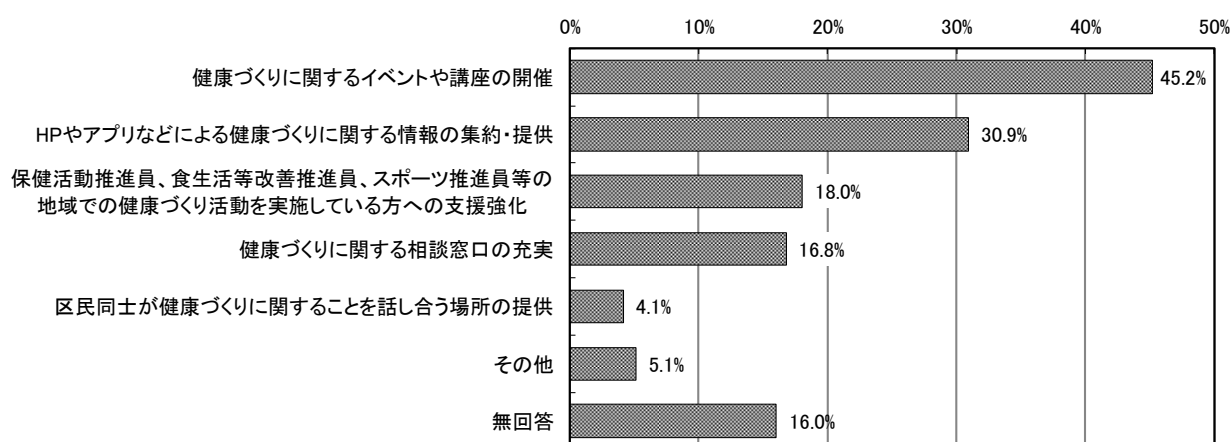
健康づくりに必要な施策は、「健康づくりに関するイベントや講座の開催」が最も高く4割超

■全体の傾向

「健康づくりに関するイベントや講座の開催」が45.2%と最も高く、次いで「HPやアプリなどによる健康づくりに関する情報の集約・提供」が30.9%、「保健活動推進員、食生活等改善推進員、スポーツ推進員等の地域での健康づくり活動を実施している方への支援強化」が18.0%となっている。

問 21 あなたが健康づくりの取組を行うためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は2つまで)。(n=1,496)

図 122 健康づくりの取組みに必要な施策。



12. 高齢者支援

(1) 高齢者の生活で特に不安なこと

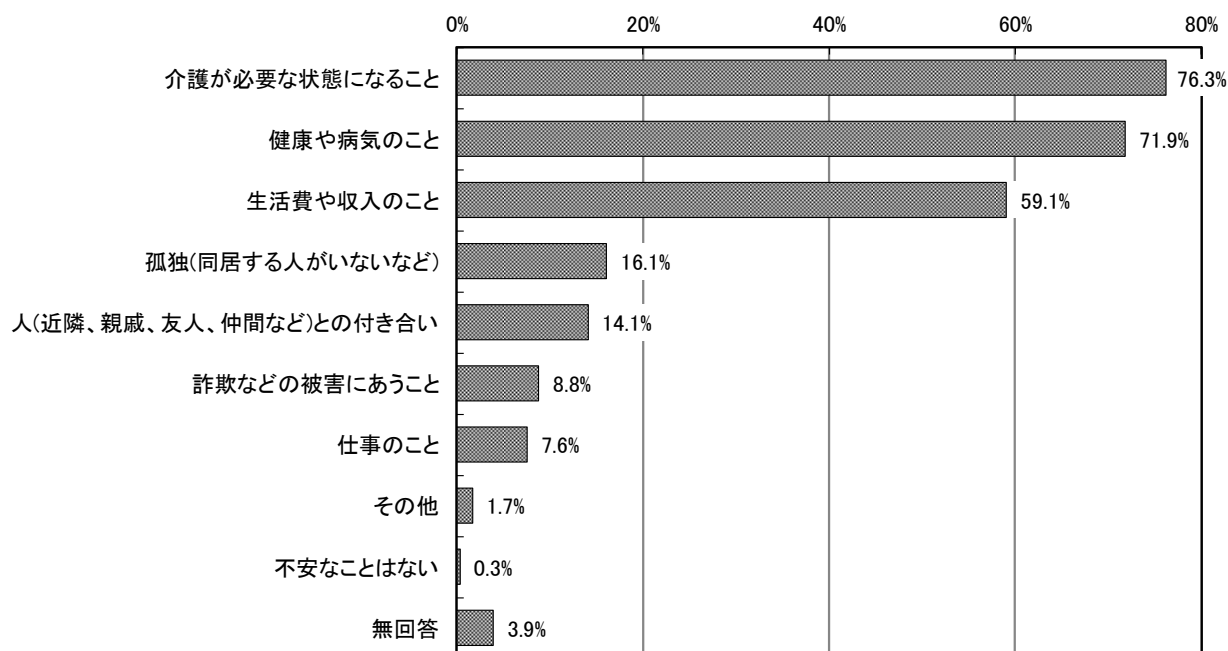
不安なことは「介護が必要な状態になること」「健康や病気のこと」「生活費や収入のこと」の割合が高い

■全体の傾向

「介護が必要な状態になること」が76.3%と最も高く、次いで「健康や病気の事」の71.9%、「生活費や収入の事」の59.1%となっている。

問 22 高齢者の生活で特に不安なことは何ですか。高齢者でない方は、将来を想定してお答えください。(〇は3つまで) (n=1,496)

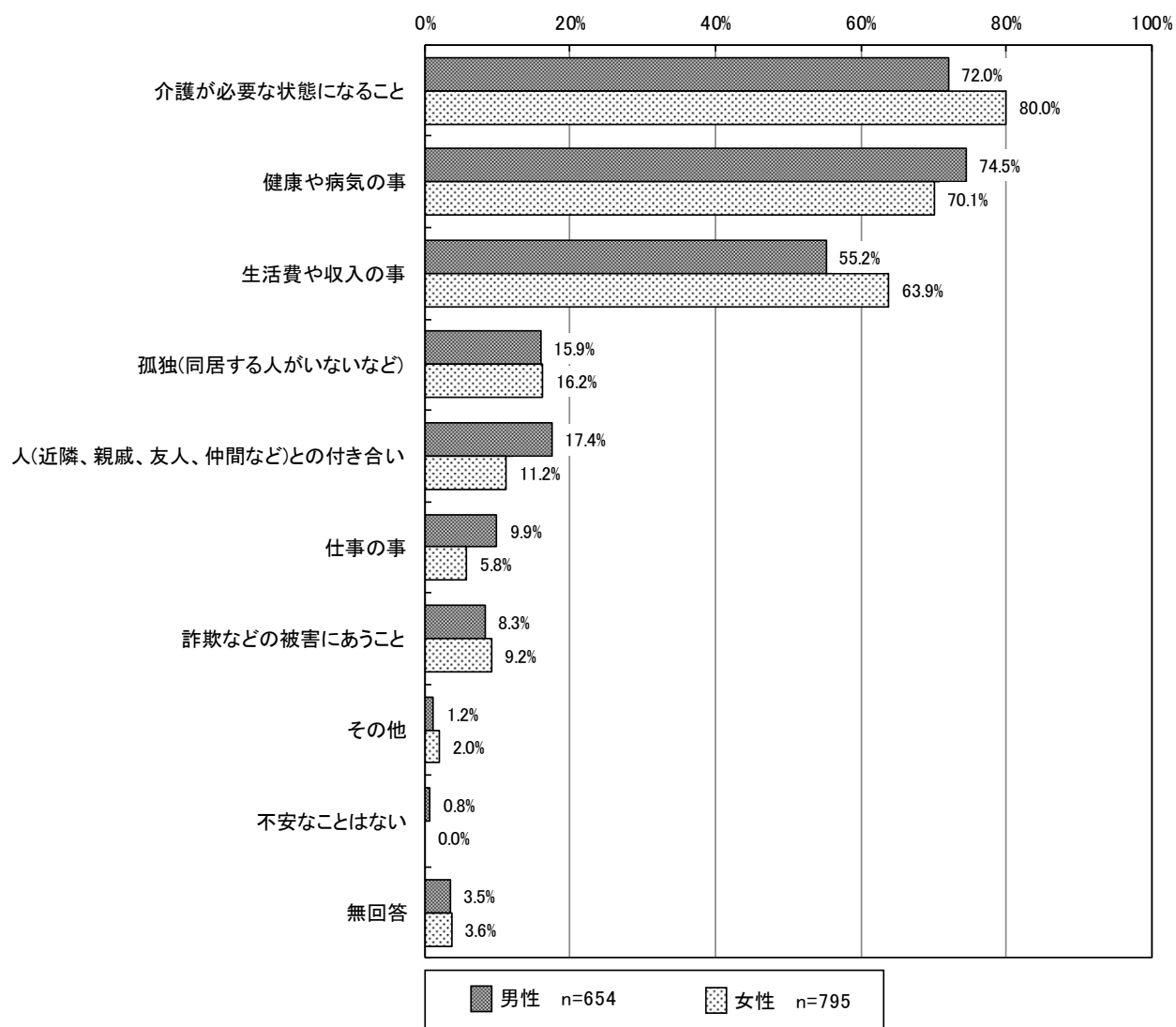
図 123 高齢者の生活で特に不安なこと



■回答者属性別にみる特徴

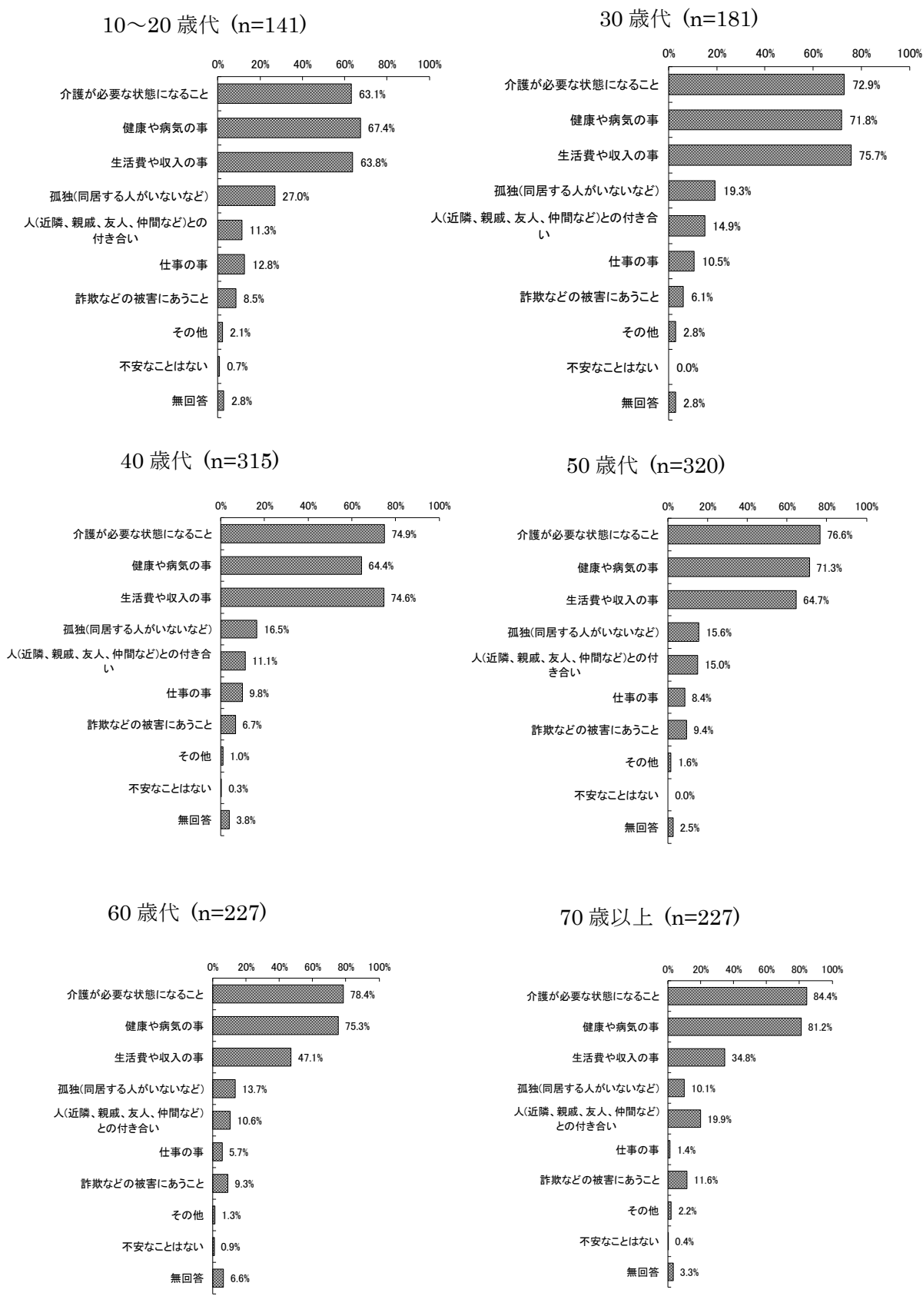
性別でみると、「男性」は「健康や病気のこと」が74.5%と最も高く、「女性」は「介護が必要な状態になること」が80.0%と最も高くなっている。

図 124 高齢者の生活で特に不安なこと（性別）



年代別でみると、「10～20 歳代」は「健康や病気のこと」が最も高く、「30 歳代」は「生活費や収入のこと」、「40 歳代」以上は「介護が必要な状態になること」が最も高くなっている。

図 125 高齢者の生活で特に不安なこと（年代別）



(2) 高齢者人口の増加に対する支援や取組

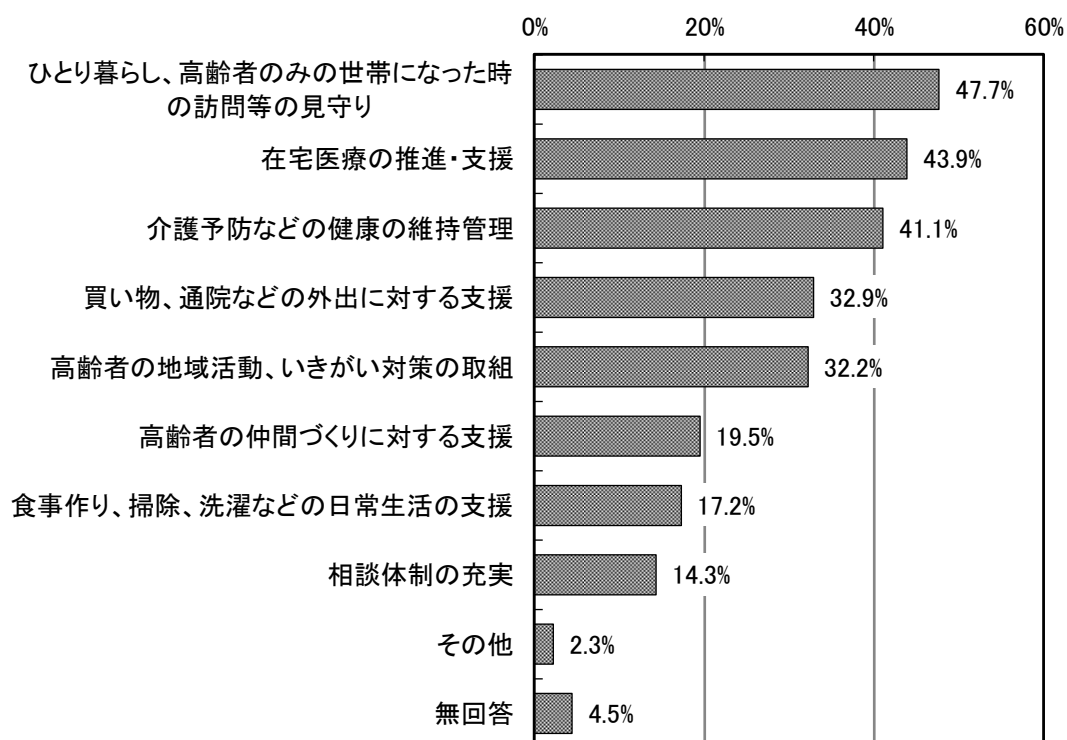
「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」が必要と考えている人が最も多い

■全体の傾向

「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」が47.7%と最も高く、次いで「在宅医療の推進・支援」が43.9%、「介護予防などの健康の維持管理」が41.1%となっている。

問 23 あなたは、今後高齢者人口が増加する中でどのような支援や取組が必要だと考えますか。(〇は3つまで) (n=1,496)

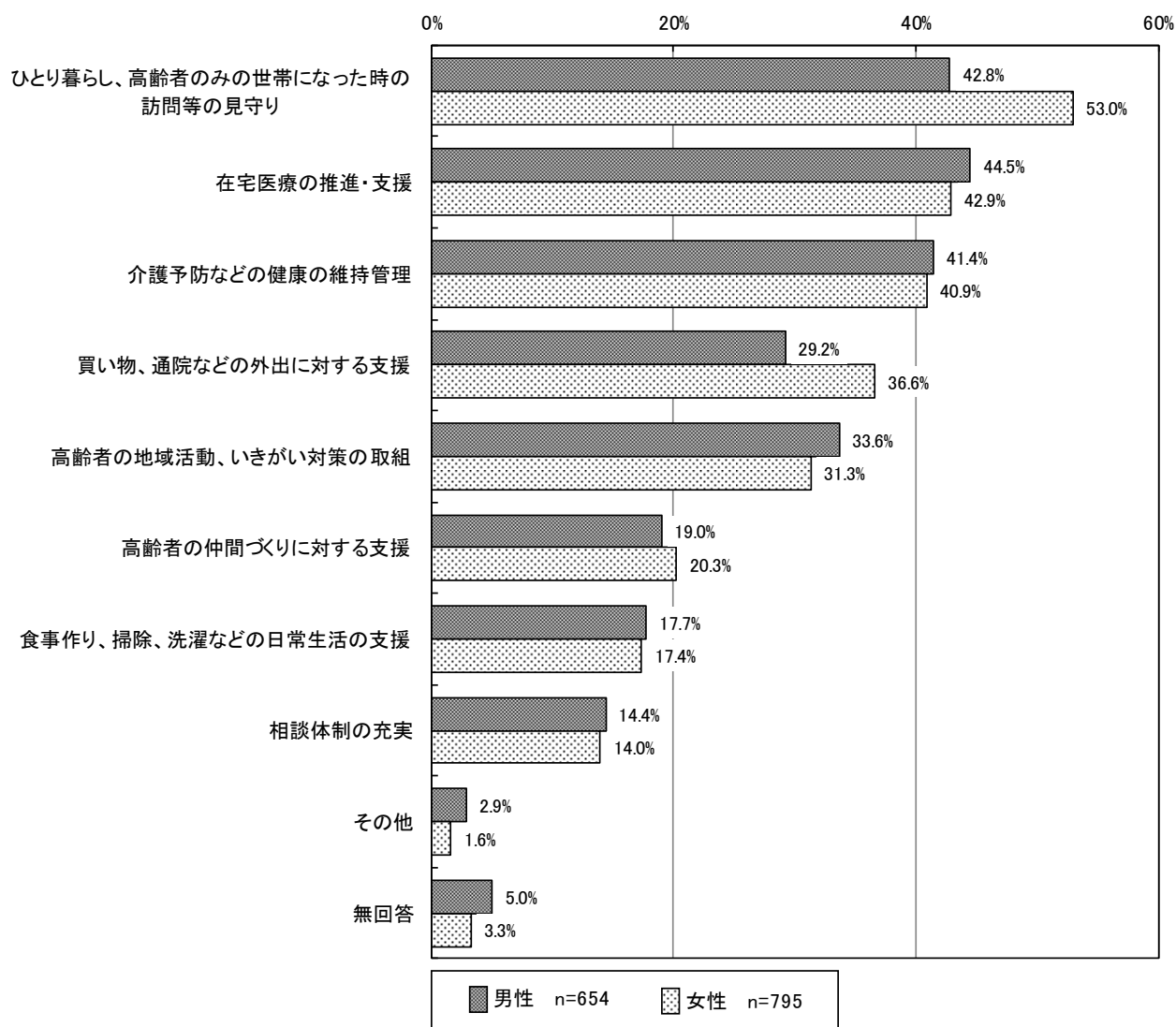
図 126 高齢者人口の増加に対する支援や取組



■回答者属性別にみる特徴

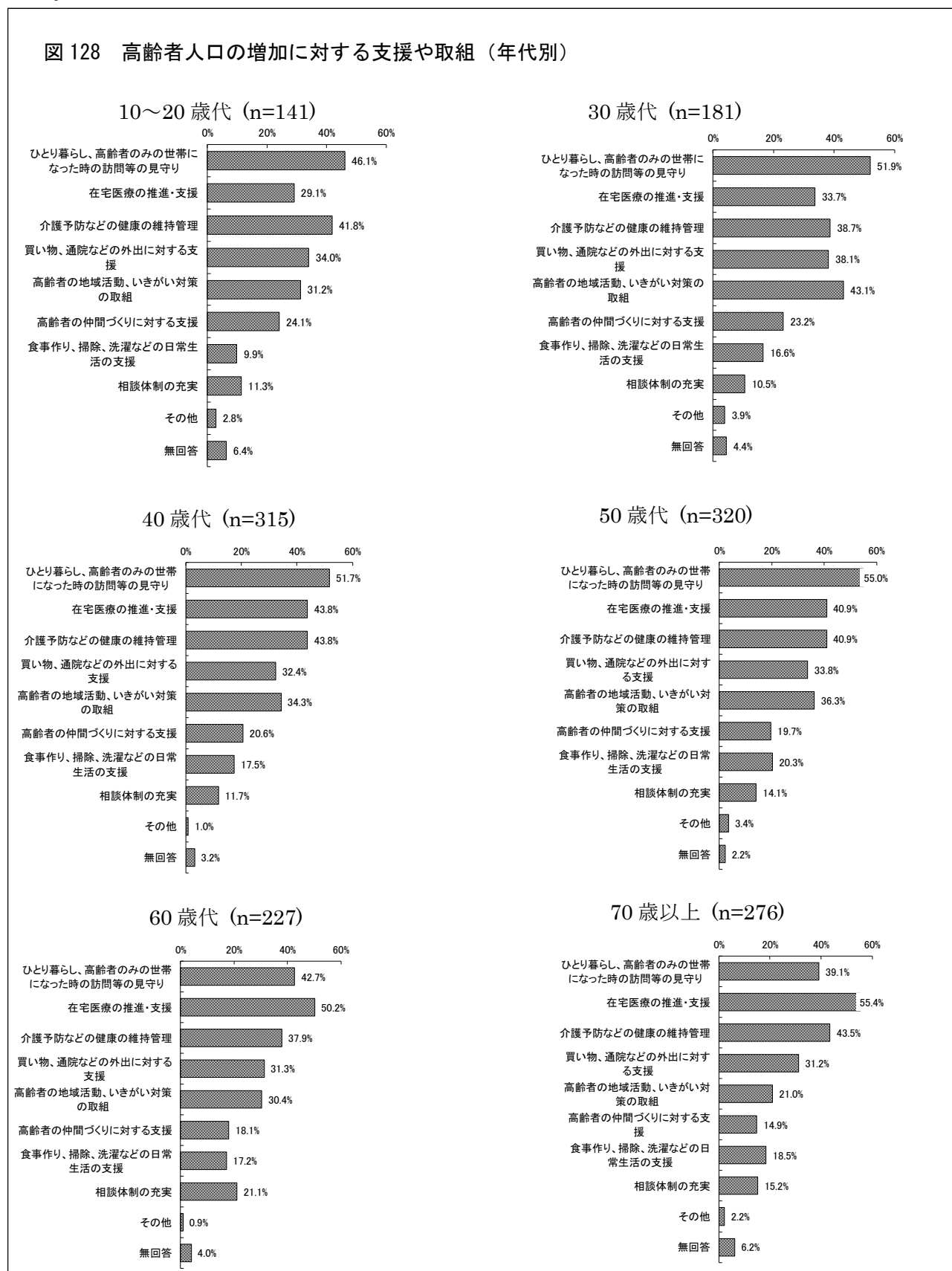
性別で見ると、「男性」の方が「女性」より「高齢者の地域活動、いきがい対策の取組」の割合がやや高く、「女性」は「男性」より「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」の割合が高くなっている。

図 127 高齢者人口の増加に対する支援や取組（性別）



年代別で見ると、10代から50代までは「ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り」が最も高くなっているが、「60歳代」「70歳以上」は「在宅医療の推進・支援」が最も高い。

図 128 高齢者人口の増加に対する支援や取組（年代別）



13. 「普段の買い物」や「たまにする買い物」など

(1) 買い物先

普段の買い物の買い物先は「スーパーマーケット」、たまにする買い物の買い物先は「百貨店・大型ショッピングセンター」がそれぞれ6割超

■全体の傾向

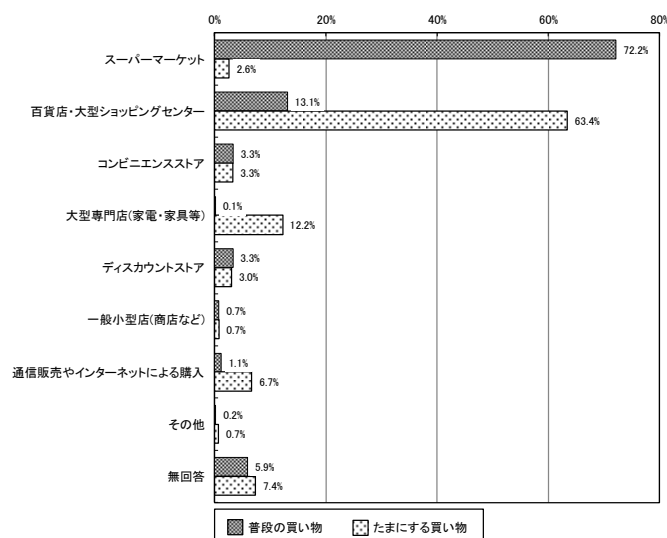
「普段の買い物」では「スーパーマーケット」が72.2%と最も高く、次いで「百貨店・大型ショッピングセンター」が13.1%、「コンビニエンスストア」と「ディスカウントストア」が3.3%となっている。

「たまにする買い物」では「百貨店・大型ショッピングセンター」が63.4%と最も高く、次いで「大型専門店（家電・家具等）」12.2%、「通信販売やインターネットによる購入」6.7%となっている。

問 24 あなたが「普段の買い物」や「たまにする買い物」の買い物先はどこですか。

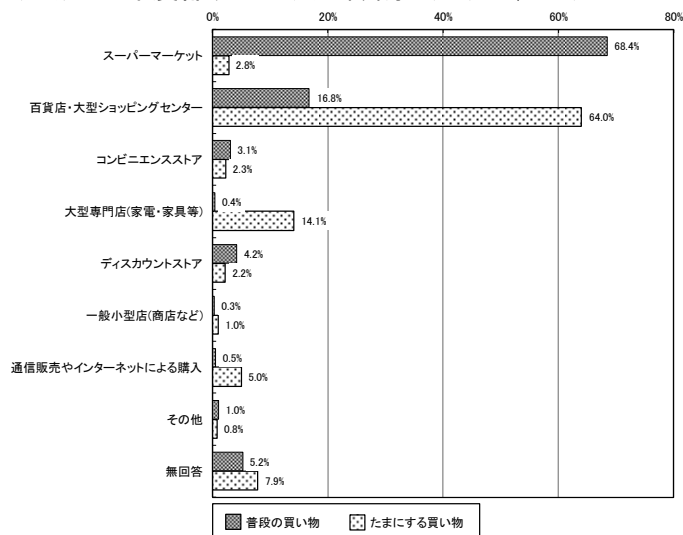
(最もよく利用するものをひとつだけ記入) (n=1,496)

図 129 買い物先



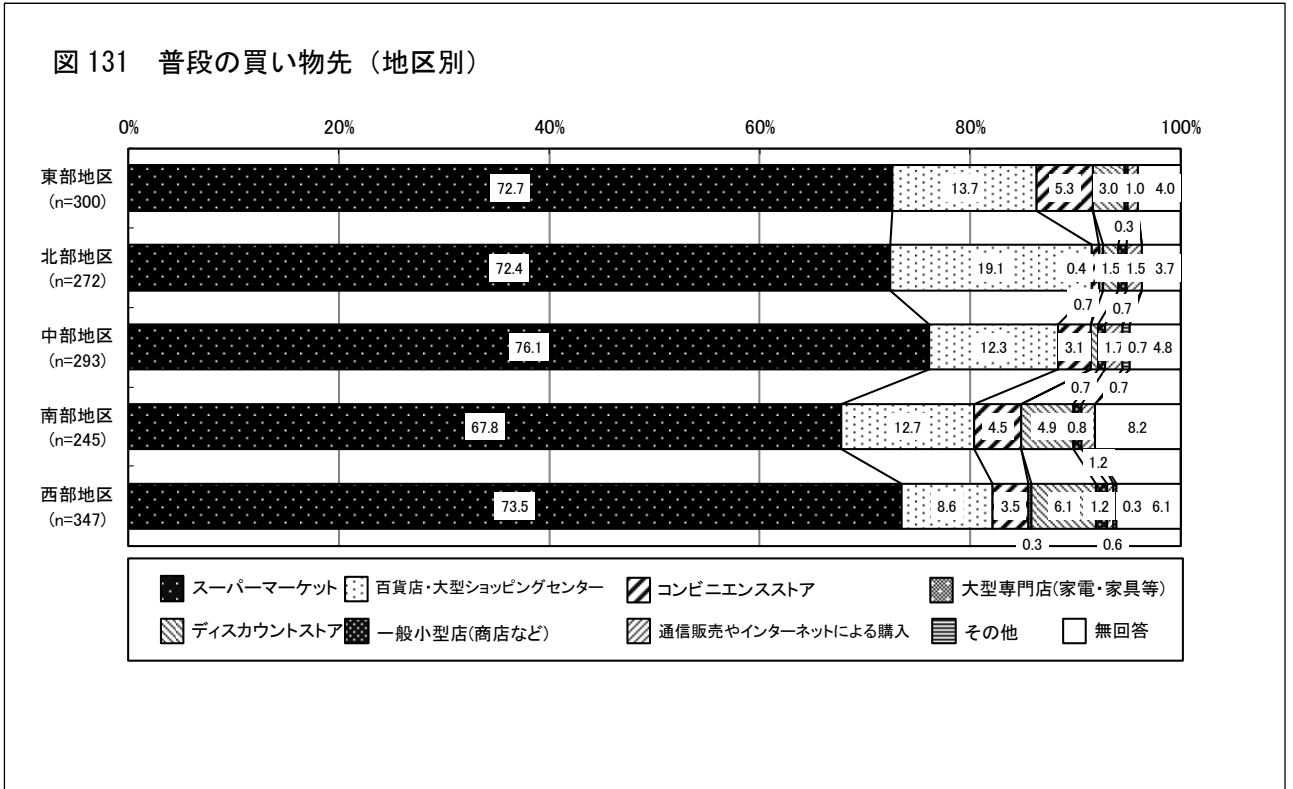
参考データ

図 130 買い物先 (平成 27 年度都筑区区民意識調査) (n=1,558)

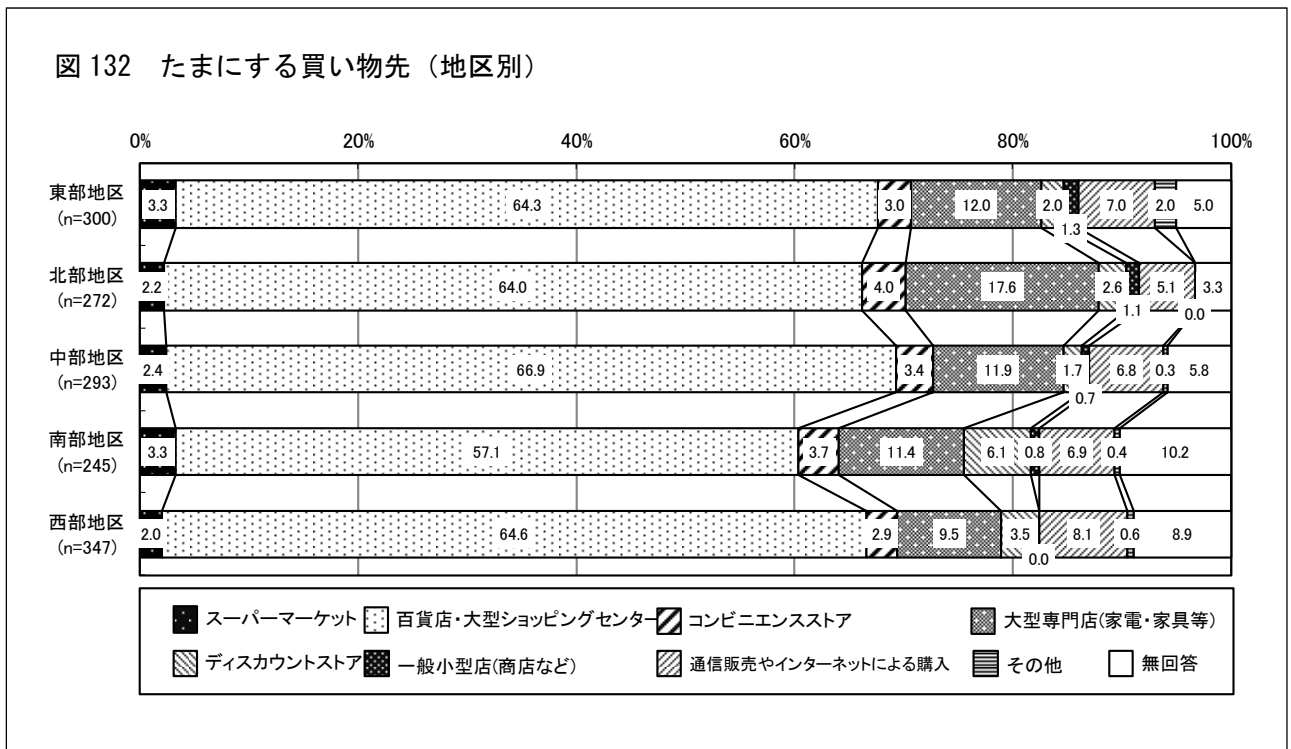


■地区別に見る特徴

「普段の買い物」の買い物先は「スーパーマーケット」がすべての地区で7割前後で最も高くなっている。「北部地区」は他の地区より「百貨店・大型ショッピングセンター」が高くなっている。



「たまにする買い物」の買い物先は「百貨店・大型ショッピングセンター」がすべての地区で6割前後で最も高く、次いで「大型専門店（家電・家具等）」となっている。



(2) 買い物をする場所

「普段の買い物」は9割超、「たまにする買い物」は6割超が、「区内で買う」

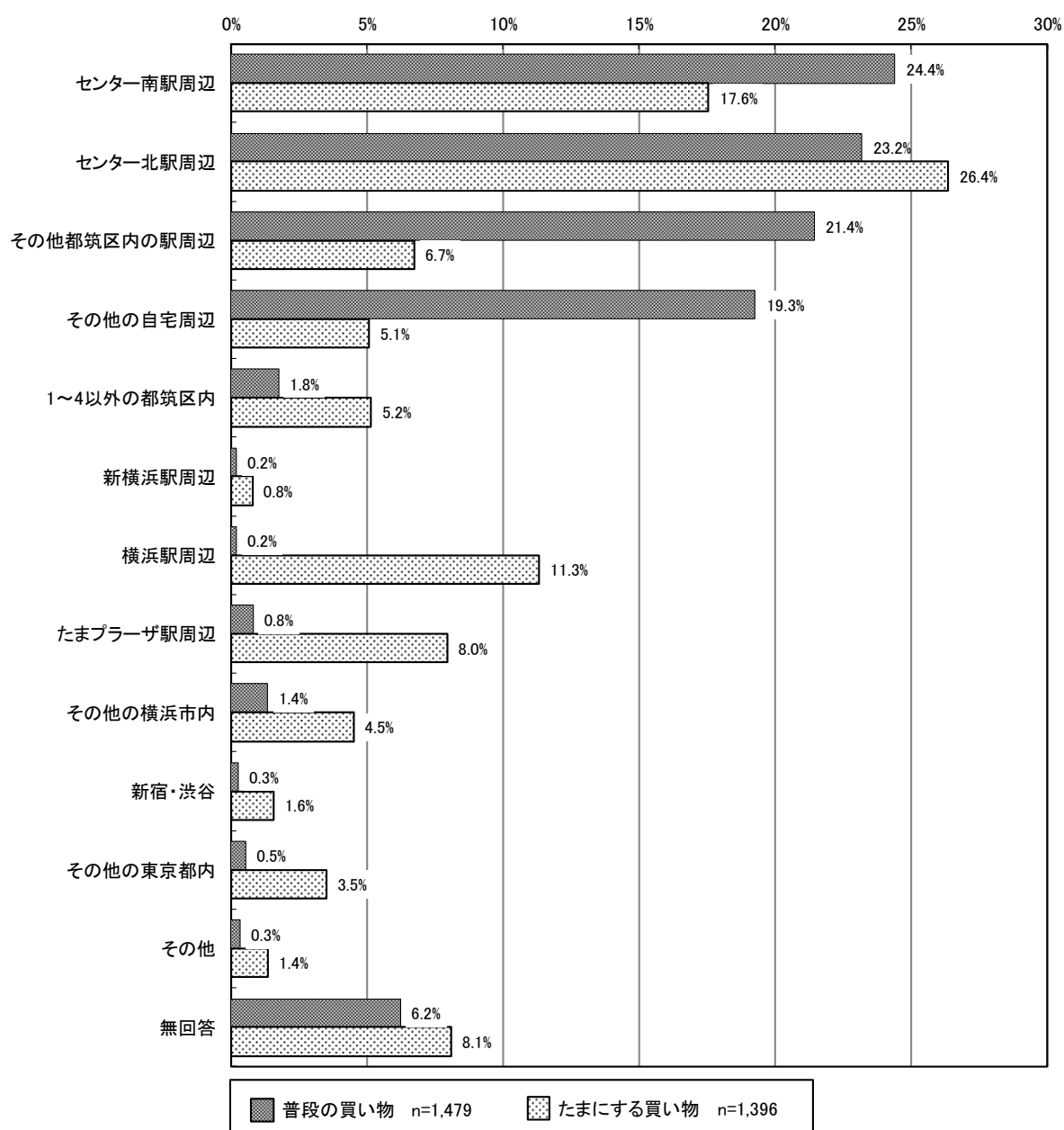
■全体の傾向

「普段の買い物」では「センター南駅周辺」が24.4%と最も高く、次いで「センター北駅周辺」23.2%、「その他都筑区内の駅周辺」21.4%となっている。

「たまにする買い物」では「センター北駅周辺」が26.4%と最も高く、次いで「センター南駅周辺」17.6%、「横浜駅周辺」11.3%となっている。

問24 あなたが「普段の買い物」や「たまにする買い物」の買い物をする場所はどこですか。
(最もよく利用するものをひとつだけ記入)

図133 買い物をする場所



(3) 買い物ができたら便利な場所

「普段の買い物」、「たまにする買い物」とも「その他の自宅周辺」が最も高い

■全体の傾向

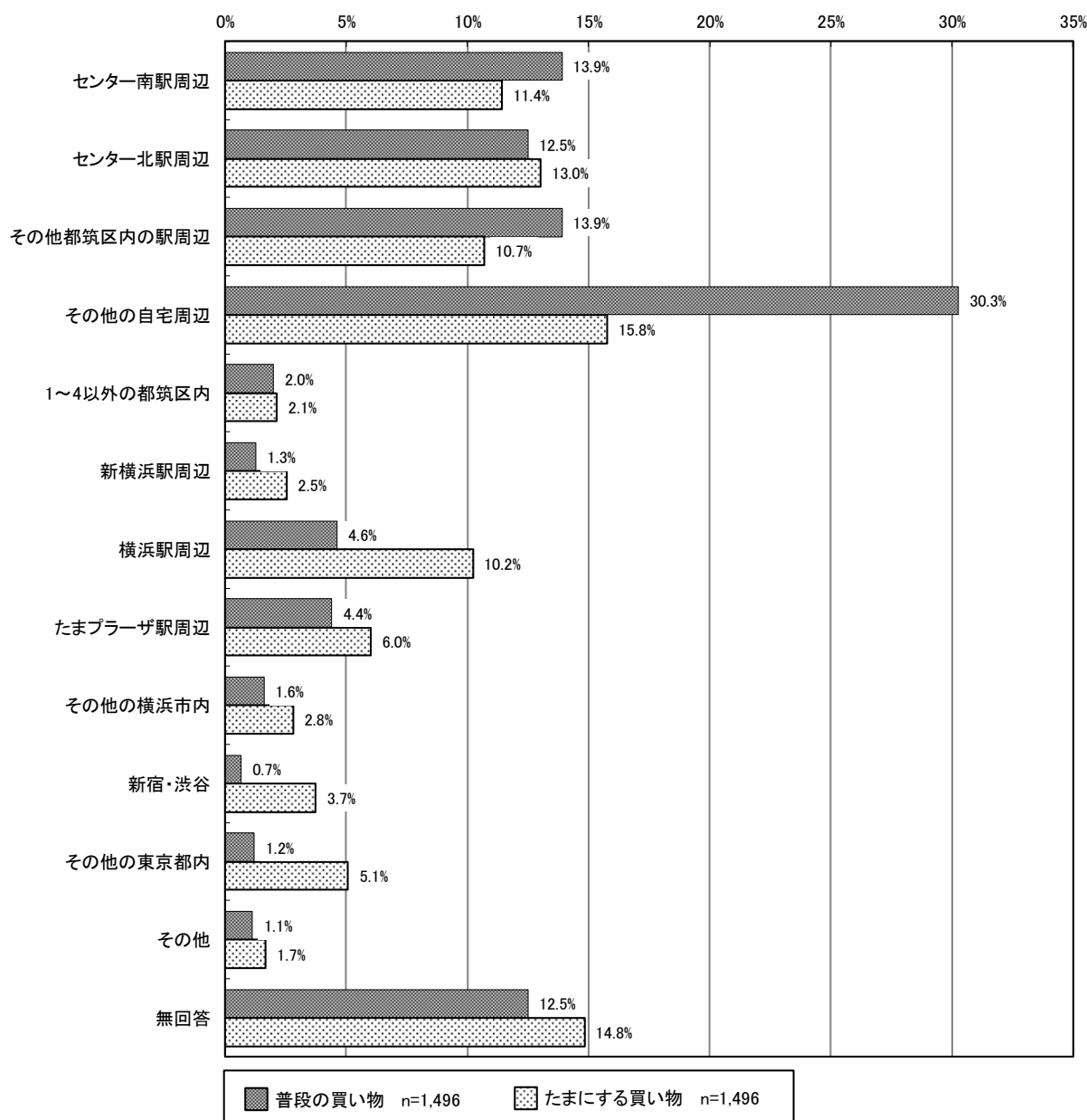
「普段の買い物」では「その他の自宅周辺」が 30.3%と最も高く、次いで「センター南駅周辺」13.9%、「その他都筑区内の駅周辺」13.9%となっている。

「たまにする買い物」では「その他の自宅周辺」が 15.8%と最も高く、次いで「センター北駅周辺」13.0%、「センター南駅周辺」が 11.4%となっている。

問 24 あなたが「普段の買い物」や「たまにする買い物」の買い物ができたら便利だと思う場所はどこですか。

(最もよく利用するものをひとつだけ記入)

図 134 買い物ができたら便利な場所



(4) 買い物に行くときの交通手段

「普段の買い物」は「徒歩」、「たまにする買い物」は「自家用車」が最も高い

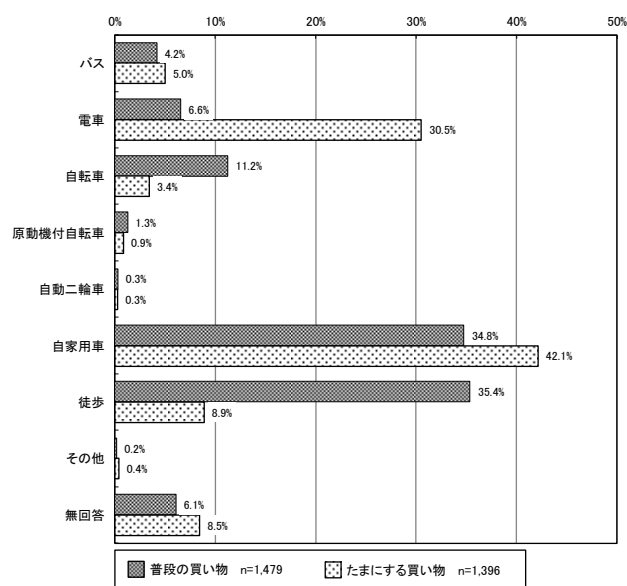
■全体の傾向

「普段の買い物」では「徒歩」が 35.4%と最も高く、次いで、「自家用車」が 34.8%、「自転車」11.2%となっている。

「たまにする買い物」では「自家用車」が 42.1%と最も高く、次いで「電車」30.5%、「徒歩」8.9%となっている。

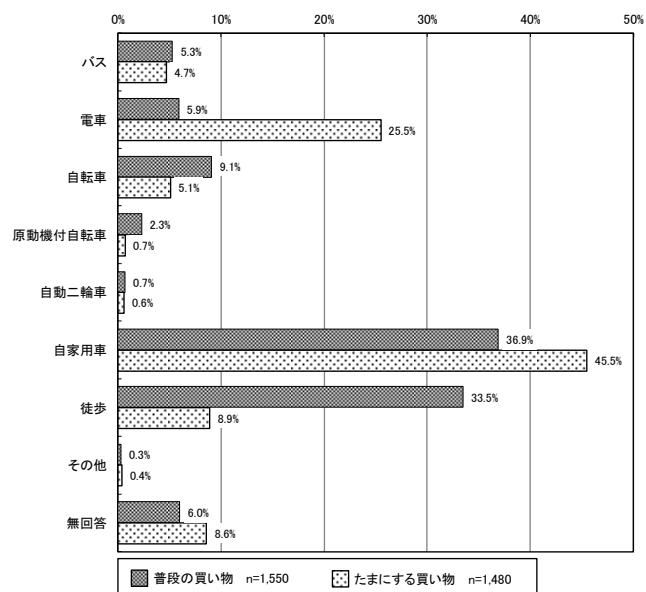
問 24 あなたが「普段の買い物」や「たまにする買い物」の買い物で利用する交通手段は何ですか。
(最もよく利用するものをひとつだけ記入)

図 135 利用する交通手段



参考データ

図 136 利用する交通手段 (平成 27 年度都筑区区民意識調査)



14. 文化活動

(1) 日頃行っている文化活動・鑑賞

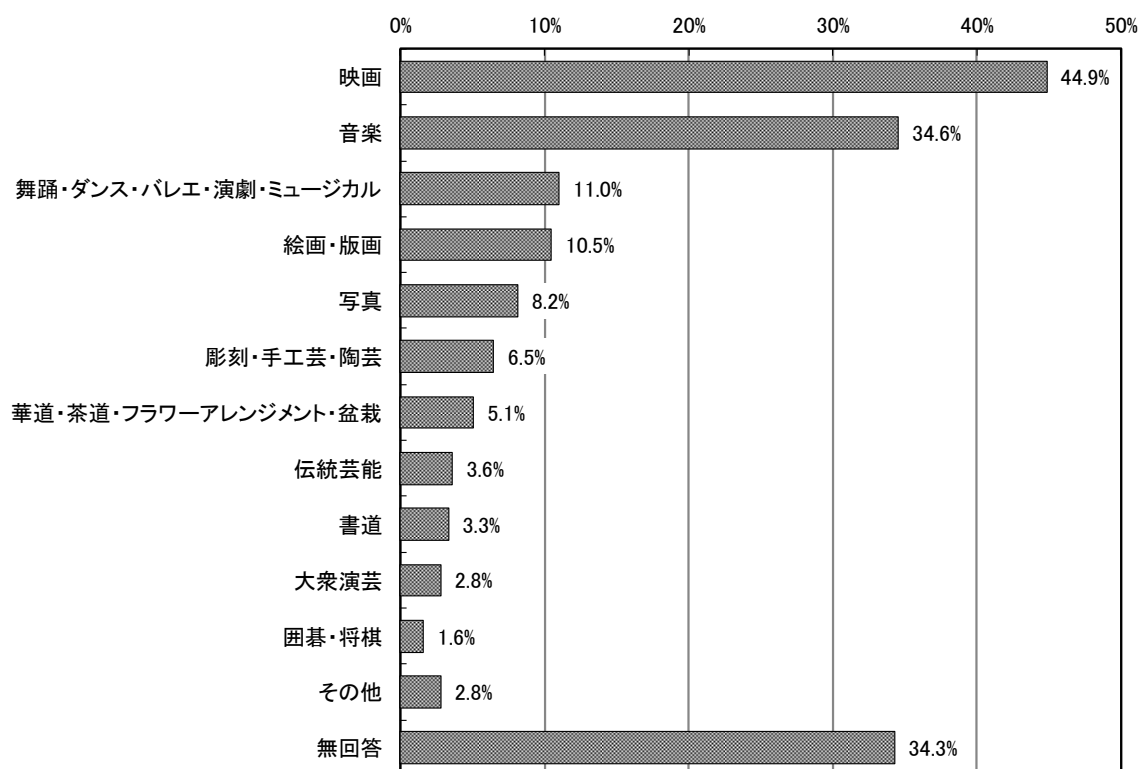
「映画」が最も高く4割超、次いで「音楽」3割超

■全体の傾向

「日頃行っている活動」は、「映画」が44.9%と最も高く、次いで「音楽」が34.6%、「舞踊・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカル」が11.0%となっている。

問 25 あなたは、日頃、どのような文化活動・鑑賞を行っていますか。(〇はいくつでも) (n=1,496)

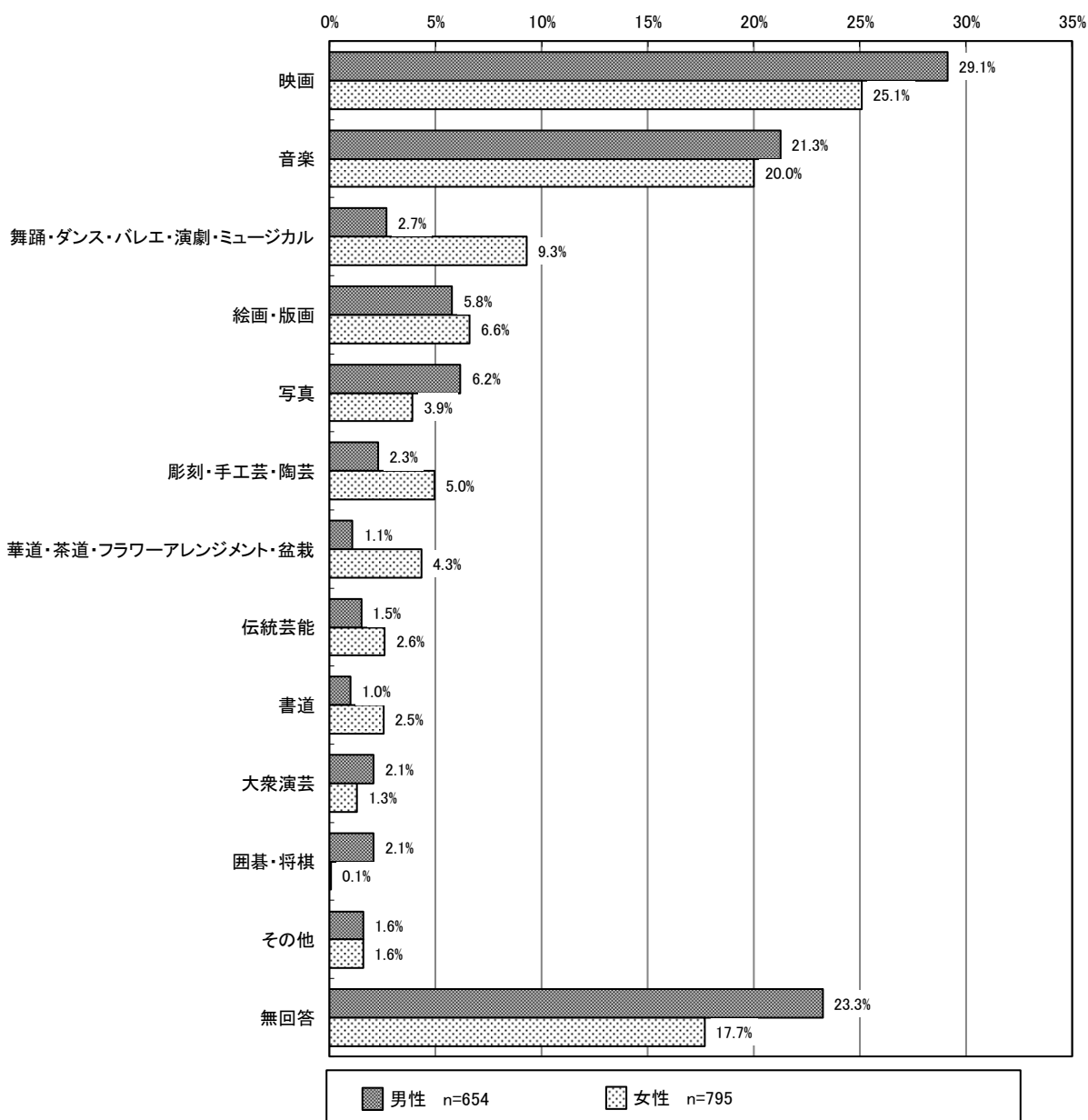
図 137 日頃行っている文化活動・鑑賞



■回答者属性別にみる特徴

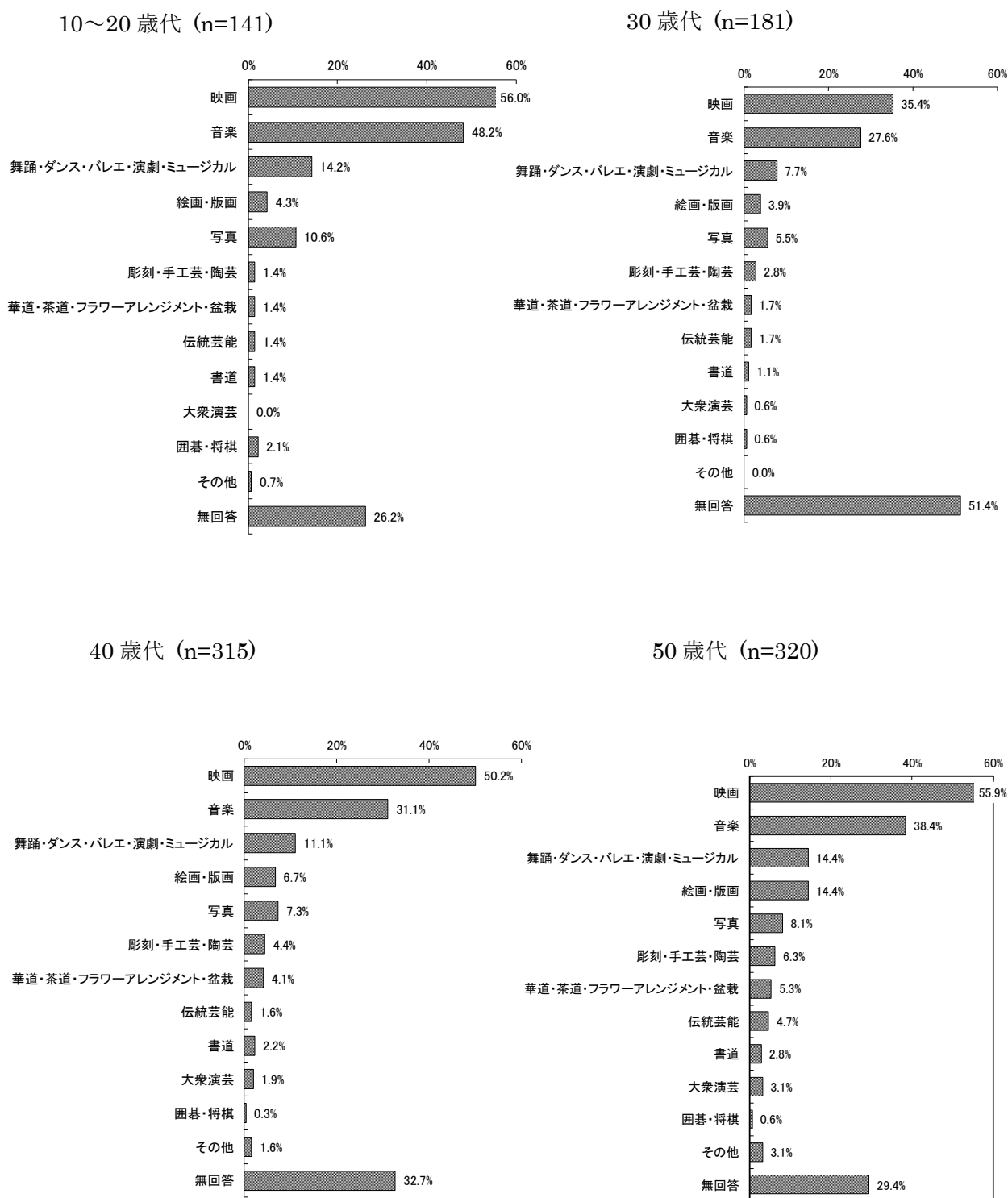
性別で見ると、男女ともに、「映画」と「音楽」の割合が高く、「男性」は、次いで「写真」の割合が高く、「女性」は「舞踏・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカル」の割合が高い。

図 138 日頃行っている文化活動・鑑賞（性別）

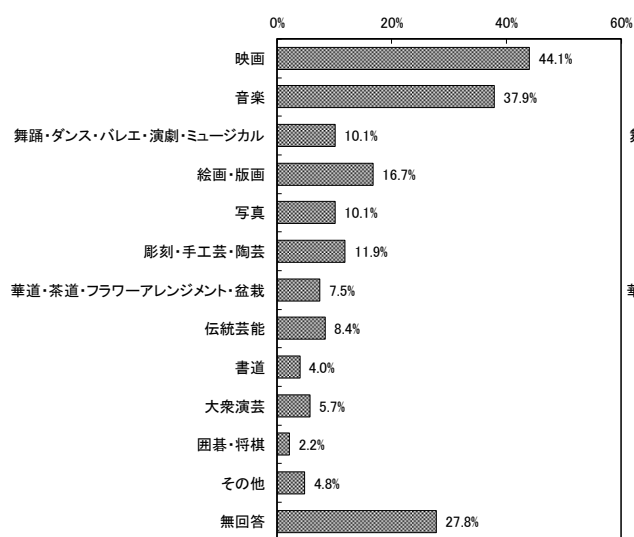


年代別で見ると、全ての年代で「映画」と「音楽」が2位までに入っていて、40歳代までは、3位までが同じ傾向で、50歳代以降は、「絵画・版画」が、3位に入ってくる。

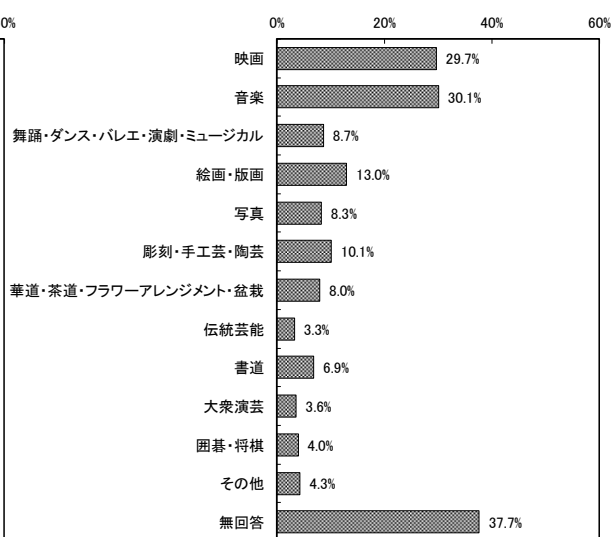
図 139 日頃行っている文化活動・鑑賞（年代別）



60 歳代 (n=227)



70 歳以上 (n=276)



(2) 将来行いたい文化活動・鑑賞

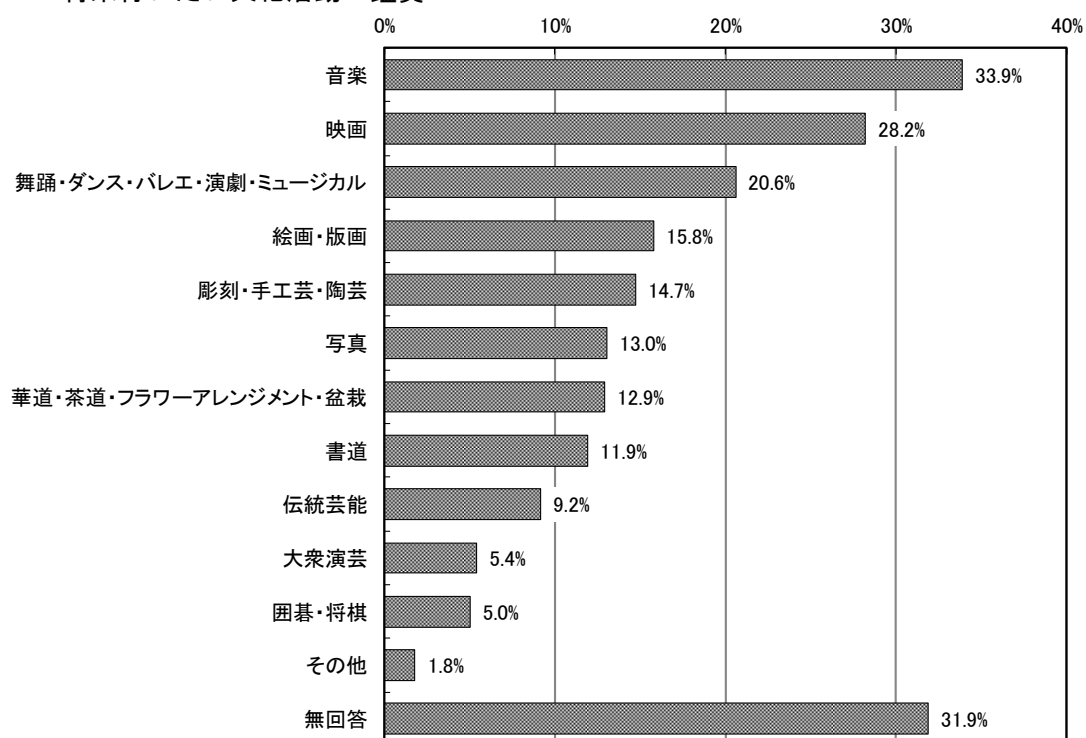
将来的に行ってみたい文化活動は「音楽」が最も高く3割超

■全体の傾向

「将来行いたい活動」は、「音楽」が33.9%と最も高く、次いで「映画」が28.2%、「舞踊・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカル」が20.6%となっている。

問 25 あなたは、将来的にどんな文化活動・鑑賞を行ってみたいですか。(〇はいくつでも)
(n=1,496)

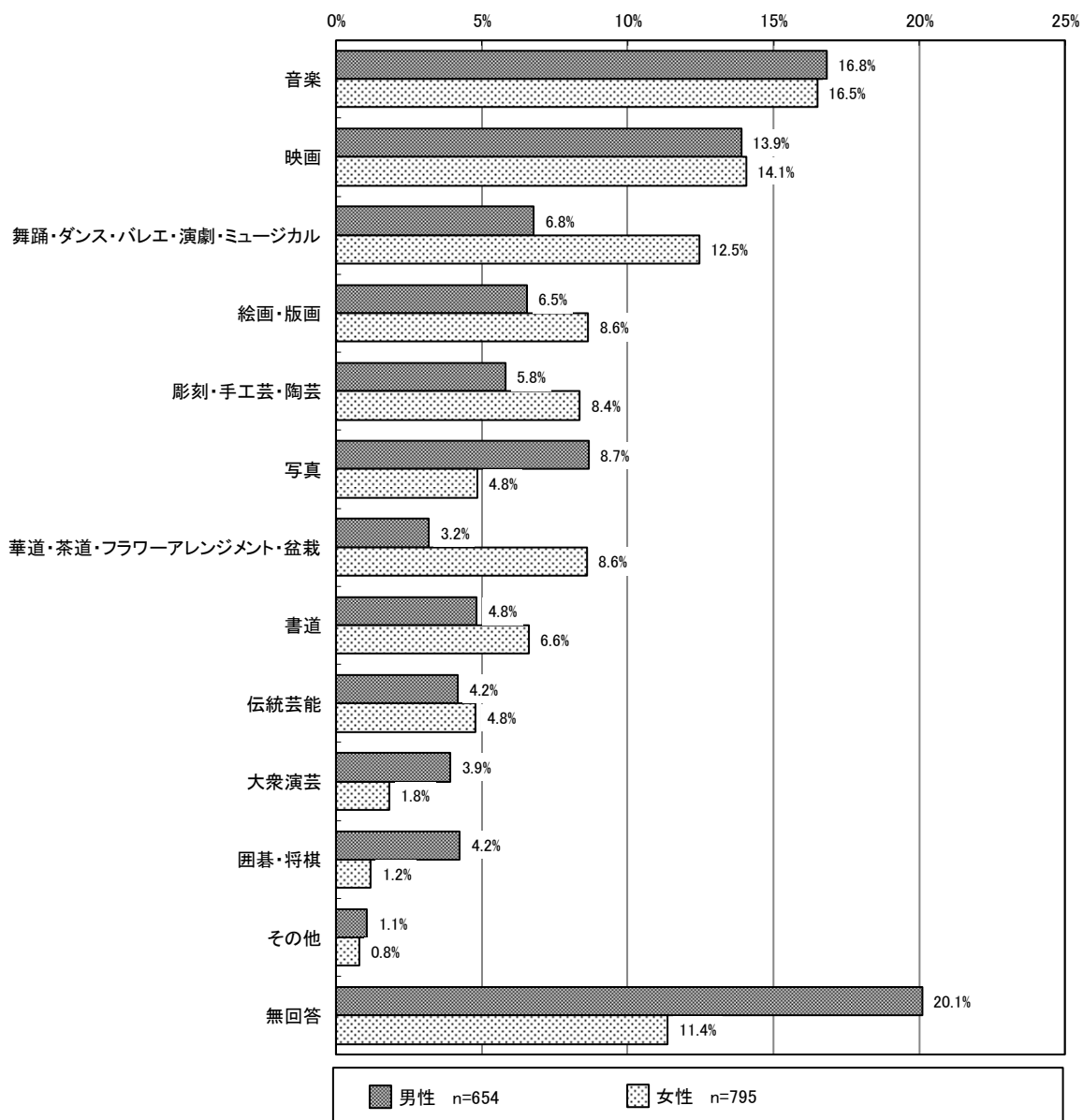
図 140 将来行いたい文化活動・鑑賞



■回答者属性別にみる特徴

性別で見ると、「男性」と「女性」とともに「音楽」と「映画」が1，2位になっている。3位は、「男性」が「写真」で、「女性」は「舞踊・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカル」となっている。

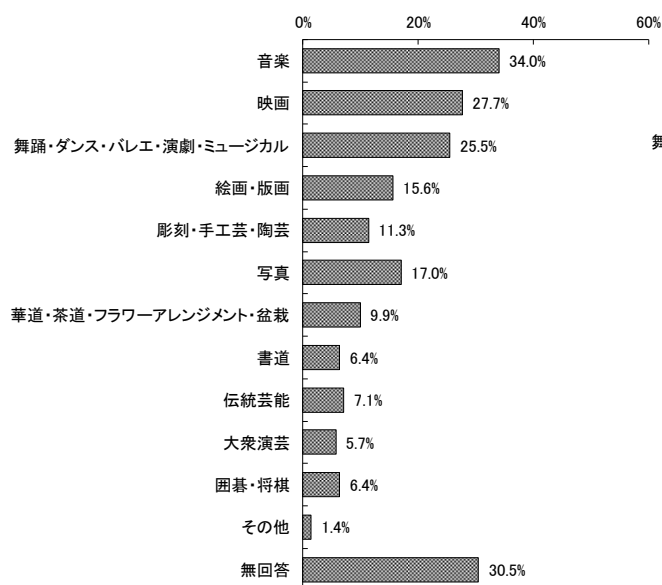
図 141 将来行いたい文化活動・鑑賞（性別）



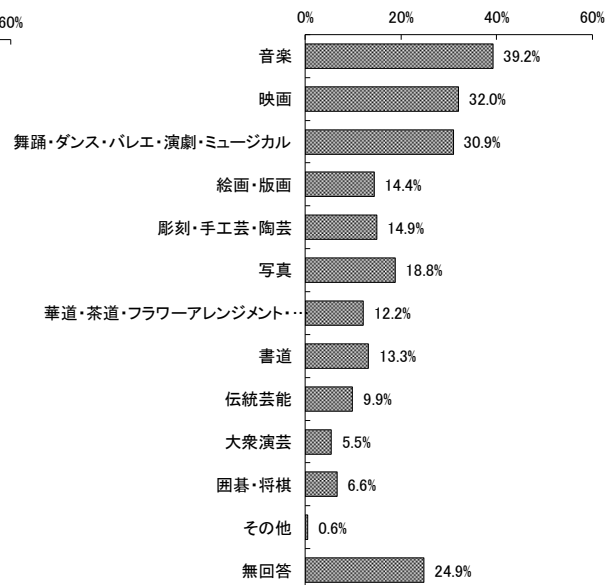
年代別でみると、「60歳代」を除くすべての年代で「音楽」が最も高くなっている。

図 142 将来行いたい文化活動・鑑賞（年代別）

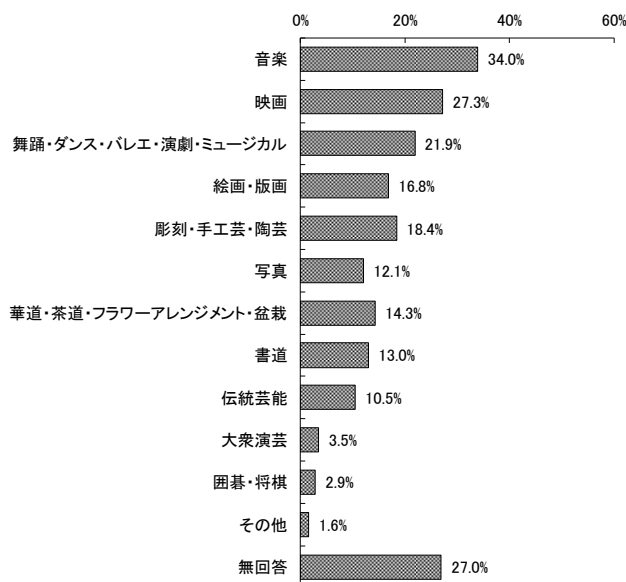
10～20歳代 (n=141)



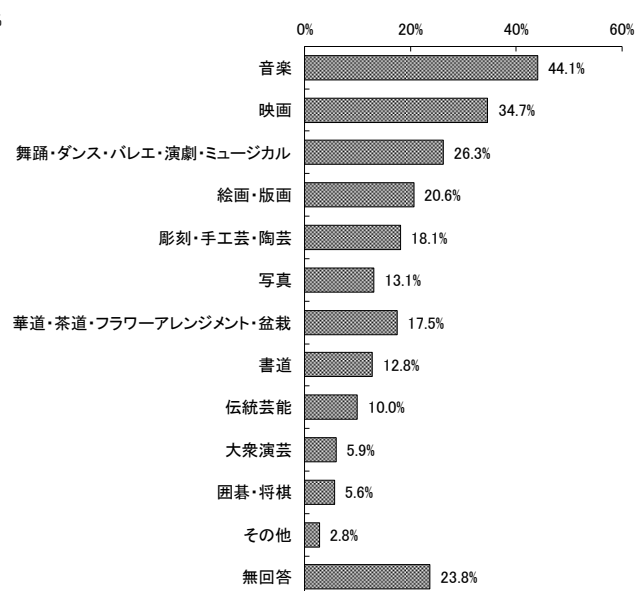
30歳代 (n=181)



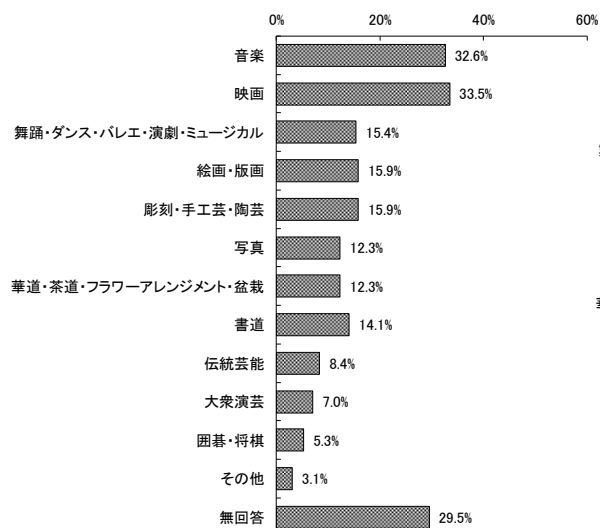
40歳代 (n=315)



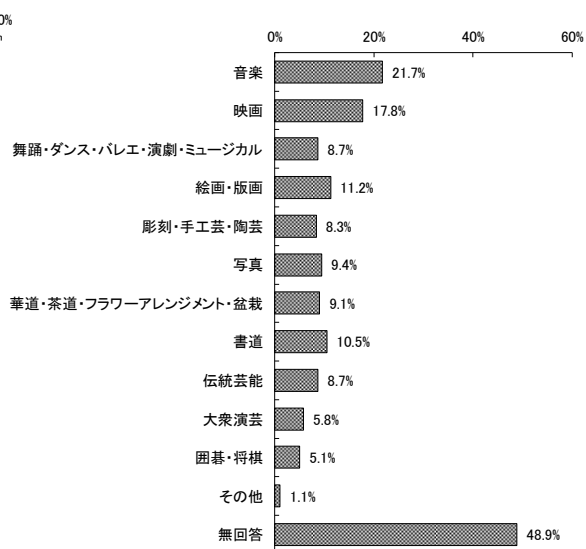
50歳代 (n=320)



60 歳代 (n=227)



70 歳以上 (n=276)



(3) 文化活動を行っている場所

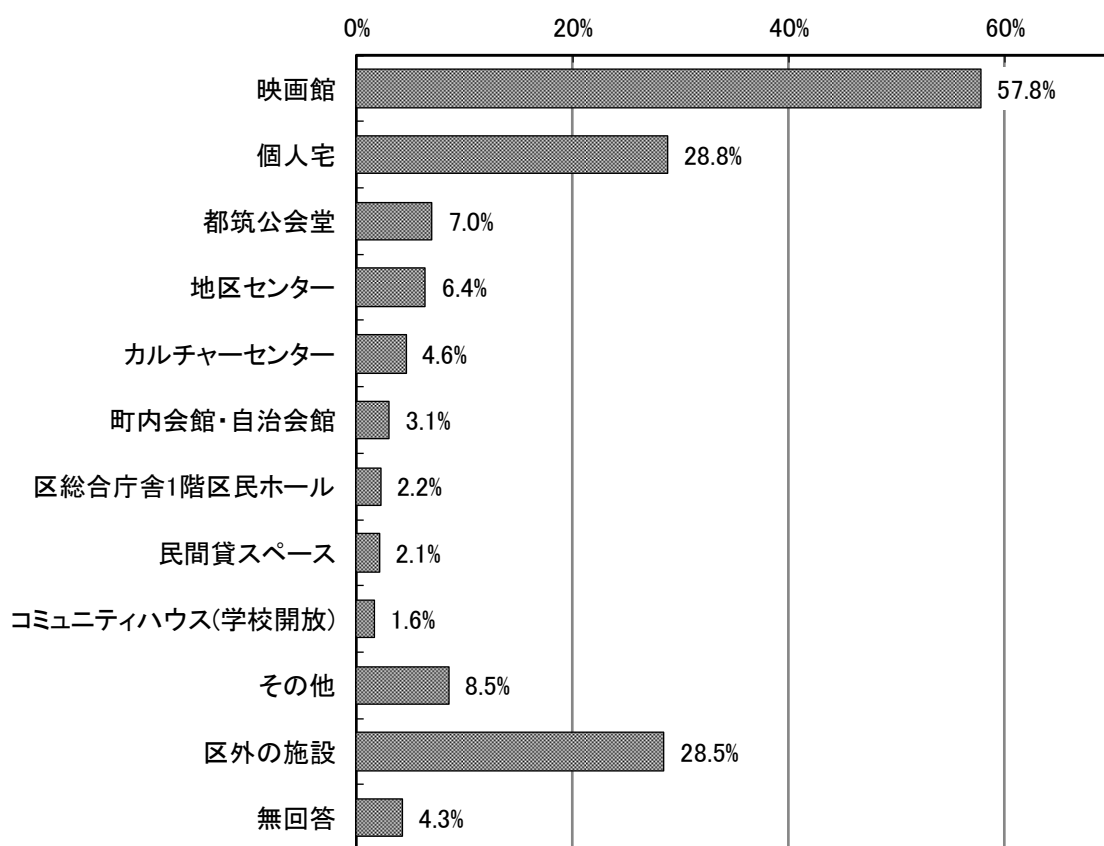
「映画館」が5割超で最も高く、次いで「個人宅」が3割超
「区外の施設」は3割弱

■全体の傾向

「映画館」が57.8%と最も高く、次いで「個人宅」が28.8%、「区外の施設」が28.5%となっている。

問 25-1 問 25 でひとつでも「日頃行っている文化活動・鑑賞」の項目に○をつけた方のみにお聞きします。その活動・鑑賞はどこで行っていますか。(○はいくつでも) (n=983)

図 143 文化活動を行っている場所



15. 区民利用施設

(1) 区民利用施設の認知度と利用状況

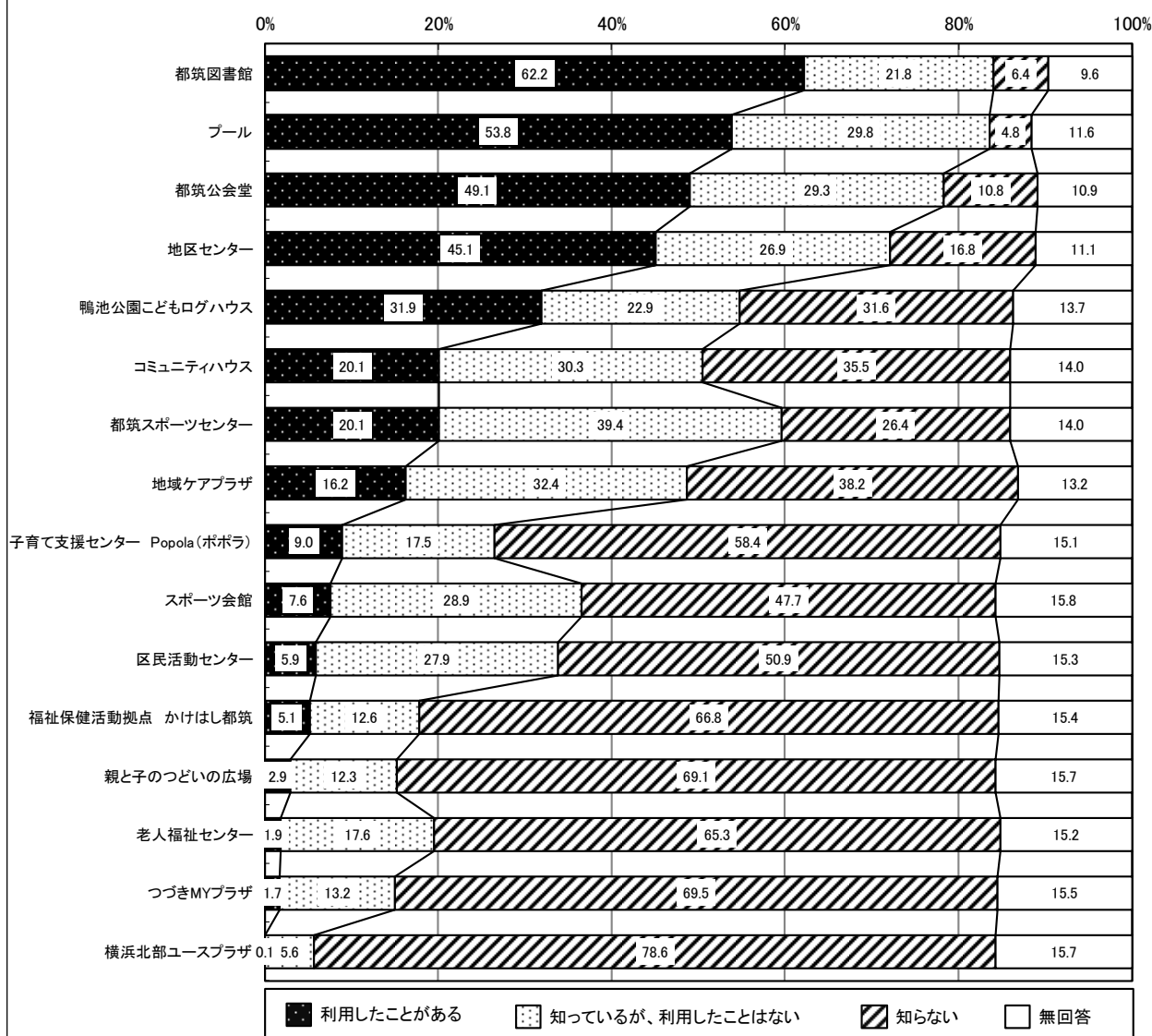
「都筑図書館」は、「利用したことがある」は6割超
 「プール」「都筑公会堂」「地区センター」は5割前後

■全体の傾向

「利用したことがある」は「都筑図書館」が62.2%と最も高く、次いで「プール」が53.8%、「都筑公会堂」が49.1%となっている。

問 26 都筑区内の施設について、各項目にあなたの【認知度と利用状況】であてはまるものひとつに○をつけてください。(n=1,496)

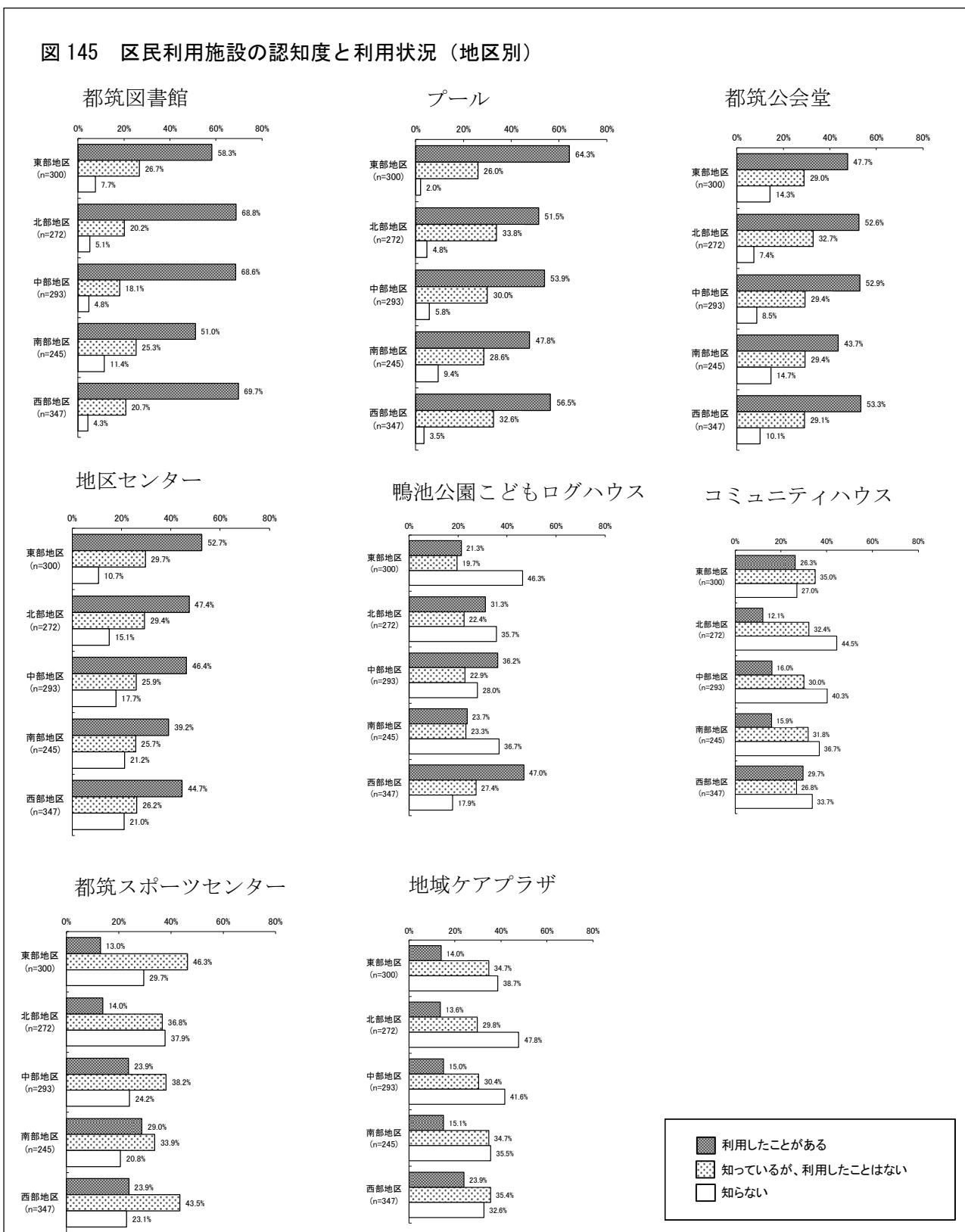
図 144 区民利用施設の認知度と利用状況



■地区別にみる特徴

利用経験の多い上位8項目について地区別にみると、「都筑図書館」では、いずれの地区も5割以上利用されているが、「地域ケアプラザ」では、一番利用されている「西部地区」でも3割未満となっている。

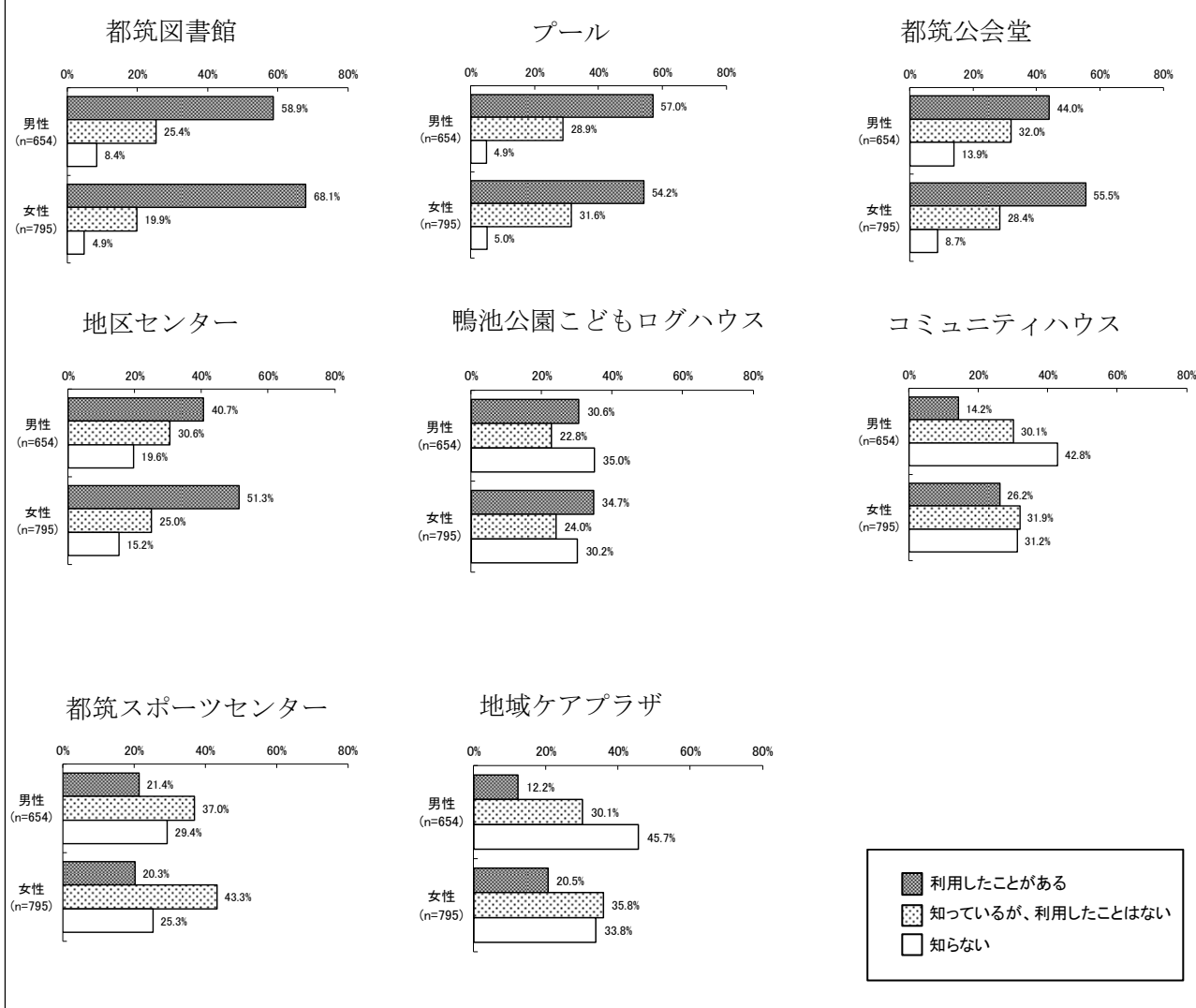
図 145 区民利用施設の認知度と利用状況（地区別）



■回答者属性別にみる特徴

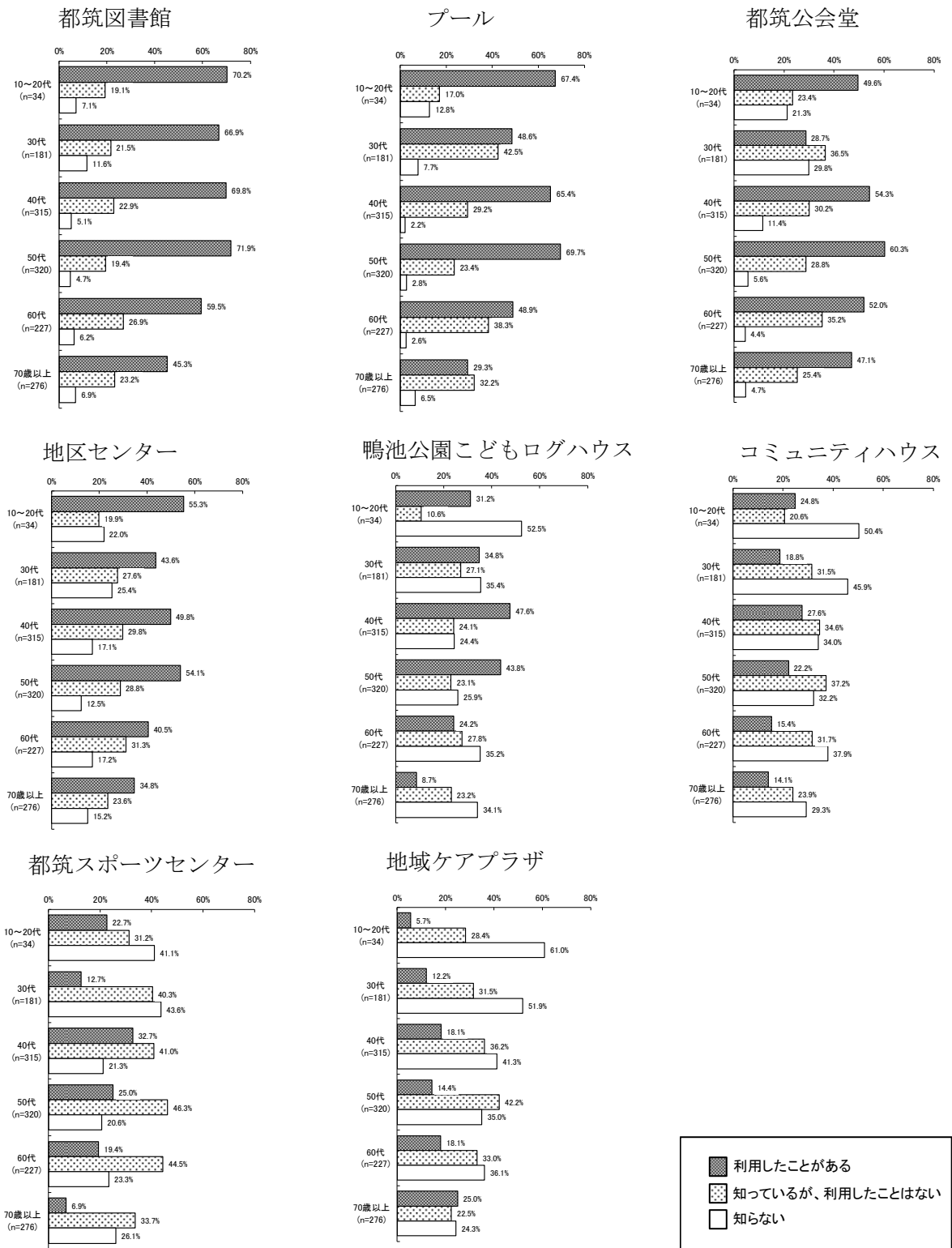
性別で見ると、「男性」より「女性」の方が「利用したことがある」割合が高い傾向がある。また、「女性」より「男性」の方が「知らない」割合が高い傾向がある。

図 146 区民施設の認知度と利用状況（性別）



年代別でみると、「都筑図書館」、「地区センター」はどの年代でも「利用したことがある」の割合が「知っているが利用したことはない」、「知らない」の割合よりも高い。

図 147 区民施設の認知度と利用状況（年代別）



(2) 区民利用施設の利用頻度

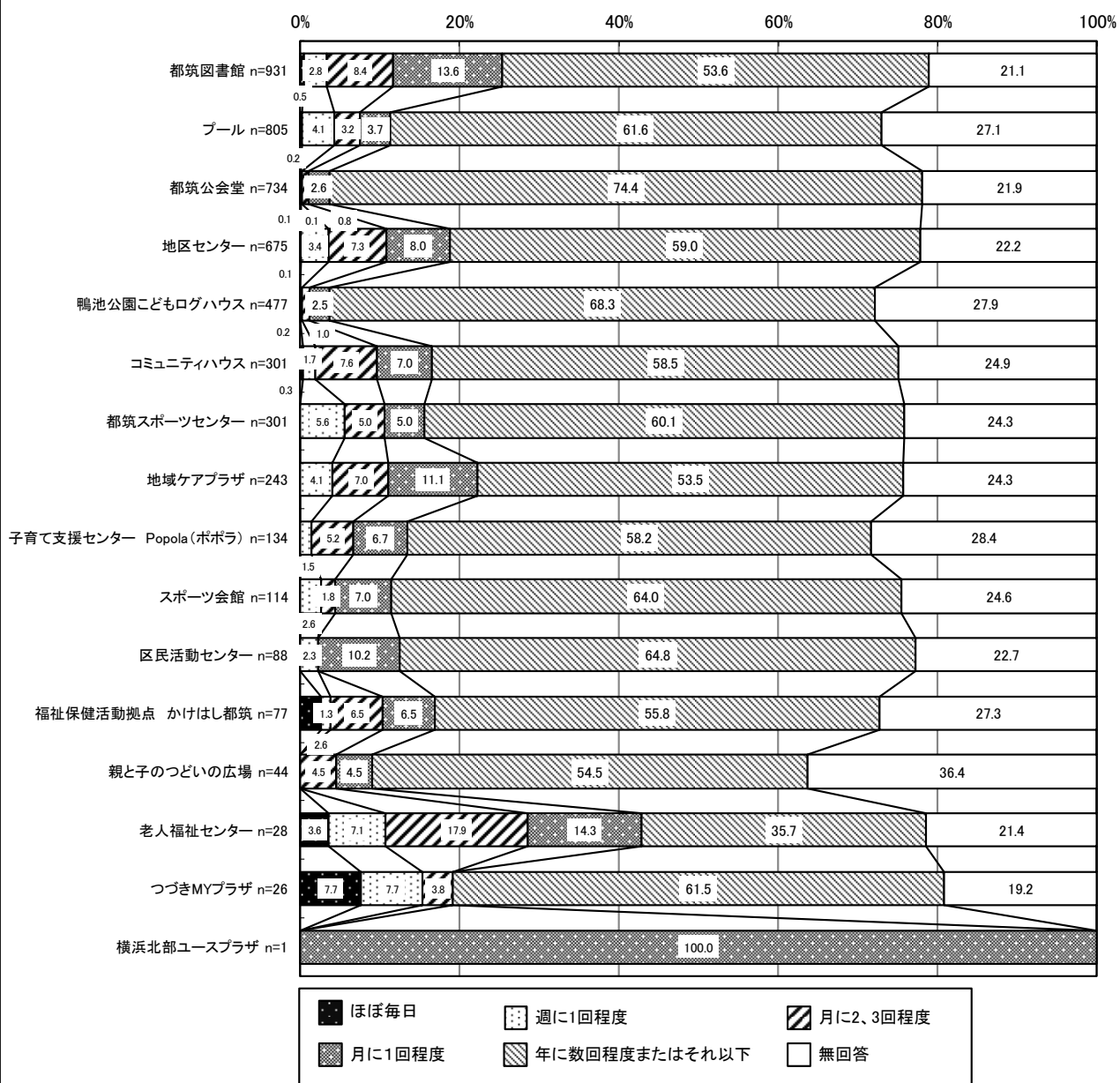
『月に1回以上』の利用者が「老人福祉センター」では4割超

■全体の傾向

「ほぼ毎日」、「週に1回程度」、「月に2、3回程度」、「月に1回程度」を合わせた『月に1回以上』の利用者が、「老人福祉センター」では4割を超えている。

問 26 「利用したことがある」を選択した方で、過去1年間の利用がある方のみお答えください。
利用頻度についてお聞きします。(〇はひとつ) (n=各施設)

図 148 区民利用施設の利用頻度



Ⅲ. 調査票

令和元年度 都筑区区民意識調査 ご協力をお願い

令和元年 5月
都 筑 区 役 所

若葉の候 区民の皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

このたび、より良い区政の運営に向け、区民の皆さまの生活環境に対する意識や区政へのニーズなどをうかがう「都筑区区民意識調査」を実施いたします。

この調査は、区内にお住まいの18歳以上の方々3,000人を無作為で抽出してお願いしております。お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＜ご記入上の注意＞

この調査は、「こういう意見の人が何%」ということを知るためのものです。

また、この調査の結果は、コンピュータで統計処理されますので、お答えいただきました個人のお考えが直接外部に公表されることは決してございません。率直なご回答をお願いいたします。

なお、ご返送いただいた調査票は集計後に区が責任をもって廃棄いたします。調査結果については、区のホームページ等で公開する予定です。

ご記入にあたっては、次の要領でお願いいたします。

(1) 回答は、**あて名のご本人**がご記入ください。

(2) 回答方法は、

- ・ 該当する番号に○印を付ける（○の数については指定あり）
- ・ 該当する番号を回答欄に記入

のいずれかとなっています。また、回答が「その他」等にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

(3) 下記の枝番付きの質問は、回答内容により、回答箇所が異なりますのでご注意ください。

- ・ 問5-1、5-2、9-1、14-1、14-2、25-1、F5-1

(4) 筆記具はなるべく鉛筆ではなく、黒色ボールペンを使用して下さい。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和元年6月17日（月）までにポストに投函してください。切手の貼付は不要です。

◆お問い合わせ先◆

都筑区役所 区政推進課 企画調整係 5階 51 番窓口

電話：045-948-2227（平日 8:45～17:00）

FAX：045-948-2399

E-mail：tz-plan@city.yokohama.jp

区ホームページ <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsuzuki/>

都筑区に対する居住意向についてうかがいます

問1 あなたは、都筑区にいつ頃からお住まいですか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 昭和19年(1944年)以前 | 7 平成2～平成6年(1990～1994年) |
| 2 昭和20～29年(1945～1954年) | 8 平成7～平成11年(1995～1999年) |
| 3 昭和30～39年(1955～1964年) | 9 平成12～平成16年(2000～2004年) |
| 4 昭和40～49年(1965～1974年) | 10 平成17～平成21年(2005～2009年) |
| 5 昭和50～59年(1975～1984年) | 11 平成22～平成26年(2010～2014年) |
| 6 昭和60～平成元年(1985～1989年) | 12 平成27年以降(2015年以降) |

問2 あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 4 借家(賃貸マンション、アパート、共同住宅) |
| 2 持ち家(分譲マンション、共同住宅) | 5 社宅、寮、公務員住宅等 |
| 3 借家(一戸建て) | 6 その他() |

問3 あなたが都筑区に来られる前にお住まいになっていたところはどこですか。(○はひとつ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 生まれてからずっと都筑区に住んでいる | 5 市外(東京都) |
| 2 市内(都筑区以外の横浜市内) | 6 市外(その他の道府県) |
| 3 市外(川崎市) | 7 市外(海外) |
| 4 市外(その他の神奈川県内) | |

問4 あなたは、これからも都筑区に住みたいと思いますか。(○はひとつ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 4 よそへ移りたい |
| 2 当分は住み続けたい | 5 特に考えていない |
| 3 できればよそへ移りたい | |

通勤・通学の状況についてうかがいます

問5 あなたの職場または学校はどこですか。(○はひとつ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 自宅 | 5 市外(川崎市内) |
| 2 自宅周辺の町内 | 6 市外(その他の神奈川県内) |
| 3 都筑区内 | 7 東京都内()市・区・町・村) |
| 4 都筑区以外の横浜市内()区) | 8 その他の地域 |
| | 9 就業・就学はしていない |

問5-1 問5で、2～8 を選択した方にお聞きします。

通勤・通学の交通手段は何ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 バス | 7 原動機付自転車 |
| 2 市営地下鉄(ブルーライン) | 8 自動二輪車 |
| 3 市営地下鉄(グリーンライン) | 9 自分が運転する自家用車 |
| 4 J R | 10 家族が運転する自家用車 |
| 5 私鉄 | 11 徒歩のみ |
| 6 自転車 | 12 その他() |

問5-2 問5で、2～8 を選択した方にお聞きします。

家を出てから職場または学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(○はひとつ)

- | | | |
|-------------|-------------------|----------------|
| 1 15分未満 | 4 45分～1時間未満 | 7 1時間30分～2時間未満 |
| 2 15分～30分未満 | 5 1時間～1時間15分未満 | 8 2時間以上 |
| 3 30分～45分未満 | 6 1時間15分～1時間30分未満 | |

都筑区の生活環境に関する重要度・満足度についてうかがいます

- 問6 あなたは、以下の1)～29)の項目について、
【1】あなたにとって、どの程度重要だと思いますか。
【2】現在、どの程度満足していますか。
【3】ここ数年でどのように変化していると思いますか。

それぞれ○はひとつだけ

各項目の【1】【2】【3】
 すべての該当する番号にひとつずつ○印をつけてください。
 (ヨコに計3つ○)

| 各項目 | 【1】重要度 | | | | | 【2】現在の満足度 | | | | | | 【3】ここ数年で | | | |
|--------------------------------|--------|------|------|-----------|--------|-----------|------|------|-------|------|----|----------|-------|---------|-------|
| | 重要 | やや重要 | いえない | あまり重要ではない | 重要ではない | 満足 | やや満足 | いえない | どちらとも | やや不満 | 不満 | わからない | 良くなった | 変わらなかった | 悪くなった |
| (記入例) 各項目 | 1 | ② | 3 | 4 | 5 | ① | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | ③ | 4 |
| 1) バスの利便 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2) 電車の利便 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3) 車利用のための道路環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4) 自転車利用のための道路環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5) 歩行者のための道路環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6) 車両の路上駐車や交通安全 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7) 駅周辺等の放置自転車対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8) 最寄り駅周辺のまちづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9) 街並み景観の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10) 公園(緑道を含む)の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11) 農地の保全や農業の振興、地産地消 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12) 緑地保全、緑化推進や水辺環境の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 13) 商店街や企業の振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 14) ごみの分別収集・リサイクルや街の美化 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 15) 災害に対する意識や取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 16) 防犯に対する意識や取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 17) 保育・学童など子育てのしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 18) 学校教育の充実や青少年の健全育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 19) 病院やかかりつけ医などの地域医療 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 20) 駅舎のバリアフリーなど、誰もが移動しやすいまちづくり | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 21) 高齢者の暮らしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 22) 障害者の暮らしやすさ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 23) 健康づくり支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 24) 区民利用施設の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 25) 広報・広聴など区政への市民参加の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 26) 身近な行政窓口・相談サービス | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 27) 文化施設の整備や市民文化の振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 28) スポーツの施設の整備やスポーツ振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 29) 以上を総合して、生活環境全般への評価 | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 1 | 2 | 3 | 4 |

災害対策についてうかがいます

問7 あなたやあなたの家族は、地震や風水害があった場合に備えて、どのような対策をしていますか。

(○はいくつでも)

- 1 建物の耐震対策の実施、又は耐震基準が改正された昭和 56 年 6 月以降に建てた住宅への居住
- 2 家具（タンス、食器棚など）等の転倒防止
- 3 ガラスフィルム等によるガラスの飛散防止
- 4 3 日分以上の食料や飲料水の備蓄
- 5 トイレパックの備蓄
- 6 携帯ラジオ、懐中電灯など非常持ち出し品の準備
- 7 日用品（衣料品、おむつなど）や常備薬の準備
- 8 家族との連絡方法の確認
- 9 近くの学校や公園などの避難場所の確認
- 10 ハザードマップを活用した近くの危険箇所（浸水想定区域、崖地など）の確認
- 11 防災訓練への参加
- 12 近隣の人との声かけや会話
- 13 子どもや高齢者などの支援対策
- 14 消火器の準備
- 15 風呂水のため置き
- 16 会社や学校などからの帰宅ルートの確認
- 17 特になし

問8 あなたは、次の場所について知っていますか。(○はそれぞれひとつ)

| | 1 知っているし、 場所もわかる (○はひとつ) | 2 知っているが、 場所はわからない (○はひとつ) | 3 知らない (○はひとつ) |
|--|--------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| (記入例) 各項目 | 1 | ② | 3 |
| 1) 地域防災拠点 (震災時に家屋の倒壊などにより自宅で生活できない方が一定期間避難生活を送る場所です。区内の市立小・中学校 27 か所が指定されています。) | 1 | 2 | 3 |
| 2) 広域避難場所 (地震により火災が多数発生した場合に、その熱や煙から一時的に避難するための場所です。区内で 7 か所が指定されています。) | 1 | 2 | 3 |
| 3) いっつき避難場所 (広域避難場所や地域防災拠点に避難する前の中継点で、一時的に避難して様子を見るとともに、隣近所の安否確認をする場所です。自治会・町内会などが選定しています。) | 1 | 2 | 3 |
| 4) 福祉避難所 (高齢者や障害児・者などのうち地域防災拠点での避難生活に特別な配慮を必要とする要援護者のための避難所です。援護の必要性の高い方を優先して受け入れるため、対象と判断されない方は避難することはできません。) | 1 | 2 | 3 |
| 5) 仮設救護所 (震災時に負傷者の応急医療活動を行う場所です。区役所及び休日急患診療所の 2 か所で開設します。) | 1 | 2 | 3 |

横浜市や都筑区では、災害に関する各種情報を様々な媒体を活用して情報発信しており、テレビやラジオ以外からも各種情報を得ることができます。

問9 あなたは、次の情報収集手段について知っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 横浜市防災情報Eメール
(登録したパソコン・スマートフォン・携帯電話に、電子メールで横浜市からの防災緊急情報を配信します。)
- 2 Yahoo!防災速報アプリ
(専用のスマートフォンアプリで横浜市からの防災緊急情報を配信します。)
- 3 市や区のツイッター
(総務局危機管理室や都筑区のアカウントから防災緊急情報を確認できます。)
- 4 市や区のホームページ
(総務局や都筑区のホームページから防災緊急情報を確認できます。)
- 5 横浜市水防災情報
(インターネット上で河川水位情報や河川監視カメラ映像を確認できます。)
- 6 防災用スピーカー
(都筑区内の鶴見川、早淵川沿いに設置されているスピーカーで、区役所から避難情報などを放送します。)
- 7 その他情報収集のため使用しているものがありましたらお書きください。
()

問9-1 問9で「1 横浜市防災情報Eメール」、「2 Yahoo!防災速報アプリ」、「3 市や区のツイッター」のいずれかを知っていると選択した方にお聞きします。そのうち登録(インストール)しているものはありますか。(〇はいくつでも)

- 1 横浜市防災情報Eメール
- 2 Yahoo!防災速報アプリ
- 3 市や区のツイッター

自治会町内会活動についてうかがいます

都筑区には現在、123の自治会町内会があり、地域で様々な活動を行っています。

問10 あなたは、自治会町内会に入っていますか。(〇はひとつ)

- 1 入っている
- 2 入っていない
- 3 わからない

問11 あなたが自治会町内会活動に期待することはどのような取組ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| 1 災害時や日ごろの支え合い | 7 消防団活動 |
| 2 防災活動 | 8 交通安全運動 |
| 3 防犯活動 | 9 地域のイベント(さくら祭り、夏祭り、運動会など) |
| 4 子どもの見守り・子育て支援 | 10 回覧板等による情報提供 |
| 5 高齢者の見守り・老人会活動 | 11 地域美化活動 |
| 6 地域での健康づくり | 12 その他() |

地域での日頃の支え合いについてうかがいます

都筑区では、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせることを目指して、区民、地域、団体、企業と区役所が、地域課題に対してともに取り組み、人と人の「であい ささえあい わちあい」の仕組づくりを行っています。

問 12 あなたは、隣近所に住んでいる人を知っていますか。(○はひとつ)

- 1 よく知っている 2 だいたい知っている 3 あまり知らない 4 まったく知らない

問 13 あなたは日頃、どの程度の近所づきあいをしていますか。(○はひとつ)

- 1 お互い困ったときには助け合っている
2 お互いに訪問しあっている
3 立ち話をする程度
4 あいさつをする程度
5 ほとんど付き合いはない

区内における社会貢献活動についてうかがいます

問 14 あなたは、以下の1)~13)の社会貢献活動について、

- ① 都筑区内において、過去1年間に、社会貢献活動(自治会町内会活動、ボランティア活動、NPO(特定非営利活動)法人活動など)を行ったことがありますか。
- ② また、今後新たに(もしくは継続して)参加したい活動がありますか。
- ③ 今後、地域の中でより充実させていくべき、重要度が高いと考える活動がありますか。

| | ① 過去1年間に 経験のある活動 (〇はいくつでも) | ② 今後参加したい 活動 (〇はいくつでも) | ③ 重要度が高い 活動 (〇はいくつでも) |
|---|-------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|
| (記入例) 各項目 | 1 | ② | 3 |
| 1) 高齢者支援に関する活動 (介護、介護予防、安否確認など) | 1 | 2 | 3 |
| 2) 障害者支援に関する活動 (介護、外出や買い物の手助けなど) | 1 | 2 | 3 |
| 3) 保健・医療に関する活動 (健康づくりの推進、病院ボランティアなど) | 1 | 2 | 3 |
| 4) 学習活動に関する指導などの活動 (料理、英語、書道など) | 1 | 2 | 3 |
| 5) 国際交流・協力に関する活動 (国際文化理解、留学生支援など) | 1 | 2 | 3 |
| 6) 子育て支援、児童・青少年育成に関する活動 (青少年支援、PTA 役員、おやじの会、引きこもり・不登校児支援、保育ボランティアなど) | 1 | 2 | 3 |
| 7) スポーツ・レクリエーションに関する活動 (地域でのスポーツ・レクリエーションの推進、学校クラブ活動指導など) | 1 | 2 | 3 |
| 8) 防災・災害救援に関する活動 (地域防災拠点の運営、災害ボランティアなど) | 1 | 2 | 3 |
| 9) 防犯・安全に関する活動 (防犯パトロール、交通安全運動など) | 1 | 2 | 3 |
| 10) まちづくりに関する活動 (まちの活性化・ルールづくりに関する活動、お祭りなど) | 1 | 2 | 3 |
| 11) 自然・環境保護に関する活動 (道路・公園清掃などの環境美化、リサイクル活動、公園・水辺愛護会活動など) | 1 | 2 | 3 |
| 12) 人権擁護に関する活動 (男女共同参画、平和推進など) | 1 | 2 | 3 |
| 13) その他 (具体的に_____) | 1 | 2 | 3 |

問 14-1 問 14 ①で 1)から 13)にひとつでも○をつけた方にお聞きします。

初めて社会貢献活動に参加したきっかけは、この中のどれにあたりますか。(○はひとつ)

- 1 地域に貢献したいから
- 2 近所の方や友人に誘われたから
- 3 地域に仲間や友人が欲しいから
- 4 自治会町内会の当番にあたったから
- 5 自分自身の楽しみ、充実感を得たいから
- 6 回覧板・掲示板を見て活動の情報が入手できたから
- 7 インターネットを見て活動の情報が入手できたから
- 8 SNSを見て活動の情報が入手できたから
- 9 仕事や子育てなどが落ち着き、時間にゆとりができたから
- 10 その他 ()

問 14-2 問 14 ①で 1)から 13)に○をつけなかった方にお聞きします。

どのような状況であれば社会貢献活動に参加しやすいですか。(○はひとつ)

- 1 知っている人が参加している
- 2 気軽に参加できる活動がある
- 3 活動場所が近くにある
- 4 経費や手間がかからない
- 5 活動に必要な技術や経験が活かせる
- 6 その他 ()

地域の福祉保健活動についてうかがいます

問 15 あなたは近所の困っている方にどのような手伝いができると思いますか。

また、少し困ったことがあった場合、ご近所から手伝ってもらいたいことはありますか。(○はいくつでも)

| | 1 手伝いできること (○はいくつでも) | 2 手伝ってほしいこと (○はいくつでも) |
|--------------|-------------------------|--------------------------|
| (記入例) 各項目 | ① | 2 |
| 1 安否確認の声掛け | 1 | 2 |
| 2 買い物 | 1 | 2 |
| 3 ごみ出し | 1 | 2 |
| 4 こどもの預かり | 1 | 2 |
| 5 掃除・洗濯の手伝い | 1 | 2 |
| 6 ちょっとした力仕事 | 1 | 2 |
| 7 話し相手や相談相手 | 1 | 2 |
| 8 食事の差し入れ | 1 | 2 |
| 9 災害時の避難の手助け | 1 | 2 |
| 10 特になし | 1 | 2 |

子ども・子育て支援についてうかがいます

都筑区は、市内で最も子どもの割合が高い区であり、子ども・青少年が健やかに育ち、子育てがしやすいと実感できるまちづくりを目指し、妊娠期から青少年期までのさまざまな子育て支援に取り組んでいます。

問 16 あなたは、子育ての経験がありますか。(〇はひとつ)

- | | | | |
|---------|-----------------------|--------------|------|
| 1 経験がある | 2 現在子育て中 (18歳未満の子) | 3 子どもが生まれる予定 | 4 ない |
|---------|-----------------------|--------------|------|

問 17 あなたは、妊娠中の方とその家族にとって、どのような情報があると役に立つと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|------------------------------------|
| 1 医療機関情報(小児科、産科等) |
| 2 保育所など子どもを預けられる施設に関する情報 |
| 3 妊娠中の方とその家族が気軽に集まる広場やサロンの開催に関する情報 |
| 4 子育ての経験者から気軽に話を聞ける場・機会に関する情報 |
| 5 専門家に相談ができる場・機会に関する情報 |
| 6 子育てに関する講演の開催に関する情報 |
| 7 行政の子育て支援サービスに関する情報 |
| 8 その他() |

問 18 あなたは、安心して子育てを行うためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- | |
|---|
| 1 子育てに関する相談窓口の充実 |
| 2 子育てに関する情報の集約・提供 |
| 3 保育サービスの充実(待機児童の解消や、一時保育、病後児保育等、多様な保育ニーズへの対応など) |
| 4 放課後児童健全育成事業の充実(放課後キッズクラブなど) |
| 5 在宅で過ごしている子育て家庭への支援(市立保育園の園庭開放、育児講座の開催、仲間づくりへの支援など) |
| 6 地域で子育てを支える仕組みづくり(関係施設・機関・団体の連携や、子育て親子の交流の場の提供、地域の中で子どもを預けたり預かったりする仕組みの推進、地域の人とのつながりづくりなど) |
| 7 子育てと仕事の両立のための職場環境づくり(育児休業の取得促進、柔軟な働き方の促進など) |
| 8 その他() |

問 19 あなたは、児童虐待が疑われる児童に気がついた場合、どのような対応をとりますか。(最もあてはまるものひとつに〇)

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1 児童相談所に連絡する | 6 よこはま子ども虐待ホットラインに連絡する |
| 2 区役所(福祉保健センター)に連絡する | 7 知り合いに相談する |
| 3 警察に連絡する | 8 自分でその子に声をかけたり、相談に乗る |
| 4 保育所、幼稚園、学校に連絡する | 9 どうしてよいか分からない |
| 5 民生委員・児童委員に連絡する | 10 特に何もしない |

健康づくりについてうかがいます

都筑区は今後確実に高齢化が進むと言われており、健康寿命^(※)を延ばすための「健康づくり」が注目されています。 ※健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

問 20 あなたが健康づくりの取組について重要だと思うことは何ですか。(〇は3つまで)
また、ご自身が実際に取り組んでいること何ですか。(〇はいくつでも)

| | 1 重要だと思うこと (〇は3つまで) | 2 取り組んでいること (〇はいくつでも) |
|------------------------|------------------------|--------------------------|
| (記入例) 各項目 | ① | 2 |
| 1 週1回以上、運動する | 1 | 2 |
| 2 日常生活の中で歩くなど意識して体を動かす | 1 | 2 |
| 3 バランスよく食べる | 1 | 2 |
| 4 お酒は適量を守る | 1 | 2 |
| 5 定期的に歯のチェックを受ける | 1 | 2 |
| 6 定期的に健康診断を受ける | 1 | 2 |
| 7 睡眠をしっかりとる | 1 | 2 |
| 8 禁煙する・受動喫煙をできるだけ避ける | 1 | 2 |

問 21 あなたが健康づくりの取組を行うためには、どのような施策が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

- 1 健康づくりに関するイベントや講座の開催
- 2 HPやアプリなどによる健康づくりに関する情報の集約・提供
- 3 健康づくりに関する相談窓口の充実
- 4 保健活動推進員、食生活等改善推進員、スポーツ推進員等の地域での健康づくり活動を実施している方への支援強化
- 5 区民同士が健康づくりに関することを話し合う場所の提供
- 6 その他 (_____)

高齢者支援についてうかがいます

都筑区は、市内で最も高齢化率が低い区ですが、高齢者人口の増加率は一番高く、今後確実に高齢化が進みます。

問 22 全員の方にお聞きします。

高齢者の生活で特に不安なことは何ですか。高齢者でない方は、将来を想定してお答えください。(〇は3つまで)

- 1 健康や病気のこと
- 2 介護が必要な状態になること
- 3 生活費や収入のこと
- 4 仕事のこと
- 5 孤独(同居する人がいないなど)
- 6 詐欺などの犯罪被害にあうこと
- 7 人(近隣、親戚、友人、仲間など)とのつきあい
- 8 その他(_____)
- 9 不安なことはない

問 23 あなたは、今後高齢者人口が増加する中でどのような支援や取組が必要だと考えますか。(〇は3つまで)

- 1 介護予防などの健康の維持管理
- 2 在宅医療の推進・支援
- 3 買い物、通院などの外出に対する支援
- 4 食事作り、掃除、洗濯などの日常生活の支援
- 5 ひとり暮らし、高齢者のみの世帯になった時の訪問等の見守り
- 6 高齢者の仲間づくりに対する支援
- 7 高齢者の地域活動、いきがい対策の取組
- 8 相談体制の充実
- 9 その他(_____)

買い物についてうかがいます

問 24 あなたが「普段の買い物」や「たまにする買い物」の買い物先、買い物をする場所、買い物ができたら便利だと思う場所はどこですか。

最もよく利用するものをひとつだけ下記の選択肢からあてはまるものを選んで、番号をご記入ください。

また、利用する交通手段(注)は、一番多く利用する交通手段をひとつだけ記入してください。

(注) <例1>ある商店に「自家用車で行く」ことも「バスと電車を乗り継いでいく」こともあるが、「自家用車で行く」ことが多い場合、「交通手段」の記入欄には「6」と記入してください。

<例2>外出着を買うために、バスに乗って最寄駅まで行き、最寄駅から電車に乗って、ある繁華街まで行くことが多い場合は、繁華街にたどり着くための最終的な交通手段は「電車」となるので、「交通手段」の記入欄に「2」と記入してください。

| 回答欄 | 【買い物先】 | 【買い物をする場所】 | 【買い物ができたら便利だと思う場所】 | 【交通手段】(注) |
|--|---------|------------|--------------------|-----------|
| | ひとつだけ記入 | ひとつだけ記入 | ひとつだけ記入 | ひとつだけ記入 |
| 普段の買い物 (例)普段の食料品、日用 雑貨、普段着として使用する洋服や靴、本や雑誌 | | | | |
| たまにする買い物 (例)普段着以外の洋服や靴、 家具、家庭電化製品 | | | | |

選択肢 【買い物先】 (※枠内に具体的に番号で記入)

| | |
|--------------------|---------------------|
| 1 スーパーマーケット | 5 ディスカウントストア |
| 2 百貨店・大型ショッピングセンター | 6 一般小売店 (商店など) |
| 3 コンビニエンスストア | 7 通信販売やインターネットによる購入 |
| 4 大型専門店 (家電・家具等) | 8 その他 |

※7と回答された方は、以下の【買い物をする場所】【交通手段】についての回答は不要です。

選択肢 【買い物をする場所】【買い物ができたら便利だと思う場所】
(※枠内に具体的に番号で記入)

| | |
|---------------|-------------|
| 1 センター南駅周辺 | 7 横浜駅周辺 |
| 2 センター北駅周辺 | 8 たまプラーザ駅周辺 |
| 3 その他都筑区内の駅周辺 | 9 その他の横浜市内 |
| 4 その他の自宅周辺 | 10 新宿・渋谷 |
| 5 1～4以外の都筑区内 | 11 その他の東京都内 |
| 6 新横浜駅周辺 | 12 その他 |

選択肢 【交通手段】 (※枠内に具体的に番号で記入)

| | | |
|-------|-----------|-------|
| 1 バス | 4 原動機付自転車 | 7 徒歩 |
| 2 電車 | 5 自動二輪車 | 8 その他 |
| 3 自転車 | 6 自家用車 | |

文化活動についてうかがいます

問 25 あなたは、日頃、以下の1)~12)の文化活動・鑑賞を行っていますか。また、将来的にどんな文化活動・鑑賞を行ってみたいですか。(〇はいくつでも)

| | 1 日頃行っている 文化活動・鑑賞 (〇はいくつでも) | 2 将来行いたい 文化活動・鑑賞 (〇はいくつでも) |
|--------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| (記入例) 各項目 | ① | 2 |
| 1) 音楽 | 1 | 2 |
| 2) 彫刻・手工芸・陶芸 | 1 | 2 |
| 3) 絵画・版画 | 1 | 2 |
| 4) 書道 | 1 | 2 |
| 5) 写真 | 1 | 2 |
| 6) 舞踊・ダンス・バレエ・演劇・ミュージカル | 1 | 2 |
| 7) 映画 | 1 | 2 |
| 8) 伝統芸能 | 1 | 2 |
| 9) 大衆演芸 | 1 | 2 |
| 10) 華道・茶道・フラワーアレンジメント・盆栽 | 1 | 2 |
| 11) 囲碁・将棋 | 1 | 2 |
| 12) その他() | 1 | 2 |

問 25-1 問 25 でひとつでも「日頃行っている文化活動・鑑賞」の項目に〇をつけた方のみにお聞きします。

その活動・鑑賞はどこで行っていますか。(〇はいくつでも)

| 【区内】 | | 【区外】 |
|--------------------|-------------|-----------------|
| 1 都筑公会堂 | 6 町内会館・自治会館 | 11 区外の施設 () |
| 2 地区センター | 7 個人宅 | |
| 3 区総合庁舎 1 階区民ホール | 8 カルチャーセンター | |
| 4 コミュニティハウス (学校開放) | 9 映画館 | |
| 5 民間貸スペース | 10 その他 () | |

区民利用施設についてうかがいます

問 26 次の都筑区内の施設について、各項目にあなたの【認知度と利用状況】、【利用頻度】であてはまるものひとつに○をつけてください。

| (記入例) 各項目 | 【認知度と利用状況】 | | | 【利用頻度】 | | | | |
|--|----------------|-----------------------|-----------|---------------------------|-------------|---------------|-------------|--------------------|
| | 1 利用したことがある | 2 知っているが、利用したことはない | 3 知らない | 利用頻度についてお聞きます。 (○はひとつ) | | | | |
| | 1 | 2 | 3 | 1 ほぼ毎日 | 2 週に1回程度 | 3 月に2、3回程度 | 4 月に1回程度 | 5 年に数回程度またはそれ以下 |
| 1) 都筑公会堂 | ① | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2) 地区センター (都筑、中川西、仲町台、北山田) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3) コミュニティハウス(中川中、勝田小、川和小、都田小、北山田小、つづきの丘小、東山田中) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4) 都筑スポーツセンター | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5) スポーツ会館(東山田、大熊) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6) プール (横浜国際、都筑、山崎公園、茅ヶ崎公園) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7) 地域ケアプラザ (加賀原、葛が谷、新栄、中川、東山田) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8) 老人福祉センター (つづき緑寿荘) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 9) つづきMYプラザ(都筑多文化・青少年交流プラザ) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 10) 鴨池公園こどもログハウス | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 11) 子育て支援センター Popola(ポポラ) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 12) 横浜北部ユースプラザ | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 13) 親と子のつどいの広場(すくすくサロン・おやこの広場「ぶらっとカフェ」・親と子のつどいの広場 つづき) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 14) 福祉保健活動拠点 かけはし都筑 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 15) 区民活動センター (区役所1階) | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 16) 都筑図書館 | 1 | 2 | 3 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

1) 利用したことがあるを選択した方で、過去1年間の利用がある方のみお答えください。

あなた自身についてうかがいます

F1 あなたの性別は(○はひとつ)

| | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢は(○はひとつ)

| | | | |
|-----------|-----------|------------|----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 35歳～39歳 | 9 55歳～59歳 | 13 75歳以上 |
| 2 20歳～24歳 | 6 40歳～44歳 | 10 60歳～64歳 | |
| 3 25歳～29歳 | 7 45歳～49歳 | 11 65歳～69歳 | |
| 4 30歳～34歳 | 8 50歳～54歳 | 12 70歳～74歳 | |

F3 あなたの住んでいる町は次のうちどれですか。(○はひとつ)

| | | | | |
|-------------|--------------|------------|------------|------------|
| 【あ行】 | 1 あゆみが丘 | 9 牛久保西三丁目 | 17 荇田東三丁目 | 25 大熊町 |
| | 2 池辺町 | 10 牛久保西四丁目 | 18 荇田東四丁目 | 26 大柵町 |
| | 3 牛久保町 | 11 牛久保東一丁目 | 19 荇田南町 | 27 大柵西 |
| | 4 牛久保一丁目 | 12 牛久保東二丁目 | 20 荇田南一丁目 | 28 大丸 |
| | 5 牛久保二丁目 | 13 牛久保東三丁目 | 21 荇田南二丁目 | 29 折本町 |
| | 6 牛久保三丁目 | 14 荇田東町 | 22 荇田南三丁目 | |
| | 7 牛久保西一丁目 | 15 荇田東一丁目 | 23 荇田南四丁目 | |
| | 8 牛久保西二丁目 | 16 荇田東二丁目 | 24 荇田南五丁目 | |
| 【か行】 | 30 加賀原一丁目 | 35 勝田南二丁目 | 40 北山田二丁目 | 45 北山田七丁目 |
| | 31 加賀原二丁目 | 36 川向町 | 41 北山田三丁目 | 46 葛が谷 |
| | 32 勝田町(勝田団地) | 37 川和町 | 42 北山田四丁目 | |
| | 33 勝田町(32以外) | 38 川和台 | 43 北山田五丁目 | |
| | 34 勝田南一丁目 | 39 北山田一丁目 | 44 北山田六丁目 | |
| 【さ行】 | 47 佐江戸町 | 48 桜並木 | 49 新栄町 | 50 すみれが丘 |
| 【た行】 | 51 高山 | 55 茅ヶ崎東二丁目 | 59 茅ヶ崎南一丁目 | 63 茅ヶ崎南五丁目 |
| | 52 茅ヶ崎中央 | 56 茅ヶ崎東三丁目 | 60 茅ヶ崎南二丁目 | |
| | 53 茅ヶ崎町 | 57 茅ヶ崎東四丁目 | 61 茅ヶ崎南三丁目 | |
| | 54 茅ヶ崎東一丁目 | 58 茅ヶ崎東五丁目 | 62 茅ヶ崎南四丁目 | |
| 【な行】 | 64 中川一丁目 | 69 中川六丁目 | 74 長坂 | 79 仲町台五丁目 |
| | 65 中川二丁目 | 70 中川七丁目 | 75 仲町台一丁目 | 80 二の丸 |
| | 66 中川三丁目 | 71 中川八丁目 | 76 仲町台二丁目 | |
| | 67 中川四丁目 | 72 中川中央一丁目 | 77 仲町台三丁目 | |
| | 68 中川五丁目 | 73 中川中央二丁目 | 78 仲町台四丁目 | |
| 【は行】 | 81 早瀬一丁目 | 84 東方町 | 87 東山田二丁目 | 90 平台 |
| | 82 早瀬二丁目 | 85 東山田町 | 88 東山田三丁目 | 91 富士見が丘 |
| | 83 早瀬三丁目 | 86 東山田一丁目 | 89 東山田四丁目 | |
| 【ま行】 | 92 南山田町 | 94 南山田二丁目 | 96 見花山 | |
| | 93 南山田一丁目 | 95 南山田三丁目 | | |

F4 あなたの最寄りの駅(もしくは最も利用する駅)はどこですか。(〇はひとつ)

| | | |
|---------|-------------|------------------|
| 1 あざみ野 | 8 東山田 | 15 市が尾 |
| 2 中川 | 9 北山田 | 16 江田 |
| 3 センター北 | 10 都筑ふれあいの丘 | 17 たまプラーザ |
| 4 センター南 | 11 川和町 | 18 鷺沼 |
| 5 仲町台 | 12 小机 | 19 日吉 |
| 6 新羽 | 13 鴨居 | 20 綱島 |
| 7 新横浜 | 14 中山 | 21 その他 (_____) |

F5 あなたは同居している方がいらっしゃいますか。(〇はひとつ)

| | | |
|----------|--------------|------------------------|
| 1 ひとり暮らし | 3 親と子(2世代) | 5 その他 (具体的に _____) |
| 2 夫婦だけ | 4 親と子と孫(3世代) | |

F5-1 F5で1を回答した方以外にお聞きします。あなたも含めて、同居している方には、次の方がいらっしゃいますか。(それぞれに〇はひとつ)

| | | |
|--------------------|------|-------|
| 1) 子ども(未就学児)はいますか | 1 いる | 2 いない |
| 2) 小学生はいますか | 1 いる | 2 いない |
| 3) 高齢者(65歳以上)はいますか | 1 いる | 2 いない |

F6 あなたの就労状況はどれにあたりますか(〇はひとつ)

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 1 正社員・正職員(公務員・団体職員含む) | 5 専業主婦・専業主夫 |
| 2 自営業 (商店経営、農業、開業医など) | 6 学生 |
| 3 契約社員・嘱託社員・派遣社員 | 7 就業していない |
| 4 パート・アルバイト | 8 その他 (_____) |

質問は以上です。

調査へのご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、**令和元年6月17日(月)**までにポストに投函してください。